

令和5年度

主要な施策に関する説明書

(一 般 会 計)

(国民健康保険特別会計)

(介護保険特別会計)

(後期高齢者医療特別会計)

埼玉県南埼玉郡宮代町

地方自治法第233条第5項の規定により令和5年度に宮代町が執行した主要な施策についてご報告いたします。

令和5年度は、私たちの暮らしにおいて永らく制約、制限を強いられてきた新型コロナウイルスによる感染症が5類へと移行したことで、先行きに明るい兆しが見えた一方、複雑化する国際情勢などを背景とした資源や食料をはじめとした多くのモノの価格高騰が、町民の皆様の生活に大きな影響を及ぼす年となりました。この物価高は、今現在も進行しており、その先行きを注視するとともに、対策として国が先導する定額減税並びに調整給付などを速やかに行えるよう努めているところです。

令和5年度の一般会計、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計の歳出決算額は、総額で195億2,533万6千円、前年度に比べ約0.2%、金額にして3,922万3千円の増となりました。

国全体で進行する少子高齢化は、本町も例外ではなく、引き続き医療や介護、福祉といった、いわゆる社会保障関連経費の増加が続いています。今日の我が国の人口構造から、この傾向は当面の間続くことが見込まれており、制度だけに依らない「社会全体で支えあう地域づくり」がより重要となってくるものと考えています。

このため町では、物価高の影響を大きく受ける非課税世帯や子育て世帯への支援、高齢者支援、事業者支援など、まずは現在の町民の皆様の日々の暮らしに寄り添った取組を確実に行うことは元より、さらに将来に向けて、まちの魅力向上により定住人口や交流人口、関係人口の増加を図るための都市基盤整備、またデジタルを活用して地域の課題を解決し、豊かな暮らしの実現を図るためのDX～デジタルトランスフォーメーションの推進など、未来への投資にも積極的に取り組んでまいりました。

令和6年度も引き続き、安心して子どもを生み育てる環境、そして高齢になってからも、生きがいを持って自分らしく暮らせる地域共生社会の実現に向け、皆様の声に耳を傾け、対話を通じてその声を活かしながらまちづくりを進めてまいりますので、皆様のより一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和6年 8月29日

宮代町長 新井康之

目 次

1 一 般 会 計 -----	1 頁
令和5年度 一般会計歳入歳出決算状況 -----	2 頁
令和5年度 一般会計歳出性質別決算状況 -----	6 頁
地方債現在高の状況 -----	8 頁
地方債の借入先別・利率別現在高の状況 -----	8 頁
令和5年度 決算状況総括表 -----	10 頁
歳 入	
1) 町 税 -----	12 頁
2) 地 方 譲 与 税 -----	13 頁
3) 利 子 割 交 付 金 -----	13 頁
4) 配 当 割 交 付 金 -----	13 頁
5) 株式等譲渡所得割交付金 -----	13 頁
6) 法 人 事 業 税 交 付 金 -----	13 頁
7) 地 方 消 費 税 交 付 金 -----	14 頁
8) 環 境 性 能 割 交 付 金 -----	14 頁
9) 地 方 特 例 交 付 金 -----	15 頁
10) 地 方 交 付 税 -----	15 頁
11) 交通安全対策特別交付金 -----	16 頁
12) 分 担 金 及 び 負 担 金 -----	16 頁
13) 使 用 料 及 び 手 数 料 -----	16 頁
14) 国 庫 支 出 金 -----	17 頁
15) 県 支 出 金 -----	18 頁
16) 財 産 収 入 -----	19 頁
17) 寄 附 金 -----	20 頁
18) 繰 入 金 -----	20 頁
19) 繰 越 金 -----	20 頁
20) 諸 収 入 -----	21 頁
21) 町 債 -----	21 頁
22) 自 動 車 取 得 税 交 付 金 -----	23 頁

歳 出

第5次宮代町総合計画 前期実行計画	-----	25 頁
1) 議 会 事 務 局	-----	73 頁
2) 総 務 課	-----	75 頁
3) 企 画 財 政 課	-----	79 頁
4) 住 民 課	-----	87 頁
5) 税 務 課	-----	93 頁
6) 町 民 生 活 課	-----	101 頁
7) 環 境 資 源 課	-----	115 頁
8) 福 祉 課	-----	125 頁
9) 子 育 て 支 援 課	-----	135 頁
10) 健 康 介 護 課	-----	153 頁
11) 産 業 観 光 課	-----	173 頁
12) ま ち づ くり 建 設 課	-----	181 頁
13) 教 育 推 進 課	-----	189 頁
2 国民健康保険特別会計	-----	215 頁
3 介護保険特別会計	-----	233 頁
4 後期高齢者医療特別会計	-----	263 頁



一 般 会 計



令和５年度 宮代町一般会計決算における主要施策の成果

令和５年度は、新型コロナウイルス感染症が５類へ移行したことにより各種対策が縮小する一方で、少子高齢化を背景に増加する社会保障関連事業への対応と、世界情勢や為替市場を背景として様々な物の価格高騰が続くなか、町民の皆様の日々の暮らしを支えるために様々に取り組んだ年となりました。

歳入では、町税において、固定資産税や都市計画税が増収したほか、個人町民税も増収し、町税全体では前年度に比べ２億６千万円を超える増収となりました。また、地方交付税も国からの追加交付があったことなどから、一般財源総額全体においても増額となりました。

歳出においては、引き続き医療、介護、福祉などに係る社会保障関連経費の増加に加え、物価高騰対策に係る各種支援金や一部事務組合への負担金、職員人件費などが増加した一方、民間保育所並びに学童保育所の整備完了や５類移行による新型コロナワクチン接種の規模縮小などもあり、全体としては、微減となっています。

こうした中、ゼロカーボンシティ実現に向けた公共施設への太陽光発電設備導入調査や、公共施設のオンライン予約システム導入、小中学校における校務支援システムの更新などのデジタル活用など、新たな時代に的確に対応するための取り組みにも努めてまいりました。

第５次宮代町総合計画においては、前期期間の成果目標達成を見据え、着実に成果を積み重ねることができるよう事業を進めました。

「構想１ 宮代らしさを価値として高めていく」では、宮東・中島地区において土地改良組合が設立され、今後の圃場整備に向けた準備が整いました。また、アートの楽しさや感動、喜びを気軽に共有できる文化芸術の祭典として「みやしろ芸術祭」を開催したほか、「みんなが地域の特派員」による動画作成などを通じ、町の魅力を町内外に発信しました。

「構想２ コンパクトな町の強みを活かす」では、７５歳以上の高齢者等の移動支援としてのタクシー助成、モデル公園ごとにワークショップなどを通じ地域が求める公園の検討を行い、また、都市基盤整備として道佛地区の周辺道路である都市計画道路 春日部久喜線や東武動物公園駅東口駅前広場の整備を行いました。

「構想３ さまざまな活動や主体を生み出す」では、子育て中の方やこどもたちの地域での居場所づくり支援、高齢者の日常生活の困りごとサポートでは、新たな助け合い活動グループが生まれています。また、若い世代の健康づくりとして、健康ワードラリーや親子向けレシピなど健康づくりへのサポートを行いました。

「構想４ 社会環境の変化に対応し行政運営を変化させ続ける」では、小中学生を対象に「日工大サイエンスプロジェクト」として日本工業大学の施設や設備を活用して講義や授業を行いました。

須賀小学校の再整備では、ワークショップなどを通じ地域の声を集約し、再整備に関する基本計画を策定しました。

引き続き、計画に掲げる各事業を着実に推進し、町の未来像として掲げる「首都圏でいちばん人が輝く町」の実現に向けて、取り組んでまいります。

令和5年度 一般会計歳入歳出決算状況

歳入の状況

款 名	5年度			増減 A-B
	決算額 A	構成比 (%)	人口1人当たり	
1 町 税	4,139,679	30.4	124	260,063
2 地 方 譲 与 税	92,553	0.7	3	785
3 利 子 割 交 付 金	1,511	0.0	0	△ 166
4 配 当 割 交 付 金	27,627	0.2	1	3,351
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	32,123	0.2	1	13,185
6 法 人 事 業 税 交 付 金	34,732	0.3	1	3,836
7 地 方 消 費 税 交 付 金	714,162	5.2	21	△ 11,401
8 環 境 性 能 割 交 付 金	16,745	0.1	1	1,235
9 地 方 特 例 交 付 金	40,267	0.3	1	△ 3,967
10 地 方 交 付 税	2,776,161	20.4	83	67,455
11 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	3,425	0.0	0	△ 345
12 分 担 金 及 び 負 担 金	89,183	0.7	3	△ 67,446
13 使 用 料 及 び 手 数 料	35,085	0.3	1	△ 710
14 国 庫 支 出 金	2,587,368	19.0	78	250,973
15 県 支 出 金	839,691	6.2	25	37,239
16 財 産 収 入	32,084	0.2	1	△ 54,329
17 寄 附 金	18,279	0.1	1	△ 4,252
18 繰 入 金	601,292	4.4	18	69,567
19 繰 越 金	859,451	6.3	26	△ 344,237
20 諸 収 入	245,280	1.8	7	△ 19,714
21 町 債	442,904	3.2	13	89,743
22 自 動 車 取 得 税 交 付 金	947	0.0	0	712
歳 入 合 計	13,630,549	100.0	409	291,577

令和6年3月31日現在人口
33,340人

(単位 千円)

4年度		3年度 決算額	主 な 増 減 理 由
決算額 B	構成比 (%)		
3,879,616	29.1	3,778,862	固定資産税の増
91,768	0.7	92,083	交付原資（国税）の増
1,677	0.0	2,711	交付原資（県税）の減
24,276	0.2	26,602	交付原資（県税）の増
18,938	0.1	31,575	交付原資（県税）の増
30,896	0.2	23,293	交付基準の変更に伴う増
725,563	5.4	689,346	交付原資（県税）の減
15,510	0.1	12,055	交付原資（県税）の増
44,234	0.3	48,591	減収補填特例交付金の減
2,708,706	20.3	2,709,556	普通交付税の増
3,770	0.0	4,171	交付原資の減
156,629	1.2	64,365	障がい福祉に係る埼玉北地区管内広域事業分担金の減
35,795	0.3	35,738	都市計画手数料の減
2,336,395	17.5	2,756,029	物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の増 新型コロナウイルスワクチン接種に対する国庫支出金の増
802,452	6.0	747,358	子どものための教育・保育給付費負担金の増 障害者自立支援給付費等負担金の増
86,413	0.7	29,671	普通財産売却収入の減
22,531	0.2	26,899	ふるさと納税（寄附金）の減
531,725	4.0	299,030	財政調整基金繰入金の増
1,203,688	9.0	610,431	前年度決算剰余金の減
264,994	2.0	233,758	宮代和戸横町地区における調整池施設移管協力金の減
353,161	2.7	543,900	福祉医療センター空調設備改修事業の増
235	0.0	5	自動車取得税交付金（過年度分）の追加交付
13,338,972	100.0	12,766,029	

令和5年度 一般会計歳入歳出決算状況

歳出の状況

款 名	5年度			増減 A-B
	決算額 A	構成比 (%)	人口1人当たり	
1 議会費	104,251	0.8	3	△ 1,579
2 総務費	1,894,963	15.3	57	△ 285,987
3 民生費	4,897,434	39.4	147	△ 34,710
4 衛生費	1,528,965	12.3	46	64,781
5 労働費	52	0.0	0	0
6 農林水産業費	250,816	2.0	8	14,895
7 商工費	86,573	0.7	3	△ 39,769
8 土木費	916,026	7.4	27	25,648
9 消防費	539,068	4.3	16	60,543
10 教育費	1,359,092	11.0	41	134,415
11 公債費	840,645	6.8	25	205
12 諸支出金	65	0.0	0	△ 13
13 予備費	0	0.0	0	0
歳出合計	12,417,950	100.0	373	△ 61,571

令和6年3月31日現在人口
33,340人

(単位 千円)

4年度		3年度 決算額	主 な 増 減 理 由
決算額 B	構成比 (%)		
105,830	0.9	102,779	議員報酬の減
2,180,950	17.5	1,460,392	公共施設整備基金積立金の減 財政調整基金積立金の減
4,932,144	39.5	4,770,145	ふじ第二児童クラブの整備完了による減
1,464,184	11.7	1,282,016	福祉医療センター空調設備の更新に伴う増
52	0.0	836	
235,921	1.9	210,893	新しい村の育苗施設機械設備の更新に伴う増
126,342	1.0	120,856	事業者・お店支援金事業補助金の減
890,378	7.2	1,057,830	東武動物公園駅東口周辺整備の事業進捗に合わせた増
478,525	3.8	488,935	埼玉東部消防組合負担金の増
1,224,677	9.8	1,223,425	校務支援システムの更新に伴う増
840,440	6.7	844,030	
78	0.0	205	
0	0.0	0	
12,479,521	100.0	11,562,342	

令和5年度 一般会計歳出性質別決算状況

性 質 名	5年度		増減 A-B
	決算額 A	構成比(%)	
1 人 件 費	1,972,269	15.9	55,271
うち 職員 給	1,220,023	9.8	33,060
2 物 件 費	1,924,917	15.5	△ 35,807
3 維持 補 修 費	45,952	0.4	△ 16,613
4 扶 助 費	2,413,334	19.4	32,021
5 補 助 費 等	2,463,034	19.7	216,318
一部事務組合に対するもの	1,109,430	8.9	89,260
そ の 他	1,353,604	10.9	127,058
6 普 通 建 設 事 業 費	858,634	6.9	△ 89,543
補 助 事 業 費	316,115	2.5	△ 54,393
単 独 事 業 費	495,419	4.0	△ 77,543
県 営 事 業 負 担 金	47,100	0.4	42,393
同 級 他 団 体 施 行 事 業 費	0	0.0	0
受 託 事 業 費	0	0.0	0
7 公 債 費	840,645	6.9	205
8 積 立 金	512,011	4.1	△ 321,431
9 投 資 及 び 出 資 金	0	0.0	0
10 貸 付 金	0	0.0	0
11 繰 出 金	1,387,154	11.2	98,008
合 計	12,417,950	100.0	△ 61,571

(単位 千円)

4年度		3年度 決算額	主 な 増 減 理 由
決算額 B	構成比 (%)		
1,916,998	15.4	1,876,874	給与改定及び職員数の増
1,186,963	9.5	1,170,474	給与改定及び職員数の増
1,960,724	15.7	1,733,946	新型コロナウイルスワクチン集団接種に係る委託料等の減 障がい福祉広域事業の幹事年度終了に伴う減
62,565	0.5	44,348	福祉医療センター施設修繕の減
2,381,313	19.1	2,802,308	介護給付・訓練等給付費、宮東保育園運営費委託料及び こども医療費の増
2,246,716	17.9	1,932,774	
1,020,170	8.2	993,412	埼玉東部消防組合負担金の増 久喜宮代衛生組合負担金の増
1,226,546	9.8	939,362	物価高騰対策に係る支援金給付等による増
948,177	7.6	773,687	
370,508	3.0	348,455	宮東保育園創設に係る補助金の減 ふじ第二児童クラブの整備完了による減
572,962	4.6	396,207	本庁舎空調機器の更新完了による減
4,707	0.0	29,025	寺の前橋架替工事に対する負担金の増
0	0.0	0	
0	0.0	0	
840,440	6.8	844,031	過年度借入地方債の償還開始に伴う増
833,442	6.7	291,642	公共施設整備基金積立金の減 財政調整基金積立金の減
0	0.0	0	
0	0.0	125	
1,289,146	10.3	1,262,607	国民健康保険特別会計への繰出金の増 後期高齢者医療制度に係る繰出金、負担金の増
12,479,521	100.0	11,562,342	

地 方 債 現 在

区 分	令 和 4 年 度 末 現 在 高 A	令 和 5 年 度 発 行 額 B
1 普 通 債	2,621,715	379,490
(1) 総 務 債	429,260	51,800
(2) 民 生 債	574,534	
(3) 衛 生 債	307,179	144,400
(4) 農 林 水 産 業 債		32,800
(5) 土 木 債	907,671	57,690
(6) 消 防 債	84,820	
(7) 教 育 債	318,251	92,800
2 そ の 他	5,218,615	63,414
(1) 減 税 補 て ん 債	26,070	
(2) 減 収 補 て ん 債	29,972	
(3) 臨 時 財 政 対 策 債	5,162,573	63,414
合 計	7,840,330	442,904

地 方 債 の 借 入 先 別 ・

利 率 別 借 入 先	令 和 4 年 度 末 現 在 高 A	令 和 5 年 度 発 行 額 B	令 和 5 年 度 元 金 償 還 額 C	令 和 5 年 度 末 現 在 高 D(A+B-C)
1 財 務 省	3,698,166	143,614	368,537	3,473,243
2 郵便貯金・簡易生命 保険管理機構	192,361		26,255	166,106
3 地方公共団体金融機構	2,936,809	207,500	245,512	2,898,797
4 市 中 銀 行 等	777,859	52,690	140,251	690,298
5 共 済 組 合 等	15,128		5,115	10,013
6 埼 玉 県	220,007	39,100	21,120	237,987
合 計	7,840,330	442,904	806,790	7,476,444

高 の 状 況

(単位 千円)

令和5年度 元金償還額 C	令和5年度末現在高 D (A+B-C)	Dの借入先別内訳	
		政府資金	その他
287,767	2,713,438	1,120,743	1,592,695
37,222	443,838		443,838
58,862	515,672	227,721	287,951
37,402	414,177	78,753	335,424
	32,800		32,800
110,811	854,550	616,586	237,964
4,925	79,895		79,895
38,545	372,506	197,683	174,823
519,023	4,763,006	2,518,606	2,244,400
11,452	14,618	14,618	
3,663	26,309	21,497	4,812
503,908	4,722,079	2,482,491	2,239,588
806,790	7,476,444	3,639,349	3,837,095

利 率 別 現 在 高 の 状 況

(単位 千円)

令和5年度末現在高 D の利率別内訳								
1.5% 以 下	2.0% 以 下	2.5% 以 下	3.0% 以 下	3.5% 以 下	4.0% 以 下	4.5% 以 下	5.0% 以 下	5.0% 超
3,341,075	1,558	125,716	2,300	1,621			973	
37,862		128,244						
2,506,136	389,117	2,278	1,266					
618,242	72,056							
10,013								
237,987								
6,751,315	462,731	256,238	3,566	1,621			973	

令和5年度 決算状況総括表

1 決算収支の状況

(単位 千円)

	5年度	4年度	3年度
歳 入 総 額 A	13,630,549	13,338,972	12,766,029
歳 出 総 額 B	12,417,950	12,479,521	11,562,342
歳入歳出差引額 (A - B) C	1,212,599	859,451	1,203,687
翌年度へ繰越すべき財源 D	337,377	100,927	183,197
実質収支 (C - D) E	875,222	758,524	1,020,490
単年度収支 F	116,698	△ 261,966	534,803
財政調整基金積立金額 G	379,719	510,747	243,952
繰上償還額 H	0	0	0
積立金取崩額 I	523,157	398,104	28,175
実質単年度収支 (F + G + H - I)	△ 26,740	△ 149,323	750,580

2 基金の現在高

(単位 千円)

	5年度	4年度	3年度
財 政 調 整 基 金	1,269,240	1,412,678	1,300,034
(主な増減理由) 決算剰余金積立金の減			
減 債 基 金	39,858	3,521	3,519
(主な増減理由) 次年度以降の地方債償還費の財源不足に備えた積み立て			
公 共 施 設 整 備 基 金	990,701	916,378	621,468
(主な増減理由) 小学校再整備等地域拠点施設整備のための積み立て			
公設宮代福祉医療センター施設整備基金	73	2,472	2,742
(主な増減理由) 医療機器の更新のための取り崩し			
宮 代 ま ち づ く り 基 金	25,920	25,648	28,219
(主な増減理由) ふるさと納税の積み立て			
森 林 環 境 譲 与 税 積 立 基 金	16,307	12,299	8,291
(主な増減理由) 森林環境譲与税の積み立て			
土 地 開 発 基 金	329,126	329,061	328,983
(主な増減理由) 基金利子の積み立て			
育 英 基 金	13,691	15,141	16,908
(主な増減理由) 小中学校教育備品等の整備のための取り崩し			
合 計	2,684,916	2,717,198	2,310,164

3 財政指標

	5年度	4年度	3年度
実 質 公 債 費 比 率	5.8%	6.1%	6.0%
将 来 負 担 比 率	－	－	－
財 政 力 指 数	0.583	0.596	0.613
経 常 収 支 比 率	93.0%	92.4%	88.0%
実 質 収 支 比 率	11.8%	10.4%	13.7%
標 準 財 政 規 模	7,439,979千円	7,313,403千円	7,473,220千円

※令和3年度以降の将来負担比率は指数なしのため「－」と表記しています。

※財政力指数、実質公債費比率の数値は、過去3カ年の平均値です。

(財政力指数の各年度数値は16ページを参照ください)

4 人口

(単位 人)

	5年度	4年度	3年度
住 民 基 本 台 帳	33,340	33,346	33,656

5 国勢調査

(単位 人)

	2年国勢調査	27年国勢調査	22年国勢調査
人 口	34,147	33,705	33,641
第 1 次 就 業 人 口	298	315	353
第 2 次 就 業 人 口	3,331	3,551	3,499
第 3 次 就 業 人 口	11,545	10,861	11,221
(分 類 不 能)	595	854	606

6 職員数等の状況

	5年度	4年度	3年度
(一般職員) 職員数	197人	195人	188人
(一般職員) 平均年齢	43.06歳	43.02歳	43.09歳
(一般職員) 一人当たりの給料月額	311,582円	310,340円	315,403円
ラスパイレス指数	94.8	95.3	95.8

※ラスパイレス指数とは、国家公務員の給与額を100とした場合の地方公共団体（市町村など）の給与水準を指数で示したもので、ここでは、4月1日現在の指数を記載しています。

1 款 町

税

決算書 P11

5 年度予算	5 年度決算 A	増 減 A-B	4 年度決算 B	3 年度決算
3,955,492,000	4,139,678,827	260,062,513	3,879,616,314	3,778,862,309

現年度課税分では、主に固定資産税及び都市計画税の増加により前年度に比べ257,250,330円(6.7%)の増、滞納繰越分では、滞納処分等の取り組みにより、前年度に比べ2,812,183円(14.2%)の増、町税全体では、260,062,513円(6.7%)の増となりました。

税目別では、個人町民税は所得割の増加により前年度に比べ29,529,070円(1.7%)の増となり、法人町民税は法人税割の減少により前年度に比べ1,840,530円(△1.8%)の減となりました。

固定資産税は、大規模新築家屋の評価増等により前年度に比べ203,178,943円(12.9%)の増、都市計画税は固定資産税同様に前年度に比べ27,324,768円(17.4%)の増となりました。

軽自動車税は、軽四輪乗用等の増加により前年度に比べ2,225,500円(2.9%)の増となり、町たばこ税は、前年度に比べ3,167,421円(△1.7%)の減となりました。

(単位 円)

		5年度 A	増 減 A-B	4年度 B	3年度
現年度課税分	町 民 税	1,888,846,409	27,688,540	1,861,157,869	1,831,912,949
	個人町民税	1,789,908,459	29,529,070	1,760,379,389	1,754,550,449
	法人町民税	98,937,950	△1,840,530	100,778,480	77,362,500
	固定資産税	1,774,938,754	203,178,943	1,571,759,811	1,518,958,400
	都市計画税	184,695,848	27,324,768	157,371,080	152,732,987
	軽自動車税	80,230,900	2,225,500	78,005,400	73,402,100
	町たばこ税	188,283,129	△3,167,421	191,450,550	177,881,559
	計	4,116,995,040	257,250,330	3,859,744,710	3,754,887,995
滞納繰越分	町 民 税	13,440,172	2,332,656	11,107,516	12,896,663
	個人町民税	13,243,372	2,135,856	11,107,516	12,102,543
	法人町民税	196,800	196,800	0	794,120
	固定資産税	7,810,406	420,951	7,389,455	9,660,857
	都市計画税	828,909	△3,034	831,943	897,594
	軽自動車税	604,300	61,610	542,690	519,200
	計	22,683,787	2,812,183	19,871,604	23,974,314
合 計		4,139,678,827	260,062,513	3,879,616,314	3,778,862,309

※ 国有資産等所在市町村交付金 480,500 円は固定資産税（現年度課税分）に含む

※ 軽自動車税(現年度課税分)は種別割及び環境性能割の合計

(単位 千円)

都市計画税充当事業	充当額	主 な 内 容
都市計画道路整備事業	38,118	(都)春日部久喜線の整備
東武動物公園駅東口周辺整備事業	16,534	駅前広場の整備
都市計画事業公債費	84,089	都市計画事業に係る元金償還金
公共下水道事業会計負担事業	46,784	公共下水道事業に係る元金償還金
充 当 額 合 計	185,525	

2 款 地 方 譲 与 税

決算書 P13

5 年度予算	5 年度決算 A	増 減 A-B	4 年度決算 B	3 年度決算
88,504,000	92,553,000	785,000	91,768,000	92,083,000

地方揮発油譲与税及び自動車重量譲与税の交付原資拡大により、地方譲与税全体で増額しました。

(単位 円)

	5年度 A	増 減 A-B	4年度 B	3年度
地方揮発油譲与税	22,055,000	77,000	21,978,000	22,987,000
自動車重量譲与税	66,494,000	708,000	65,786,000	65,726,000
森 林 環 境 譲 与 税	4,004,000	0	4,004,000	3,370,000
合 計	92,553,000	785,000	91,768,000	92,083,000

3 款 利 子 割 交 付 金

決算書 P15

5 年度予算	5 年度決算 A	増 減 A-B	4 年度決算 B	3 年度決算
1,400,000	1,511,000	△166,000	1,677,000	2,711,000

県民税利子割額に原資を拠っていますが、景気の動向等により交付原資が縮小し、交付額は減額しました。

4 款 配 当 割 交 付 金

決算書 P15

5 年度予算	5 年度決算 A	増 減 A-B	4 年度決算 B	3 年度決算
25,300,000	27,627,000	3,351,000	24,276,000	26,602,000

県民税配当割額に原資を拠っていますが、景気の動向等により交付原資が拡大し、交付額は増額しました。

5 款 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金

決算書 P15

5 年度予算	5 年度決算 A	増 減 A-B	4 年度決算 B	3 年度決算
11,200,000	32,123,000	13,185,000	18,938,000	31,575,000

県民税株式等譲渡割額に原資を拠っていますが、景気の動向等により交付原資が拡大し、交付額は増額しました。

6 款 法 人 事 業 税 交 付 金

決算書 P15

5 年度予算	5 年度決算 A	増 減 A-B	4 年度決算 B	3 年度決算
19,000,000	34,732,000	3,836,000	30,896,000	23,293,000

法人事業税（県税）に原資を拠っていますが、交付基準の経過措置の終了に伴い、交付額は増額しました。

7款 地方消費税交付金

決算書 P15

5年度予算	5年度決算 A	増 減 A-B	4年度決算 B	3年度決算
713,000,000	714,162,000	△11,401,000	725,563,000	689,346,000

地方消費税（県税）に原資を拠っていますが、景気の動向等により交付原資が縮小し、交付額は減額しました。

(単位:円)

	5年度 A	増 減 A-B	4年度 B	3年度
従 来 分	284,695,000	△8,662,000	293,357,000	278,818,000
社会 保 障 財 源 化 分	429,467,000	△2,739,000	432,206,000	410,528,000
合 計	714,162,000	△11,401,000	725,563,000	689,346,000

※ 社会保障財源化分は平成26年4月及び令和元年10月から引き上げられた地方消費税相当分で、この収入は社会保障施策に要する経費に活用するものとされ、令和5年度分は、以下の事業に活用しました。

【社会保障財源化分（引上げ分）を活用した社会保障施策に要した経費】 (単位:千円)

事業名		事業費	特定財源	一般財源		
					引上げ分	その他
社会福祉	社会福祉	432,854	3,581	429,273	60,560	368,713
	障がい者福祉	1,039,355	705,006	334,349	47,168	287,181
	高齢者福祉	85,165	166	84,999	11,992	73,007
	児童福祉	1,933,546	1,137,856	795,690	112,252	683,438
	小計	3,490,920	1,846,609	1,644,311	231,972	1,412,339
社会保険	国民健康保険	322,809	101,302	221,507	31,249	190,258
	後期高齢者医療	504,223	67,041	437,182	61,675	375,507
	介護保険	560,807	22,055	538,752	76,004	462,748
	小計	1,387,839	190,398	1,197,441	168,928	1,028,513
保健衛生	疾病予防対策	206,096	3,598	202,498	28,567	173,931
	小計	206,096	3,598	202,498	28,567	173,931
合 計		5,084,855	2,040,605	3,044,250	429,467	2,614,783

8款 環境性能割交付金

決算書 P15

5年度予算	5年度決算 A	増 減 A-B	4年度決算 B	3年度決算
11,100,000	16,745,000	1,235,000	15,510,000	12,055,000

自動車の環境性能に応じた割合で課税される環境性能割を原資として交付されるもので、自動車の取得状況により交付原資が拡大し、交付額は増額しました。

9 款 地 方 特 例 交 付 金

決算書 P17

5 年度予算	5 年度決算 A	増 減 A-B	4 年度決算 B	3 年度決算
39,911,000	40,267,000	△3,967,000	44,234,000	48,591,000

住宅ローン減税による住民税の減収補填交付金（地方特例交付金）が減少したことにより、全体の交付額は減少しました。なお、地方税減収補填特別交付金とは、新型コロナウイルス感染症緊急経済対策における固定資産税の特例措置に伴う減収分に対する交付金です。

	5 年度 A	増 減 A-B	4 年度 B	3 年度
地 方 特 例 交 付 金	39,911,000	△4,323,000	44,234,000	44,789,000
地方税減収補填特別交付金	356,000	皆増	-	3,802,000
合 計	40,267,000	△3,967,000	44,234,000	48,591,000

10 款 地 方 交 付 税

決算書 P17

5 年度予算	5 年度決算 A	増 減 A-B	4 年度決算 B	3 年度決算
2,731,344,000	2,776,161,000	67,455,000	2,708,706,000	2,709,556,000

普通交付税が基準財政需要額における高齢者に係る保健福祉費の増などを背景に増額となりました。

- ◆普通交付税の額 = 基準財政需要額 - 基準財政収入額
- ◆特別交付税の額 = 普通交付税では措置されない特別な財政需要に対応するもので、地方交付税総額の 6 % 相当額

(単位 円)

	5 年度 A	増 減 A-B	4 年度 B	3 年度
普 通 交 付 税	2,641,344,000	50,070,000	2,591,274,000	2,580,227,000
特 別 交 付 税	134,760,000	17,441,000	117,319,000	129,200,000
震災復興特別交付税	57,000	△56,000	113,000	129,000
合 計	2,776,161,000	67,455,000	2,708,706,000	2,709,556,000

■普通交付税の算出基礎

(単位 円)

	5 年度 A	増 減 A-B	4 年度 B	3 年度
基準財政需要額 a	6,421,123,000	187,765,000	6,233,358,000	6,072,072,000
基準財政収入額 b	3,779,779,000	137,695,000	3,642,084,000	3,491,845,000
調 整 額 c	0	0	0	0
交 付 額 a-b+c	2,641,344,000	50,070,000	2,591,274,000	2,580,227,000
単年度財政力指数 b/a	0.589	0.005	0.584	0.575

※3 カ年の単年度財政力指数を平均したものが、11 ページの「財政力指数」となります。

11 款 交通安全対策特別交付金

決算書 P17

5 年度予算	5 年度決算 A	増 減 A-B	4 年度決算 B	3 年度決算
3,500,000	3,425,000	△345,000	3,770,000	4,171,000

交通違反反則金を原資としていますが、交付原資が縮小し、交付額は減額しました。

12 款 分担金及び負担金

決算書 P17

5 年度予算	5 年度決算 A	増 減 A-B	4 年度決算 B	3 年度決算
97,156,000	89,183,083	△67,445,669	156,628,752	64,364,833

保育所及び学童保育所の保護者負担金は利用者の増に伴い増額しましたが、事務局の輪番制による埼葛北地区管内広域事業分担金の皆減により、全体では減額となりました。

(単位 円)

主 な も の	5年度 A	増 減 A-B	4年度 B	3年度
保 育 所 保 護 者 負 担 金	50,935,600	6,428,830	44,506,770	39,740,300
学 童 保 育 所 保 護 者 負 担 金	37,231,360	6,286,720	30,944,640	23,201,600
埼葛北地区管内広域事業分担金	-	皆減	80,272,462	-

※保護者負担金は滞納繰越分を含む金額です。

13 款 使用料及び手数料

決算書 P19

5 年度予算	5 年度決算 A	増 減 A-B	4 年度決算 B	3 年度決算
33,912,000	35,084,697	△710,789	35,795,486	35,737,901

■使用料

主に公共施設の利用者に負担いただく使用料です。主な使用料として、道路占用料は増額しましたが、駐輪場使用料及び公民館使用料は減額となりました。

(単位 円)

主 な も の	5年度 A	増 減 A-B	4年度 B	3年度
駐 輪 場 使 用 料	5,588,120	△194,350	5,782,470	6,290,620
道 路 占 用 料	10,666,375	66,671	10,599,704	10,442,760
公 民 館 使 用 料	2,331,100	△135,200	2,466,300	2,399,700

■手数料

各種行政サービスに伴う役務の対価として負担いただくものです。都市計画手数料の減に伴い手数料収入は減額となりました。

(単位 円)

主 な も の	5年度 A	増 減 A-B	4年度 B	3年度
税 務 手 数 料	1,932,200	△24,200	1,956,400	1,942,900
戸 籍 住 民 手 数 料	10,903,380	244,530	10,658,850	10,738,700
犬 の 登 録 手 数 料	848,920	△164,310	1,013,230	1,048,300
道路橋りょう手数料	44,400	△14,100	58,500	44,400
都 市 計 画 手 数 料	1,395,290	△785,940	2,181,230	1,759,270

14 款 国 庫 支 出 金

決算書 P21

5 年度予算	5 年度決算 A	増 減 A-B	4 年度決算 B	3 年度決算
2,680,358,550	2,587,367,721	250,972,600	2,336,395,121	2,756,029,332

(単位 円)

	5年度 A	増 減 A-B	4年度 B	3年度
国 庫 負 担 金	1,363,026,845	245,317,472	1,117,709,373	1,244,549,647
国 庫 補 助 金	1,212,833,050	5,858,516	1,206,974,534	1,500,126,098
国 庫 委 託 金	11,507,826	△203,388	11,711,214	11,353,587
合 計	2,587,367,721	250,972,600	2,336,395,121	2,756,029,332

※繰越分も含む金額です (以下、同じ)。

■国庫負担金

障がい福祉サービスの利用者増に伴う障害者自立支援給付費等負担金の増額や宮東保育園の開園による子どものための教育・保育給付費負担金が増額したほか、新型コロナウイルスワクチン接種に対する負担金も増額し、負担金全体は増額となりました。

(単位 円)

主なもの (負担率)	5年度 A	増 減 A-B	4年度 B	3年度
障害者自立支援給付費等負担金 (1/2)	424,644,327	36,006,003	388,638,324	345,964,742
子どものための教育・保育給付費負担金 (1/2)	297,125,482	66,752,642	230,372,840	223,473,734
子育てのための施設等利用給付費交付金 (1/2)	64,672,076	△4,701,909	69,373,985	81,082,226
児童手当国庫負担金 (37/45, 2/3)	282,432,998	△8,080,668	290,513,666	299,692,665
新型コロナウイルスワクチン接種 対策費国庫負担金 (10/10)	223,871,754	151,664,754	72,207,000	162,088,362

■国庫補助金

宮東保育園の整備完了に伴う保育所等整備交付金の皆減など補助金が減額した一方、デジタル田園都市国家構想交付金の新規採択や昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症や物価高騰対策に関連した補助金が交付されたことにより、補助金全体では増額となりました。

(単位 円)

主なもの（補助率）	5年度 A	増 減 A-B	4年度 B	3年度
デジタル田園都市国家構想交付金（1/2）	37,422,500	皆増	－	－
新型コロナウイルス感染症対応 地方創生臨時交付金（10/10）	188,896,000	△181,857,000	370,753,000	230,063,000
物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金（10/10）	451,703,000	皆増	－	－
電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支 援給付金事業（事務）費補助金（10/10）	－	皆減	143,942,000	－
子ども・子育て支援事業交付金（1/3）	67,606,000	3,587,000	64,019,000	64,897,000
保育所等整備交付金（2/3）	－	皆減	119,535,000	－
住民税非課税世帯等臨時特別給付 金事業（事務）費補助金（10/10）	－	皆減	72,886,930	267,900,000
新型コロナウイルスワクチン接種 体制確保事業費補助金（10/10）	270,108,000	16,467,000	253,641,000	291,764,000
社会資本整備総合交付金（50/100, 55/100）	77,546,550	31,872,250	45,674,300	134,074,150

■国庫委託金

国民年金事務取扱件数の減などにより、委託金全体では減額となりました。

(単位 円)

主 な も の	5年度 A	増 減 A-B	4年度 B	3年度
基礎年金等事務費交付金	8,117,783	142,161	7,975,622	7,872,215
協力・連携交付金	2,694,133	△366,634	3,060,767	2,718,763

15 款 県 支 出 金

決算書 P 27

5 年度予算	5 年度決算 A	増 減 A-B	4 年度決算 B	3 年度決算
874,128,000	839,690,948	37,238,424	802,452,524	747,357,742

(単位 円)

	5年度 A	増 減 A-B	4年度 B	3年度
県 負 担 金	589,999,450	41,532,191	548,467,259	527,684,524
県 補 助 金	175,278,846	△3,607,604	178,886,450	147,767,657
県 委 託 金	74,412,652	△686,163	75,098,815	71,905,561
合 計	839,690,948	37,238,424	802,452,524	747,357,742

■県負担金

障害者自立支援給付費等負担金や子どものための教育・保育給付費負担金の増により、全体で増額となりました。

(単位 円)

主なもの（負担率）	5年度 A	増 減 A-B	4年度 B	3年度
障害者自立支援給付費等負担金（1/4）	213,600,163	17,895,001	195,705,162	176,516,245
子どものための教育・保育給付費負担金（1/4）	118,909,132	25,934,276	92,974,856	92,015,558
保険基盤安定負担金（1/4, 3/4）	142,385,394	4,754,184	137,631,210	132,434,845

■県補助金

子ども・子育て支援施設整備交付金の皆減に伴い、全体で減額となりました。

(単位 円)

主なもの（補助率）	5年度 A	増 減 A-B	4年度 B	3年度
埼玉版スーパー・シティプロジェクト推進補助金（1/2）	2,410,000	皆増	-	-
埼玉県ふるさと創造資金（1/2）	3,087,000	皆増	-	646,000
重度心身障害者医療費補助金（1/2）	27,417,093	521,734	26,895,359	26,713,823
子ども・子育て支援事業補助金（1/3）	61,979,000	2,677,000	59,302,000	54,609,000
子ども・子育て支援施設整備交付金（1/6）	-	皆減	14,529,000	-
県費単独土地改良事業費補助金（1/3）	3,412,000	△3,188,000	6,600,000	3,267,000

■県委託金

参議院議員選挙委託金の減少などにより、県委託金は減額となりました。

(単位 円)

主 な も の	5年度 A	増 減 A-B	4年度 B	3年度
個人県民税徴収取扱費	55,769,223	△1,792,117	57,561,340	56,432,484
参議院議員選挙委託金	-	皆減	13,592,066	-
県知事選挙委託金	10,579,614	皆増	-	-

16 款 財 産 収 入

決算書 P31

5年度予算	5年度決算 A	増 減 A-B	4年度決算 B	3年度決算
19,716,000	32,084,267	△54,329,052	86,413,319	29,670,886

普通財産売払収入の減などにより、全体では減額となりました。

(単位 円)

	5年度 A	増 減 A-B	4年度 B	3年度
財産貸付収入	4,528,775	△213,402	4,742,177	4,747,957
利子及び配当金	836,612	△5,478	842,090	2,037,517
財産売払収入	26,718,880	△54,110,172	80,829,052	22,885,412

17 款 寄 附 金

決算書 P33

5 年度予算	5 年度決算 A	増 減 A-B	4 年度決算 B	3 年度決算
20,000,000	18,279,050	△4,251,650	22,530,700	26,899,417

全国の方から、農のあるまちづくり、市民活動支援、にぎわい創出など宮代らしいまちづくりのための寄附金（ふるさと納税）をいただきました。

18 款 繰 入 金

決算書 P33

5 年度予算	5 年度決算 A	増 減 A-B	4 年度決算 B	3 年度決算
601,394,000	601,291,957	69,567,291	531,724,666	299,030,141

■他会計繰入金

各特別会計における前年度決算剰余金を一般会計へ繰り入れたものです。

(単位 円)

	5年度 A	増 減 A-B	4年度 B	3年度
国民健康保険特別会計繰入金	3,931,609	△53,447,702	57,379,311	102,495,641
介護保険特別会計繰入金	46,236,199	1,684,155	44,552,044	78,478,627
後期高齢者医療特別会計繰入金	6,761,149	3,462,838	3,298,311	3,373,648
下水道事業会計繰入金	-	-	-	22,105,225

■基金繰入金

当該年度の財源として、基金を取り崩して一般会計へ繰り入れたものです。

(単位 円)

	5年度 A	増 減 A-B	4年度 B	3年度
財政調整基金繰入金	523,157,000	125,053,000	398,104,000	28,175,000
公設宮代福祉医療センター 施設整備基金繰入金	2,400,000	△300,000	2,700,000	3,700,000
宮代まちづくり基金繰入金	17,351,000	△6,566,000	23,917,000	58,000,000
育英基金繰入金	1,455,000	△319,000	1,774,000	1,415,000
公共施設整備基金繰入金	-	-	-	1,287,000

19 款 繰 越 金

決算書 P35

5 年度予算	5 年度決算 A	増 減 A-B	4 年度決算 B	3 年度決算
859,450,821	859,451,255	△344,236,355	1,203,687,610	610,430,712

■前年度繰越金

758,524,434 円

令和 4 年度決算剰余金として、令和 5 年度へ繰り越されたものです。

■繰越明許費繰越金

73,457,616 円

完了が次年度になる事業の財源の一部として、令和5年度へ繰り越したものです。

《繰越事業》

OA管理事業、進修館管理事業、新型コロナウイルスワクチン接種事業、出産・子育て応援交付金事業、農業振興地域整備計画管理事業、都市計画道路整備事業、橋りょう整備事業

■事故繰越繰越金

27,469,205 円

不測の事態により年度中に完了しなかった事業の財源として、令和5年度へ繰り越したものです。

《繰越事業》

庁用自動車管理事業、戸籍住民基本台帳管理事業、福祉医療センター運営事業、【R3 繰越明許】東武動物公園駅西口周辺整備事業、【R3 繰越明許】東武動物公園駅東口周辺整備事業

20 款 諸 収 入

決算書 P37

5 年度予算	5 年度決算 A	増 減 A-B	4 年度決算 B	3 年度決算
210,991,000	245,280,337	△19,713,322	264,993,659	233,758,230

宮代和戸横町地区土地区画整理事業調整池施設移管協力金の皆減などにより、全体で減額となりました。

(単位 円)

	5 年度 A	増 減 A-B	4 年度 B	3 年度
延滞金、加算金及び過料	4,985,100	331,373	4,653,727	7,346,205
町 預 金 利 子	15,459	△1,565	17,024	10,589
受 託 事 業 収 入	22,105,366	△562,458	22,667,824	27,352,595
雑 入	218,174,412	△19,480,672	237,655,084	199,048,841

21 款 町 債

決算書 P41

5 年度予算	5 年度決算 A	増 減 A-B	4 年度決算 B	3 年度決算
657,614,000	442,904,000	89,743,000	353,161,000	543,900,000

町債の現在高は約74億7,644万円となっています。

(単位 円)

借 入 内 容 ・ 条 件		借 入 額
総務債	庁用電気自動車導入事業 借入先：南彩農業協同組合、償還期間：10年（据置0年）、利率：0.558% 交付税措置：元利償還金の約30%（脱炭素化推進事業債）	6,200,000
	防災行政無線改修事業 借入先：地方公共団体金融機構、償還期間：10年（据置0年）、利率：0.7% 交付税措置：元利償還金の約70%（緊急防災・減災事業債）	6,900,000

	進修館施設改修事業 借入先：南彩農業協同組合、償還期間：10年（据置0年）、利率：0.558% 交付税措置：元利償還金の約30%（防災対策事業債）	500,000
	【R4 繰越明許】進修館施設改修事業 借入先：地方公共団体金融機構、償還期間：15年（据置0年）、利率：0.6% 交付税措置：元利償還金の約30%（地域活性化事業債）	38,200,000
衛生債	福祉医療センター空調設備改修事業 借入先：地方公共団体金融機構、償還期間：15年（据置0年）、利率：0.5% 交付税措置：財政力に応じて元利償還金の約30～50%（脱炭素化推進事業債） 借入先：埼玉県、償還期間：12年（据置2年）、利率：0.6% 交付税措置：なし（ふるさと創造貸付金）	144,400,000
農林水産業債	新しい村設備改修事業 借入先：埼玉県、償還期間：12年（据置2年）、利率：0.6% 交付税措置：なし（ふるさと創造貸付金）	24,700,000
	河川浚渫等事業 借入先：南彩農業協同組合、償還期間：10年（据置0年）、利率：0.558% 交付税措置：元利償還金の約70%（緊急浚渫推進事業債）	8,100,000
土木債	道路舗装修繕事業 借入先：南彩農業協同組合、償還期間：10年（据置0年）、利率：0.558% 交付税措置：元利償還金の約20%（公共事業等債）	2,100,000
	都市計画道路整備事業 借入先：南彩農業協同組合、償還期間：10年（据置0年）、利率：0.558% 交付税措置：元利償還金の約20%（公共事業等債）	2,390,000
	橋りょう維持管理事業 借入先：南彩農業協同組合、償還期間：10年（据置0年）、利率：0.558% 交付税措置：元利償還金の約20%（公共事業等債）	10,900,000
	東武動物公園駅東口整備事業 借入先：地方公共団体金融機構、償還期間：20年（据置0年）、利率：0.8% 交付税措置：元利償還金の約20%（公共事業等債）	29,900,000
	【R4 事故繰越】【R3 繰越明許】東武動物公園駅東口整備事業 借入先：南彩農業協同組合、償還期間：10年（据置0年）、利率：0.558% 交付税措置：元利償還金の約20%（公共事業等債）	12,400,000
教育債	小学校非構造部材改修事業 借入先：財務省、償還期間：20年（据置0年）、利率：1.0% 交付税措置：元利償還金の約60%（防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債）	23,746,000
	小学校施設改修事業 借入先：南彩農業協同組合、償還期間：10年（据置0年）、利率：0.558% 交付税措置：元利償還金の約30%（防災対策事業債） 元利償還金の約50%（学校教育施設等事業債）	6,900,000
	中学校非構造部材改修事業 借入先：財務省、償還期間：20年（据置0年）、利率：1.0% 交付税措置：元利償還金の約60%（防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債）	17,054,000

	中学校施設改修事業 借入先：財務省、償還期間：15年（据置0年）、利率：0.8% 交付税措置：元利償還金の約50%（防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債） 借入先：南彩農業協同組合、償還期間：10年（据置0年）、利率：0.558% 交付税措置：元利償還金の約30%（防災対策事業債） 元利償還金の約50%（学校教育施設等事業債）	42,600,000
	郷土資料館設備改修事業 借入先：地方公共団体金融機構、償還期間：8年（据置0年）、利率：0.6% 交付税措置：元利償還金の約30%（防災対策事業債）	2,500,000
臨時財政対策債	臨時財政対策債（地方交付税の補てん措置としての地方債） 借入先：財務省、償還期間：20年（据置0年）、利率：0.7% 交付税措置：元利償還金の100%	63,414,000

※交付税措置とは、地方債の種類に応じて、元利償還金相当額の一定割合が後年度の地方交付税基準財政需要額に算入されるものです。

（単位 円）

	5年度 A	増 減 A-B	4年度 B	3年度
臨時財政対策債	63,414,000	△83,247,000	146,661,000	378,300,000

22 款 自動車取得税交付金

決算書 P45

5年度予算	5年度決算 A	増 減 A-B	4年度決算 B	3年度決算
0	947,284	712,428	234,856	4,947

自動車取得税交付金は令和元年度に廃止となっていますが、令和5年度中に過年度分の追加交付がありました。

第5次宮代町総合計画 前期実行計画

宮代町が10年間のまちづくりの目標として掲げている「首都圏でいちばん人が輝く町」を実現するために、計画期間を5年ごとの前期と後期に分け、令和3年度から令和7年度に取り組む事業を前期実行計画としてまとめています。

これらの事業について、令和5年度の事業実績（成果）をお知らせします。なお、予算執行のあった事業はその執行額を掲載しています。

■前期実行計画事業一覧

		令和5年度下期 進捗状況
西原自然の森活用事業（里山体験事業編）	27	完了
西原自然の森活用事業（移築民家活用編）	28	一部未完了
新しい村魅力アップ事業	30	完了
集落で支えあう営農事業	32	完了
宮代農業人材育成事業	34	完了
東武動物公園駅西口わくわくロード事業	36	一部未完了
まちなかどこでもミュージアム事業	37	完了
みやしろズームアッププロジェクト	38	完了
遊休資源活用プロデュース事業	40	完了
岸辺遊歩道整備事業	41	完了
地域のオリジナルパークをつくろう！	42	完了
宮代型デマンド交通事業	43	完了
広域道路ネットワークの整備	44	完了
東武動物公園駅東口にぎわいロード事業	45	完了
和戸駅周辺活性化事業	46	一部未完了
姫宮駅西側周辺活性化事業	47	一部未完了
地域の力となる地区コミュニティセンター事業	48	完了
小商いからはじめようチャレンジショップ推進事業	49	完了
身近な場所で子育てサロン事業	50	完了
地域のみんなでこどもたちの居場所づくり事業①	51	完了
地域のみんなでこどもたちの居場所づくり事業②	52	完了
進修館オープンカレッジ	53	完了
おかえりなさい！地域デビュー事業	54	完了
西原自然の森活用事業（新たな福祉の拠点づくり編）	56	完了
若い世代の健康づくり促進事業	58	完了
人権・平和推進事業	60	完了
チームみやしろ会議	64	完了
みんなで備える防災力強化促進事業	65	完了
高齢者困りごとサポート隊事業	67	完了

日工大サイエンスプロジェクト	-----	69	完了
公共施設マネジメント計画 2.0	-----	掲載なし	完了
宮代町立小中学校適正配置事業	-----	70	完了

※主要な施策に関する説明書においては、成果目標を達成し、予算措置（執行）のない前期実行計画事業は掲載しておりません。掲載していない事業を含めた全事業の詳しい進捗は町ホームページに掲載しておりますので、是非ご覧ください。



西原自然の森活用事業（里山体験事業編）

【みやしろの魅力推進事業 決算書 P72】

環境資源課
環境推進担当
内線 293、294

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
980,000	16,535	0	0	0	0	16,535

◎ 令和5年度の事業実績（成果）

関係他課との協働により「西原自然の森フェスタ&すてっぷまつり」(11月12日)を開催し、竹あそびを体験していただきました。また、学生ボランティアと協働し、西原自然の森の今後の活用につながる新たな活用事例をつくることができました。

<実施内容>

■協力者確保

西原自然の森フェスタ&すてっぷまつりにおいて、社会福祉協議会のボランティア登録制度を活用し、大学生ボランティアとの協働により事業を行うことができました。

■イベント実施

西原自然の森フェスタ&すてっぷまつりにて、竹を活用した様々なあそび（竹水鉄砲、竹ばしご、竹ぼっくり、竹ドラム、竹マラカス）を体験していただきました。（参加者約160人）

★前期実行計画の趣旨とその工程

山崎山で市民団体とともに培った、事業や活動のノウハウと経験を活かし、西原自然の森においても、自然の魅力や大切さを知る体験事業や保全事業を市民とともに実施します。これにより、町の自然を守り育て、その魅力を発信する人材を生み出します。

[移築民家活用編、新たな福祉の拠点づくり編との連携事業]

実施内容	実施主体	R3	R4	R5	R6	R7
コンセプト作り	環境資源課 ボランティア等					
協力者確保	環境資源課					
イベント実施	環境資源課 ボランティア等					
環境整備・管理	環境資源課 ボランティア等					
情報発信	環境資源課					

前期実行計画の成果目標（令和7年度）

新規ボランティアスタッフの確保 10人以上

里山体験イベントの実施 年3回以上、参加者100人以上

西原自然の森活用事業（移築民家活用編）

【資料館管理運営事業 P192】

教育推進課
文化財保護担当
TEL 34-8882

5年度予算 (円)	5年度決算 (円)	5年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
610,000	492,450	0	0	0	450,450	42,000

◎ 令和5年度の事業実績（成果）

西原自然の森の魅力を高めるため、町指定文化財である「旧加藤家」「旧齋藤家」を活用したイベントとして、他課との共催で「西原自然の森フェスタ2023&すてっぷまつり」を開催しました。

イベントを通じ、指定文化財である移築民家などの活用にあたっての課題の整理を行い、マニュアルとしてまとめました。

また、クラウドファンディングを活用し、旧加藤家住宅の土壁修繕を行いました。移築後30年の間に生じた亀裂などがきれいに修復されました。

<実施内容>

■西原自然の森フェスタ 2023&すてっぷまつり

実施日：11月12日（日）

▼「加藤家音楽会」を開催しました。当日はハーモニカ、オカリナ、アコーディオン、三味線の4団体による演奏が行われました。演奏に日本舞踊を加える取組も行われ、旧加藤家の活用策を広げる試みを行うことができました。

また、本館との間のスペースでは「かやぶきバザール」が実施されたことから、多くの来場者に楽しんでいただくことができました。

参加者 約100名

▼旧齋藤家住宅では、土間を利用して「縄文マグネットづくり」を開催しました。マグネット付きの粘土に、縄文人と同じ手法として縄や貝殻を使って好きな文様を付けました。

参加者 52名

■旧加藤家住宅 土壁修繕

▼クラウドファンディングを活用し、旧加藤家住宅の土壁修繕を行いました。劣化が目立った東側の壁面を中心に、表面をはがし下地の割れ目などを補修した後、塗り直しを行い、移築当時の美しさを取り戻すことができました。

▼西原自然の森フェスタ 2023／加藤家音楽会(旧加藤家住宅)



▲旧加藤家住宅 土壁修繕の様子

★前期実行計画の趣旨とその工程

福祉拠点として再整備される旧ふれ愛センターとともに西原自然の森の魅力を高めるため、「旧加藤家住宅」「旧齋藤家住宅」「旧進修館」を古い建物の特性を生かした美術作品の展示や音楽活動などの文化活動や体験講座、地域活動ができる場所とします。

[里山体験事業編、新たな福祉の拠点づくり編との連携事業]

実施内容	実施主体	R3		R4		R5		R6		R7	
モデル事業の実施	教育推進課										
仕組みづくりと運用準備	教育推進課										
活用支援	教育推進課										

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

新たな仕組みに基づく新規事業 年3回以上

新しい村魅力アップ事業

【新しい村管理運営事業 決算書 P146】

産業観光課
農業振興担当
内線 266

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
62,112,000	62,010,374	0	0	24,700,000	1,500,800	35,809,574

◎ 令和 5 年度の事業実績 (成果)

令和5年3月に策定した「新しい村魅力アッププラン」に基づき、宮代町の農業と農のある風景を守っていくため、新しい村開設以来20年以上使い続けて老朽化が進んでいた育苗施設の機械設備を更新し、新しい村の農業支援機能を強化しました。

<実施内容>

■新しい村育苗施設機械設備更新工事 27,390,000 円
地域の農業を支えるため、老朽化が進む育苗施設の機械設備を更新しました。

■指定管理者による事業及び管理運営 34,354,000 円
指定管理者による各施設の管理運営及び事業運営を行いました。
・指定管理者 株式会社新しい村
・指定期間 令和5年4月1日～令和10年3月31日

■地産地消モデル事業
地場農産物の確保と販売強化に努めました。
・販売農産物（野菜、果物）の地場産割合 46.9%
・年間営業日数：317日、年間来客者数（レジ通過者数）：181,100人
・高齢化や労働力不足により出荷困難となった生産者への集荷及び買い物が困難な方への配達事業を実施しました。

■農家支援・農業サービス事業
・水稻苗の生産販売 自社利用分を含めて30,739枚の苗を生産販売しました。
・コシヒカリ（特別栽培米含む）、ミルキークイーン、彩のきずな、満月もち、飼料用米の5銘柄を栽培し、合計1,941袋（約58,230kg）の収穫となりました。

■農体験・農園交流事業
・ほっつけ等での田植え、稲刈り体験を合計26回実施しました（参加者延べ1,524人）。
・じゃがいも収穫体験（参加者延べ198人）、さつまいもの収穫体験（参加者延べ372人）、ブルーベリー摘み取り体験（参加者延べ302人）、畑で婚カツ（1回、参加者18人）を実施しました。
・農のあるまちづくり講座（ほっつけ農遊塾、ハーブの寄せ植え、料理教室等）を合計45回実施しました（参加者延べ572人）。

★ 前期実行計画の趣旨とその工程

「新しい村」を整備してから約20年。直売施設の増加やインターネット販売の普及など取り巻く状況も大きく変わりました。着地型観光という視点も含めて、調査・分析を行い、「新しい村」の魅力を高める計画を策定し、「新しい村」をより魅力的な空間へと変えていきます。

実施内容	実施主体	R3		R4		R5		R6		R7	
新しい村の現状分析・課題整理	産業観光課 新しい村										
持続可能な経営モデルの調査研究	産業観光課										
新しい村周辺農地の地権者意向調査と必要な土地の取得	産業観光課										
新しい村魅力アッププランの策定	産業観光課										
新しい村魅力アッププランの実行（農業教育・研修機能の検討、直売所機能の強化、情報発信機能の強化）	産業観光課 新しい村										

前期実行計画の成果目標（令和7年度）

新しい村魅力アッププランの策定

集落で支えあう営農事業

【農業生産基盤整備推進事業 決算書 P148】

産業観光課
農地調整担当
内線 267

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
24,487,000	22,567,918	0	4,435,300	0	0	18,132,618

◎ 令和5年度の事業実績（成果）

宮東・中島地区圃場整備事業において、検討・協議を重ねた結果、全関係者からの同意を得ることができたため、埼玉型ほ場整備事業の施行申請を行いました。これを受け、円滑に事業推進を図るため、地元組織となる「宮東・中島土地改良組合」の設立総会を開催しました。

また、営農環境の改善を図るため、堰の更新工事を実施し、地元が行う多面的機能支払交付金に係る共同活動に対し、補助金を交付しました。

<実施内容>

■宮東・中島地区圃場整備事業

準備委員会を7回開催し、ほ場整備事業計画、農地集積計画、地域計画等、事業採択に必要となる各計画を策定しました。また、関係者の100%同意が得られたため、埼玉型ほ場整備事業の施行申請を行い、令和6年3月16日に「宮東・中島土地改良組合」の設立総会を開催しました。

■宮東堰他ゲート更新工事

県補助事業を活用し、宮東堰と姫宮落堰において、従来の角落し構造からハンドル2段式スライドゲートに更新する工事を実施しました。

▼整備前



▼整備後



■小規模農地基盤整備事業の推進

農業者自らが実施する営農環境の改善への取組を支援するため、補助事業の活用を呼びかけた結果、5年度は4件の申請があり、補助金を交付しました。

- ・農業用揚水機設備緊急修繕事業（揚水機設備の修繕整備等） 1件
- ・水田区画拡大事業（コンクリート畦畔除去を伴うもの） 3件

■多面的機能支払交付金の交付

「多面的機能支払交付金制度」を活用し、共同活動（浚渫・藻刈り・除草等の作業）に取り組む活動組織（４組織）に対して、「宮代町多面的機能支払支援事業補助金」を交付しました。

＊若宮地区陸田管理組合 構成員 ２８名（農業者・一般住民で構成）

活動内容 農地維持支払交付金

活動区域面積 １０．５２ｈａ

交付金額 ２９３，５００円

＊中地区水田管理組合 構成員 ２５名（農業者のみで構成）

活動内容 農地維持支払交付金

活動区域面積 １５．８８ｈａ

交付金額 ４７６，４００円

＊内野地区農地管理組合 構成員 ２２名（農業者のみで構成）

活動内容 農地維持支払交付金

活動区域面積 ９．３１ｈａ

交付金額 ２３９，２００円

＊沖の山地区水田管理組合 構成員 ３８名（農業者のみで構成）

活動内容 農地維持支払交付金

活動区域面積 １２．３２ｈａ

交付金額 ３５５，３００円

★ 前期実行計画の目標とその工程

農業を次世代の担い手にとって魅力ある産業としていくために、農業生産の効率化・省力化を図るとともに、農地集積化を推進し、農作業環境の向上を図ります。

実施内容	実施主体	R3		R4		R5		R6		R7	
現地調査	埼玉県 産業観光課 地権者										
事業計画策定及び 地権者同意	埼玉県 産業観光課 地権者										
用地測量及び実施 設計	埼玉県 産業観光課										
整地工事	埼玉県 産業観光課										

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

宮東・中島地区における20ha以上の農地集積化と基盤整備(100%)

宮代農業人材育成事業

【明日の農業担い手支援事業 決算書 P146】

産業観光課
農業振興担当
内線 262

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
9,597,000	8,045,324	0	1,850,000	0	170,070	6,025,254

◎ 令和 5 年度の事業実績 (成果)

農業担い手塾において、新たな就農希望者を塾生として受け入れました。また、新たな入塾希望者を受け入れるため、引き続き、ホームページ等で周知を行いました。

「明日の農業担い手支援対策事業補助金」の活用を促進し、担い手農家による農作業の効率化・省力化や農作物の安定生産・高品質化に必要な農業投資への支援を行いました。

<実施内容>

■農業担い手塾での研修生の受入れ及び実践研修の実施

農業担い手塾の塾生の募集を通年で実施するとともに、就農希望者から 2 件の入塾申請があり、入塾審査を経て、新たな塾生として 1 名（10 期生：男性）が令和 6 年 3 月 1 日から実践研修を開始しました。

■新規就農里親制度の実施

10 期生の受入れに際して、新たな里親農家（農業技術支援農家及び農業生産基盤支援農家）を 2 名確保し、助言及び農業機械等の貸出等の支援を行っていくことになりました。

■宮代町農業次世代人材投資資金（経営開始型）の交付

経営の不安定な就農後間もない青年就農者に対し、宮代町農業次世代人材投資資金（経営開始型）を交付しました。

交付対象者 1 名 交付額 1,500,000 円

■農業講座の実施

稲作農家の後継者の方やこれから専業で米づくりを行っていく方で栽培経験の少ない方等を対象に、全 3 回の「稲作講座」を実施し、5 名が受講しました。栽培管理や雑草防除等のポイントを学ぶとともに、受講者全員の圃場を巡回し生育診断を実施しました。

■「農」のあるまちづくり担い手支援対策事業補助金（農業機械及び栽培施設等に関する補助）の交付

補助事業の活用を周知・提案した結果、5 件の補助申請があり、補助金を交付しました。

- ①水田農業担い手支援事業（農業機械） 2 件（コンバイン・籾摺機の導入）
- ②高品質農作物栽培担い手支援事業（農業機械） 1 件（マルチャーの導入）
- ③園芸・果樹生産担い手支援事業（栽培施設） 1 件（梨多目的防災網の再整備）
- ④園芸・果樹生産担い手支援事業（農業機械） 1 件（野菜苗全自動移植機の導入）

■「農」のあるまちづくり担い手支援対策事業補助金（6 次化推進に関する補助）の交付

補助事業の活用を周知・提案した結果、3 件の補助申請があり、補助金を交付しました。

- ①加工設備整備支援事業（加工設備） 1 件（真空包装機の導入）
- ②商品開発・技術習得及び販路開拓支援事業（商品開発） 2 件（パックライス、乾麺そば）

■農商工連携による農業の6次産業化の推進

宮代産農産物等を積極的に取り扱う飲食店や食品加工所等を募集し、「宮代町地産地消推進の店」として、新たに2店舗を認定しました。

■6次化講座の開催

6次化に取り組む町内農家を講師に迎え、「竹から作った国産メンマお披露目講座」を開催し、16名が受講しました。また、新しい村と連携して、国産メンマの食べ方を紹介するレシピ動画を作成しました。

■保健センターとの連携による地産地消レシピの普及

宮代町インターネット放送局に協力いただき、レシピ動画（枝豆の呉汁、ブルーベリーのフローズンヨーグルト、ブロッコリーのペペロンチーノ風、こんがりチーズの大根もち）を4本製作し、インターネットで公開しました。作成した動画は、町公式 Line や Twitter でPRしたほか、QRコード付きレシピを新しい村森の市場結や町内公共施設で配付し、宮代産の野菜の活用方法を提案しました。

★ 前期実行計画の目標とその工程

就農希望者のための実践的な研修環境を整え、将来の宮代農業を支える骨太な若手農業者を育成します。

実施内容	実施主体	R3		R4		R5		R6		R7	
事業計画の策定	産業観光課	■				■	■				
就農希望者の受入	産業観光課	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
農業用栽培施設レンタル制度の創設	産業観光課 新しい村			■		■	■				
みやしろ型市民農業大学の実施	産業観光課					■	■	■	■	■	■

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

新規就農者の確保 5人以上

東武動物公園駅西口わくわくロード事業

【東武動物公園駅西口周辺整備事業 決算書 P160】

まちづくり建設課
道路担当
内線 331

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
20,636,200	13,644,388	0	2,410,000	0	0	11,234,388

※令和4年度からの繰越分を含みます。

※令和5年度予算のうち、4,000,000円を令和6年度に繰り越しています。

◎ 令和5年度の事業実績（成果）

都市計画道路東武動物公園駅西口通り線と県道春日部久喜線の交差点改良工事が完了しました。
東武動物公園駅西口周辺まちづくり構想の理解を深めるため「歩きたくなるまちづくりシンポジウム」を開催するとともに「まちづくりアイデアの募集」を実施しました。
市民からの意見をもとに、西口駅前からスキップ広場までの街路樹にイルミネーションを設置しました。

<実施内容>

■ (都) 東武動物公園駅西口通り線道路整備

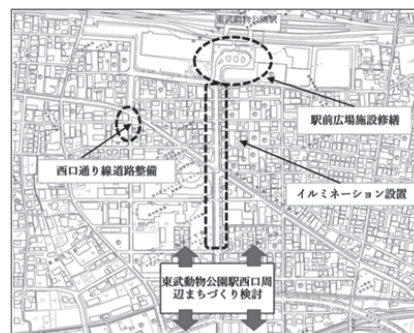
工事費 8,188,500 円

■ 東武動物公園駅西口周辺のまちづくり

委託費 4,821,300 円

工事費 500,500 円

その他 134,088 円



★ 前期実行計画の目標とその工程

駅から東武動物公園、新しい村までを、町民・観光客・事業者と共にアイデアを出し合いながら、歩いて楽しく、わくわくするような道に整備し、西口エリアの価値を高めます。あわせて、駅西口区画整理エリアの土地利用を促進します。

実施内容	実施主体	R3	R4	R5	R6	R7
市民参加によるコンセプトの決定	まちづくり建設課					
概略設計・整備エリアの決定	まちづくり建設課					
関係機関協議	まちづくり建設課					
実施設計	まちづくり建設課					
わくわくロード整備工事	まちづくり建設課					

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

東武動物公園駅西口わくわくロードの完成(100%)

まちなかどこでもミュージアム事業

【社会教育活動事業 決算書 P188】

教育推進課

生涯学習・スポーツ振興担当

内線 433

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
1,751,000	522,674	0	0	0	0	522,674

◎ 令和5年度の事業実績（成果）

「みやしろ・アート・インフォメーション」や「アート活動応援キット貸出制度」に加え、国や県、民間団体が設置する助成金情報などを整理した「まちなかどこでもミュージアム総合WEBサイト」を町ホームページ内に立ち上げ、アート活動に対する支援情報を集約的に発信する体制を整えました。

また、令和2年度以降コロナ禍により中止が続いていた町の文化芸術の祭典である町民文化祭を「みやしろ芸術祭」と名称変更、一部内容をリニューアルして開催しました。

＜実施内容＞

- ・町内の公共施設や飲食店をはじめ、町外のギャラリー等で開催される町に所縁のあるアーティストによる作品展などの開催情報を発信しました（39件）。
- ・文化芸術活動を場づくりの面から支援するため、スキップ広場や進修館等で開催される演奏会や作品展にイスやテーブルといった集客や雰囲気を演出するための物品を貸出しました。（3件）。
- ・町の文化芸術の祭典となる「みやしろ芸術祭」を開催しました。11月を開催期間とし、町が主催するもののほか、新たな試みとして各種団体主催による作品展や制作教室などのパートナー認証事業やストリートピアノ等を開催。延べ約4,600人が参加しました。

★前期実行計画の趣旨とその工程

既存施設や飲食店など、気軽に美術作品の展示や小さな演奏会ができるスペースを募集し、まちなかにおける作品展や音楽会の開催を促します。このことで地域の人材を発掘し、地域に人々の集まる新しい場所を生み出します。

実施内容	実施主体	R3		R4		R5		R6		R7	
飲食店などで行う作品展や演奏会の実施方法の検討	教育推進課										
アーティストと飲食店等のアート活動サポート	教育推進課										
みやしろ芸術祭の開催	教育推進課 参加者										
みやしろ芸術祭の実施方法の検証と見直し	教育推進課										

前期実行計画の成果目標（令和7年度）

飲食店等やアーティストが主体となった「みやしろ芸術祭」の開催 年1回以上

みやしろズームアッププロジェクト 【決算書 P60】

総務課
秘書広報担当
内線 207

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
701,000	403,288	0	0	0	0	403,288

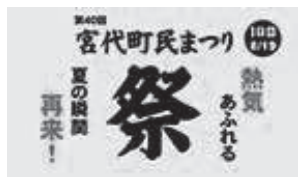
◎ 令和 5 年度の事業実績 (成果)

SNSや動画で気軽に情報発信する市民参加「みんなが地域の特派員」制度において13名で活動しました。宮代町インターネット放送局への動画の投稿が44本、広報紙や町公式ホームページへ写真記事が42本掲載されました。また、地元の魅力を再発見し発信するために、町公式 X と Instagram で写真コンテストを開催するほか、町の施設や事業等をイラスト化した「みやしろ缶バッジ」を作成しました。

<実施内容>

■町事業や地域活動の取材

- ・動画 44本 (上半期19本、下半期25本)
地産地消レシピ、宮代町民まつり、スポーツフェスティバル、いいね!みやしろ「新しい村」など
- ・「広報みやしろ」への写真記事 42本 宮代風景だより、陽だまりサロンなど
- ・特派員数 13名 (令和6年3月末時点)



■特派員情報交換会の開催

特派員の情報交換会(月1回)を実施し、特派員の知識や技術の向上に努めました。また、前年度に実施した「みんなと創る宮代町のオススメ」アンケートをもとに、新しい村、進修館、東武動物公園のPR動画を作成しました。



特派員情報交換会の様子

■地元の魅力の再発見（#みやしろまちお店フォトコンテスト、みやしろ缶バッジ）

町公式 X、Instagram で「#みやしろまちお店フォトコンテスト」を開催しました。また、町の建物や人物、取り組みやメイドインみやしろ推奨品をデザイン化した缶バッジが入ったカプセルトイ専用機械を無印良品と新しい村、各イベント会場に設置しました。

・ #みやしろまちお店フォトコンテスト【65点の応募】



最優秀賞

「今日の初めては、和菓子屋さんでのお買い物♪」

▶ts_ma.ma さん ▶撮影場所：風月堂

優秀賞「青空ランチ」

▶すぎみやちゃん さん

▶撮影場所：新しい村

入賞作品も是非
ごらんください



優秀賞「ポークはグリーン」

▶artist_novako.nori_manaka さん

▶撮影場所：肉のあまつ

- ・カプセルトイ専用機械設置イベント
わたしごと万博（6月17日）
町民まつり（8月19日、20日）
スポーツフェスティバル（10月8日）
まーぶるマルシェ（11月12日）
321の市（3月17日） など



カプセルトイ専用機械



缶バッジ

★前期実行計画の趣旨とその工程

町の魅力の情報発信力向上を図るため、地元の魅力を再発見し、掘り下げ、自らの言葉で発信する人材を生み出します。

実施内容	実施主体	R3	R4	R5	R6	R7
「みんなが地域の特派員」制度の創設	総務課					
みやしろ再発見ワークショップの開催	総務課					
「みんなが地域の特派員」制度の周知と制度参加者の拡大	総務課					

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

地域特派員 10人

遊休資源活用プロデュース事業

企画財政課

管財担当

内線 211・212

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
0	0	0	0	0	0	0

◎ 令和5年度の事業実績（成果）

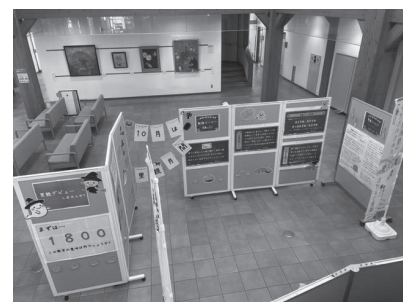
他課と連携して、庁舎内の遊休スペース活用の実証実験を行いました。

●生涯学習室(まちなかどこでもミュージアム事業)との連携

税務課前スペースを活用し、町内で活動する芸術団体の作品展示(生け花展示会)や、庁舎階段や正面玄関を活用して、みやしろ芸術祭のポスターを掲示

●総務課・子育て支援課・福祉課との連携

税務課前スペースを活用し、こころをつなぐ展示会や里親制度展示会、女性に対する暴力を無くす運動や家事男子応援プロジェクトを実施



前期実行計画の趣旨とその工程

官・民を問わず、それぞれが所有する土地や施設などの遊休資源と人・団体等を結びつけ、町の様々な場所での活動の拠点づくりを行います。提案に対する場所の募集と場所に対する提案の募集の2つを柱として行います。

実施内容	実施主体	R3		R4		R5		R6		R7	
普通財産カルテの作成	企画財政課										
庁舎の遊休スペース活用計画の作成	企画財政課										
活用事業の実施	企画財政課										
民間施設の活用事例の収集・公表	企画財政課										

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

活用実績 10件

岸辺遊歩道整備事業

【決算書 P158】

まちづくり建設課
道路担当
内線 331

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
120,000	97,160	0	0	0	0	97,160

◎ 令和 5 年度の事業実績 (成果)

備前堀川で県が実施する人道橋の整備に支障とならないよう考慮し、踏切から下流について、地元の代表者や地域団体と共に意見交換会を実施し、整備に向けた検討及び調整を行いました。

<実施内容>

■市民参加による整備方針の検討

地元の代表者や地域団体と共に意見交換会を実施し、整備に向けた検討及び調整を行いました。

■既存遊歩道の整備

備前堀川等の遊歩道、健康マッ歩などの既存遊歩道の道路パトロールを実施し、危険箇所や老朽箇所の修繕を行いました。

★ 前期実行計画の目標とその工程

備前堀川等において、自治会や地域の関係団体などと共にアイデアを出し合い、地域に親しまれ愛される遊歩道や水辺を整備します。

実施内容	実施主体	R3		R4		R5		R6		R7	
市民参加による岸辺遊歩道等の整備方針の検討	まちづくり建設課										
備前堀川等の遊歩道整備	まちづくり建設課										
既存遊歩道の整備	まちづくり建設課										
古利根川の活用促進に合わせた良好な水辺空間の創出の検討	まちづくり建設課 産業観光課										

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

公園・遊歩道の整備 満足度50% ※住民意識調査 令和元年度43.6%

地域のオリジナルパークをつくろう！ 【公園等環境管理事業 決算書 P162】

まちづくり建設課
都市計画担当
内線 342

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
6,795,000	6,175,708	0	3,087,000	0	0	3,088,708

◎ 令和5年度の事業実績（成果）

モデル公園として選定した宮代台中央公園と学園台けやき公園において、市民参加の手法を用いたワークショップや社会実験等を開催し、地域が求める公園の再整備について検討しました。

<実施内容>

地区・自治会の課題や地域の人々のライフスタイルに合わせた公園をつくりあげるために、宮代台中央公園については、改修実施設計と2回の設計ワークショップを、学園台けやき公園については、住民が利用する風景を日常化するために、2回の社会実験と模型を活用したワークショップを実施しました。

委託費 6,050,000 円
需用費 125,708 円

★ 前期実行計画の目標とその工程

身近な街区公園等を一律に“児童公園”として位置付けるのではなく、人々のライフスタイルに合わせて、それぞれが特色のある“場”となるように再整備し、地域の人が集まる憩いの場（青空カフェ、移動販売、健康づくりパークなど）を地域の皆さんとともにつくりあげます。

実施内容	実施主体	R3		R4		R5		R6		R7	
モデル公園検討	まちづくり建設課	→									
公園整備計画検討・策定	まちづくり建設課			→							
公園整備	まちづくり建設課					→					
事業実施	まちづくり建設課							→			
評価・検証	まちづくり建設課									→	

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

公園の整備 2箇所

宮代型デマンド交通事業

【高齢者等タクシー助成事業 決算書 P102】

企画財政課管財担当

内線 211・212

健康介護課高齢者支援担当

内線 382・383・384

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
14,505,000	11,276,272	0	0	0	0	11,276,272

◎ 令和5年度の事業実績 (成果)

令和5年度から75歳以上の方等を対象とした「高齢者等タクシー助成制度」本格運用をスタートし、前年度に比べ登録者数1.2倍、利用枚数は2.2倍と高齢者等の需要に応えました。

町内循環バスにおいては、令和5年度から新たな委託業者のもと、一部ルートの見し及び時刻表の変更等を行い、運行を開始しました。地域公共交通会議においては、利用者アンケートの結果報告や公共交通を取り巻く情勢について情報共有しました。

※高齢者等タクシー助成制度は、令和5年度から健康介護課へ事務を移管しました。

<実施内容>

■高齢者等タクシー助成

- ・登録者数 2,458名
- ・利用枚数 31,325枚
- ・利用目的 買い物6%、通院38%、
その他56%

■町内循環バスの見直し運行後の報告

- ・宮代町地域公共交通会議
第1回 令和6年1月31日(水)

75歳以上の方の移動を支援します!



★前期実行計画の趣旨とその工程

循環バスのルートでないエリアや身体的な理由で循環バスが利用できない方の交通需要に対応するため、宮代町の地勢や特性に合ったデマンド交通を導入します。

実施内容	実施主体	R3	R4	R5	R6	R7
タクシー助成制度の実証実験の実施	企画財政課					
実証実験を踏まえた効果と課題の検証	企画財政課					
循環バスの次期契約に向けた運行内容の見直し	企画財政課					
タクシー助成制度の本格実施、次期循環バスの運行	企画財政課 健康介護課					

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

高齢者が外出を控えている理由「交通手段がない」 10%以下

※介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 令和元年度15.8%

広域道路ネットワークの整備

【都市計画道路整備事業 決算書 P156】

まちづくり建設課
道路担当
内線 331

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
202,770,000	73,396,844	2,659,000	0	2,390,000	38,118,000	30,229,844

※令和4年度からの繰越分を含みます。

※令和5年度予算のうち、104,075,575円を令和6年度に繰り越しています。

◎ 令和5年度の事業実績（成果）

（都）春日部久喜線（町道第12号線）は整備工事を進めるとともに、残る用地の取得を目指し、権利者との交渉を進めました。（都）春日部久喜線（町道第252号線）については、不動産鑑定や物件調査を行うとともに、隼人堀川に新設する橋梁の工事や設計の費用負担を定めた年度協定を春日部市と締結しました。

＜実施内容＞

■（都）春日部久喜線（町道第12号線）

用地交渉を進め、令和5年度分の整備工事を進めました。

委託・工事	59,331,622 円
補償	3,756,453 円
その他	414,014 円

■（都）春日部久喜線（町道第252号線）

不動産鑑定や物件調査を行うとともに、春日部市と年度協定を締結しました。

委託	1,540,000 円
負担金	8,163,355 円
その他	191,400 円

■（都）新橋通り線（町道第148号線）

埼玉県に対して事業実施の要望を行うとともに、事業推進に向け用地情報等の共有を行いました。

★ 前期実行計画の目標とその工程

利便性の高い近隣市町への広域道路ネットワーク構築のため、都市計画マスタープランに基づく都市計画事業整備計画において優先順位を定め、計画的な整備を進めます。

実施内容	実施主体	R3	R4	R5	R6	R7
（都）春日部久喜線（町道第12号線）の整備	まちづくり建設課	用地買収				
		整備工事				
（都）春日部久喜線（町道第252号線）の整備	まちづくり建設課					
（都）万願寺橋通り線（町道第75号線）の整備（設計）	まちづくり建設課					
（都）新橋通り線（町道第148号線）の整備（設計）	まちづくり建設課					

前期実行計画の成果目標（令和7年度）

（都）春日部久喜線（町道第12号線）の整備完了

（都）春日部久喜線（町道第252号線）の都市計画決定

東武動物公園駅東口にぎわいロード事業

【東武動物公園駅東口周辺整備事業 決算書 P160】

まちづくり建設課
道路担当
内線 331

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
351,544,815	127,597,510	57,618,500	0	42,300,000	16,534,000	11,145,010

※令和4年度の繰越分を含みます。

※令和5年度予算のうち、222,741,982円を令和6年度に繰り越しています。

◎ 令和5年度の事業実績 (成果)

(都)東武動物公園駅東口駅前広場整備(宮代町施行)、(都)東武動物公園駅東口通り線(埼玉県施行)において、埼玉県・杉戸町との連携により、用地買収及び調査設計を進めました。

<実施内容>

■駅前広場の街路事業については、関係地権者を個別に訪問し、意向を確認しながら用地交渉及び用地買収を進めるとともに、無電柱化の予備設計を実施しました。

用地費 14,635,295 円

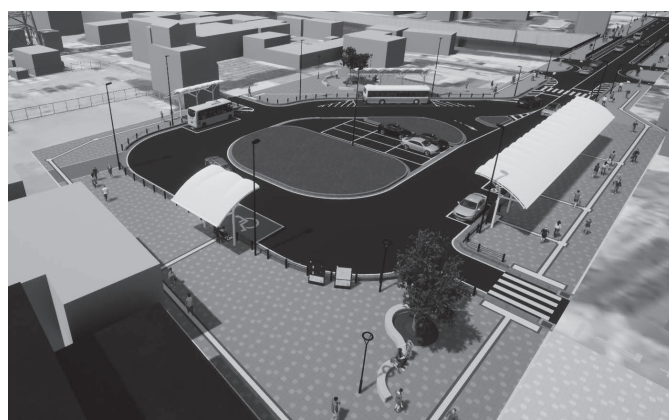
補償費 95,470,741 円

委託費 13,416,312 円

その他、道路用地管理費 2,676,818 円

■東口通り線の街路事業については、埼玉県と無電柱化や橋梁工事の設計について協議を進めました。

負担金 1,398,344 円



★ 前期実行計画の目標とその工程

駅東口の地域の魅力とアクセス性を向上させるため、駅前広場や都市計画道路を一体的に整備し、他自治体と広域的につながるターミナルとしての機能を高めます。

実施内容	実施主体	R3	R4	R5	R6	R7
物件調査(単価入替等) ・鑑定評価	まちづくり建設課					
用地交渉、用地・物件補償	まちづくり建設課					
関係機関協議・実施設計、整備工事	まちづくり建設課					

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

東武動物公園駅東口駅前広場の完成(100%)

東武動物公園駅東口通り線の完成(100%)

和戸駅周辺活性化事業

【都市計画総務事業 決算書 P158】

まちづくり建設課
土地利用推進担当
内線 341

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
5,654,000	5,654,000	0	0	0	0	5,654,000

※姫宮駅西側周辺活性化事業再掲

◎ 令和5年度の事業実績（成果）

須賀高野島地区は、関係地権者とともに今後の整備方策を検討し、商業系施設の誘致を基本とすることを確認しました。また、和戸駅西側地区の農用地区域からの除外について関係機関と協議を進めました。

<実施内容>

■事業化検討調査等

産業系の土地利用転換に向けて、地区の現状把握や各種法制度等を整理し、今後の土地利用について検討しました。

委託費 5,654,000 円

★ 前期実行計画の目標とその工程

都市計画道路国納橋通り線や都市計画道路万願寺橋通り線の整備に合わせて、産業系土地利用を検討し、民間企業の立地誘導による地域の活性化を促進します。

実施内容	実施主体	R3	R4	R5	R6	R7
関係機関との調整	まちづくり建設課					
土地・権利者調査	まちづくり建設課					
事業化検討調査	まちづくり建設課					
地元調整・企業意向確認	まちづくり建設課					

前期実行計画の成果目標（令和7年度）

土地利用・事業手法の決定

事業区域の決定

姫宮駅西側周辺活性化事業

【都市計画総務事業 決算書 P158】

まちづくり建設課
土地利用推進担当
内線 341

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
5,654,000	5,654,000	0	0	0	0	5,654,000

※和戸駅周辺活性化事業再掲

◎ 令和5年度の事業実績（成果）

地区の現状や各種法制度等を踏まえ、各企業における出店の考え方や条件について意向聴取するとともに、土地利用転換に向けた町の考え方を説明しました。

<実施内容>

■事業化検討調査等

産業系の土地利用転換に向けて、地区の現状把握や各種法制度等を整理し、今後の土地利用について検討しました。

委託費

5,654,000 円

★ 前期実行計画の目標とその工程

北春日部方面への都市計画道路の整備に合わせて、産業系土地利用を検討し、民間企業の立地誘導による地域の活性化を促進します。

実施内容	実施主体	R3		R4		R5		R6		R7	
関係機関協議、説明会開催	まちづくり建設課										
都市計画決定手続き	まちづくり建設課										
産業系土地利用及び立地誘導等の検討	まちづくり建設課										

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

(都)春日部久喜線(町道第252号線)の都市計画決定

地域の力となる地区コミュニティセンター事業

【地域コミュニティ活性化事業】

町民生活課
地域振興担当
内線 281・282

5年度予算 (円)	5年度決算 (円)	5年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
100,000	0	0	0	0	0	0

◎ 令和5年度の事業実績(成果)

須賀小学校地域拠点施設整備の進捗に合わせて地区コミュニティセンターを開設することが効果的であるため、連携を図りながら開設に向けた検討・準備を行うこととしました。また、地域の現状や課題等を整理するため、町内全ての地区・自治会を訪問し、意見交換や事業参加を実施しました。

<実施内容>

■地区コミュニティセンター開設に向けて、関係法令に関する基本的な考え方を庁内会議で確認しましたが、全体的な方向性の再検討が必要となりました。

■須賀小学校地域拠点施設整備の進捗に合わせて地区コミュニティセンターを開設することが効果的であるため、連携を図りながら検討・準備を行うこととしました。

■令和5年4月から町内全ての地区・自治会の訪問事業を開始し、地域の課題についての意見交換や、地域行事への参加を行いました。

★ 前期実行計画の目標とその工程

地域コミュニティセンターの開設にあたっては、前期実行計画「宮代町立小中学校適正配置事業(須賀小学校地域拠点施設整備)」の進捗に合わせて検討・準備を行うこととします。

実施内容	実施主体	R3	R4	R5	R6	R7
具体的な実施計画の作成	町民生活課 関係課					
モデル地区の選定と開設 スケジュール等の作成	町民生活課					
町内全地区の区長訪問を 通じた地域支援	町民生活課					
地区コミセンの開設に向け た検討	町民生活課					

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

地区コミュニティセンターの開設 2か所

※開設にあたっては、前期実行計画「宮代町立小中学校適正配置事業(須賀小学校地域拠点施設整備)」の進捗に合わせて検討・準備を行うこととします。

小商いからはじめようチャレンジショップ推進事業

【商工業振興事業、まちなか起業創業支援事業 決算書 P150、152】

産業観光課
商工観光担当
内線 265

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
5,175,000	3,886,400	0	0	0	1,043,000	2,843,400

◎ 令和5年度の事業実績（成果）

宮代町での起業を促進するため、月3万円ビジネス講座や創業セミナー等の起業志望者を支援する講座を開催しました。また、起業に関心を持つ方の総量の底上げ、地域における未来の起業家の育成という視点から、「働き方」を考えるきっかけの一つとして、中学生向けに事業者の話を聞く会を実施しました。

■起業創業支援講座の実施

2,462,800 円

- ・「わたしたちの月3万円ビジネス講座」 2,086,000 円
期間：令和5年12月～令和6年3月の全6回 参加者：12人
- ・シニア起業セミナー 346,800 円
期間：令和5年11月～12月の全4回 参加者：15人
- ・販路開拓・商品開発・改良のきっかけづくりセミナー 30,000 円
期日：令和6年3月26日 参加者：11人

■起業創業準備支援

395,000 円

起業創業支援補助金 3件 395,000 円

■事業者の話を聞く会の実施

120,000 円

宮代町外交官である声優の『國府田マリ子』さんを招き、百間中学校において特別編を開催。
また、須賀中学校、前原中学校においては町内事業者を講師に招き開催 120,000 円

★前期実行計画の趣旨とその工程

宮代町での起業を促進するため、空き店舗や公共施設の空きスペース等をチャレンジショップとして、起業志望者に提供する仕組みづくりを行います。また、複数店が連続して空き店舗となったエリアについては、貸主などと連携して、特色のあるエリアの形成を促します。

実施内容	実施主体	R3	R4	R5	R6	R7
起業創業支援講座の開催	産業観光課			月3万円ビジネス講座・創業セミナー		
				シニア創業セミナー		
チャレンジショップの開店準備	産業観光課					
チャレンジショップの運営	民間 産業観光課 商工会					
起業創業準備支援	産業観光課					
事業者の話を聞く会の開催	産業観光課					

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

町の支援策を利用した起業家 15人以上

身近な場所で子育てサロン事業

【みんなで子育て！こども未来事業 決算書 P108】

子育て支援課
こども笑顔担当
内線 324

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
1, 208, 000	1, 131, 032	0	0	0	192, 449	938, 583

◎ 令和 5 年度の事業実績 (成果)

補助金制度を運用することで、子育て応援隊による自主的な子育てサロン開催を促進することができました。

子育て情報サイトリニューアルに向け、より効果的な内容となるよう、アンケートを実施しました。

<実施内容>

■地域主体の子育てサロンの運営開始

町ホームページや子育て情報サイトにて補助金制度の周知を行い、子育て応援隊による自主的な地域子育てサロンを実施しました。



■子育て情報サイトのリニューアル

子育て情報サイト「みやしろで育てよう」のリニューアル内容について検討を行いました。タイムリーな情報が掲載できるよう、機能面の充実を図るとともに、リニューアル効果を高めるため、利用者アンケートを実施しました。

★ 前期実行計画の趣旨とその工程

子育て中の方が孤立しないように、身近な飲食店や集会所等で地域の皆さんが実施する地域子育てサロンの開設・運営をサポートします。

実施内容	実施主体	R3		R4		R5		R6		R7	
地域子育てサロンのモデル事業の実施	子育て支援課										
サロンの開設や運営のための支援策の検討	子育て支援課										
地域主体の子育てサロンの運営開始	地域主体の子育てサロン										
子育て情報サイトのリニューアル	子育て支援課										

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

地域主体の「子育てサロンの運営 3か所以上

地域のみんなでこどもたちの居場所づくり事業①

【みんなで子育て！こども未来事業 決算書 P108】

子育て支援課
こども笑顔担当
内線 324

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
268,000	57,551	0	0	0	57,551	0

◎ 令和5年度の事業実績（成果）

学生ボランティアの派遣等を行うことで、地域主体のこどもの居場所づくりの開催を促進することができました。また、体験事業を通して、新たな地域での居場所づくりの活動団体が生まれました。

<実施内容>

■地域主体の居場所づくり活動支援

辰新田こども広場、道佛集会所夏休み勉強会の活動のほか、かしんだま文庫、キッチンきずな等、新規団体が体験事業を実施しました。また、社会福祉協議会と連携し、学生ボランティアの派遣等を行いました。



★ 前期実行計画の趣旨とその工程

こどもが孤立しないための居場所づくりを行う人や活動を応援し、地域の人々が主体となった取り組みを広げます。また、学校に通えない児童生徒のために学外の間を整備し、心やすらぐ居場所や学びの機会を提供します。

実施内容	実施主体	R3	R4	R5	R6	R7
子どもの居場所づくりについて調査研究	子育て支援課 教育推進課	■		■		
子どもの居場所づくりイベントの開催	子育て支援課	■		■		
子どもの居場所づくり活動の支援策の検討	子育て支援課 子どもの居場所活動団体等	■	■	■		
子どもの居場所づくり活動を広げるフォーラム、体験事業の実施	子育て支援課 子どもの居場所活動団体等		■	■		
地域主体の居場所づくり活動支援	子育て支援課 子どもの居場所活動団体等			■	■	■
居場所づくり活動のネットワークの構築	子育て支援課 子どもの居場所活動団体等			■	■	■

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

子どもの居場所づくり活動 3か所以上

子どもの居場所づくり活動のネットワークの構築

地域みんなで子どもたちの居場所づくり事業②

【教育支援センター運営事業 決算書 P172】

学校教育担当
教育総務担当
内線 423

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
3,959,000	3,035,772	0	0	0	0	3,035,772

◎ 令和 5 年度の事業実績 (成果)

様々な事情で学校に通えていない又は通にくい町内の児童生徒の居場所の一つとして、実態やニーズ等に合った施設にするために、児童生徒や保護者等の状況に応じて、学校や関係他課、諸機関との情報共有や面談を行うなどの支援を適宜行いました。

<実施内容>

■適応指導教室

- ・開室時間 9 時～15 時 (平日のみ)
- ・令和 5 年度利用状況 プレ通級 2 名、本通級 16 名

■教育相談

- ・実施時間 9 時～16 時 30 分
- ・令和 5 年度相談件数 642 件 (令和 4 年度 184 件)

※令和 4 年度に比べ大幅に相談件数が増加した背景として、件数の集計方法の見直しを行ったこと、相談員の人数が増えたこと、より専門的な支援による対応が増えたこと等があげられます。

■その他

- ・教育相談機能の充実と適応指導教室運営体制の強化のため、本年度から新たに専門相談支援員を 1 名配置しました。
- ・学校に行きにくい、学校生活になじめない等何らかの支援が必要な子供たちの支援を行う市民活動団体に対し、本年度から施設休所日に 2 階会議室等の貸出を開始しました。

★ 前期実行計画の目標とその工程

子どもが孤立しないための居場所づくりを行う人や活動を応援し、地域の人々が主体となった取り組みを広げます。また、学校に通えない児童生徒のために学外を整備し、心の居場所や学びの機会を提供します。

実施内容	実施主体	R3	R4	R5	R6	R7
地域・学校の実態把握及び教育支援センター(適応指導教室)の在り方の検討	教育推進課					
子育て支援課及び福祉課との連携体制の構築(調査研究・ネットワーク構築)	子育て支援課 教育推進課 福祉課					
必要な施設改修・設備・備品等の整備及び人材の確保	教育推進課					
包括的な支援体制の構築及び拡充の検討	教育推進課					
教育支援センター(適応指導教室)設置条例の制定	教育推進課					
教育支援センター(適応指導教室)の開設及び運用	教育推進課					

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

常設の教育支援センター(適応指導教室)の設置

進修館オープンカレッジ

【進修館管理事業】

町民生活課
地域振興担当
内線 281・282

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
0	0	0	0	0	0	0

◎ 令和5年度の事業実績（成果）

進修館オープンカレッジモデル事業を踏まえ、指定管理者とともに実施方法を検討する調整会議を開催しました。

前年度実施の「進修館修繕ワークショップ」を引き続き実施しました。また、新たなテーマとして、「スキップ広場に賑わいを！」と「進修館をアートで彩る」を実施しました。

＜実施内容＞

■前年度実施の「進修館修繕ワークショップ」の第2弾として、進修館の木製窓枠の修繕ワークショップを実施しました。

7月2日、10月28日開催 参加者延べ 29名

■スキップ広場の多様な可能性を話し合う「スキップ広場に賑わいを！」をワークショップ形式で実施しました。

3月17日 参加者 7名

■「進修館をアートで彩る」では、デザイン性の高い進修館を活かしたアート活動を考えるために、建設当時の責任者の方に建物や家具のデザインに関するお話をいただきました。

3月20日 参加者 41名

★ 前期実行計画の目標とその工程

地域づくりを担う人材やグループを生み出すため、様々な世代が定例的に集まり、地域の課題ややりたいことなどを語り合う場を設けます。様々な学び合いや実験的な取り組みを生み出し、参加者同士が触発される場とします。

実施内容	実施主体	R3		R4		R5		R6		R7	
実施方法の検討	町民生活課 指定管理者										
モデル事業の実施	町民生活課 指定管理者										
運用の開始、随時見直しの実施	町民生活課 指定管理者										

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

新たなグループ 10団体

おかえりなさい！地域デビュー事業

【介護保険特別会計 生活支援体制整備事業 決算書 P274】

健康介護課
高齢者支援担当
内線 383

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
400,000	400,000	206,000	74,000	0	120,000	0

◎ 令和5年度の事業実績（成果）

令和5年10月にシニアはじめて講座「金融のプロによる老後のお金と生活」を開催し、新たに8名の方が縁じよいライフ事業に登録されました。また、令和5年11月に縁じよい交流会「ぼけますから、よろしくお願いします」を行い、その後の高齢者お助け人講座から生活支援サービスの担い手として1名地域デビューしました。様々なきっかけから、地域活動への関心を高め、自ら活動を始めの一歩としていきます。

いまだに、登録者は70代80代が約8割を占めているため、今後も若い世代(40～60代)の登録者を増やせるよう取り組んでいきます。

<実施内容>

■縁じよい通信の発行

地域活動に関心を持っていただくきっかけとして、縁じよい通信を年3回（6月、10月、1月）発行しました。

地域で活躍するボランティアの方の紹介、地域のイベント紹介、YouTube を使った動画配信、縁じよい交流会の活動報告等を掲載しました。



■縁じよい交流会の開催

11月26日に日本工業大学にて、「ぼけますから、よろしくお願いします」の映画会・講演会を開催しました。約200名の方が参加し、認知症をテーマに、地域ぐるみで自分ができることを考える良い機会となりました。



認知症に関する展示



「ぼけますから、よろしくお願いします」映画監督 信友直子氏の後援会



■シニアはじめて講座の開催

10月29日に福祉交流館すてっぷ宮代にて、「金融のプロによる老後のお金と生活」を開催し、29名の方が参加、8名が縁じよいメンバーに登録しました。この講座で、自分の身の周りの不安を解消し、少しずつ活動に目を向けられるよう、登録者には今後も情報提供していきます。



★ 前期実行計画の目標とその工程

定年を迎えた世代が今までつながりが希薄であった地域で生き生きと活躍するため、地域デビューのきっかけづくりとなるイベントやワークショップなどを開催します。

実施内容	実施主体	R3		R4		R5		R6		R7	
シニアはじめて講座の開催	健康介護課 社会福祉協議会										
縁じょい通信の発行	健康介護課 社会福祉協議会										
縁じょい交流会の開催	健康介護課 社会福祉協議会										

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

地域活動を始めた人 100人

西原自然の森活用事業（新たな福祉の拠点づくり編）

【社会福祉事業 決算書 P92】

福祉課
福祉支援担当
内線 328

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
500,000	500,000	0	0	0	0	500,000

◎ 令和5年度の事業実績（成果）

宮代町社会福祉協議会と連携し、新たな福祉の拠点づくりとして、地域福祉における社会課題に対応したセミナーやイベントを開催し、地域の見守り体制の充実を図りました。また、福祉団体同士が連携するきっかけとなるプラットフォームづくりに向けたイベント等を実施しました。

<実施内容>

■社会課題に対応したセミナーやイベントを開催

●みまもりの「わ」事業

地域で誰もが安心した生活が送れるよう、さりげない見守りをする見守りサポーターを募集し、地域のゆるやかな見守りを行い、町や社協へつなぐ見守りサポーターを確保しました。



【個人登録】みまもりさん129人 【団体登録】32団体(690人)
【協力店】33店舗 【相談実績】9件

▲みまもりの「わ」事業
(協力店ステッカー
・みまもりさんサコッシュ)

●ボランティアの育成・確保

学生ボランティアと地域活動をつなぐ「地域支援学生ボランティア」事業を開始し、学生ボランティアが地区・自治会をはじめ、子どもの居場所づくり等で活躍しました。

【LINE登録者】30人 【依頼件数】10件

【主な依頼】自治会イベント(サマーフェスタ・サロン)

町イベント(子どもの居場所づくり・西原自然の森フェスタ)

■福祉団体同士が連携をするきっかけとなるプラットフォームづくり

●「西原自然の森フェスタ&すてっぷまつり2023」の開催

福祉・学び・環境をテーマに、様々な地域団体が連携し、11月に西原自然の森でイベントを開催しました。誰もが気軽にボランティアや地域活動に参加するきっかけづくりや、団体同士の交流を目的としたすてっぷまつりを同時開催しました。

【参加者】500人

【内容】竹楽器・竹の昔あそび、加藤家音楽会、縄文土器マグネットづくり、かやぶきバザール、あめ細工、ボッチャ体験、食ロス×フードドライブ展示、スタンプラリーなど



- すてっぷ宮代活動チームと連携した「宮代みんなのふくしカルタ」
遊びながら「ふくし」を学べるカルタ「宮代みんなのふくしカルタ」を作成しました。読み句をすてっぷ宮代活動チームに、絵札を町内在住・在勤・在学の方、障がい福祉サービス事業所や百間中学校美術部のみなさんに協力いただきました。



★ 前期実行計画の趣旨とその工程

社会福祉協議会と連携して、今日的な社会問題に対応したセミナーやイベントを開催し、ボランティアの裾野を広げます。ワークショップや交流会など、福祉団体同士が連携するきっかけとなるプラットフォームづくりも支援します。

実施内容	実施主体	R3		R4		R5		R6		R7	
社会課題に対応したセミナーやイベントを開催	福祉課 社会福祉協議会										
福祉団体同士が連携するきっかけとなるプラットフォームづくり	福祉課 社会福祉協議会										

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

ボランティアの育成 50人以上 福祉推進員の確保 30人以上
福祉団体の連絡ネットワークの発足

若い世代の健康づくり促進事業

【健康教育事業 決算書 P128】

健康介護課
健康増進担当
Tel.32-1122

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
1,402,000	897,614	0	0	0	0	897,614

◎ 令和5年度の事業実績（成果）

令和3年度に実施した若い世代(20代～40代)を対象としたアンケート調査結果に基づき、様々なライフスタイルを考慮した健康づくり事業に取り組みました。

オンラインや休日開催による運動事業、また、コンテスト形式を用いた市民参加型の食生活改善事業を実施し、より多くの方に健康づくりの関心を高めていただく機会としました。

<実施内容>

■「野菜レシピフォトコンテスト」の開催

6月～7月に野菜をテーマとした料理写真を募集し、54点の応募がありました。

受賞した8点について、10月に広報紙等で公表し、作品を通じて食の普及・啓発を行いました。



最優秀賞『カレーツナ野菜を入れた白茄子』

■「お家でFit! 運動オンデマンドレッスン」の実施

6月～9月にレッスン動画を提供し、在宅での運動による健康づくりを促しました。117人（うち20代～40代は54人）が受講し、動画の総視聴回数は603回でした。受講中、月に2度、メール配信を行い継続的な取り組みをサポートしました。

■「親子でエンジョイウォーキング」の開催

9月30日（土）にぐるる宮代にて、年長児とその保護者を対象にウォーキング教室を開催しました。8組の親子が受講し、働き世代の運動習慣の形成を促しました。



■「スッカリ運動教室」の開催

9月～10月に18歳～49歳の方を対象とした運動教室を開催しました。筋力トレーニングやヨガ等を取り入れた5日間コースで、延べ61名が参加しました。

■ホームページ記事「こどもクッキング」の掲載

アンケート調査にて、食事の悩み・困りごとに挙げられていた「メニューのマンネリ化」や「栄養バランス」の支援として、親子向けのレシピをホームページで公開し、家庭での献立作成をサポートしました。

■「健康マイレージ事業」利用拡大に向けた取り組み

- 10月13日～11月15日にウォーキング啓発イベント「健康ワードラリー」を開催しました。キーワード応募者は420人（うち20代～40代は99人）でした。
- 健康マイレージ事業は、1月16日に新たなアプリがリリースされたことから、広報やホームページ、チラシにて周知を行いました。また、新アプリへの移行支援として、2月に操作講習会を開催し48名が受講したほか、随時窓口にて利用のサポートを行いました。

★ 前期実行計画の趣旨とその工程

生涯を通じて健康で活気ある日々を過ごすためには、若いうちから健康に対する意識をもつことが大切です。若い世代（20代～40代）の健康への関心を高めるため、オンラインによる教室や相談などライフスタイルに合わせアプローチします。

実施内容	実施主体	R3		R4		R5		R6		R7	
オンライン相談事業の実施	健康介護課										
若い世代の健康に関する情報収集	健康介護課										
新規健康づくり事業の実施方法及び「健康マイレージ事業」利用拡大に向けた取組内容の検討	健康介護課										
検討結果に基づき、各種健康づくり事業の積極的周知及び実施	健康介護課										
アンケート調査による評価・検証	健康介護課										

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

20代～40代で健康づくりに取り組んでいる人の割合 令和3年度アンケート調査から10%増

人権・平和推進事業

【人権・平和推進事業、男女共同参画社会推進事業、教職員研修奨励事業、小学校管理運営事業、人権教育推進事業 決算書 P56、66、174、188】

人権推進室 内線 210
学校教育担当 内線 423
生涯学習室 内線 431

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
4,627,000	3,550,100	37,000	0	0	0	3,513,100

◎ 令和 5 年度の事業実績 (成果)

人権啓発活動の実施により差別や偏見による認識の誤りを解消するとともに、町民一人ひとりの人権意識を高めることができました。また、平和事業としてヒロシマ・ナガサキ原爆写真展を開催し平和の重要性を伝えました。

男女がお互いの人権を尊重し、個性と能力を十分発揮でき、責任を分かち合う男女共同参画を実現するため、市民参加を軸に普及・啓発活動を行い意識の高揚を図ることができました。

また、宮代町人権施策推進指針の理念に基づき、人権を当たり前の習慣・文化として町民が人権を尊重し合う社会の実現のため、職員・教職員への研修会を実施しました。

<実施内容>

■人権啓発・教育研修会の実施

正しい人権感覚を養うために、地域住民や教職員を対象とした人権教育研修会を実施しました。また、各小中学校においても、人権教育に取り組みました。

<主な取り組み>

- ①教職員人権教育研修会 8月30日 宮代町立図書館ホール
 - ②人権作文発表会と人権教育研修会 12月1日 須賀小学校体育館
 - ③人権問題合同研修会 2月9日 宮代町コミュニティセンター進修館小ホール
- テーマ：「差別の現実から学ぶ」
講師：水島輝彦氏（埼玉葛都市人権施策推進協議会理事）

■町民相談の実施

町民の身近な相談窓口として、町民相談員による町民相談を実施しました。

実施日：毎月第2月曜日 場所：役場会議室

年間相談件数：14件

■町民法律相談の実施

町民の日常生活における様々な悩み事の法的な解釈や手続き等について、毎月第2・4火曜日に弁護士による法律相談を実施しました。

実施日：毎月第2・第4火曜日 場所：役場会議室

年間相談件数：90件

■人権教室の開催

①人権教室の開催

テーマ：携帯電話会社等の実施する安全教室と連携した人権教室

実施日：令和5年10月18日（水）

内容：①株式会社NTTドコモによる、スマホやネットを利用する上で、子どもたちが自分で情報を適正に判断し、活用する力を身につけることを目的とした無料のオンライン教室。

②宮代町人権擁護委員による講話

参加者：宮代町立東小学校 6年生 57人

■人権推進対策事業

町民一人ひとりの人権意識を高め、あらゆる差別や偏見の解消を図るため、研修会・啓発活動を実施しました。

特に、埼玉12市町の連携・協議のもと、10月5日に越谷コミュニティセンターで開催した「埼玉人権を考えるつどい」を開催し、多くの方々にご参加いただきました。

■人権出前講座の実施

人権教育の普及・啓発を目的とし、差別のない明るいまちづくりについて学ぶ「みんなで語ろう身近な人権」を出前講座「まちしるベエ」のメニューとしました。

■第3次男女共同参画プランの推進

令和4年度からスタートした「第3次男女共同参画プラン」に基づき、男女共同参画に関する研修会の開催や啓発活動に取り組みました。

■男女共同参画研修の実施（みやしろ大学と連携）

テーマ：災害・防災と男女共同参画

講師：黒須さち子氏 埼玉県男女共同参画推進センター（With You さいたま）

実施日：令和6年3月13日（水）10時～11時30分

参加者：44人（みやしろ大学受講生）

■男女共同参画社会推進会議の運営（4回開催）

6人の市民メンバーで男女共同参画セミナーの企画・実施及び情報誌の作成を行いました。

■男女共同参画情報誌「ふらふーぷ」の発行

男女共同参画社会の実現のため、推進会議のメンバーが様々な視点からテーマを決め、編集発行しました。

また、広報みやしろ12月号の特別付録として広報紙に折り込み各世帯へ配布しました。

■男女共同参画セミナーの実施

テーマ：「家事男子応援プロジェクト!!男性ヘルパーなおちゃん
&たかちゃん物語」

講師：林直人氏（宮代町社会福祉協議会 管理者・サービス提供責任者・訪問事業責任者）

川邊貴充氏（宮代町社会福祉協議会 サービス提供責任者・訪問事業責任者）

実施日：令和6年3月2日（土）

参加者：30人



■女性相談の実施

女性が生活の中で直面している様々な悩みを打ち明けられる場として、女性相談員による相談を実施しました。

実 施 日：毎月第3月曜日、年2回休日相談

場 所：役場庁舎2階相談室

年間相談件数：27件

■男女共同参画パネル展の開催

- ・男女共同参画週間パネル展

テ ー マ：「考えよう！わたしたちの働き方～働き方実践企業 in 宮代」

開催期間：令和5年6月23日（金）～7月7日（金）

- ・女性に対する暴力をなくす運動実施週間のパネル展 ※子育て支援課と連携して開催

テ ー マ：「STOP!!児童虐待&STOP!!DV」

開催期間：令和5年11月16日（木）～24日（金）

■一時保育の実施

子育て世代の方々が町審議会や催し等に参加しやすい環境整備のため、宮代町市民参加条例に基づき、一時保育を実施しました。

年間実施回数：20回

■性的少数者（LGBT等）に対する取り組み

①人権教室の開催

テーマ：LGBTについて

講 師：宮代町人権擁護委員

実施日：令和5年12月11日（月）

内 容：①人権啓発DVD「バースデー」視聴

②人権擁護委員よりLGBTについて講話

参加者：宮代町立百間中学校全校生徒 370人

②人権・男女共同参画研修の実施

テ ー マ：性の多様性／LGBTについて

講 師：小泉涼氏（ダイバーシティ信州会長）

実 施 日：令和6年1月19日（金）13時30分～15時20分

参 加 者：宮代町民生委員・児童委員 37人

宮代町新規採用職員・未受講者 15人

■平和啓発事業の実施

平和の大切さの啓発及び平和教育の一環として、「ヒロシマ・ナガサキ 原爆写真展」を開催しました。

開催期間：令和5年7月14日（金）～8月16日（水）

場 所：宮代町立図書館展示ホール



★ 前期実行計画の目標とその工程

互いに人権を尊重しあい、真に豊かな安心して暮らしていける社会を実現するため、人権や平和に関する啓発活動を実施します。

実施内容	実施主体	R3		R4		R5		R6		R7	
人権尊重意識の啓発事業	総務課 教育推進課										
学校における人権教育	総務課 教育推進課										
生涯学習における人権教育	総務課 教育推進課										
男女共同参画プランの推進	総務課										
性的少数者(LGBT)への理解促進と支援	総務課										
平和への意識を高めるための啓発活動の推進	総務課										

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

人権平和に関する啓発事業に参加した市民の意識・関心が向上した割合 80%

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
94,000	26,036	0	0	0	0	26,036

◎ 令和 5 年度の事業実績 (成果)

宮代町で暮らす人や働く人など、官民間問わず様々な人が集まり、新たな活動につながるプラットフォーム(※)としてチームみやしろ会議を運営しました。

※プラットフォーム: 共感のテーマとゆるいつながりをもった自由参加の意見交換の場

<実施内容>

■ チームみやしろ会議の運営

地域で活動している様々な人たちが集い、新たな活動が生まれるきっかけづくりの場として、「この人の話が聞きたい」を開催しました。(合計 6 回・5 月、7 月、9 月、11 月、1 月、3 月 参加者延べ 125 人)

参加者同士の意見交換や交流を通して、5 件の新たな活動が誕生しました。



■ Web ページの制作

チームみやしろ会議の取り組みを発信するため、Facebook や LINE を活用し、開催通知や参加者の募集、開催内容の報告等を発信しました。

★ 前期実行計画の目標とその工程

東武動物公園駅西口エリアを対象に、東武動物公園や日本工業大学などのキープレイヤー同士が連携する組織を設立し、地域のブランド力向上やイメージアップを図ります。

実施内容	実施主体	R3		R4		R5		R6		R7	
チームみやしろ会議のコンセプトの整理と会議の設置	企画財政課										
チームみやしろプラットフォームの検討と試行	チームみやしろ会議										
チームみやしろプラットフォームの本運用	チームみやしろ会議										
チームみやしろ会議のプレイヤーによる実践	チームみやしろ会議										

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

チームみやしろ会議をきっかけとした新たな活動の誕生 年3件

みんなで備える防災力強化促進事業

【防災コミュニティ促進事業 決算書 P76】

町民生活課
危機管理担当
内線 279

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
4, 090, 000	1, 190, 880	0	0	0	0	1, 190, 880

◎ 令和 5 年度の事業実績 (成果)

防災への関心・意識向上を図るため、町内の各地区や地域で防災活動に取り組む自主防災組織に対し、宮代町安心安全まちづくり推進事業補助金交付要綱に基づき、防災資機材の購入や防災訓練に係る経費など、対象となる取り組みに補助金を交付し活動を支援しました。

また、防災・防犯等に関する情報をメールやX(旧ツイッター)等を通じて適宜発信するとともに、自主防災組織が開催する防災訓練や防災研修に出向き、情報受信ツールである防災無線フリーダイヤルやメール配信サービスの活用と、我が家の避難計画「マイ・タイムライン」の作成について一層の普及を目指した啓発活動を行いました。

<実施内容>

■自主防災組織活動に対する支援（組織の活動に対する補助及び研修指導） 1, 095, 700 円

「宮代町安心安全まちづくり推進事業補助金交付要綱」により、申請のあった自主防災会延べ 22 団体に補助金を交付しました。また、自主防災組織の要望に応じて研修会へ講師を派遣する支援を行いました。今後も、各地区の自主防災組織活動の実情に合わせた支援を継続していきます。

支援内容	支援数 (団体)	補助金額 (円)
防災資機材購入	9	312, 100
防災拠点整備	2	266, 200
地区防災訓練実施	9	417, 600
地区防災研修会実施	6	36, 000
防災士資格取得	1	63, 800

■防災・防犯マスター講座の実施

防災・防犯力の向上を目指し、密接な関係にある防災と防犯を総合的に学べるよう、防災・防犯マスター講座を実施しました。

参加者 9 名

開催日	内容
7 月 1 9 日	自主防災組織リーダー養成講座「イツモ防災講座、救護訓練、自主防災活動の事例紹介、災害図上訓練 D I G」
8 月 2 4 日	防災研修「マイ・タイムラインの作成について」
9 月 2 2 日	「防犯パトロールについて」「泥棒と割れ窓理論」
1 0 月 1 5 日	宮代町地域防災訓練「実技訓練の実施」
1 1 月 1 7 日	「あなたの住まいの防犯対策」「よくわかる木造住宅の耐震化」
1 2 月 1 5 日	「犯罪の発生傾向と対策について」「防火防災について」



地区の防災訓練



防災・防犯マスター講座



地区の防災研修

★ 前期実行計画の目標とその工程

現実に起こりうる災害を想定し、行政、消防団はもとより、自主防災組織、学校等の関係団体とともに、実際の避難行動の一連の流れを体験する防災訓練を実施し、防災力を強化します。

実施内容	実施主体	R3	R4	R5	R6	R7
合同の実働訓練の実施	町民生活課 関係団体					
実践的なテーマによる自主防災会の訓練の実施	町民生活課 自主防災会					
実践的な訓練等を踏まえた防災体制の見直し	町民生活課					
民間企業等との災害協定の拡充	町民生活課					

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

自主防災会訓練実施率 100%

我が家の避難計画「マイ・タイムライン」の作成率 50%以上

高齢者困りごとサポート隊事業

【介護保険特別会計 生活支援体制整備事業 決算書 P274】

健康介護課

高齢者支援担当

内線 383

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
4, 177, 000	3, 935, 074	2, 026, 563	727, 988	0	1, 180, 523	0

◎ 令和 5 年度の事業実績 (成果)

姫宮南団地地区との意見交換を実施する中で、ちょっとした生活の困りごとを解決していくための「小さなお困りごとサポート隊」を結成しました。

「日本工業大学情報ボランティア」「宮代町プログラミング・ラボ」の協力によるスマートフォン相談会の開催周知を行い、合わせて延べ800名弱の利用がありました。また、生活支援サービス提供団体について、YouTube や地域デビュー応援情報誌「縁じょい通信」を活用した周知を行い、認知度を高めるためのサポートをしました。

「高齢者お助け人養成講座」を開催し、参加者の1人が移送サービスの運転ボランティアへの活動につなげることができました。

<実施内容>

■助け合いグループの育成

姫宮南団地地区で活動する地域交流サロン・老人クラブ及び自治会に対し7～8月にアンケートによる生活支援ニーズ及び担い手候補者の発掘を実施しました。

10月以降、担い手候補者と生活支援に関する意見交換会を5回開催し、ご近所同士で生活の困りごとを解決していこうという意識が生まれ、「小さなお困りごとサポート隊」を結成しました。



■助け合いグループの活動支援

スマホ相談会について、チラシの配架や広報紙への掲載を行いました。また、縁じょい通信第18号や動画等で生活支援サービス提供団体の取り組みを紹介しました。



YouTube による生活支援団体の活動の様子

■生活支援の担い手発掘

高齢者お助け人養成講座を12月12日に開催し、10名が参加しました。町内で生活支援サービスを提供する団体による活動内容の説明や参加者との交流を図り、参加者の1人が運転ボランティアへの登録につながりました。



各団体からの説明



実際の活動者の声



活動体験コーナー

★ 前期実行計画の日程とその工程

買い物や電球交換など高齢者の日常生活のちょっとした困りごとをサポートする地域内の助け合い活動の組織化を支援し、広げていきます。

実施内容	実施主体	R3		R4		R5		R6		R7	
高齢者向けサービスの情報伝達	健康介護課 社会福祉協議会										
助け合い活動グループの育成・支援	健康介護課 社会福祉協議会										
生活支援の担い手の発掘	健康介護課 社会福祉協議会										

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

新たな助け合い活動を実施するグループ 5団体以上

日工大サイエンスプロジェクト

【日工大サイエンスプロジェクト事業 決算書 P174】

教育推進課
学校教育担当
内線 423

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
279,000	248,600	0	0	0	0	248,600

◎ 令和5年度の事業実績（成果）

昨年度のモデル授業をもとに、本年度は、町内中学校2年生を対象に、日本工業大学において大学教授による講義及び電子顕微鏡による観察等を実施しました。小学校では、百間小学校の6年生を対象にモデル授業を実施しました。さらに、夏季休業期間中に小学校の教職員を対象に、日本工業大学において研修会を実施しました。各取組の振り返りを実施し、よりよい取組になるよう検討していきます。

<実施内容>

■日工大サイエンスプロジェクトの実施①

夏季休業期間中の8月24日（木）に、小学校の先生を対象とした研修会を日本工業大学で実施しました。2学期以降の学習内容を中心とした研修を実施しました。町内の14名の先生が参加しました。

■日工大サイエンスプロジェクトの実施②

令和6年3月5日（火）に百間中学校、6日（水）に須賀中学校、前原中学校の2年生を対象に、日工大サイエンスプロジェクトを実施しました。また、令和6年2月28日（水）に百間小学校の6年生を対象にモデル授業を実施しました。

★ 前期実行計画の日程とその工程

小中学校の理科の授業において、大学の施設や設備を使った専門家による科学体験を通して、子どもたちが興味をもって、自ら学ぶプロジェクトを始動します。

実施内容	実施主体	R3	R4	R5	R6	R7
日本工業大学の設備、先生に関する情報収集	教育推進課					
学校の教育課程の確認	教育推進課					
必要な支援方法の検討	教育推進課					
日本工業大学、学校、教育委員会との情報交換会の実施	教育推進課					
日工大サイエンスプロジェクトの実施	教育推進課					

前期実行計画の成果目標（令和7年度）

理科が好きという児童生徒 80%以上（アンケート調査）

宮代町立小中学校適正配置事業

【小中学校適正配置事業 決算書 P166】

教育推進課
教育総務担当
内線 425

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
24, 586, 000	13, 264, 682	0	0	0	0	13, 264, 682

※令和 5 年度予算のうち、10, 302, 000 円を令和 6 年度に繰り越しています。

◎ 令和 5 年度の事業実績 (成果)

令和 4 年度から検討を進めている須賀小学校の再整備において、令和 5 年 6 月に新しい須賀小学校のコンセプトやビジョンを示す須賀小学校地域拠点施設基本構想を策定しました。

また、令和 6 年 3 月には、基本構想に基づき、施設の機能や規模等を示す基本計画を策定しました。基本計画の策定にあたっては、シンポジウムやワークショップ、関係団体ヒアリング、教職員ワークショップ、議員ワークショップ等を実施し、多くの意見やアイデア等の抽出を行いました。

さらに、地域や学校関係者、有識者などで構成する須賀小学校地域拠点施設検討委員会において、先進事例視察や須賀小学校地域拠点施設についてのアイデア出し、意見交換等を行いました。

<実施内容>

■住民ヒアリング (8 月～9 月)

- ・地域リサーチを目的として、町内のことに詳しい方や地域活動者等を対象に住民ヒアリングを実施しました。
- ・参加者：計 38 名

■公開シンポジウム (どんぐりとピアノ はじまり、はじまり会議) (9 月 24 日)

- ・地域住民への事業内容の周知を目的として、公開シンポジウムを実施しました。学校と地域施設が複合化した県外の 2 事例について紹介を行い、事業内容の具体的なイメージをもってもらう機会としました。
- ・参加者：60 名

■地域ワークショップ (どんぐりとピアノ はじまり、はじまり会議) (全 3 回)

- ・基本計画の策定にあたり、地域住民や関係者等に事業への理解や関心を深めてもらうとともに、地域拠点施設に関するアイデアや意見等の話し合いをしました。
- ・第 1 回 ミライの学校で、何する？何する？ (10 月 21 日) 参加者：70 名
- ・第 2 回 ワクワクする場所、どんなの？どんなの？ (11 月 11 日) 参加者：50 名
- ・第 3 回 建築家さんの考え、聞かせて、聞かせて (12 月 16 日) 参加者：62 名

■議員ワークショップ (10 月 5 日、10 月 19 日)

- ・町議員から新しい地域拠点施設について、意見を伺うワークショップを開催しました。また、新しい地域活動施設でどのような活動が生まれると良いかについても話し合いをしました。
- ・参加者：11 名

■公民館利用団体ヒアリング (12 月 13 日、12 月 14 日)

- ・公民館利用団体を対象に、活動の曜日や時間帯、活動内容についてヒアリングを行いました。また、新しい地域拠点施設に期待することなどについて、意見を伺いました。
- ・参加者：16 名

■学童保育所ヒアリング（１２月１７日）

- ・かえで児童クラブの支援員及び父母会を対象に新しい地域拠点施設における学童保育所のあり方について、意見を伺いました。
- ・参加者：８名

■須賀小学校地域拠点施設検討委員会の会議及び先進事例視察（８月１７日、１２月１４日、１月２３日、１月２４日、２月１５日）

- ・地域住民、学校関係者、有識者など１４名からなる須賀小学校地域拠点施設検討委員会において、基本計画の策定に向けて、先進地の視察や意見交換、アイデア出し等を行いました。

■須賀小学校地域拠点施設基本計画の策定（３月）

- ・上記の結果を踏まえ、須賀小学校地域拠点施設基本計画を策定しました。



★前期実行計画の趣旨とその工程

社会の変化に対応した最良な教育環境を子どもたちに提供するために、小中学校の適正な配置を進めていきます。

実施内容	実施主体	R3		R4		R5		R6		R7	
計画の再検討及び見直し	教育推進課	➡									
計画に基づく取組の実施（須賀小学校地域拠点施設の整備）	教育推進課										
				構想		計画		設計		工事	

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

審議会の答申を踏まえた小中学校の適正配置計画の再検討及び見直し
見直し後の小中学校の適正配置計画に基づく取組の実施

議 会 事 務 局

■ 本年度の成果

本年度は、年４回の定例会が開催されました。

会議の開催にあたり、昨年度に引き続きマスクの着用（令和５年１２月から任意）や検温等の予防措置を取り、新型コロナウイルス感染症の防止に努めました。

議会運営委員会では、栃木県矢板市において「議会改革の取組について」をテーマに研修を行い、議会広報委員会では群馬県榛東村において「議会広報の編集について」をテーマに親しみやすく読みやすい広報づくりについて研修を行いました。

総務文教委員会及び福祉産業委員会による県外研修は、希望先におけるコロナ禍での行政視察の受け入れが困難なことから中止となりましたが、議員全体研修として、元全国都道府県議会議長会事務局次長内田一夫氏をお招きし、「ハラスメントの防止について」をテーマに研修会を実施しました。

「町民と議員との議会懇談会」については、５月と１１月に対面方式で実施し、活発な意見交換を行いました。

■ 本年度の主要事業

議会運営事業	-----	74
会議録調製事業	-----	74

議会運営事業

〔議会事務局〕

決算書 P 48

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
66,353,000	66,061,400	0	0	0	0	66,061,400

【主な実施内容】

■会議の運営

定 例 会：4 回（6 月、9 月、12 月、令和 6 年 3 月）

常 任 委 員 会：議会広報委員会 4 回（20 日間）

議会運営委員会：18 回

特 別 委 員 会：決算特別委員会 1 回（5 日間）

予算特別委員会 1 回（6 日間）

■審議案件

予算 25 件、条例 33 件（うち議員提出 2 件）、決算 6 件、人事案件 5 件、専決処分 5 件、意見書 4 件、請願 3 件、決議 1 件、その他 7 件

【成 果】

定例会の一般質問のほか、議案質疑により、町の予算や施策について積極的に疑問点を問い正しました。

また、予算・決算特別委員会では、私たちの予算書など様々な資料を活用しながら質問することで、個々の事業や取り組みについて理解を深めることができました。

会議録調製事業

〔議会事務局〕

決算書 P 50

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
8,240,000	8,122,028	0	0	0	0	8,122,028

【主な実施内容】

■会議録作成

定例会 1,595,880 円

予算特別委員会 609,180 円

決算特別委員会 531,960 円

■会議録検索システム委託料 264,000 円

■録画配信委託料 1,014,200 円

■議場用映像音響設備機器保守点検業務委託料 594,000 円

■議場用映像音響設備機器使用料 3,512,808 円

【成 果】

全ての本会議及び特別委員会について、会議録を調製し、議会の活動について広く周知を図りました。また、議場の映像音響設備機器及び映像・音響制御システムを活用し、本会議でのすべての映像を配信しました。

総 務 課

■ 本年度の成果

広報の分野では、町広報紙「広報みやしろ」や町公式ホームページに加え、町公式Xでハッシュタグ「#みやしろまち」を付けて情報発信し、町公式LINEではプッシュ型の情報を町民に届けています。様々な媒体を通じ、町が取り組んでいる政策をはじめ、身近な話題や出来事を町民の皆様に対して速やかに、かつ、わかりやすく情報提供するよう努めました。

第5次総合計画前期実行計画事業のみやしろズームアッププロジェクトでは、町の魅力の情報発信力を向上させるための「みんなが地域の特派員」制度において、13名の特派員で活動しました。また、地元の魅力を再発見し、発信するために、「みやしろ缶バッジ」を作成し、PRに努めました。

人権・男女共同参画の分野では、正しい人権感覚を養うため、同和問題をはじめ、LGBTやDV（ドメスティック・バイオレンス）等の人権課題に関する研修会を開催し、町民及び職員一人ひとりの人権意識を高めることができました。

また、平和の分野では、戦争の悲惨さ、平和の尊さを見つめ直し、世界の恒久平和を願う心を次世代に伝えるため、「ヒロシマ・ナガサキ 原爆写真展」を開催しました。

職員研修の分野では、各種研修を通じて職員の意識向上を図るとともに、より高いレベルを目指した業務遂行能力の向上に努めました。

文書事務の分野では、ペーパーレス化や業務の効率化を図るため、電子決裁機能等を備えた新たな文書管理システムを導入し、令和6年度からの運用開始に向けてシステムの構築を行いました。

■ 令和5年度前期実行計画

みやしろズームアッププロジェクト-----	38
人権・平和推進事業 -----	60

■ 本年度の主要事業

職員研修事業 -----	76
広聴・広報事業 -----	77

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
1,286,000	720,387	0	0	0	0	720,387

[主な実施内容]**■内部研修**

町独自の研修として階層別研修等を実施しました。

新規採用職員研修：前期 11 科目 17 人、後期 12 科目 16 人

■共同研修

539,568 円

近隣 3 市（久喜市・蓮田市・白岡市）と共同で階層別、科目別研修を実施しました。

階層別研修：初級職員研修・上級職員研修・係長実践研修・管理職研修

科目別研修：政策形成能力養成研修・法制執務研修・マネジメント研修、保育士情報交換会
受講者数：40 人

■派遣研修

63,400 円

彩の国さいたま人づくり広域連合やその他研修機関の実施する階層別、科目別研修へ職員を派遣しました。

彩の国さいたま人づくり広域連合主催研修：25 科目延べ 81 人

埼玉県総合技術センター主催研修：2 科目延べ 2 人

町村会主催研修：中堅職員視察研修会 1 人

日本経営協会主催研修：法制執務研修 1 人

[成 果]

各種研修を通じて、宮代町職員としての意識の向上を図るとともに、各専門分野における技術向上によって、より高いレベルへの業務遂行能力向上に努めました。

また、中堅職員の人材育成・資質の向上を図り、個性豊かな地域づくりや行政課題解決に向けた取組を行っている県外先進市町村の実態を学ぶため、「中堅職員視察研修会」に職員 1 名を派遣しました。

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
10,170,000	9,295,629	0	0	0	35,000	9,260,629

〔主な実施内容〕

■町広報紙「広報みやしろ」の編集発行 毎月発行（年間12回）

・発行部数 12,500部／月

幅広い世代の方に手に取り読んでもらうために、タブロイド判・フルカラーで親しみやすい紙面作成を目指しました。今後も読みやすい紙面作成に努めていきます。

■SNS等の活用による最新情報の発信

行政トピックスや身近な話題などの最新情報を随時発信しました。また、町公式Xではハッシュタグ「#みやしろまち」を付けて発信することで町のPRを効果的に行うとともに、町公式LINEからはプッシュ型での情報発信を行いました。

■「町長への手紙」

32件の提案やご意見をいただき、回答しました。

■有料広告制度の運用

「広報みやしろ」及び「町公式ホームページ」の有料広告制度により、143万5千円の広告収入がありました。

〔成 果〕

「広報みやしろ」や「町公式ホームページ」を通し、町が取り組んでいる施策をはじめ、身近な話題や出来事を町民に対して速やかに、かつ、わかりやすく情報提供しました。

町公式ホームページにおいては、令和5年度のアクセス件数が約209万件、累計約1,600万件に達し、町公式Xのフォロワーは4,508人、町公式LINEの友だち数は13,697人となっています。

町民の声を町政に反映させる「町長への手紙」においては、いただいた提案やご意見をもとに速やかに事務や事業の改善を図りました。

企 画 財 政 課

■ 本年度の成果

町の政策、財政、情報、管財各分野を通して、関係各課との連携・調整を図りつつ、住民福祉の向上につながるよう取り組んでまいりました。

宮代町のまちづくりの道しるべでもある、第5次宮代町総合計画では、令和3～7年度を計画期間とする前期実行計画事業を着実に推進するため、取り組み状況の確認と検証を行いながら、その進捗について町ホームページ等を通じて町民の皆様にお知らせしています。

公共施設の運営に民間企業のノウハウを導入しサービス向上を目指す指定管理者制度では、令和6～10年度の学童保育所（かえで児童クラブ）の指定管理者候補者を選定しました。

地域経済の振興と歳入確保を目的とした「ふるさと納税」では、町の事業をPRするとともに巨峰など町の特産品をお礼の品とし、多くの方々から寄附をいただき、特色あるまちづくりを進めることができました。また、宮代町としては初めての企業版ふるさと納税による寄附をいただき、賛同いただいた事業に活用しました。

地域住民の日常の移動手段として定着した町内循環バスは、交通行動調査（令和3年度）や運行事業者等からの意見聴取をもとに、宮代町地域公共交通会議を経て、一部ルートの見直し、バス停の増設（3か所）やリニューアルを行いました。併せて、高齢者運転免許自主返納者への支援として、循環バスの回数券を交付しました。

また、循環バスを補完する移動支援として実証実験を行ってきた宮代町高齢者等タクシー助成制度は、利用者アンケートなどを経て、利用枚数を増加して本格運用を開始しました。

情報政策分野では、行政全般にわたるDX（デジタルトランスフォーメーション）化を進めるため、推進計画を策定するとともに、この一環として町公共施設（14施設）のインターネット予約システムを導入しました。

■ 令和5年度前期実行計画

遊休資源活用プロデュース事業	40
宮代型デマンド交通事業	43
チームみやしろ会議	64

■ 本年度の主要事業

ふるさと納税管理事業	80
政策調整事業	81
みやしろ定住促進作戦	82
便利バスが走る事業	83
庁舎等管理事業	84
OA管理事業	85
統計調査事業	86

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
9,999,000	9,266,542	0	0	0	952,002	8,308,492

〔主な実施内容〕

■宮代のまちづくりをみんなで応援する寄附制度（ふるさと納税）

寄附制度を通じ、宮代町や町の特産品を広く P R するとともに、まちづくりのための歳入確保に努めました。

農のあるまちづくり、子育て支援、町の桜並木の景観など宮代町らしいまちづくりのために、全国から寄附をいただきました。寄附金は指定のあった各事業において活用させていただきます。

また、寄附のお礼として、町内の事業者が提供する「ふるさと特産品」延べ 1,090 件を贈りました。

・いただいた寄附の概要

(単位 円)

分 野	寄附金額
農のあるまちづくりに関する事業	2,406,400
子どもたちの未来に関する事業	6,823,800
市民活動支援に関する事業	183,400
宮代の桜を大きく育てていく事業	523,000
宮代の歴史文化を伝承する事業	357,000
観光や町の P R に関する事業	223,800
みやしろにぎわいづくりプロジェクト	125,000
令和 6 年 能 登 半 島 地 震	958,050
そ の 他 ま ち づ くり 全 般	6,678,600
合 計	18,279,050

・ふるさと特産品（上位10件）

(単位 件、円)

特 産 品	件数	寄附金額
巨 峰 (3 k g)	280	3,920,000
梨 (5 k g)	163	2,120,000
令和 5 年産 コシヒカリ「村そだち」 20 k g	126	2,016,000
東武動物公園「アトラクションパスセット」	101	3,230,000
ドイツ国家認定・製パンマイスターが作るシュトレン	67	938,000
東武動物公園「入場券」	58	544,800
ぷちぷち食感の玄米餅と切り餅セット	56	392,000
こだわり本格ドイツパンセット	44	1,032,000
東武動物公園「入場券+のりもの券10枚綴り」	36	576,000
シャインマスカット (1 . 5 k g)	31	372,000



	5 年度 A	増 減 A-B	4 年度 B	3 年度
寄 附 人 数 (人)	1,059	△376	1,435	1,788
特産品送付件数 (件)	1,090	△436	1,526	1,968
寄 附 金 額 (円)	18,279,050	△4,251,650	22,530,700	26,612,070

※企業版ふるさと納税も含んでいます。

■企業版ふるさと納税

宮代町の地域再生計画に基づく事業に賛同いただき、下記のとおり寄附をいただきました。

寄 附 企 業 名	協同組合情報センター
本 社 所 在 地	埼玉県さいたま市中央区本町東 3 丁目 1 3 番 2 0 号
寄 附 年 月 日	令和 6 年 2 月 2 2 日
寄 附 対 象 事 業	地域資源を活かし雇用を生み出す事業

[成 果]

令和 5 年度は前年度までに寄せられた寄附金を以下の事業に活用しました。

(単位 円)

寄 附 金 活 用 事 業	取 組 内 容	充 当 額	成果書掲載ページ
農のあるまちづくりに関する事業	新 し い 村 の 運 営	1,500,000	P30
子どもたちの未来に関する事業	保 育 所 の 運 営	1,500,000	P149、P150
	ファミリーサポートセンターの運営	250,000	P145
	こどもの居場所づくり、子育てサロン	250,000	P50、P51、P140
	小中学校でのきめ細やかな英語指導	1,000,000	P196
市 民 活 動 支 援 に 関 す る 事 業	コミュニティセンター進修館の運営	200,000	P111
宮代の桜を大きく育てていく事業	宮 代 の 桜 の 保 全 、 環 境 整 備	1,010,000	-
宮代の歴史文化を伝承する事業	文 化 財 案 内 板 の 設 置	220,000	P210
	郷 土 資 料 館 土 壁 修 繕	450,450	P28、P212
観 光 や 町 の P R に 関 す る 事 業	地域の資源 P R 情報誌等の作成	500,000	P177
みやしろにぎわいづくりプロジェクト	桜 市 の 開 催	300,000	P176
令 和 6 年 能 登 半 島 地 震	石川県七尾市への寄附（代理受付分）	958,050	P80
その他まちづくり全般への活用		10,270,550	
合 計		18,409,050	

政策調整事業

[対話のまちづくり推進担当]

決算書 P 66

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
213,000	94,706	0	0	0	0	94,706

[主な実施内容]

■第 5 次宮代町総合計画前期実行計画の進行管理

第 5 次宮代町総合計画前期実行計画に位置付けられた事業の進捗状況を町ホームページ等で公表しました。

■指定管理者制度の推進

民間企業等が持つ専門性やノウハウ、組織力等により住民サービスの向上や経費の削減を図ることが期待できる施設について、指定管理者制度を導入しています。

令和５年度は、かえで児童クラブの指定管理者候補者選定を行いました。

【成 果】

第５次宮代町総合計画前期実行計画は、担当課へのヒアリングや自治体経営会議等により、事業進捗の確認・調整を図り計画的なまちづくりを推進しました。

かえで児童クラブでは、学識経験者、公募による市民及び町職員により構成する指定管理者候補者選定委員会を開催し、次のとおり指定管理者候補者を選定しました。

施設名	指定管理者候補者
かえで児童クラブ	特定非営利活動法人 宮代町かえで児童クラブ

みやしろ定住促進作戦

〔対話のまちづくり推進担当〕

決算書 P66

５年度予算 (円)	５年度決算 (円)	５年度決算の財源内訳（円）				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
1,637,000	1,613,618	0	0	0	0	1,613,618

【主な実施内容】

■宮代町定住促進サイト「みやしろで暮らそっ」の運営

移住者へのインタビュー、宮代町での住み方の提案や町の魅力を伝える記事などを制作し、宮代町定住促進サイト「みやしろで暮らそっ」で発信しました。

■みやしろ初めてツアーの実施

宮代町定住促進サイト「みやしろで暮らそっ」経由で申し込みのあった町外在住の方へ、町内の公共施設や商業施設などを案内する「みやしろ初めてツアー」を実施しました。

【成 果】

移住者インタビュー等の特集記事を３本、その他自由投稿記事を３本、イベント予告記事を１２本制作し、移住希望者に向けた情報を発信しました（年間ページビュー数 １１２，８１０回）。

また、定住促進チラシを作成し、移住サポートセンターへ配布を依頼し、宮代町のPRにつながる情報発信を行いました。

「みやしろ初めてツアー」では、８世帯（東京都２、茨城県１、千葉県１、さいたま市１、草加市１、戸田市１、蕨市１）に対しツアーを実施し、ツアーに参加できない４世帯（東京都２、神奈川県１、群馬県１）に対しては定住促進チラシなどを郵送し、宮代町をPRしました。

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
45,586,000	44,324,023	0	0	0	96,000	44,228,023

【主な実施内容】

■循環バスの運行

高齢者をはじめとした交通弱者の方々が安心して移動できる交通手段として、住宅地と駅、公共施設、医療施設、商業施設等を結ぶ便利バスを運行しました。

運行日：年末年始を除く毎日

(単位 人)

	5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
乗車人数	50,908	△12,340	63,248	56,229

※令和5年度はバス入替に伴い計測方法が変わったため参考値。

■循環バス運行委託料

運行等の業務に要した費用として、次のとおり委託料を支払いました。

(単位 円)

	5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
契 約 額a	45,182,984	14,932,976	30,250,008	30,250,008
運 賃 収 入 等b	3,850,749	426,649	3,424,100	3,040,700
両 替 立 替 分c		△110,000	110,000	120,000
設 備 工 事 費d	2,142,638 (バスロケーションシステム設置費等)	2,142,638	0	276,100 (バスロケーションシステム設置費)
バスロケーション システム利用料金 e	341,748	206,580	135,168	45,056
臨時増便 f	47,520	△102,080	149,600	0
委 託 料	43,864,141	16,643,465	27,220,676	27,650,464

(a-b+c+d+e+f=委託料)

※臨時増便…10月8日

町民スポーツフェスティバルにあわせ、同一路線に便数を追加。利用者数は32人。

■高齢者運転免許自主返納者への支援

高齢者の交通事故防止と便利バスの利用促進を目的に、満65歳以上の方で自動車運転免許証を返納した申請者の方に循環バスの回数券(70枚/人)を交付しました。

	5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
申請者	73	△17	90	84

[成 果]

循環バスにおいては令和5年4月から新たな委託業者のもと、一部ルートの見直し及び時刻表の変更等を行い運行を開始しました。運行当初は1台のみであったノンステップバスが手配できたため、現在は全ての便がノンステップバスでの運行となっています。年間での利用者数は50,908人となり、高齢者をはじめとした交通弱者の移動手段を確保することにより、社会生活の利便性の向上を図ることができました。

庁舎等管理事業

[管財担当]

決算書 P62

5年度予算 (円)	5年度決算 (円)	5年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
76,806,000	74,125,161	0	0	0	1,313,251	72,811,910

[主な実施内容]

■庁舎管理

(単位 円)

主な内容	金 額
役場庁舎総合管理業務委託	32,560,000
庁舎施設修繕	2,386,560

■光熱水費

(単位 円)

	5年度 A	増減 A-B	4年度 B	3年度
電 気 料	10,051,425	△2,153,441	12,204,866	5,918,316
上 下 水 道 使 用 料	1,174,112	89,339	1,084,755	1,037,341

[成 果]

令和5年度は四季楽トイレによる天井ガラスの夜間映り込みを解消するため、当該箇所にスモーク塗装を行いました。これにより日の光を取り込みつつ、反射による映り込みを防止しました。

新たな電力小売事業者との契約によって、電気使用量は前年度比8%増となる一方、電気料金は前年度比5%の削減となりました(国からの補助金を除いて計算)。

庁舎を適切に管理し、来庁者の安全かつ快適な利用、職員の効率的な業務の執行に努めています。

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
123,917,000	122,031,507	9,738,000	0	0	0	112,293,507

※令和4年度からの繰越分を含みます。

【主な実施内容】

■〇 A 機器のリース等 (単位 円)

リ ー ス 等 内 容	主 な 内 容	金 額
基幹系システム機器	住基、税務、福祉等基幹系業務情報の一元管理	51,652,920
財務会計システム機器	歳入歳出予算及び会計事務の一元管理	3,403,488
庁内ネットワーク機器	庁内ネットワークを構成する通信機器	3,973,536
統合仮想基盤システム機器	データセンターでのシステム、機器の一元管理	17,033,830
情報系パソコン及びオフィスソフト	パソコン及び文書作成、表計算ソフト等オフィスソフト	7,054,080

■情報系ネットワーク機器更改関係 (単位 円)

主 な 内 容	金 額
L G W A Nファイアウォール更新業務委託	1,881,000

■公共施設予約システム導入関係 (単位 円)

委 託 内 容	主 な 内 容	金 額
宮代町公共施設予約システム導入業務委託	公共施設（14施設）の利用予約をインターネットから行うためのシステムを導入。	4,197,600

■マイナポイント関係 (単位 円)

主 な 内 容	金 額
マイナポイント申込支援業務委託	1,210,000

【成 果】

情報通信機器を適切に管理し、システムの安定稼働を図りました。

情報系ネットワークで使用するファイアウォールが耐用年数を超えメーカー保守の対応外となることから、当該機器の更改作業を行いました。新規事業として、宮代町内の公共施設（14施設）の利用予約をインターネットから行うためのシステムを導入し、令和6年1月4日から稼働しています。

職員の業務効率化を図るため令和5年6月から、庁内ビジネスチャットを導入しました。同じチャットを使用している他市町村との職員とも交流が可能で、職員間で情報交換などに活用しています。

また、国のデジタル人材派遣制度を活用し、企業からのデジタル専門人材派遣を受け、職員自らの手で宮代町DX推進計画を策定しました。

統計調査事業

〔情報政策担当〕

決算書 P90

5年度予算 (円)	5年度決算 (円)	5年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
1,787,000	1,294,271	0	1,284,670	0	0	9,601

〔主な実施内容〕

(単位 円)

調査名	主な内容	金額
学校基本調査	在学者数や教職員などの学校に関する基本的事項の調査。 <u>毎年実施</u> 【調査対象】 小学校4校 中学校3校 幼稚園4園	11,000
令和5年住宅・土地統計調査	住宅及び住宅以外で人が居住する建物に関する実態や現住居以外の住宅及び土地の所有状況等に関する調査。 <u>5年ごとに実施</u> 【調査対象】 41調査区 【統計従事者】 指導員3人、調査員15人	1,269,970
2025年農林業センサス 農業集落区域の認定等	令和6年度に実施する農林業センサスに先立ち、農業集落区域の認定及び調査区の設定。 <u>5年ごとに実施</u>	3,700

〔成 果〕

例年行っている調査に加え、令和5年度は住宅・土地統計調査を実施しました。今回の調査では、空き家対策の重要性が年々高まっている背景から、空き家の所有状況などの把握とともに、超高齢社会における高齢者の住まい方をよりの確に把握することを目的として実施されました。これらの結果は国や地方公共団体の施策推進のため活用されます。

また、令和6年度に本調査となる農林業センサスの調査区設定を行い、農業集落区域の認定及び調査区の設定を実施しました。

住 民 課

■ 本年度の成果

戸籍住民基本台帳管理事業では、関係法令に基づく戸籍簿及び住民基本台帳を適正に管理するとともに、正確かつ迅速に各種証明書を発行しました。

マイナンバーカードの交付件数は、前年度から増加し、27,093件となり、交付率は80.8%に達しました。

後期高齢者医療では、被保険者の健康増進及び疾病の早期発見を促進するため、後期高齢者健康診査や人間ドック受診費用の助成を実施しました。被保険者数の増加等の理由により、前年度と比較し、健康診査受診者数、人間ドック受診費用の助成対象者ともに増加しました。

■ 本年度の主要事業

戸籍住民基本台帳管理事業-----	88
旅券事務事業-----	90
後期高齢者健康診査事業-----	91
後期高齢者疾病予防事業-----	91

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
29,379,010	17,837,444	4,544,000	1,914,279	0	10,903,380	475,785

※令和4年度からの繰越分を含みます。

※令和5年度予算のうち、9,782,000円を令和6年度に繰り越しています。

〔主な実施内容〕

■戸籍・住民基本台帳等の取扱件数

(1) 戸籍届出件数

(単位 件)

種 類	届 出		他市町村 から送付	計
	本籍人届出	非本籍人届出		
出 生	73	104	90	267
養 子 縁 組	5	0	7	12
養 子 離 縁	5	1	1	7
婚 姻	55	20	153	228
離 婚	37	7	19	63
死 亡	295	112	72	479
入 籍	19	2	12	33
転 籍	91	0	59	150
そ の 他	67	5	18	90
不 受 理 申 出	9	5	1	15
合 計	656	256	432	1,344

(2) 住民異動状況

(単位 人)

年 度	増 加 人 口				減 少 人 口			
	種 類	男	女	計	種 類	男	女	計
5 年 度	転 入	742	690	1,432	転 出	635	524	1,159
	出 生	88	92	180	死 亡	241	208	449
	そ の 他	7	6	13	そ の 他	18	11	29
	計	837	788	1,625	計	894	743	1,637
比 較	転 入	9	66	75	転 出	△140	△97	△237
	出 生	△5	1	△4	死 亡	△12	7	△5
	そ の 他	0	△1	△1	そ の 他	4	5	9
	計	4	66	70	計	△148	△85	△233
4 年 度	転 入	733	624	1,357	転 出	775	621	1,396
	出 生	93	91	184	死 亡	253	201	454
	そ の 他	7	7	14	そ の 他	14	6	20
	計	833	722	1,555	計	1,042	828	1,870

■戸籍・住民基本台帳等の証明発行件数

(1) 証明種類別発行件数

(単位 件)

内 訳	有 料	無 料	計
戸 籍 謄 抄 本	6,647	1,436	8,083
戸 籍 証 明	106	231	337
戸 籍 の 附 票	601	686	1,287
住 民 票 の 写 し	13,627	757	14,384
住 民 票 記 載 事 項 証 明	340	0	340
住 民 台 帳 の 閲 覧	2	8	10
印 鑑 登 録 証 明 書	7,614	6	7,620
諸 証 明	894	720	1,614
臨 時 運 行 許 可 証	263	0	263
合 計	30,094	3,844	33,938

※住民票の写し、印鑑登録証明書の発行件数には、コンビニエンスストアにおける交付件数も含んでいます。

(2) コンビニエンスストアにおける交付件数

(単位 件)

内 訳	宮代町内	宮代町外	計
住 民 票 の 写 し	1,676	1,278	2,954
印鑑登録証明書	1,125	627	1,752
合 計	2,801	1,905	4,706

■マイナンバーカード交付件数

(各年度末現在)

	5 年度	比較 (4→5)	4 年度	比較 (3→4)	3 年度
交付数(件)	27,093	3,324	23,768	8,310	15,458
交付率(%)	80.8	10.2	70.6	24.9	45.7

[成 果]

戸籍法、住民基本台帳法、その他関係法令に基づき、戸籍簿及び住民基本台帳を適正に管理するとともに、印鑑登録、住居表示、臨時運行許可、諸証明の発行などの各種業務を適正に行いました。

また、マイナンバーカード交付管理システムを導入して、マイナンバーカードの管理をより一層推進し、マイナンバーカードの交付率は80.8%になりました。

旅券事務事業

〔戸籍住民担当〕

決算書 P 84

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
51,000	42,462	0	42,462	0	0	0

〔主な実施内容〕

■旅券の取扱件数

(単位 件)

	5 年度	4 年度	3 年度
10 年用	254	113	44
5 年用	175	92	13

〔成 果〕

旅券法に基づくパスポートの申請受付、交付などの業務を適正に行いました。

新型コロナウイルス感染症が 5 類に移行したことにより、前年度に比べ取扱件数が増加しました。

後期高齢者健康診査事業

〔国保・後期担当〕

決算書 P 130

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
28,631,000	25,678,409	0	0	0	22,105,366	3,573,043

〔主な実施内容〕

後期高齢者医療加入者を対象として、無料で受診できる健康診査を個別健診及び集団健診により実施しました。

(単位 人)

	5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
健康診査受診者	2,411	236	2,175	1,878

〔成 果〕

健康診査を実施することで、後期高齢者医療加入者の健康保持及び増進、疾病の早期発見を図りました。令和 5 年度の受診者数は前年度と比較して 236 人の増と、大幅に増加しました。

後期高齢者疾病予防事業

〔国保・後期担当〕

決算書 P130

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
3,982,000	3,857,481	0	0	0	1,917,561	1,939,920

【主な実施内容】

総合健診（人間ドック等）を受診した後期高齢者医療加入者を対象に 1 件あたり 27,000 円を助成しました。

(単位 人)

	5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
総合健診受診者	145	4	141	129

【成 果】

後期高齢者医療加入者の人間ドック等の受診費用を助成し、受診者の経済的負担の軽減を図りました。

令和 5 年度の受診者数は、前年度と比較して 4 人増加しました。

税 務 課

■ 本年度の成果

町税は、まちづくりの根幹を担う重要な財源であることから、事務処理にあたり地方税法及び税制改正等を踏まえ、公平かつ適正な賦課徴収に努めました。

町民税事業では、デジタル化・オンライン化などのデジタルトランスフォーメーション(DX)の取組みを進めるため、国税情報の電子連携をはじめ、個人町県民税、法人町民税及び軽自動車税にかかる各種申請届出等の電子連携を推進するとともに、所得税確定申告の電子申告を促進するためスマートフォン申告会を実施しました。

また、森林環境税の課税及び個人町県民税の給与特別徴収にかかる納税義務者向け電子通知を令和6年度から開始するため基幹システム等の改修を実施し、準備作業等を滞りなく進めました。

固定資産税事業では、法務局からの登記済通知書に基づく異動処理、新增築家屋等の調査及び償却資産申告により、正確な課税客体の把握を行い、公平かつ適正な賦課に努めました。

また、3年に一度実施している評価替えでは、土地・家屋の価格を見直すとともに、宅地等については税負担を調整する負担調整措置の仕組みを継続しました。

徴収対策事業では、引き続き現下の情勢に応じたきめ細かな納税相談を実施するとともに、新規滞納の発生を防止するため、SNS等を利用した納期内納付の広報や効果的な文書催告を行うことに努めました。

また、滞納者に対しては、財産や納付能力の各種調査を実施して給与や預金等の債権差押を実施する一方で、生活の困窮や財産なしなどの要件に該当する場合は滞納処分の執行停止に取り組ましました。

納税推進事業では、安全で確実な「口座振替」及び身近で便利な「コンビニエンスストア収納」の利用推奨を行うとともに、eLTAX(エルタックス)による「地方税共通納税システム(電子納付)」において地方税統一QRコード(eL-QR)を活用した納付を開始し、納税者の利便性向上に努めました。

また、町ホームページや窓口サービスにおける税務手続きの案内については、わかりやすい表示に努めるとともに、窓口や電話での各種の問合せにおいては、的確な対応を心がけることにより住民サービスの向上に努めました。

税務行政の使命は、納税者の皆様の自発的な納税の履行を適正かつ円滑に実現することであり、納税者の皆様から理解と信頼を得ることが何よりも重要です。そのため、税務行政に対して信頼を損なうことのないよう、引き続き関係法令に基づき適正かつ公平な税務行政を推進します。

■ 本年度の主要事業

町民税事業	94
固定資産税事業	96
徴収対策事業	97
納税推進事業	98

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
17,390,000	14,802,252	0	0	0	2,100	14,800,152

※令和5年度予算のうち、1,683,000円を令和6年度に繰り越しています。

〔主な実施内容〕

■個人町民税の賦課の状況

町内に居住している個人に対して、個人町民税の賦課を行いました。(単位 人)

	5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
納 税 義 務 者 数	17,861	67	17,794	17,759
所 得 割 (特別徴収)	11,027	61	10,966	11,025
(普通徴収)	5,168	1	5,167	5,082
(退職所得)	57	△10	67	78
均 等 割 の み	1,609	15	1,594	1,574

■法人町民税の申告の状況

町内に事業所等がある法人から、法人町民税の申告を受付けました。(単位 人)

	5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
納 税 義 務 者 数	560	17	543	537

■軽自動車税の賦課の状況

軽自動車等の所有者に対して、軽自動車税の賦課を行いました。(単位 台)

	5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
軽 自 動 車 登 録 数	10,414	133	10,281	10,176
第 一 種 (50cc 以下)	822	△35	857	878
第 二 種 (90cc 以下)	75	△2	77	67
第 二 種 (125cc 以下)	328	27	301	273
ミ ニ カ ー	21	1	20	18
軽 二 輪	366	16	350	333
軽四輪乗用 (営業用)	0	0	0	0
軽四輪乗用 (自家用)	6,171	102	6,069	6,000
軽四輪貨物 (営業用)	81	△1	82	82
軽四輪貨物 (自家用)	1,327	35	1,292	1,273
小型特殊 (農耕用)	778	△14	792	820
小型特殊 (その他)	27	4	23	24
二輪の小型自動車	408	2	406	396
ボートトレーラー	10	△2	12	12
新 規 登 録	1,498	△173	1,671	1,556

廃 車	1,396	△82	1,478	1,426
移 転 変 更	286	△6	292	261

■町たばこ税の申告の状況

町内で売り渡された紙巻たばこ等について、町たばこ税の申告を受付けました。（単位 本）

	5 年 度 A	増 減 A－B	4 年 度 B	3 年 度
売 渡 し 本 数	28,736,742	△483,428	29,220,170	28,190,611
日本たばこ産業(株)	13,062,550	△153,687	13,216,237	13,228,090
T S ネットワーク(株)	15,670,592	△328,521	15,999,113	14,959,201
太 豊 通 商 (株)	3,600	△1,220	4,820	3,320

■町県民税申告受付等の実施

適正な課税を行うために町県民税申告や所得税確定申告等の受付を実施しました。

（単位 件）

	5 年 度 A	増 減 A－B	4 年 度 B	3 年 度
町県民税・確定申告受付数	3,480	301	3,179	3,019
うち休日申告受付数	54	2	52	55
農業収支内訳書作成相談受付数	121	△1	122	136

■電子申告等による受付状況

町税手続きについて e L T A X （エルタックス）を利用した電子申告の受付を行いました。

（単位 件）

	5 年 度 A	増 減 A－B	4 年 度 B	3 年 度
電 子 申 告 等 件 数	32,430	831	31,599	31,035
給 与 支 払 報 告	14,810	1,000	13,810	13,068
公的年金等支払報告	16,757	△206	16,963	17,171
法 人 町 民 税 申 告	550	4	546	521
償 却 資 産 申 告	313	33	280	275

[成 果]

e L T A X （エルタックス）を利用した地方税電子申告・納税や国税とのデータ連携により、安全かつ効率的な賦課事務を推進し、適正かつ公平な賦課徴収を行うことで、町の主要財源を確保することができました。

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
6,706,000	5,534,604	0	0	0	0	5,534,604

[主な実施内容]

■固定資産税の賦課の状況

町内に固定資産を所有する者に対して固定資産税の賦課を行いました。

	5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
納 税 義 務 者 数 (人)	14,870	40	14,830	14,816
土 地 評 価 総 筆 数 (筆)	37,285	192	37,093	37,319
土 地 評 価 総 地 積 (千㎡)	11,815	△42	11,857	11,867
家 屋 評 価 総 棟 数 (棟)	17,402	74	17,328	17,332
家 屋 評 価 総 床 面 積 (千㎡)	1,939	179	1,760	1,754

■都市計画税の賦課の状況

都市計画事業等に要する費用にあてるため都市計画税の賦課を行いました。

	5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
納 税 義 務 者 数 (人)	10,621	15	10,606	10,614
土 地 評 価 総 筆 数 (筆)	15,135	111	15,024	15,238
土 地 評 価 総 地 積 (千㎡)	2,656	△15	2,671	2,679
家 屋 評 価 総 棟 数 (棟)	9,724	155	9,569	9,533
家 屋 評 価 総 床 面 積 (千㎡)	1,347	175	1,172	1,165

■縦覧制度等

納税義務者の求めに対して固定資産課税台帳の閲覧等を行いました。(単位 件)

	5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
土地・家屋価格等縦覧帳簿の縦覧件数	0	0	0	2
固定資産課税台帳の閲覧件数	101	17	84	70
審 査 申 出 の 件 数	0	0	0	0
審 査 請 求 の 件 数	0	0	0	0

縦覧期間：令和5年4月1日から令和5年5月31日まで

[成 果]

土地、家屋及び償却資産について現況調査や航空写真等を活用し、課税客体の正確な把握に努め、電算システムによる効率的な評価を行うとともに、適正かつ公平な賦課を行うことができました。

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
5,286,000	4,223,395	0	0	0	0	4,223,395

〔主な実施内容〕

事案に即した納税相談、文書や電話による催告等を早期に実施するとともに、納税誠意に欠ける滞納者に対しては給与・預金等の債権の差押を中心に滞納処分を行いました。

■ 収納率の状況

(単位 %)

		5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
現 年 度 課 税 分	個 人 町 民 税	99.1	0.0	99.1	99.2
	特 別 徴 収 分	99.9	0.1	99.8	100.0
	普 通 徴 収 分	96.7	△0.2	96.9	97.1
	法 人 町 民 税	100.0	0.2	99.8	99.7
	固 定 資 産 税	99.6	0.0	99.6	99.6
	都 市 計 画 税	99.5	0.0	99.5	99.5
	軽 自 動 車 税	99.2	0.2	99.0	99.1
	町 た ば こ 税	100.0	0.0	100.0	100.0
	町 税 計	99.4	0.1	99.3	99.4
	国民健康保険税	95.1	△0.4	95.5	96.2
	現年度課税分計	98.8	0.0	98.8	98.9
滞 納 繰 越 分	個 人 町 民 税	37.1	3.1	34.0	35.6
	特 別 徴 収 分	26.7	△2.4	29.1	66.4
	普 通 徴 収 分	38.5	4.1	34.4	32.3
	法 人 町 民 税	41.6	41.6	0.0	41.2
	固 定 資 産 税	43.8	5.0	38.8	42.9
	都 市 計 画 税	46.3	2.2	44.1	43.9
	軽 自 動 車 税	32.1	2.7	29.4	27.8
	町 税 計	39.3	3.9	35.4	38.5
	国民健康保険税	21.9	△2.8	24.7	27.1
	滞納繰越分計	28.9	△0.2	29.1	31.7
合 計		96.8	0.1	96.7	96.6

〔成 果〕

効果的な催告や財産調査等を早期に実施するとともに、納税誠意に欠ける滞納者に対しては債権の差押を中心に実効的な徴収対策に取り組んだ結果、収納率は前年度と比較して 0.1 ポイントアップし、96.8%となりました。

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
3,478,000	2,962,947	0	0	0	0	2,962,947

〔主な実施内容〕

■口座振替

安全で確実な口座振替により、納税者の負担軽減に寄与しました。

【利用状況】

(単位 件)

	5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
町 県 民 税 (普通徴収)	3,078	△127	3,205	3,194
固 定 資 産 税 都 市 計 画 税	21,979	△433	22,412	22,740
軽 自 動 車 税	1,065	△39	1,104	1,121
国民健康保険税	8,737	△1,713	10,450	11,020
合 計	34,859	△2,312	37,171	38,075

■コンビニエンスストア収納

24時間いつでも便利に納税できるコンビニエンスストア収納により、納税者の利便を図りました。

【利用状況】

(単位 件)

	区分	5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
町 県 民 税 (普通徴収)	現年度分	5,350	△63	5,413	5,577
	滞 繰 分	566	△203	769	911
固 定 資 産 税 都 市 計 画 税	現年度分	13,897	△151	14,048	14,762
	滞 繰 分	256	△96	352	370
軽 自 動 車 税	現年度分	5,036	△62	5,098	4,982
	滞 繰 分	35	2	33	34
国民健康保険税	現年度分	8,327	△374	8,701	9,177
	滞 繰 分	867	△87	954	1,299
合 計		34,334	△1,034	35,368	37,112

■ P a y B（ペイビー）収納

スマホのアプリで口座を登録し納付書のバーコードを読み取ることでいつでもどこでも簡単に納税が可能な P a y B（ペイビー）収納を継続しました。

【利用状況】

（単位 件）

	5 年度 A	増減 A－B	4 年度 B	3 年度
町 県 民 税 （普通徴収）	447	△60	507	346
固 定 資 産 税 都 市 計 画 税	1,040	△297	1,337	820
軽 自 動 車 税	168	22	146	149
国民健康保険税	473	△98	571	399
合 計	2,128	△433	2,561	1,714

■ 地方税共通納税システム（電子納付）

e L T A X（エルタックス）による電子納税の対象税目の拡大により、複数団体・複数税目の一括納付を推進して納税者の負担を軽減するとともに、収納事務の効率化を図りました。

【利用状況】

（単位 件）

	5 年度 A	増減 A－B	4 年度 B	3 年度
町 県 民 税 （特別徴収）	7,491	1,538	5,953	3,874
町 県 民 税 （普通徴収）	506	506		
法 人 町 民 税	150	38	112	61
固 定 資 産 税 都 市 計 画 税	1,289	1,289		
軽 自 動 車 税	373	373		
国民健康保険税	485	485		
合 計	10,294	4,229	6,065	3,935

【成 果】

地方税統一QRコード（e L－QR）を導入して e L T A X（エルタックス）による地方税共通納税システム（電子納付）の対象税目を拡大するとともに、クレジットカードやスマートフォン決済アプリによる納付など収納手段の多様化を図ることで、納税しやすい環境整備による納税者の利便性や安全性の向上に努めました。

町 民 生 活 課

■ 本年度の成果

町民生活課では、町民の皆様の安心安全の確保と地域コミュニティ・市民活動の推進を目標に、以下の事業に取り組みました。

交通安全対策事業では、交通安全関係団体の皆様と各季に啓発活動を行い交通事故防止と交通安全意識の向上に努めるとともに、通学路を中心に道路の危険な箇所への路面標示や注意喚起看板を設置、また危険な交差点に道路反射鏡を設置することで安全の確保に努めました。

自転車対策事業では、駐輪場利用者が安心して利用できるよう適切に管理するとともに、姫宮駅西口駐輪場の老朽化していた看板を修繕し、利用者の必要な情報を正確に届けられるようにしました。さらに、職員によるパトロールや町民の皆様からの情報提供により発見された放置自転車を適宜撤去することにより、公共空間の美観と安全を確保しました。

防犯活動事業では、地区の要望をもとに防犯灯を設置するとともに、老朽化した防犯灯の交換修繕を実施しました。また、警察との連携により、特殊詐欺被害防止のため、防災行政無線などを通じ防犯情報を町民の皆様へお届けしました。さらに職員による防犯パトロールについても継続して実施しました。

防災活動事業では、防災行政無線システムの維持管理とシステムに連携したサービスの維持に努めました。また、備蓄品などの適正な管理を実施するとともに、備蓄食料の更新時期には、自主防災組織、社会福祉協議会などに配布することで有効活用を図り、併せて備蓄品の保管場所等を見直し、災害時に活用し易い環境を整えました。

みんなで備える防災力強化促進事業（防災コミュニティ促進事業）では、自主防災組織が行う防災資機材の購入や自主防災訓練実施にあたっての費用等について補助金を交付し、自主防災組織の支援に努めました。

消防総務事業では、埼玉東部消防組合を円滑に共同運営するための必要経費を負担しました。また、消防団活動に必要な経費を負担することで、円滑に運営を支援することができました。

地域の力となる地区コミュニティセンター事業（地域コミュニティ活性化事業）では、第5次総合計画に基づき、地域コミュニティや地区・自治会のサポートを行うための地区コミュニティセンター開設に向け、すべての地区自治会を訪ねる、訪問事業を行いました。

進修館オープンカレッジ事業（進修館管理事業）では、第5次総合計画の前期実行計画に基づき、地域づくりを担う人材やグループを生み出すため、様々な世代が定例的に集まり、地域の課題ややりたいことなどを語り合う場を設けました。様々な学び合いや実験的な取り組みを生み出し、参加者同士が触発される場となるよう、指定管理者と連携して、「進修館の修繕ワークショップ」や「スキップ広場に賑わいを！」、「進修館をアートで彩る」をテーマに進修館オープンカレッジを開催しました。

■ 令和5年度後期実行計画

地域の力となる地区コミュニティセンター事業	48
進修館オープンカレッジ	53
みんなで備える防災力強化促進事業	65

■ 本年度の主要事業

地域コミュニティ活性化事業	103
市民活動推進事業	104
交通安全対策事業	105
自転車対策事業	107
防犯活動事業	108
防災活動事業	109
災害に強いまちづくり啓発事業	110
進修館管理事業	111
消防総務事業	112

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
27,973,000	24,827,516	0	0	0	3,300,000	21,527,516

[主な実施内容]

■豊かな地域づくり推進事業費補助金の交付

地域コミュニティの活性化を図り、住みよい豊かなまちづくりを推進するために地区・自治会に対して補助金を交付しました。

(単位 円)

事業名	内容	5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
コミュニティ活動支援事業	各地区、自治会のコミュニティ活動	5,793,400	△41,700	5,835,100	5,890,000
	地域敬老会開催活動	3,352,000	723,175	2,628,825	1,826,205
	コミュニティ掲示板の維持管理運営	196,286	△231,069	427,355	303,479
地域カステッパップ事業	地域の問題解決につながる活動	0	0	0	0
	花いっぱい活動	45,000	0	45,000	30,000
	地区連絡会活動	0	0	0	0
合 計		9,386,686	450,406	8,936,280	8,049,684

■集会所の修繕・維持管理経費の補助

(単位 円)

	5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
修 繕 補 助 金	2,953,000 10 集会所	1,326,000 3 集会所	1,627,000 7 集会所	2,953,000 15 集会所
集 会 所 借 地 料 固定資産税部分等の補助金	765,331 14 集会所	△2,741 0 集会所	768,072 14 集会所	760,387 14 集会所

■自治会長等報償金の交付

(単位 円)

	5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
交 付 地 区 数	76	0	76	76
交 付 額	8,388,800	△119,200	8,508,000	8,578,400

76地区の区長・自治会長に自治会長等報償金を交付しました。

■コミュニティ助成事業助成金の交付

川端姫川連合自治会 1,900,000 円 (コミュニティ活動備品の整備)

宮代台自治会 1,400,000 円 (テーブル他コミュニティ活動備品の整備)

■地区連絡会の開催

区長・自治会長同士で情報の共有や意見交換を行うため、町内4か所で地区連絡会を開催しました。各課からの連絡事項及び資料配布、区長・自治会長間での情報交換を行いました。

[成 果]

地域コミュニティの活性化のため、令和5年度は76の地区・自治会に対してさまざまな補助金を交付しました。

豊かな地域づくり推進事業費補助金については、地域コミュニティの活性化を図る事業や地域敬老会の開催運営費、地区・自治会活動の連絡手段であるコミュニティ掲示板の維持管理等に活用され、各地区自治会のコミュニティ活動の推進に寄与しました。

集会所の修繕・維持管理経費については、エアコン交換工事など、集会所の快適性を向上させるとともに、光熱費コスト削減や環境面の負荷軽減にも貢献することができました。

市民活動推進事業

[地域振興担当]

決算書 P70

5年度予算 (円)	5年度決算 (円)	5年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
3,117,000	3,057,773	0	0	0	0	3,057,773

[主な実施内容]

■町民まつりの開催

宮代町民まつりを4年ぶりに2日間開催しました。

コロナ禍前の賑わいを取り戻し、2日間で12,000人もの来場者がありました。

事業名	期 日	場 所
第40回宮代町民まつり	8月19日(土) 8月20日(日)	進修館周辺

■クリーン古利根の実施

郷土の豊かな自然を守り、美しく住みよい環境を作る活動の一環として、クリーン古利根を実施しました。

事業名	期 日
クリーン古利根	3月3日(日)

[成 果]

多くの町民が事業を実施することで、自分達が住む地域を自分達で美しくしていくとともに、地域コミュニティの活性化にもつながりました。

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
14, 274, 000	10, 572, 909	0	0	0	0	10, 572, 909

[主な実施内容]**■交通安全運動の実施**

41, 016 円

春・夏・秋・冬の交通安全運動期間中、広報車巡回による広報活動を実施しました。

春の全国交通安全運動	夏の交通事故防止運動	秋の全国交通安全運動	冬の交通事故防止運動
5 月 1 1 日～2 0 日	7 月 1 5 日～2 4 日	9 月 2 1 日～3 0 日	1 2 月 1 日～1 4 日

・交通安全運動出陣式

開 催 日	5 月 6 日	9 月 1 6 日
開催場所	杉戸町役場駐車場	スキップ広場
内 容	春の全国交通安全運動	秋の全国交通安全運動

・街頭キャンペーン

開 催 日	5 月 1 2 日	7 月 1 9 日	9 月 2 2 日	1 2 月 5 日
開催場所	ピアシティ宮代	東武動物公園駅西口	ピアシティ宮代	ピアシティ宮代
内 容	春の全国交通安全運動	夏の交通事故防止運動	秋の全国交通安全運動	冬の交通事故防止運動

■交通指導員による交通指導等

574, 742 円

通学時における児童等への交通指導を実施しました。

◇児童等への通学時における交差点での交通安全指導

◇交通安全運動（年 4 回）期間中の広報車両による広報活動 2 人×4 4 日 計 8 8 人

◇各小学校における交通安全教室 1 2 人

◇登校指導連絡会議（笠原小学校、百間小学校） 6 人

■交通安全母の会による啓発活動

120, 000 円

◇高齢者世帯に対するお達者訪問を行い地域における交通安全の啓発活動を実施しました。

実施日	訪問地区	訪問軒数	参加者数	備 考
5 月 2 2 日	中島	7 0	6 人	啓発チラシ等ポスティング
1 0 月 1 1 日	宮東	9 8	6 人	啓発チラシ等ポスティング
1 1 月 8 日	宮東	1 1 9	5 人	啓発チラシ等ポスティング
計		2 8 7	1 7 人	

◇街頭キャンペーン

春の全国交通安全運動	5 月 1 2 日	6 人参加
夏の交通事故防止運動	7 月 1 9 日	3 人参加
秋の全国交通安全運動	9 月 2 2 日	4 人参加
冬の交通事故防止運動	1 2 月 5 日	3 人参加

■交通安全施設の新設・修繕

9,592,531 円

路面標示、道路照明灯、道路反射鏡等交通安全施設の新設及び修繕を行いました。

項目	工事数		金額（円）
	新設	修繕	
道路標示等工事	0カ所	5カ所	4,851,000
道路照明灯整備工事	0基	8基	713,900
道路反射鏡設置及び修理工	4基	16基	1,604,680

■道路標示等工事の実施

	実施箇所 (交差点名称等)	対策内容
修 繕	川端1丁目	外側線、丁字マーク、路面標示「学童注意」「止まれ」「交差点注意」
	字東	実線、破線、グリーンベルト、丁字マーク、路面標示「止まれ」
	字姫宮	実線、破線、十字マーク
	和戸3丁目	実線、グリーンベルト、十字マーク、丁字マーク 路面標示「通学路」「止まれ」
	字西原	実線、破線、グリーンベルト、十字マーク、丁字マーク 路面標示「スクールゾーン」「止まれ」

[成 果]

交通指導員による児童等への交通指導や交通安全母の会による広報活動により、交通ルールへの遵守と交通マナーに関する意識の向上を図ることができました。

また、道路反射鏡や路面標示といった交通安全施設の設置や修繕を進めたことで、道路の安全が確保され、交通事故を起こしにくい環境を整備することができました。

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
7,049,000	6,206,206	0	0	0	5,648,942	557,264

【主な実施内容】

■放置自転車の撤去

安全な道路環境を確保するため、通行に支障となる放置自転車の撤去を行いました。

放置自転車撤去台数

(単位 台)

	5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
放置自転車撤去台数	74	△16	90	92

放置自転車の場所別の撤去台数

(単位 台)

	放置禁止区域			放置禁止 区域以外	合計
	和戸駅周辺	東武動物公園駅周辺	姫宮駅周辺		
放置自転車撤去台数	3	24	23	24	74

■放置自転車の有効活用（リユース）

引き取り手のない放置自転車を宮代町自転車再利用促進会へリユース販売しました。

販売台数 7 台（収入 5,950 円）

■町営駐輪場の維持管理

5,390,044 円

町営駐輪場の業務をシルバー人材センターへ管理委託しました。

使用料収入

(単位 円)

施設名	5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
和戸駅第 1 駐輪場	2,405,950	△43,300	2,405,950	2,650,550
和戸駅第 2 駐輪場	844,050	△94,150	938,200	1,212,400
姫宮駅西口駐輪場	2,336,950	△56,900	2,393,850	2,426,500
計	5,586,950	△194,350	5,781,300	6,289,450

■駐輪場整備工事

239,800 円

工 事 名	金 額
姫宮西口駐輪場看板新規交換工事	239,800 円

【成 果】

町内パトロールや住民からの連絡により、放置された自転車を撤去・保管するとともに町営駐輪場に盗難防止ポスターを掲示する等利用者が必要とする情報の提供に努めました。

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
14,038,000	11,603,974	0	0	0	0	11,603,974

[主な実施内容]

■防犯パトロールの実施

職員による青色回転灯を使用した防犯パトロールを実施しました。

- ・パトロール106回（週2回、但し、12月・1月は週3回実施）

令和5年4月4日～令和6年3月29日

■防犯灯の新設

217,800 円

- ・防犯灯設置工事 11カ所

■防犯灯の維持管理

9,626,456 円

維持管理内容	金額 (単位：円)
防犯灯電気料	8,537,456
器具交換（旧型LED→一体型LED）	586,300
その他（器具の撤去、移設、点検等）	502,700

■防災・防犯マスター講座の実施

防災・防犯力の向上を目指し、密接な関係にある防災と防犯を総合的に学べるよう、防災・防犯マスター講座を実施しました。

参加者：9名

実施日：7月19日、8月24日、9月22日、10月15日、11月17日、12月15日

[成 果]

防犯灯を新設または修繕することにより、危険な道路も明るく安心して通行できるようになりました。老朽化した防犯灯も最新型のものに交換しました。

また、防犯パトロールにおいては、犯罪の抑止力や事件の早期解決に役立つドライブレコーダーをパトロール車両に設置して、動く防犯カメラとして町内の警戒にあたりました。

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
25, 131, 000	22, 138, 324	0	0	6, 900, 000	0	15, 238, 324

[主な実施内容]

■防災行政無線の維持管理

2, 937, 175 円

維 持 管 理 内 容	金 額 (単位 : 円)
防災行政無線電波使用料	76, 500
防災行政無線固定局電気料	436, 463
防災行政無線テレホンサービス 5 回線 (利用件数 2, 984 件)	383, 555
防災行政無線遠隔制御器電話料	1, 837, 044
埼玉県防災行政無線専用回線使用料	203, 613

■防災行政無線連携システムの維持管理

2, 196, 079 円

維 持 管 理 内 容	金 額 (単位 : 円)
防災行政無線連携システム電話回線使用料	259, 529
防災行政無線連携システム管理委託料 (登録制メール)	106, 150
防災行政無線連携システム改修委託料	1, 170, 400
テレビ埼玉 (テレ玉) 市町村データ放送サービス利用料	660, 000

■防災通信機器の維持管理

120, 544 円

維 持 管 理 内 容	金 額 (単位 : 円)
災害時優先電話・災害用携帯電話 電話料	120, 544

■防災施設維持管理

645, 700 円

維 持 管 理 内 容	金 額 (単位 : 円)
浄水機 (2 台)、発電機 (6 台) 保守点検料	99, 000
防災用施設修繕料	546, 700

■防災行政無線施設保守業務委託

6, 099, 500 円

■防災行政無線更新工事

6, 976, 200 円

[成 果]

防災行政無線システムの機器の更新や改修工事を行うことで、防災行政無線フリーダイヤル (ミヤシロオーツー) や防災・防犯情報を配信する登録制の町民メール、テレビ埼玉 (テレ玉) のデータ放送などの防災行政無線と連携したサービスを維持し、住民に対する多角的な防災情報の発信を行いました。

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
218,000	78,609	0	0	0	0	78,609

[主な実施内容]

■地域防災訓練の実施

新型コロナウイルス感染症の影響により、これまで、感染拡大防止のために開催規模を縮小するなどの対応を行ってきましたが、5 類へ移行したことに伴い、数年ぶりに制限のない開催となりました。自主防災組織、宮代町消防団、赤十字奉仕団などの防災関係団体を構成メンバーとした実行委員会により訓練種目の検討や運営などを行い、市民参加による体験型の訓練を実施しました。

訓練当日はあいにくの雨となり、校庭で行う訓練は一部中止となりましたが、体育館で実施可能な訓練のほか、要支援者疑似体験、防災関係用品の展示などを行いました。

- ① 実施日 令和5年10月15日(日)
- ② 場所 宮代町立百間小学校 体育館
- ③ 参加人数 500人
- ④ 訓練内容 住民避難訓練／救援物資搬送訓練／要支援者救出・搬送訓練／炊出し訓練
ハイゼックス訓練／ロープ結索訓練／救命講習体験／応急手当訓練 など

■避難所開設訓練の実施

勤務時間外に震度6弱の地震が発生したことを想定し、避難所を自動開設するための訓練として、町内の10カ所の避難所を対象に、鍵開け担当者による避難所の開錠の実践と避難所開設セットの確認・運搬訓練を行いました。その後、公民館グループと学校体育館グループに分かれて2カ所の訓練会場へ移動し、避難所運営班の資機材搬入と合流し協力して避難所の設営を行いました。さらに設営後、高齢者や障がい者などの避難者を想定した受け入れ訓練を行いました。

- ① 実施日 令和6年1月13日(土)
- ② 場所 宮代町立前原中学校 体育館、川端公民館
- ③ 参加人数 60人

[成 果]

地域防災訓練では、地震を想定した避難訓練や応急手当訓練、要支援者救出・搬送訓練などを実施したほか、越生町と相互に救援物資搬送訓練を実施し、自主防災組織をはじめとした関係団体との連携を強化しました。また、ペット防災の啓発や防災グッズの展示などの防災啓発を行い、住民の自助意識の高揚を図りました。

避難所開設訓練では、地震による災害発生時により近い状況において、職員がスムーズに避難所を開設するための実践的な訓練を実施したことで、資機材搬入時の課題を見つけることができ、保管場所の改善につなげることができました。また、避難者を様々な配慮が必要な住民に見立てることで、受付から避難場所への誘導や感染症への対応、ペットの配置場所などの多くの課題を見つけることができました。

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
87, 976, 000	87, 927, 000	742, 000	0	38, 700, 000	200, 000	48, 285, 000

※令和4年度からの繰越分を含みます。

[主な実施内容]

進修館の管理運営を行いました。

■大ホール及び2階ロビーの空調設備改修工事の実施

■進修館敷地内カミキリ被害樹木伐採伐根工事の実施

■進修館の利用状況

令和5年度は359日開館しました。

・進修館

		5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
大ホール	利 用 件 数	467	116	351	326
	利 用 人 数	21, 595	△2, 419	24, 014	43, 498
小ホール	利 用 件 数	304	△85	389	363
	利 用 人 数	7, 431	701	6, 730	6, 295
集 会 室	利 用 件 数	475	△49	524	347
	利 用 人 数	3, 482	273	3, 209	1, 277
研 修 室	利 用 件 数	488	77	411	314
	利 用 人 数	5, 559	605	4, 954	3, 135
食 堂	利 用 件 数	377	45	332	260
	利 用 人 数	4, 590	791	3, 799	3, 627
和 室	利 用 件 数	582	50	532	415
	利 用 人 数	3, 655	396	3, 259	2, 533
茶 室	利 用 件 数	292	70	222	176
	利 用 人 数	1, 285	424	861	648
談 話 室	利 用 件 数	558	93	465	447
	利 用 人 数	3, 557	1, 072	2, 485	2, 426
2階ロビー	利 用 件 数	146	△28	174	99
	利 用 人 数	3, 835	2, 622	1, 213	1, 454
芝生広場	利 用 件 数	40	△23	63	29
	利 用 人 数	1, 742	929	813	604
合 計	利 用 件 数	3, 729	266	3, 463	2, 776
	利 用 人 数	56, 731	5, 394	51, 337	65, 497

・スキップ広場

		5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
スキップ広場	利 用 件 数	133	△64	197	71

[成 果]

施設の貸出では、新型コロナウイルス感染症対策による利用制限等の影響を受けながらも、地域住民や町内外の市民活動団体等の活動拠点として、集会、各種学習、市民活動等に利用され、地域住民の交流や各種団体による市民活動の推進に寄与しました。

また、大ホール及び2階ロビーの空調設備改修工事により、快適な施設利用ができるようになりました。

消防総務事業

[交通安全・消防担当]

決算書 P164

5年度予算 (円)	5年度決算 (円)	5年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
548,033,000	539,068,280	0	0	0	3,504,736	535,563,544

[主な実施内容]

■埼玉東部消防組合負担金

513,120,000円

常備消防を受け持つ埼玉東部消防組合に負担金を支出しました。

(町内における火災・救急の状況)

火災発生状況(令和5年1月1日～令和5年12月31日) 16件

救急出場件数(令和5年1月1日～令和5年12月31日) 1,958件

■消防団の事業運営

2,890,000円

消防設備の各種点検を実施するとともに、消防団員の知識・技術の向上を図るため各種研修及び訓練活動等については、感染防止対策をしながら実施しました。

・消防団員総数及び入退団状況

	団員数(4/1現在)	男性	女性
令和3年度	90	82	8
令和4年度	90	82	8
令和5年度	89	81	8

・団員出動状況

出動種別	回数	延べ人数	備考
火災	7回	176人	※うち応援出動3回・69人
訓練等	102回	1,281人	
広報・指導	3回	18人	救命講習指導(女性団員)
警戒	16回	140人	

・団員研修状況

研修名	開催日	場所	参加人数
県消防協会久喜支部 (新任団員基礎教育研修)	令和5年6月11日	久喜消防署	3人
県消防協会久喜支部 (消防団幹部教育研修)	令和5年9月10日	久喜消防署	5人
県消防協会 (住宅用火災報知器設置推進指導員研修)	令和5年9月16日	WEB研修	1人
県消防協会 (新任団員基礎教育研修)	令和6年2月3日	埼玉県消防学校	1人
県消防協会 (消防団員幹部科・現場指揮課程研修)	令和6年1月12日 1月13日	埼玉県消防学校	1人
県消防協会 (消防団員幹部科・分団指揮課程研修)	令和6年2月17日	埼玉県消防学校	1人

・特別点検の実施

令和5年11月19日、前原中学校グラウンドにおいて、特別点検を実施しました。

・役員（副分団長以上）会議の実施

令和5年4月2日、7月9日、10月20日、令和6年1月14日 4回実施

■消火栓の管理

5,085,159 円

- ・消火栓交換及び修繕 4ヵ所

[成 果]

新型コロナウイルス感染症が原因と思われる救急搬送の数が増加傾向にありましたが、消防組合及び消防団の活動が円滑に推進され、火災発生時や救急要請に対する迅速な対応が図れました。消防団については、年2回の統一訓練を実施することで消防団員の練度の維持に努めました。広域消防による応援が3回と例年より多い出動回数となりました。また、救急救命講習会や自主防災組織の防災訓練、防災リーダー養成講座等についても、消防組合職員や消防団員の協力により開催することができました。

環 境 資 源 課

■ 本年度の成果

環境資源課では、町民の皆様の快適な生活環境の保全・向上を図るために、以下の事業に取り組みました。

西原自然の森活用事業（里山体験事業編）では、第5次総合計画の前期実行計画事業として、福祉課、教育推進課など複数課・担当の連携による、福祉、文化及び自然という3つのテーマが融合したイベント「西原自然の森フェスタ&すてっぷまつり」を開催しました。環境資源課は、会場にある竹を活用したあそび体験を行いました。

公害防止対策事業では、不法投棄対策として、警告看板の設置と投棄物の迅速な処理を行いました。

空き家対策事業では、従来の対策に加え、宮代町空家等対策協議会を設置するとともに、宮代町管理不全空家等の適正管理に関する条例を制定しました。

環境推進事業では、ゼロカーボンシティ宣言を踏まえた取り組みを着実に進めるため、令和5年度は、町内公共施設への太陽光発電導入調査を実施し、導入可能規模や費用等の把握を行いました。

狂犬病予防事業では、引き続き飼い犬に対する狂犬病予防注射の実施の促進に努めました。また、飼い犬の登録事務、飼い主のマナー向上と飼い犬の正しいしつけのための、犬のしつけ方教室を開催しました。

合併処理浄化槽設置推進事業では、汲取り便槽及び単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換促進のための補助金の交付を行いました。

環境衛生事業では、地区・自治会による側溝等の清掃活動の支援や、空き地の適正管理促進のための現地確認と是正指導文書の送付、野良猫の繁殖抑制（TNR）やえさ・トイレの適正管理促進などを行いました。

他方、久喜宮代衛生組合が令和8年度末をもって解散するため、ごみ及びし尿業務の町への円滑な移管に向けて、久喜宮代衛生組合の業務の変更及び北本地区衛生組合への加入のための規約の変更を行いました。また、宮代町廃棄物の処理及び再利用に関する条例を制定し、令和6年4月から、町においてごみ（粗大ごみを除く）収集及びし尿収集、北本地区衛生組合においてし尿処理を行う体制を整えました。

また、久喜市新ごみ処理施設整備に係る費用及び運営にかかる町の費用負担について、久喜市と協定を締結しました。

減量推進事業では、食品ロス削減推進に向けた取り組みを実施するため、食品ロス削減推進キャラクターを決定するとともに、食品ロス削減推進協力店制度を開始しました。

■ 令和5年度前期実行計画

西原自然の森活用事業（里山体験事業編） ----- 27

■ 本年度の主要事業

公害防止対策事業 ----- 117
環境推進事業 ----- 117

空き家対策事業	-----	117
狂犬病予防事業	-----	118
合併処理浄化槽設置推進事業	-----	119
環境衛生事業	-----	119
広域利根斎場組合負担金事業	-----	120
清掃総務事業	-----	120
減量推進事業	-----	121
塵芥収集事業	-----	122

公害防止対策事業

〔環境推進担当〕

決算書 P72

5年度予算 (円)	5年度決算 (円)	5年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
201,000	123,774	0	102,000	0	0	21,774

[主な実施内容]

■公害防止対策の実施

不法投棄処理状況			家電4品目の不法投棄状況(宮代町対応分)			
家庭ごみ	粗大ごみ	その他	テレビ	洗濯機・乾燥機	冷蔵庫	エアコン
50件	5件	0件	0台	0台	1台	0台
合計	55件		合計	1台		

[成 果]

野外焼却や不法投棄などによる環境汚染を防止するため、通報等への迅速な対応、パトロール及び不法投棄が心配される場所に対する警告看板の設置を実施し、環境美化に努めました。

環境推進事業

〔環境推進担当〕

決算書 P72

5年度予算 (円)	5年度決算 (円)	5年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
5,599,000	5,498,460	4,116,000	0	0	0	1,382,460

[主な実施内容]

■公共施設太陽光発電導入調査の実施

5,489,000円

町内公共施設における脱炭素化を進めるため、太陽光発電設備の導入に向けて、導入可能規模や費用に関する調査及び検討を実施しました。

[成 果]

導入調査を実施したことにより、町内公共施設の太陽光発電設備導入可能規模や費用を把握することができました。

空き家対策事業

〔環境推進担当〕

決算書 P74

5年度予算 (円)	5年度決算 (円)	5年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
622,000	169,712	0	0	0	0	169,712

[主な実施内容]

■空家等対策協議会の開催

会 議	期 日	出席者数	主な内容
第1回協議会	令和5年 8月 4日	11人	協議会概要、空家等対策の概要
第2回協議会	令和5年10月24日	11人	法律、条例等の概要
第3回協議会	令和5年12月19日	10人	空家等対策条例及び規則の検討

[成 果]

協議会での検討を踏まえて、非常時や緊急時に空き家から発生する危険や被害を防止するために「宮代町管理不全空家等の適正管理に関する条例」を制定しました。

狂犬病予防事業

[環境推進担当]

決算書 P128

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
313,000	204,144	0	0	0	204,144	0

[主な実施内容]

■犬の登録事務

(単位 頭数)

内 容	5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
犬 の 新 規 登 録	117	2	115	142
狂犬病予防注射済票の交付	1,138	△67	1,205	1,246
犬 の 鑑 札 の 再 交 付	4	1	3	0
狂犬病予防注射済票の再交付	3	1	2	0
登録総頭数(年度末)	1,603	△20	1,623	1,644

■狂犬病予防集合注射の実施

(単位 頭数)

会 場	5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
宮 代 町 保 健 セ ン タ ー	70	△4	74	89
す て っ ぶ 宮 代 駐 車 場	37	1	36	35
川 端 公 民 館	58	△12	70	71
和 戸 公 民 館	58	9	49	63
ぐるる宮代第一駐車場	52	△6	58	41
東 条 原 集 会 所	—	—	—	19
宮 代 消 防 署 駐 車 場	27	8	19	—
計	302	△4	306	318

■犬のしつけ方教室

	5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
参 加 人 数	23	23	—	19

※令和4年度は使用会場の都合により、開催を見合わせました。

[成 果]

狂犬病予防集合注射を6会場で実施し、狂犬病発生の防止と公衆衛生の向上に努めるとともに、狂犬病予防注射未実施者に対しては再通知を行い、接種率の向上に努めました。

合併処理浄化槽設置推進事業

〔環境推進担当〕

決算書 P136

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
5,568,000	2,166,000	1,083,000	800,000	0	0	283,000

[主な実施内容]

■合併処理浄化槽設置整備補助金の交付

単独処理浄化槽から合併処理浄化槽に転換した住宅等に対し、設置費用の一部を補助しました。

		5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
転 換 補 助	件 数 (件)	4	△2	6	8
	補助金額 (円)	2,166,000	△1,176,000	3,342,000	4,320,000

[成 果]

単独処理浄化槽から合併処理浄化槽へ転換した4件の住宅等に補助金を交付しました。これにより、公共用水域における水質汚濁防止を推進しました。

環境衛生事業

〔環境推進担当〕

決算書 P136

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
3,422,000	2,643,207	0	388,300	0	104,500	2,150,407

[主な実施内容]

■側溝等清掃たい積物の適正処分

地域の方々に実施していただいた春季及び秋季地区清掃（側溝等清掃）活動に伴い、カマス袋を配布し、汚泥の回収処分を実施しました。

カ マ ス 袋 の 配 布	約 2,200 枚
側溝等清掃汚泥運搬業務委託	23.46 t × 40,000 円 × 1.10 = 1,032,240 円

■あき地環境保全

快適な生活環境の保全及び火災予防・防犯のため、雑草等が繁茂している土地所有者に対し適切な管理を促す指導・助言を行いました。

			地 権 者 数	筆 数
令和 5 年度	把 握 面 積	208,103 m ²	241	475
	要 是 正 面 積	140,167 m ²	156	301
令和 4 年度	把 握 面 積	215,863 m ²	258	486
	要 是 正 面 積	159,071 m ²	189	354
令和 3 年度	把 握 面 積	207,860 m ²	249	480
	要 是 正 面 積	126,619 m ²	167	294

■犬猫等の死骸処理状況

町道上の犬猫等の死骸を処理し、環境衛生の向上に努めました。

	犬	猫	ためき	その他	計
処理件数	0 件	2 0 件	3 件	3 9 件	6 2 件

※その他⇒カラス・ハト等

■野良猫の繁殖抑制等の実施

猫対策（地域猫活動）の一環である野良猫の繁殖抑制（TNR）を進めるため、埼玉県飼い主のいない猫の不妊・去勢手術推進事業補助金等を活用してボランティア団体への支援等を行い、245匹の野良猫の不妊手術を行いました。

■環境問題処理状況

住民からの苦情により現地調査等を行い、対応可能な範囲で環境問題解決に努めました。

雑草・樹木	不法投棄	猫相談	野外焼却	水質	騒音・振動	その他	計
5 5 件	5 5 件	3 1 件	2 7 件	2 件	1 4 件	9 2 件	2 7 6 件

※その他⇒空き家・空き地、害虫対応等

[成 果]

側溝等清掃たい積物（汚泥）の処分を行ったほか、土地所有者等に対する空き地の適正な管理について指導を行いました。それにより、側溝からの害虫の発生抑制や、空き地における火災や犯罪を防止し、安心安全な地域の住環境の確保に貢献しました。

また、野良猫の繁殖抑制（TNR）や、えさ・トイレの適正な管理のための啓発を行うことによって、猫を起因とする地域の環境問題の解決につなげることができました。

広域利根斎場組合負担金事業

〔環境推進担当〕

決算書 P138

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
12,659,000	12,659,000	0	0	0	0	12,659,000

[主な実施内容]

■広域利根斎場組合負担金

12,659,000 円

■メモリアルトネの使用状況

		5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
人	死 亡 件 数	407	△47	454	376
	利 用 件 数	266	△22	288	229
小 動 物	利 用 件 数	135	△37	172	133

[成 果]

広域利根斎場組合が管理運営する火葬場及び葬祭場において、266件の利用がありました。

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
583,067,000	582,967,385	0	0	0	0	582,967,385

[主な実施内容]

■久喜宮代衛生組合負担金

582,896,000 円

塵芥及びし尿の収集・処理を受け持つ久喜宮代衛生組合に負担金を支出しました。

・資源回収状況 (宮代町分)

(単位 t)

種 別	5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
可 燃 系	1,113	△227	1,340	1,483
不 燃 系	470	△106	576	620
プラスチック系	771	△228	999	1,008
計	2,354	△561	2,915	3,111

・ごみ搬入量 (宮代町分)

(単位 t)

種 別	5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
燃 や せ る ご み	6,270	51	6,219	6,146
燃 や せ な い ご み	234	△74	308	338
粗 大 ご み	140	△12	152	166
有 害 ご み	30	△6	36	37
計	6,674	△41	6,715	6,687

・し尿収集量 (宮代町分)

(単位 kl)

種 別	5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
し 尿	343	△349	692	579

[成 果]

ごみ6,674t 及びし尿343klを適正に処理することにより、町内の清潔な環境を維持し、また、腐敗物等による悪臭等の防止を図ることで地域の環境衛生が向上しました。

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
150,000	150,000	0	75,000	0	0	75,000

【主な実施内容】

■宮代町食品ロス削減推進キャラクターの決定

25,683 円

食品ロス削減推進に向けた取り組みを実施するため、食品ロス削減推進キャラクターの募集を行い、環境団体や商工会関係者などの協力のもと審査会を実施しました。

【成 果】

58 作品の応募があり、市民参加による審査の結果「すてずん」に決定しました。また、その他優秀賞 2 点、特別賞 1 点が選ばれました。

このほか、教育委員会発行の食育だよりや町内商店会のちらしにおいて食ロス削減の啓発記事に活用されました。



宮代町食品ロス削減推進キャラクター
「すてずん」

消費者の目をまっすぐ見つめて「これいるか?」、「こんなにいるか?」、「どのくらいいるか?」と無駄買いや買いすぎを防ぐ言葉をかけてくれます。
イルカに間違われることが多いですが、実は宮代産の人参の妖精です。

■宮代町食品ロス削減推進協力店の募集

124,317 円

食品ロス削減を推進するため「宮代町食品ロス削減推進協力店」の募集を行いました。

食品ロス削減の取り組みを実施している飲食店等を対象とし、登録した協力店の食品ロス削減の取り組み内容とお店の紹介を町ホームページに掲載しました。

【成 果】

8 店舗を協力店として登録しました。協力店には、町食品ロス削減推進キャラクター「すてずん」を用いたステッカー及びオリジナル缶バッジを配布し、取り組みの PR に活用していただきました。



5年度予算 (円)	5年度決算 (円)	5年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
3,583,000	2,789,619	0	0	0	190,700	2,598,919

【主な実施内容】

令和6年度から町においてごみ収集業務を実施するにあたり、ごみの分別及び収集日等の周知を行うためのカレンダー等を作成しました。

■家庭ごみ・資源物収集カレンダー等の作成

1,177,836 円

- ・家庭ごみ・資源物収集カレンダー 19,500部
(1ブロック5,500部、2ブロック14,000部)
- ・家庭ごみ・資源物収集表外国語版 1,200部
(英語、中国語300部ずつ、スペイン語、ポルトガル語、ベトナム語、タガログ語150部ずつ)

■ごみ分別アプリ導入業務委託

220,000 円

- ・宮代町ごみ分別アプリの作成

■分別指導シールの作成

657,800 円

- ・313,000枚(18種類)

■ごみ集積所用看板の作成

398,200 円

- ・家庭ごみ・資源物集積所看板 200枚
- ・家庭ごみ・資源物集積所看板修正用シール 2,000枚

■有料広告主の募集

- ・家庭ごみ・資源物収集カレンダーへの有料広告申込数 12社(19枠)

【成 果】

令和6年4月1日からのごみの分別方法及び収集日の周知等の準備を行い、住民の方のごみ出しと委託業者によるごみ収集に支障が出ないよう体制を整えました。

また、家庭ごみ・資源物収集カレンダーへの有料広告の掲載を行い、財源確保に努めました。

福 祉 課

■ 本年度の成果

令和5年度におきましては、宮代町にお住まいの皆様が、住みなれた地域で、生涯にわたって安心して自立した生活が送れるよう、社会福祉関係団体への支援や各事業を実施し、住民福祉の向上に努めました。また、令和6年度からの取組みを定めた「宮代町地域福祉計画」及び「宮代町健康福祉プラン障がい者編」を策定しました。

社会福祉関係では、社会福祉協議会及び民生委員・児童委員協議会に補助金を交付するとともに、地域福祉を支える団体やその活動を支援し、誰もが安心して暮らせる地域社会づくりに寄与しました。

電力・ガス・食料品等価格高騰対策では、住民税非課税世帯等を対象にした物価高騰対策支援金を給付しました。

また、障がいのある方や要介護高齢者、妊産婦の方など歩行が困難な方や移動の際に配慮が必要な方のための駐車区画の利用証を交付する「埼玉県思いやり駐車場制度」が始まったことに伴い、町内公共施設の駐車区画の一部をカラー塗装するとともに、埼玉県思いやり駐車場制度の駐車区画として登録を行い利便性の向上を図りました。

障がい者福祉関係では、障がいのある方が自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、第5期障がい者基本計画、第6期障がい福祉計画、第2期障がい児福祉計画に基づき、各種障がい福祉事業を実施することにより、障がいのある方の身体的・経済的負担及びその介護者の負担の軽減を図りました。

特に、聴覚障がい関係では、手話への理解、手話の普及及び手話に関する施策の推進のため「宮代町手話言語条例」を制定しました。今後は、条例に基づき計画的に手話施策を実施してまいります。

■ 令和5年度前期実行計画

西原自然の森活用事業（新たな福祉の拠点づくり編） ----- 56

■ 本年度の主要事業

社会福祉事業 -----	126
重度心身障害者医療費支給事業 -----	126
重度心身障害者手当支給事業 -----	127
障害者総合支援事業 -----	127
福祉交流センター運営事業 -----	129
宮代町生活サポート事業 -----	129
介護給付費等支給審査会運営事業 -----	130
障害者地域生活支援事業 -----	130
障害者更生援護事業 -----	132
福祉タクシー等利用料金助成事業 -----	133
物価高騰対策支援金給付事業 -----	133
物価高騰対策支援金追加給付事業 -----	134
障害福祉サービス事業所等支援事業 -----	134

社会福祉事業

〔福祉支援担当〕

決算書 P92

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
37,184,000	35,551,640	0	3,087,530	0	0	32,464,110

※P56 西原自然の森活用事業（新たな福祉の拠点づくり編）の事業費を含みます。

〔主な実施内容〕

■社会福祉関連補助金の交付

社会福祉の向上を図るため、各団体の活動等を支援しました。

(単位 円)

	5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
社会福祉推進事業補助金	24,740,250	5,250	24,735,000	24,236,000
民生委員・児童委員活動費等補助金	4,258,000	△44,230	4,302,230	4,169,540

〔成 果〕

社会福祉推進事業においては、社会福祉協議会等に補助金を交付しました。

社会福祉協議会では、地域福祉の充実を図るため、福祉ボランティアとの連携やひとり暮らし高齢者宅への歳末訪問活動などの事業を展開しました。これらの活動を継続的に実施することで安心・安全な地域福祉の実現に寄与しました。

民生委員・児童委員活動については、主にひとり暮らしの高齢世帯を対象とした訪問活動により、生活状況の把握をすることや介護保険制度等の情報提供など、安心して暮らせる地域社会づくりに寄与しました。

また、第2期宮代町地域福祉計画を策定しました。

重度心身障害者医療費支給事業

〔福祉支援担当〕

決算書 P94

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
59,367,000	56,000,920	0	27,417,093	0	0	28,583,827

〔主な実施内容〕

■重度心身障害者医療費の支給

重度の心身障がいのある方の医療費の自己負担分に対して助成しました。

	5 年度	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
登 録 者 数 (人)	582	△26	608	632
支 給 件 数 (件)	15,400	△198	15,598	14,699
支 給 総 額 (円)	55,093,491	540,876	54,552,615	53,738,591
登録者一人あたりの支給額 (円)	94,662	4,938	89,724	85,029
一 件 あ た り の 支 給 額 (円)	3,577	80	3,497	3,656

※小数点以下、切り捨て

[成 果]

重度の心身障がいのある方 582 人に対して、15,400 件の医療費助成を行い、受給者の経済的負担軽減を図ることができました。

重度心身障害者手当支給事業

[福祉支援担当]

決算書 P94

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
24,658,000	24,247,000	0	7,262,000	0	0	16,985,000

[主な実施内容]

在宅の重度の障がいのある方の経済的な負担を軽減するため、重度心身障害者手当の支給を実施しました。

■ 重度心身障害者手当の支給

		5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
身体 1・2 級 療 育 (A)・A 精 神 1 級	延べ支給人数(人)	4,002	△88	4,090	4,005
	支 給 額(円)	20,010,000	△430,500	20,440,500	20,025,000
身 体 3 級	延べ支給人数(人)	1,116	△17	1,133	1,210
	支 給 額(円)	2,232,000	△34,000	2,266,000	2,420,000
療 育 B	延べ支給人数(人)	802	△10	812	828
	支 給 額(円)	2,005,000	△25,000	2,030,000	2,070,000
合 計	延べ支給人数(人)	5,920	△115	6,035	6,043
	支 給 額(円)	24,247,000	△489,500	24,736,500	24,515,000

[成 果]

在宅の重度の障がいのある方延べ 5,920 人に対して、重度心身障害者手当を支給したことにより、受給者の経済的支援を図ることができました。

障害者総合支援事業

[福祉支援担当]

決算書 P94

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
935,736,000	927,668,193	445,968,327	222,868,663	0	0	258,831,203

[主な実施内容]

障がいのある方に対し、地域で自立した日常生活・社会活動を営むための各種福祉サービスに係る費用（介護給付費・訓練等給付費）、自立支援医療費（更生医療・育成医療）、補装具費を給付し、障がいのある方の生活の支援を実施しました。

また、みやしろ健康福祉プラン障がい者編（第 6 期障がい者基本計画・第 7 期障がい福祉計画・第 3 期障がい児福祉計画）を策定しました。

■介護給付費・訓練等給付費・療養介護医療費

事業名称		5年度 A	増減 A-B	4年度 B	3年度
介護給付費・ 訓練等給付費	利用者数(人)	371	17	354	322
	支出総額(円)	845,037,771	100,030,079	745,007,692	699,298,688
療養介護医療費	利用者数(人)	5	0	5	5
	支出総額(円)	2,806,558	△897,640	3,704,198	3,775,660

■自立支援医療費

事業名称		5年度 A	増減 A-B	4年度 B	3年度
更生医療	利用者数(人)	64	9	55	55
	支出総額(円)	31,900,963	4,238,258	27,662,705	17,109,426
育成医療	利用者数(人)	8	△1	9	10
	支出総額(円)	541,550	29,127	512,423	591,568

■補装具費

事業名称		5年度 A	増減 A-B	4年度 B	3年度
補装具費	延べ交付者(人)	29	△7	36	31
	延べ修理者数(人)	26	6	20	27
	支出総額(円)	5,527,842	842,363	4,685,479	4,739,803

■補装具の種類及び交付・修理延べ件数（児童含む。）

種類	延べ件数	種類	延べ件数	種類	延べ件数
義肢	2件	車いす	10件	補聴器	13件
装具	14件	電動車いす	6件	眼鏡	4件
視覚障害者安全つえ	4件	座位保持装置	2件		
合 計					55件

[成 果]

障害福祉サービスの利用者371人に対し、介護給付費等を給付し、障がいのある方の日常生活や社会生活に必要な支援や訓練の提供に寄与しました。

また、病院等の医療施設で障害福祉サービスを利用している方の医療費を給付する療養介護医療の実施や、身体の機能障がいを軽減・改善するための自立支援医療（更生医療・育成医療）の実施、身体機能を補完するための補装具の購入・修理の費用の給付を行い、利用者の経済的負担および介護者の負担軽減を図ることができました。

福祉交流センター運営事業

〔福祉支援担当〕

決算書 P96

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
3,904,000	3,841,174	0	0	0	0	3,841,174

【主な実施内容】

高齢者や障がいのある方、児童などが気軽に集える交流事業を福祉交流センター陽だまりサロンで実施しました。

■利用状況

(単位 人)

	5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
一 般	709	41	668	552
障 が い 者	21	3	18	38
高 齢 者	2,596	△570	3,166	3,048
小 中 高 生	2,772	2,448	324	73
乳 幼 児	101	44	57	11
合 計	6,199	1,966	4,233	3,722

【成 果】

福祉交流センターにおいて、定期事業（健康体操、さをり織り体験等）のほか、イベントを86回実施し、高齢者や児童等の交流の輪が広まりました。また、施設関係者による利用調整会議を毎月1回開催し、イベントの検証や見直しなど適正な事業運営を行いました。

宮代町生活サポート事業

〔福祉支援担当〕

決算書 P96

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
1,500,000	899,320	0	449,000	0	0	450,320

【主な実施内容】

登録された民間の事業者が実施する、障がいのある方の一時預かりなどの福祉サービスに対して、補助金を交付し、支援しました。

	5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
登 録 事 業 所 数 (数)	13	0	13	12
利 用 数 (人)	14	4	10	10
利 用 時 間 数 (時間)	470.5	151.5	319.0	346.0
支 給 総 額 (円)	899,320	292,350	606,970	661,230

【成 果】

一時預かりや送迎等のサービスを14人に対して提供し、介護者の負担軽減を図ることができました。

介護給付費等支給審査会運営事業

〔福祉支援担当〕

決算書 P96

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
1, 135, 000	844, 800	0	0	0	0	844, 800

【主な実施内容】

審査会を開催し、障害福祉サービスを受けようとする障がいのある方に対し、障害支援区分の審査・判定を行いました。

(単位 人)

	5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
支 給 対 象 者	34	△22	56	93
介 護 給 付 費 の み	20	△9	29	54
介護給付費+訓練等給付費	9	2	7	20
訓 練 等 給 付 費 の み	5	△15	20	19

【成 果】

障害福祉サービスを受けようとする障がいのある方 34 人に対して、障害支援区分の審査・判定及び介護給付費等の支給決定を行い、適切なサービス利用につなげました。

障害者地域生活支援事業

〔福祉支援担当〕

決算書 P96

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
38, 563, 000	30, 992, 191	8, 151, 000	4, 215, 000	0	3, 000	18, 623, 191

【主な実施内容】

障がいのある方が地域で自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、各種事業を実施しました。

また、宮代町手話言語条例を制定し、宮代町手話施策推進方針に基づき事業を実施していきます。

■相談支援事業

	5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
延 べ 利 用 者 数 (人)	830	△95	925	1, 052
支 給 総 額 (円)	7, 563, 104	△13, 960	7, 577, 064	6, 897, 565

■基幹相談支援センター

	5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
支 給 総 額 (円)	2, 505, 603	△4, 626	2, 510, 229	2, 519, 025

■日常生活用具給付等事業

	5 年度 A	増減 A－B	4 年度 B	3 年度
延 べ 利 用 者 数 (人)	706	7	699	764
支 給 総 額 (円)	7,850,556	376,226	7,474,330	8,271,186

■日常生活用具の種類及び支給人数（身体障がい者・重度障がい児（者））

種 類	延べ人数	種 類	延べ人数
ストマ用装具	538 人	移動移乗支援用具	1 人
紙おむつ等	141 人	電磁調理器	1 人
入浴補助用具	2 人	人工喉頭（人工鼻）	12 人
特殊マット	1 人	訓練用ベッド	1 人
特殊寝台	2 人	視覚障害者用時計	1 人
パルスオキシメーター	1 人	拡大読書器	1 人
頭部保護帽	1 人	透析液加温器	1 人
情報通信支援用	1 人	電動対応吸引吸入両用器	1 人
合 計			706 人

■意思疎通支援事業

	5 年度 A	増減 A－B	4 年度 B	3 年度
延 べ 利 用 者 数 (人)	14	0	14	8
支 給 総 額 (円)	768,000	△48,000	816,000	687,000

※支給総額 768,000 円のうち、540,000 円は手話通訳者・要約筆記者の派遣を委託している埼玉聴覚障害者情報センターの事務管理費となっています。

■地域活動支援センター事業

	5 年度 A	増減 A－B	4 年度 B	3 年度
延 べ 利 用 者 数 (人)	999	△6	1,005	1,157
支 給 総 額 (円)	2,768,245	535,377	2,232,868	1,873,963

■移動支援事業

	5 年度 A	増減 A－B	4 年度 B	3 年度
延 べ 利 用 者 数 (人)	470	1	469	548
支 給 総 額 (円)	3,350,934	384,279	2,966,655	3,073,574

■紙おむつ購入費支給事業

	5 年度 A	増減 A－B	4 年度 B	3 年度
登 録 者 数 (人)	46	7	39	39
延 べ 支 給 件 数 (件)	307	41	266	282
支 給 総 額 (円)	1,311,477	218,484	1,092,993	1,102,964

[成 果]

障がいのある方への相談支援、日常生活用具費用の助成、病院等での受診の際の手話通訳者等の派遣、日中の活動の場の提供、外出介助、紙おむつ購入費の支給等、障がいのある方のニーズに応じた利便性の高いサービスを提供したことで、利用者の経済的負担および介護者の負担軽減を図ることができました。

障害者更生援護事業

〔福祉支援担当〕

決算書 P98

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
1,796,000	446,800	0	249,000	0	0	197,800

[主な実施内容]

障がいのある方が地域で自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、各種事業を実施しました。

■在宅重症心身障害児等の家族に対するレスパイトケア事業補助金

	5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
利 用 日 数 (日)	20	0	20	30
支 給 総 額 (円)	280,000	10,000	270,000	300,000

■小児慢性特定疾患児日常生活用具給付金

	5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
支 給 件 数 (件)	2	2	0	2
支 給 総 額 (円)	104,800	104,800	0	90,320

■難聴児補聴器購入費補助金

	5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
支 給 件 数 (件)	1	1	0	1
支 給 総 額 (円)	62,000	62,000	0	200,000

[成 果]

医療的ケアが必要な在宅の重症心身障がい児等を介助する家族の精神的、身体的負担の軽減を図るため、ショートステイ促進事業やデイサービス促進事業を実施する事業者に対し、在宅重症心身障害児等の家族に対するレスパイトケア事業補助金を交付しました。

また、小児慢性特定疾患児日常生活用具給付金、難聴児補聴器購入費補助金の交付により利用者の負担軽減を図ることができました。

福祉タクシー等利用料金助成事業

〔福祉支援担当〕

決算書 P98

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
9,285,000	7,641,369	0	0	0	0	7,641,369

【主な実施内容】

障がいのある方の日常生活の利便性の向上と経済的負担を軽減し、地域で自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、福祉タクシーを利用した場合の利用料金の一部又は自動車燃料費の一部を助成しました。

■福祉タクシー券・自動車燃料費助成券の利用状況

	タクシー券	自動車燃料費助成券	合 計
利 用 人 数 (人)	494	673	1,167
交 付 枚 数 (枚)	15,179	7,368	22,547
利 用 枚 数 (枚)	5,911	5,953	11,864
支 給 額 (円)	3,505,140	3,571,800	7,076,940
手 数 料 (円)	591,100	—	591,100

タクシー券と自動車燃料助成券の併用を選択している場合、両方にカウントしています。

手数料は支給額の内数です。

【成 果】

障がいのある方1,083人に対して、福祉タクシー券・自動車燃料費助成券を交付し、障がいのある方の外出を容易にするとともに、経済的負担軽減を図ることができました。

物価高騰対策支援金給付事業

〔福祉支援担当〕

決算書 P98

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
311,817,000	296,454,726	296,454,000	0	0	0	726

※令和5年度予算のうち、7,000,000円を令和6年度に繰り越しています。

【主な実施内容】

電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい世帯（令和5年度の住民税非課税世帯）に対し、物価高騰対策支援金の給付を実施しました。

【成 果】

住民税非課税世帯等に対して、一世帯当たり10万円(①7月から10月にかけて3万円、②2月から3月にかけて7万円)の給付金を①2,858件②2,901件給付し、経済的支援を図ることができました。

物価高騰対策支援金追加給付事業

〔福祉支援担当〕

決算書 P100

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
181,523,000	10,629,607	10,629,607	0	0	0	0

※令和5年度予算のうち、170,893,393円を令和6年度に繰り越しています。

【主な実施内容】

電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい世帯（令和5年度の住民税均等割のみ課税世帯）に対し、物価高騰対策支援金の給付を実施しました。また、令和5年度の住民税非課税世帯・住民税均等割のみ課税世帯のうち、世帯内で扶養されている18歳以下（平成17年4月2日以降生まれ）の児童がいる世帯に子ども加算金を給付しました。

【成 果】

住民税非課税世帯・住民税均等割のみ課税世帯に対する子ども加算として、一人あたり5万円の加算金を、122件給付し、経済的支援を図ることができました。

※本事業は令和6年度への繰越事業です。

障害福祉サービス事業所等支援事業

〔福祉支援担当〕

決算書 P100

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
900,000	850,000	850,000	0	0	0	0

【主な実施内容】

原油価格、電気料金、ガス料金その他の物価の高騰の影響を軽減し、地域の安定的な福祉サービスの提供を図るため、宮代町内の障害福祉事業所等を運営する者に対し、支援金を支給しました。

【成 果】

障害福祉サービス事業所等に対して、一法人当たり5万円の緊急支援金を17件支給し、経済的支援を図ることができました。

子 育 て 支 援 課

■本年度の成果

令和5年度におきましては、地域に子育ての輪を広げ、こどもたちの夢と笑顔をはぐくめるよう、次のような事業に取り組みました。

こども笑顔担当では、次代の社会を担うこどもたちの健やかな成長に資するため、児童手当の支給を行うとともに、「こども医療費」、「ひとり親家庭等医療費」及び「未熟児養育医療費」の助成により、子育て家庭の経済的負担の軽減を図りました。

また、令和5年10月から新規事業として、妊娠中及び生後1歳になるまでの乳児を育児中の家庭を対象に「産前産後家事・育児サービス利用支援事業」を開始しました。

このほか、物価高騰の影響に対応するための国による緊急経済対策として「子育て世帯生活支援特別給付金給付事業」を実施する一方、町独自の取り組みとして「宮代町子育て世帯応援金給付事業」を実施し、子育て世帯に対する給付金等を支給しました。

「子育てひろば」及び「子育て支援センター」では、子育ての不安や悩みに関する相談や情報発信のほか、保護者向けの子育て講座、三世代交流事業、季節ごとのイベントを開催し、親子や地域住民との交流を図りました。

第5次宮代町総合計画前期実行計画事業である「身近な場所で子育てサロン事業」及び「地域のみんなでこどもたちの居場所づくり事業」においては、地域主体による活動を支援するため、補助金制度を創設しました。

こども保育担当では、子育て家庭が必要とする教育・保育サービスの相談、申請窓口として、各々の家庭に寄り添った対応を行うとともに、「幼児教育・保育の無償化」に基づく給付の支給認定等を適切に実施しました。

前年度に引き続き、国事業として保育士や学童保育所職員を対象とした処遇改善（賃上げ）事業を実施しました。

また、県事業に併せて物価高騰の影響を受けた民間保育施設等に対し、給付金による支援を行いました。

保育所の整備については、令和5年4月に民間認可保育所「宮東保育園」が開所となり、学童保育所については、令和5年4月に笠原小学校「ふじ第二児童クラブ」が開設となりました。

こども安心担当では、支援が必要な世帯に対して、定期的なお弁当や食材等の提供等を通じてこどもや家庭の状況を把握し、さまざまな支援を行いました。

また、ヤングケアラーの実態を把握するため町立小学校児童及び中学校生徒に実態調査を行い、町内小中学校教員に対し、ヤングケアラーに関する研修を開催しました。

子育て援助活動を支援する事業として、「ファミリーサポートセンター運営事業」及び「緊急サポート運営事業」を実施しました。

町立保育園では、家庭との緊密な連携・協力体制のもと、安心、安全な保育環境を確保するとともに、一人ひとりの個性や発達過程を踏まえながら、こどもたちの主体性や豊かな感性、表現力を育むことを目標に掲げ、保育を実施しました。

また、引き続きみやしろ保育園においては、「障害児デイサービス事業」「病児保育・病後児保育事業」「一時預かり保育事業」を実施し、様々な保育ニーズに即した子育て支援策を実施しました。

なお、令和6年度に策定予定の「宮代町こども計画」の基礎資料とするため、アンケート調査を実施しました。

■ 令和5年度前期実行計画

身近な場所で子育てサロン事業	50
地域 みんなでこどもたちの居場所づくり事業①	51

■ 本年度の主要事業

学童保育所運営事業	137
ひとり親家庭等の医療費支給事業	138
児童福祉対策事業	138
こども医療費支給事業	139
みんなで子育て！こども未来事業	140
障害児デイサービス事業	142
未熟児養育医療費給付事業	143
私立幼稚園運営支援事業	143
緊急サポート運営事業	144
ファミリーサポートセンター運営事業	145
子育てのための施設等利用給付事業	146
子ども家庭総合支援事業	146
産前産後家事・育児サービス利用支援事業	147
子育て世帯生活支援特別給付金給付事業	148
宮代町子育て世帯応援金給付事業	148
児童手当支給事業	148
みやしろ保育所運営事業	149
国納保育所運営事業	150
保育所管理事業	151

5年度予算 (円)	5年度決算 (円)	5年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
176,314,000	176,259,437	43,683,000	45,057,000	0	37,233,630	50,285,807

【主な実施内容】

小学校に在学する児童のうち、保護者の就労等により保育を必要とする児童に対し、保護者に代わり保育を行いました。

令和2年度からすべての児童クラブにおいて、指定管理者による管理運営を導入しています。

■各学童入所状況

(年間平均・単位 人)

	5年度 A	増減 A-B	4年度 B	3年度
かえで第一児童クラブ	30	△4	34	37
かえで第二児童クラブ	53	1	52	53
かしの木児童クラブ	94	13	81	78
いちょうの木児童クラブ	62	3	59	63
いちょうの木児童クラブ分室	18	2	16	14
ふじ第一児童クラブ	107	23	180	151
ふじ第二児童クラブ	96			
合 計	460	38	422	396

■指定管理者

	指定管理者	指定期間
かえで第一児童クラブ かえで第二児童クラブ	特定非営利活動法人 宮代町かえで児童クラブ	H31.4.1～R6.3.31
かしの木児童クラブ いちょうの木児童クラブ いちょうの木児童クラブ分室 ふじ第一児童クラブ ふじ第二児童クラブ	株式会社 アンフィニ	R2.4.1～R7.3.31

【成 果】

保護者の就労を支援するために、学童保育所において放課後や学校の長期休暇時に児童の余暇指導等を行いました。さらに、指定管理者による安心・安全、適正な管理運営により、児童の自主性、社会性、創造性を養いながら、健全育成を図ることができました。

ひとり親家庭等の医療費支給事業

〔こども笑顔担当〕

決算書 P106

5年度予算 (円)	5年度決算 (円)	5年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	国庫支出金	一般財源
10,454,000	8,119,544	0	3,528,324	0	0	4,591,220

【主な実施内容】

■ひとり親家庭等の医療費（一部負担分）を支給しました。

	5年度 A	増減 A-B	4年度 B	3年度
平均対象者数(人)	233	28	205	230
延べ件数(件)	2,817	284	2,533	2,665
支給総額(円)	7,919,866	344,694	7,575,172	7,685,915
一件あたりの支給額(円)	2,811	△180	2,991	2,884

【成 果】

ひとり親家庭等に医療費（一部負担分）を支給することにより、生活の安定と自立を支援し、福祉の増進を図ることができました。

児童福祉対策事業

〔こども保育担当〕

決算書 P106

5年度予算 (円)	5年度決算 (円)	5年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
73,805,000	63,972,091	7,041,998	15,153,509	0	50,240	41,726,344

※令和5年度予算のうち、5,830,000円を令和6年度に繰り越しています。

【主な実施内容】

子ども・子育て支援事業計画に基づき、質の高い幼児期の教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の推進を図りました。あわせて、事業の実施状況等に対する進行管理を行いました。

また、令和6年度に策定予定の「宮代町こども計画」の基礎資料とするため、アンケート調査を実施しました。

民間保育所等に入所中の児童の健全育成を図るため、各種特別保育事業に対し補助を行いました。

■宮代町こども計画策定のためのアンケート調査

「宮代町こども計画」策定のための基礎資料を収集するため、アンケート調査を実施しました。

アンケート名	対 象	送付数
子どもの生活に関する調査	町立小学校5年生257人及び中学校2年生245人とその保護者	502世帯
若者の生活と意識に関するアンケート調査	無作為抽出した15歳から29歳の町民	800人
子ども・子育て支援事業計画策定のためのアンケート調査	無作為抽出した未就学児800人の保護者世帯 無作為抽出した小学生800人の保護者世帯	1,600世帯

■民間保育所等補助金（特別保育事業） 32,390,000 円

延長保育事業や低年齢児保育事業など、児童福祉の向上を図る事業について補助金を交付しました。

■民間保育所等補助金（ICT化推進事業） 357,000 円

民間保育所等における ICT 化推進等事業について補助金を交付しました。

■民間保育所等補助金（待機児童対策事業費補助金） 13,845,900 円

認可定員に対し、継続して120%を超えて、児童を受け入れる体制を整備する保育所に対し補助金を交付しました。

■民間保育所等給食費補助金 6,840,000 円

児童の発育段階、健康状態及びアレルギー等の体質に配慮した給食を提供する取り組みについて補助金を交付しました。

■物価高騰対策給付金（民間保育所等） 1,278,040 円

物価高騰により運営に影響を受けた民間保育施設等に対して給付を行いました。

■副食費の補足給付費補助金 2,342,620 円

幼稚園利用者の給食費（副食費）の一部について補助を行いました。

[成 果]

第2期宮代町子ども・子育て支援事業計画の進行管理を行い、安心して子育てできる環境整備等を進めることができました。また、アンケート調査の実施により、宮代町こども計画策定のための基礎資料を収集しました。

民間保育所等に対して補助を行い、入所児童の受入拡大を図るとともに、延長保育や子育て支援センター、一時預かり事業等の多様な保育を提供することにより、児童の健全育成、仕事と家庭の両立支援を図ることができました。

こども医療費支給事業

[こども笑顔担当]

決算書 P108

5年度予算 (円)	5年度決算 (円)	5年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	国庫支出金	一般財源
133,209,000	123,831,514	0	16,042,951	0	0	107,788,563

[主な実施内容]

子育て家庭の経済的負担の軽減を図るため、こども医療費を助成しました。

■入院分

18歳年度末までの入院分に係るこども医療費の一部負担金に対して全額助成しました。

	5年度 A	増減 A-B	4年度 B	3年度
平均対象者数(人)	3,645	△75	3,720	3,776
延べ件数(件)	252	25	227	273
支給総額(円)	10,415,843	1,467,743	8,948,100	11,640,242
一件あたりの支給額(円)	41,333	1,914	39,419	42,638

■通院分

中学校卒業年度末までの通院分に係るこども医療費の一部負担金に対して全額助成しました。

	5年度 A	増減 A-B	4年度 B	3年度
平均対象者数(人)	3,645	△75	3,720	3,776
延べ件数(件)	60,055	22,785	37,270	40,698
支給総額(円)	108,795,934	26,400,488	82,395,446	69,428,373
一件あたりの支給額(円)	1,812	△399	2,211	1,706

[成 果]

医療費の一部負担金を助成することによって子育て家庭の経済的負担を軽減し、こどもの保健の向上と福祉の増進を図ることができました。

みんなで子育て！こども未来事業

〔こども笑顔担当〕 決算書 P108

5年度予算 (円)	5年度決算 (円)	5年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
4,798,000	4,437,835	954,000	954,000	0	250,000	2,279,835

※P50 身近な場所で子育てサロン事業、P51 地域のみんなでこどもたちの居場所づくり事業の事業費を含みます。

[主な実施内容]

子育てに関する情報提供や各種相談受付などを行うとともに、親子及び保護者間の交流の場の提供、乳幼児等と他世代や地域との交流を図る事業を実施しました。

■子育て支援センターの利用者数

(単位 人)

	5年度 A	増減 A-B	4年度 B	3年度
子育てひろば	16,966	4,788	12,178	10,030
こども	10,597	3,065	7,532	5,836
保護者	6,369	1,723	4,646	4,194
げんきっ子	2,404	△64	2,468	2,068
こども	1,315	△104	1,419	1,198
保護者	1,089	40	1,049	870

■主な実施事業（子育てひろば）

- ①幼児、児童に健全な遊びの機会を設け、情緒を豊かにすることや親子間での交流を図ることを目的とした事業 (単位 人)

事業名	内 容	参加者数
年齢別教室	1～3歳児を対象とした親子での遊びや友だちづくり	685
工作親子教室	幼児、児童、親子向けの工作教室等	684
乳児向け教室	親子での遊びや友だちづくり	184
絵本の日	あおむしの皆さんによる乳幼児を対象とした絵本の読み聞かせ	132
誕生日会他	誕生日会、クリスマス会、コンサート、こどもまつり他	453

- ②子育て中の親等を対象にしたリフレッシュ事業 (単位 人)

事業名	内 容	参加者数
産後ボディケア講座他	産後ボディケア、ベビーマッサージ、コンサート他	133

- ③屋外等広い場所で体を動かして遊ぶ事業 (単位 人)

イベント名	内 容	参加者数
親子運動教室他	ダンス、水遊び、運動会、バレエ他	156

- ④三世代交流事業 (単位 人)

事業名	内 容	参加者数
まこも馬づくり	七夕のまこも馬を作り、伝統行事への理解を深める	15
ミニ門松づくり	ミニ門松を作り、正月文化を体験する	20
紙とんぼづくり	昔ながらの遊びを体験し、ふれあい親しむ	20

■主な実施事業（げんきっ子）

- ①幼児、児童に健全な遊びの機会を設け、情緒を豊かにすることや親子間での交流を図ることを目的とした事業 (単位 人)

事業名	内 容	延べ参加者数
げんきっ子の日	簡単な製作等	304
園庭開放	国納保育園の園庭で遊ぶ	331
幼児向け教室	リトミック、はみがき教室、プラバン工作、絵本の日	287
運動会他	ミニ縁日、ミニ運動会、ハロウィンパーティ	120

- ②子育て中の親等を対象にしたリフレッシュ事業 (単位 人)

事業名	内 容	参加者数
ヨガ教室他	ヨガ、産後ボディケア、カラーセラピー体験他	39

■子育て相談の実施

役場内「子育てひろば」にて毎週月・水・木曜日に、また国納保育園内「げんきっ子」にて毎週火・金曜日に、専門の相談員による子育て相談を実施しました。

・相談件数

(単位 件)

	5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
育 児 相 談	105	30	75	93
子 育 て ひ ろ ば	60	40	20	18
げ ん き っ 子	45	△10	55	75
乳 幼 児 健 全 育 成 相 談	118	△21	139	120
こ ど も 家 庭 相 談	52	9	43	28

[成 果]

■乳幼児、児童向け事業

乳幼児、児童に健全な遊びの機会を設けたことにより、こどもの情緒を豊かにし、親子間での交流を図ることができました。

■屋外等広い場所で体を動かして遊ぶ事業

屋外等広い場所で体を動かし遊ぶ事業を実施し、親子や家族間の交流を図ることができました。

■三世代交流事業

こどもや高齢者との交流の場として、まこも馬づくり、ミニ門松づくり、紙とんぼづくりを開催し、こどもたちの豊かな情操と社会性、協調性を育むとともに、文化や伝統に触れる機会を作りました。

■子育て相談

子育てについての不安や悩みなどを持っている保護者に対する相談、援助を実施し、子育て中の孤独感や不安感などの解消を図ることができました。

障害児デイサービス事業

[みやしろ保育園]

決算書 P110

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
336, 000	263, 134	0	0	0	0	263, 134

[主な実施内容]

町内に居住する2歳児から小学校就学の始期に達するまでの児童を対象とし、心身に発達の遅れが見られ、医療機関または保健センターにおいて療育が必要と認められた児童を受入れ、基本的動作の指導、訓練及び給食保健衛生並びに集団生活への適応訓練等の療育を行い、児童の健やかな発育を支援するとともに、家族への支援も実施しました。(令和5年度受入児童 4人)

[成 果]

児童の成長・発達状況や個性に配慮した保育を行うとともに、保護者への助言・相談を実施し、あわせて言語聴覚士による言葉の発達相談を行うなど、児童それぞれに合った療育的な取り組みにより、集団生活に必要な友だちとのかかわりや習慣を身につけることへの支援ができました。

未熟児養育医療費給付事業

[こども笑顔担当]

決算書 P110

5年度予算 (円)	5年度決算 (円)	5年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
2,515,000	1,958,054	560,000	280,000	0	378,870	739,184

[主な実施内容]

身体の発育が未熟な状態で生まれ、入院を必要とする乳児に対して、その治療に必要な医療費を町が負担しました。

	5年度 A	増減 A-B	4年度 B	3年度
対 象 者 数 (人)	9	0	9	14
延 べ 件 数 (件)	19	2	17	24
支 給 総 額 (円)	1,846,249	74,252	1,771,997	2,412,572
一件あたりの支給額(円)	97,171	△7,064	104,235	100,524

[成 果]

養育のため入院を必要とする未熟児の入院費を助成し、安心して必要な医療を受けられるよう支援することにより、乳児の健康の保持・増進を図ることができました。

私立幼稚園運営支援事業

[こども保育担当]

決算書 P110

5年度予算 (円)	5年度決算 (円)	5年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
2,525,000	2,382,599	0	0	0	0	2,382,599

[主な実施内容]

■私立幼稚園振興助成金の交付

幼児教育の向上及び障がい児教育の充実を促進するとともに、保護者の負担軽減を図ることを目的として私立幼稚園に振興助成金を交付しました。

(単位 円)

幼 稚 園 名	5年度 A	増減 A-B	4年度 B	3年度
宮 代 幼 稚 園	150,000	0	150,000	150,000
宮 代 須 賀 幼 稚 園	150,000	0	150,000	150,000
宝 光 寺 幼 稚 園	390,000	0	390,000	150,000
姫宮成就院幼稚園	1,690,000	794,000	896,000	1,250,000
合 計	2,380,000	794,000	1,586,000	1,700,000

[成 果]

町内私立幼稚園に対し助成を行うことにより、保護者の負担を増やすことなく、各幼稚園の学習環境等の改善や、幼児教育プログラムの向上及び心身障がい児教育の充実に寄与することができました。

緊急サポート運営事業

[こども安心担当]

決算書 P110

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
528,000	528,000	172,000	172,000	0	0	184,000

[主な実施内容]

地域で安心して子育てができるように、子育てのお手伝いをしてほしい方（利用会員）と、子育てのお手伝いができる方（提供会員）が会員となり、地域で子育てを助け合う有償の援助活動です。

■事業概要

援助内容 こどもの風邪等で保育施設を利用できないときの預かり、保護者の体調不良等で保育が困難なときの預かり、宿泊を伴うこどもの預かりなど

利用時間 24 時間（宿泊可） ※申込は利用希望日の当日まで

■緊急サポート会員数

(単位 人)

名 称	5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
利用会員	71	9	62	56
提供会員	29	8	21	12
両方会員	0	0	0	0
合 計	100	17	83	68

■緊急サポート活動状況

(単位 件)

活動内容	5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
病 児	0	0	0	0
預 か り	19	16	3	0
送 迎	1	1	0	0
宿 泊	0	0	0	0
合 計	20	17	3	0

[成 果]

緊急時のこどもの預かりや送迎の援助活動により、子育て世帯を支援することができました。

5年度予算 (円)	5年度決算 (円)	5年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
4,976,000	4,697,370	1,548,000	1,548,000	0	250,000	1,351,370

【主な実施内容】

地域で安心して子育てができるように、子育てのお手伝いをしてほしい方（利用会員）と、子育てのお手伝いができる方（提供会員）が会員となり、地域で子育てを助け合う有償の援助活動です。

■事業概要

援助内容 保育園、幼稚園、学童保育所、習い事への送迎及びその前後の預かりなど

親のリフレッシュのための預かり、学校行事への参加時の預かりなど

利用時間 午前6時～午後8時 ※申込は利用希望日の2か月前から2週間前まで

■ファミリー・サポート・センター会員数

(単位 人)

名 称	5年度 A	増減 A-B	4年度 B	3年度
利用会員	108	3	105	93
提供会員	71	9	62	56
両方会員	3	0	3	3
合 計	182	12	170	152

■ファミリー・サポート・センター活動状況

(単位 件)

活 動 内 容		5年度 A	増減 A-B	4年度 B	3年度
保育園 幼稚園	開始前・終了後の送迎	23	△64	87	85
	開始前・終了後の託児	11	△22	33	3
学 童	開始前・終了後の送迎	268	28	240	248
	開始前・終了後の託児	140	53	87	186
小学校	開始前・終了後の送迎	59	46	13	15
	開始前・終了後の託児	3	3	0	1
保護者等の冠婚葬祭による外出、他のこどもの学校行事の場合の送迎・預かり		20	△2	22	19
保護者等の外出の場合の送迎・預かり		8	△21	29	2
保護者等の就労（短期・臨時・求職活動等）の場合の送迎・預かり		0	△2	2	0
保護者等の病気等の場合の送迎・預かり		21	21	0	0
学習塾や習い事等の送迎		121	93	28	25
保育所施設等入所前の援助		0	0	0	0
保護者等のリフレッシュや習い事のための預かり		9	9	0	33
その他		93	3	90	85
合 計		776	145	631	702

[成 果]

保育園や学童保育、習い事への送迎、保護者の外出時の預かり保育等の援助活動により、子育て世帯を支援することができました。

子育てのための施設等利用給付事業

[こども保育担当]

決算書 P112

5年度予算 (円)	5年度決算 (円)	5年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
150,827,000	130,380,932	64,672,076	26,730,186	0	0	38,978,670

[主な実施内容]

幼児教育・保育無償化により、子ども・子育て支援新制度未移行の私立幼稚園等に就園する満3歳児・3歳児・4歳児・5歳児のいる世帯の保護者に対して、特定子ども・子育て支援施設等(幼稚園、預かり保育、認可外保育、一時保育等)の利用に要した費用について施設等利用費を支給しました。

(単位 円)

	5年度 A	増減 A-B	4年度 B	3年度
幼稚園	121,446,432	△ 8,693,568	130,140,000	138,620,640
預かり保育事業	5,365,130	234,080	5,131,050	5,085,540
認可外保育施設	3,402,550	△167,100	3,550,300	3,340,000
一時預かり事業	166,820	△11,780	178,600	304,400
合 計	130,380,932	△8,619,018	138,999,950	147,350,580

[成 果]

私立幼稚園等の保護者の負担を軽減することにより、幼児教育が受けやすい環境を整えました。また、預かり保育や認可外保育施設等の利用料を支給することにより、保護者の就労等を支援しました。

子ども家庭総合支援事業

[こども安心担当]

決算書 P112

5年度予算 (円)	5年度決算 (円)	5年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
11,219,000	9,331,561	5,516,000	140,000	0	127,530	3,548,031

[主な実施内容]

保育園や学校等へ訪問し、虐待防止の周知や見守りが必要な世帯に関する情報収集を行うとともに、ヤングケアラーの周知のため学校教員を対象とした研修会を行いました。また、小学4年生から中学3年生までを対象としたヤングケアラー実態調査を実施しました。

こどもの養育等に関して悩みや不安があるなど、見守りが必要な世帯を定期的に訪問し、食材やお弁当の提供を通じてこどもや家庭の状況把握を行いました。

■生活支援（令和3年7月開始）

	5年度 A	増減 A-B	4年度 B	3年度
対象世帯数（世帯）	6	0	6	3
対象者数（人）	26	1	25	14
家庭訪問等の支援（回）	460	211	249	83

■お弁当配布（令和3年7月開始）

	5年度 A	増減 A-B	4年度 B	3年度
対象世帯数（世帯）	13	0	13	12
対象者数（人）	56	5	51	45
弁当配布（回）	51	0	51	35
弁当配布（個）	2, 434	189	2, 245	1, 480

[成 果]

保育園や学校等を訪問し、虐待の未然防止のための情報収集を行うことができました。また、定期的な家庭訪問により、子どもや家庭の状況を把握しながら、必要な生活支援等を行い、虐待の早期発見及び防止を図りました。

産前産後家事・育児サービス利用支援事業

〔こども笑顔担当〕

決算書 P112

5年度予算 （円）	5年度決算 （円）	5年度決算の財源内訳（円）				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
1, 470, 000	337, 590	0	0	0	0	337, 590

[主な実施内容]

令和5年10月1日から、妊娠中から産後1年未満の妊産婦のいる世帯に対し、事業者が提供する家事・育児支援サービス（産前産後ヘルパー、ファミリー・サポート・センター、一時保育等）を利用した際の費用を一部助成しました。

	5年度
申請人数（人）	19
申請数（件）	32
家事支援	2
育児支援	30
交付額（円）	307, 590
家事支援	4, 000
育児支援	303, 590

[成 果]

子育て世帯の経済的負担軽減や安心して出産・子育てできる環境づくり、生活の支援に寄与することができました。

子育て世帯生活支援特別給付金給付事業

〔こども笑顔担当〕

決算書 P112

5年度予算 (円)	5年度決算 (円)	5年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
17,104,000	14,417,922	13,388,000	0	0	0	1,029,922

【主な実施内容】

物価高騰の影響に対応するための経済対策として、18歳以下の児童を養育する低所得の子育て世帯に対し、対象児童一人あたり5万円の給付金を支給しました。

支給対象者数 (人)	138
支給対象児童数 (人)	247
支給額 (円)	12,350,000

【成 果】

物価高騰の影響を受けている子育て世帯の生活の支援に寄与することができました。

宮代町子育て世帯応援金給付事業

〔こども笑顔担当〕

決算書 P114

5年度予算 (円)	5年度決算 (円)	5年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
41,360,000	40,136,903	34,700,000	0	0	0	5,436,903

【主な実施内容】

物価高騰の影響に対応するための経済対策として、中学生以下の児童を養育する子育て世帯に対し、対象児童一人あたり1万円の給付金を支給しました。

支給対象者数 (人)	2,475
支給対象児童数 (人)	3,961
支給額 (円)	39,610,000

【成 果】

物価高騰の影響を受けている子育て世帯の生活の支援に寄与することができました。

児童手当支給事業

〔こども笑顔担当〕

決算書 P114

5年度予算 (円)	5年度決算 (円)	5年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	国庫支出金	一般財源
420,019,000	406,881,740	282,432,998	62,073,498	0	0	62,375,244

【主な実施内容】

次代の社会を担う児童の健やかな成長を社会全体で応援する観点から、中学校卒業までの児童を養育している方に児童手当を支給しました。

■支給額（一人あたり月額）

3歳未満：15,000円、3歳以上小学校修了前：10,000円（第3子以降は15,000円）

中学生：10,000円

※所得制限限度額以上、所得上限限度額未満の場合は、一律5,000円（特例給付）

	5年度 A	増減 A-B	4年度 B	3年度
延べ児童数（人）	37,472	△1,110	38,582	39,955
被用者	32,434	△556	32,990	34,111
非被用者	5,038	△554	5,592	5,844
延べ受給者数（人）	22,908	△506	23,414	24,369
被用者	19,862	△222	20,084	20,773
非被用者	3,046	△284	3,330	3,596
支給総額（円）	406,450,000	△11,485,000	417,935,000	430,135,000
被用者	350,985,000	△5,810,000	356,795,000	366,995,000
非被用者	55,465,000	△5,675,000	61,140,000	63,140,000

※ 6月（2～5月分）、10月（6～9月分）、2月（10～1月分）支給

【成 果】

児童を養育している方に児童手当を支給することにより、家庭における生活の安定に寄与することができました。

みやしろ保育所運営事業

〔みやしろ保育園〕

決算書 P116

5年度予算 （円）	5年度決算 （円）	5年度決算の財源内訳（円）				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
29,078,000	24,979,564	2,740,000	2,366,000	0	7,452,304	12,421,260

【主な実施内容】

保護者の就労等により保育を必要とする児童に対し、保護者の協力のもとに家庭と連携を図り、家庭養育の補完を行いました。

保育園においては、こどもたちが健康、安全で情緒の安定した生活が送れるよう環境を整備し、健全な心身の発達を図るとともに、保育目標「あかるいこ つよいこ すなおなこ」に基づき、こども一人ひとりの個性を尊重した保育を実施しました。

■一時預かりの実施

一時的な保育需要、保護者の傷病等による緊急時の保育需要及び保護者の育児に伴う心理的、身体的負担を解消するなどの保育ニーズに対応するため、一時預かりを実施しました。

（単位 人）

	5年度 A	増減 A-B	4年度 B	3年度
みやしろ保育園	1,053	29	1,024	1,344

■病児保育・病後児保育の実施

こどもが病気にかかりその回復期にあつて、保護者が勤務等の都合で家庭等での保育が困難な場合の保育ニーズに対応するため、病児保育・病後児保育を実施しました。

(単位 人)

	5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
みやしろ保育園	28	△6	34	33

■宮代町と大学との連携推進事業の活用

宮代町と大学との連携推進事業を活用し、日本工業大学木工サークルに靴箱と木製玩具の製作を依頼しました。色塗りの過程では学生主導のもとこどもたちが製作に参加し、交流の機会を持つことで、既製品以上に親しみ深い靴箱と玩具が完成しました。

[成 果]

通常保育をはじめ、一時保育、病児保育・病後児保育等、様々な状況にあわせた保育の実施により、こどもの健全な育成や就労している保護者等の負担軽減に寄与することができました。また、園生活においては、保育内容や体験活動を工夫することにより、一人ひとりの感受性を豊かに育み、思いやりの気持ちが生まれるような保育を実施することができました。

国納保育所運営事業

〔国納保育園〕 決算書 P118

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
29,651,000	26,294,133	385,000	0	0	5,004,684	20,904,449

[主な実施内容]

保護者の就労等により保育を必要とする児童に対し、保護者の協力のもとに家庭と連携を図り、家庭養育の補完を行いました。

保育園においては、こどもたちが健康、安全で情緒の安定した生活が送れるよう、健全な心身の発達を図るとともに、保育目標「あかるいこ つよいこ すなおなこ」に基づき、こども一人ひとりの個性を尊重した保育を実施しました。

■修繕の実施

1,254,099 円

快適な保育環境及び利用者の安全・施設整備のため、エントランス床修繕工事・各保育室建具外れ止め設置等を実施しました。

■第三者評価の受審

196,900 円

国納保育園が提供する福祉サービスの質について改善すべき点や目標を明らかにし、質の向上を図りました。

[成 果]

健康で安全な生活を過ごせるように、主体的な活動を通してこども一人ひとりの想像力、創造力を引き出し、また、ともだちへの思いやりが育まれるような保育を実施することができました。

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
577,638,000	550,122,967	297,125,482	124,050,410	0	32,888,000	96,059,075

【主な実施内容】

保護者の就労等により保育を必要とする児童について、保護者に代わり保育施設等で保育を行うため、公立保育園の運営管理及び私立保育所等への保育の委託を行いました。

■管内入所延べ児童数

(単位 人)

	公 立		私 立							合 計
	国納	みやしろ	姫宮	百間	本田	宮東	カイト・ ナースリー 5丁目園	カイト・ ナースリー 2丁目園	カイト・ ナースリー ヒッピー園	
3 歳未満児	341	418	353	332	316	440	178	181	216	2,775
3 歳以上児	591	575	552	550	705	203	0	0	0	3,176
合 計	932	993	905	882	1021	643	178	181	216	5,951

■委託延べ児童数

(単位 人)

	公 立		私 立		合 計
	市町村名	人 数	市町村名	人 数	
3 歳未満児	上尾市	12	春日部市	30	83
	春日部市	7	白岡市	24	
			杉戸町	10	
3 歳以上児	越谷市	1	春日部市	67	105
	春日部市	7	伊奈町	12	
			久喜市	12	
			杉戸町	6	
合 計		27		161	188

■受託延べ児童数

(単位 人)

	公 立		私 立		合 計
	市町村名	人 数	市町村名	人 数	
3 歳未満児			杉戸町	28	72
			久喜市	2	
			さいたま市	18	
			春日部市	24	
3 歳以上児			杉戸町	3	3
合 計		0		75	75

【成 果】

保護者の就労や病気などにより保育を必要とする場合において、児童を保育施設等で保育することにより、家庭等の負担を軽減し、児童の心身の健全な発達を図ることができました。

健康介護課

■ 本年度の成果

令和5年度は、「第8期みやしろ健康福祉プラン」及び「第1次宮代町健康増進計画及び食育推進計画」の最終年度として、町民の皆様が住み慣れた宮代町で健康で自立した生活を送り、安心して老後が迎えられるよう、各種事業に取り組みました。

「高齢者支援」では、住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の構築に向けて、「第9期みやしろ健康福祉プラン」を策定しました。

また、地域の中で、人と人がつながりながら互いを思いやる社会を築くために、「地域交流サロン」や「さわやかクラブ」などの地域活動への支援及び災害時に自力での避難が困難な方が無事に避難できるよう、地域の自主防災組織への名簿提供など、地域コミュニティの醸成を図りながら、高齢者の方を介して互いに支え合う地域づくりに努めました。

その他、加齢による体力の衰えを防ぎ、自立した生活を送れるよう、ニーズに応じた介護予防の講座・教室を充実しました。その上で、介護が必要となった方やそのご家族の方のご負担を軽減できるよう、介護保険制度を適切に運営しました。

さらに、物価の高騰の影響を軽減し、地域の安定的な福祉サービスの提供を図るため、町内の介護事業所等に物価高騰対策支援金を支給しました。

次に、「町民の皆様の健康の維持・増進」では「第2次宮代町健康増進計画及び食育推進計画」を策定しました。また、感染症や疾病の予防対策として、乳幼児の定期予防接種をはじめとした定期の予防接種を着実に実施したほか、前年に引き続き新型コロナウイルス感染症対策の要となる特例臨時接種であるワクチン接種に取り組み、乳幼児から高齢者までの町民の皆様に円滑に接種いただくことができました。併せて、疾病の早期発見・早期治療につながるよう各種がん検診等を実施・受診勧奨にも努めました。

母子保健では、妊娠から出産、そして育児までの子育てを総合的に支えるために設置した「子育て世代包括支援センター」を拠点として、母子健康手帳の交付から妊婦への面接、出産後の赤ちゃん訪問、乳幼児健康診査、健康相談など、継続した育児支援を行いました。

これらの取組を掲げた、町の健康増進計画では、「健康は宝 ずっと健康 ずっと笑顔のまち 〜ほどよく、コツコツ健康づくり〜」を基本理念としています。この理念に基づき、町民の皆様が普段の生活から健康を意識され、ご自身で健康づくりに取り組めるよう、「みやしろ健康マイレージ事業」を始めとした啓発にも努めています。

引き続き、町民の一人ひとりに寄り添った、きめ細やかなサービスが提供できるよう、取り組んでまいります。

■ 令和5年度前期実行計画

おかえりなさい地域デビュー事業	54
若い世代の健康づくり促進事業	58
高齢者困りごとサポート隊事業	67

■ 本年度の主要事業

みやしろ健康福祉プラン策定事業	155
低所得者利用者負担対策事業	155
避難行動要支援者支援事業	156
長寿いきがい支援事業	157
高齢者生活支援事業	158
高齢者施設等支援事業	158
保健衛生総務事業	159
保健予防事業	160
母子保健事業	162
健康診査事業	166
健康教育事業	167
健康相談事業	168
不妊治療費助成事業	168
出産・子育て応援給付金事業	169
新型コロナウイルスワクチン接種事業	170
福祉医療センター運営事業	171

みやしろ健康福祉プラン策定事業

〔高齢者支援担当・介護保険担当〕

決算書 P 100

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
4,992,000	4,051,300	0	0	0	0	4,051,300

〔主な実施内容〕

■みやしろ健康福祉事業運営委員会 高齢者福祉部会の運営

36,300 円

「みやしろ健康福祉プランー高齢者編」の第 8 期介護保険事業計画の進行管理を行いました。

会議の名称	回数	開催月
みやしろ健康福祉事業運営委員会高齢者福祉部会	2 回	6 月、12 月

■みやしろ健康福祉プラン高齢者編策定

4,015,000 円

令和 4 年度に実施した要介護者を含む高齢者の生活状況やサービスニーズ等を把握するための事前調査結果を踏まえて、令和 6 年度から令和 8 年度を計画期間とする宮代町高齢者保健福祉計画・第 9 期介護保険事業計画を策定しました。

〔成 果〕

高齢者福祉部会では、第 8 期計画の令和 4 年度最終評価及び令和 5 年度目標設定等において委員から様々な意見を伺いながら課題の検討・共有等を行い、現行のみやしろ健康福祉プランを評価し、次期みやしろ健康福祉プランを策定しました。

低所得者利用者負担対策事業

〔介護保険担当〕

決算書 P 100

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
5,192,000	4,668,280	0	0	0	0	4,668,280

〔主な実施内容〕

■介護サービス利用者負担の助成

	5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
支給者数 (人)	247	△2	249	273
支給総額 (円)	4,668,280	183,160	4,485,120	4,823,420
支給者一人あたりの支給額 (円)	18,899	886	18,013	17,668

※ 支給者数は延べ人数

〔成 果〕

低所得の介護サービス利用者の負担軽減を図りました。

避難行動要支援者支援事業

[高齢者支援担当]

決算書 P102

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
137,000	104,344	0	0	0	0	104,344

[主な実施内容]

■自主防災組織に対する避難行動要支援者対策への取組の推進

自主防災組織連絡協議会にて、自主防災会の代表者に対し、避難行動要支援者支援制度について説明し、個別避難計画の作成を依頼しました。

(単位 人)

		5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
対象者数		788	△18	806	928
情報提供同意者数		581	△31	612	656
同意者内訳	要介護度 3 以上の認定を受けている方	200	△5	205	202
	身体障害者手帳の交付を受けている方	214	△12	226	239
	精神障害者保健福祉手帳 1 級の交付を受けている方	10	△1	11	10
	療育手帳(A)又は A の交付を受けている方	60	0	60	65
	その他	195	△25	220	265

※身体障害者手帳：視覚障害 1 級・2 級、聴覚障害 2 級、上肢機能障害 1 級・2 級、下肢機能障害 1 級・2 級、体幹機能障害 1 級～3 級の身体障害者手帳の交付を受けている方

※同意者内訳：1 人で複数該当する場合があります、情報提供同意者数と一致しない

■あんしんカード設置事業

高齢者や障がい者等が、自宅や外出先において急病又は事故等が発生した場合に、本人の身元情報等を救急隊員や関係機関に伝達する手段の一つとして、あんしんカード及びあんしんカード（携帯用）を利用いただきました。

あんしんカード設置状況

(単位 人、各年 3 月 31 日現在)

区 分	5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
あんしんカードのみ	32	△1	33	29
あんしんカード（携帯用）のみ	26	△3	29	29
あんしんカード及び あんしんカード（携帯用）	752	△39	791	749
計	810	△43	853	807

[成 果]

避難行動要支援者名簿の更新、自主防災組織への名簿提供に併せ、個別避難支援計画の作成を促進し、援護を必要とする方が安心して暮らせるよう努めました。

あんしんカードを高齢者や障がい者等が自宅や外出先で設置、携帯することで、緊急事態に備えることができました。

長寿いきがい支援事業

〔高齢者支援担当〕

決算書 P102

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
14, 155, 000	13, 505, 260	0	0	0	0	13, 505, 260

〔主な実施内容〕

■町民グラウンド・ゴルフ大会及び町民親睦輪投げ大会の開催

125, 530 円

・町民グラウンド・ゴルフ大会 (11/15)

	5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
参 加 者 数 (人)	106	106	0	0
総 事 業 費 (円)	65, 420	65, 420	0	0

・町民親睦輪投げ大会 (7/5)

	5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
参 加 者 数 (人)	156	156	0	0
総 事 業 費 (円)	60, 110	60, 110	0	0

〔成 果〕

感染症の影響により中止していた町民グラウンド・ゴルフ大会及び町民親睦輪投げ大会等を約 4 年ぶりに開催し、高齢者向けのスポーツ振興と参加者の健康増進及び参加者間の親睦を図りました。

■敬老祝品（商品券）の贈呈

5, 564, 720 円

敬老の日を記念して高齢者の長寿を祝い、年度内に節目の年齢を迎える方に宮代町ご当地商品券「ありがとう」を贈呈しました。100歳の方については国からの祝い品とともに町長が訪問して手渡ししました。

(単位 人)

	5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
77 歳 (5 千円分)	564	201	363	513
88 歳 (1 万円分)	221	38	183	158
99 歳 (1 万円分)	13	6	7	13
100 歳 (5 万円分)	4	△5	9	8
101 歳以上 (1 万円分)	10	△2	12	9

〔成 果〕

対象者へ敬老祝品（商品券）を贈呈し、敬老の意を表するとともに、長寿を祝福し、高齢者福祉の増進を図りました。

高齢者生活支援事業

〔高齢者支援担当〕 決算書 P102

5年度予算 (円)	5年度決算 (円)	5年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
38,759,000	38,674,901	34,367,000	0	0	0	4,307,901

【主な実施内容】

■ありがとう商品券の配布

電気・ガス・水道等の公共料金その他、生活物品全般で物価高騰が止まらない状況となっていたことから、物価高騰支援対策として、年金生活者を中心とした高齢者へありがとう商品券配布を行いました。

【成 果】

町内の対象者11,269名に支給しました。

高齢者施設等支援事業

〔介護保険担当〕 決算書 P104

5年度予算 (円)	5年度決算 (円)	5年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
2,500,000	2,350,000	2,350,000	0	0	0	0

【主な実施内容】

■物価高騰対策支援金の支給

原油価格、電気料金、ガス料金その他の物価の高騰の影響を軽減し、地域の安定的な福祉サービスの提供を図るため、町内の介護事業所等に物価高騰対策支援金を支給しました。

【成 果】

町内の42介護事業所に合計235万円の支援金を支給しました。

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
16,073,000	13,670,491	1,720,000	32,000	0	67,794	11,850,697

〔主な実施内容〕

■保健センター施設改修等

保健センター施設の改修工事等を行いました。

件 名	金 額
玄関スロープ設置工事	935,000 円
エアコン室外機修繕	220,000 円
水道管漏水修繕	305,800 円
非常放送設備バッテリー交換	77,000 円

■献血推進事業

町内各会場において、埼玉県赤十字血液センターとともに献血を実施しました。

(受付者数、単位 人)

会 場	5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
宮代町役場 (春・冬)	69	△10	79	63
日本工業大学 (通年)	387	217	170	261
宮代町役場 (秋) ※NPO 法人宮代クラブと共催	74	△8	82	65
宮代高校				23
合 計	530	199	331	412

■医療機関等に対する物価高騰対策緊急支援金

物価高騰の影響を受けた医療機関等に対して緊急支援金を支給しました。

支給対象施設	支給単価 (円)	支給件数 (件)	支給金額 (円)
診療所	100,000	9	900,000
歯科診療所	50,000	11	550,000
調剤薬局	30,000	9	270,000

〔成 果〕

より多くの方に献血していただけるよう、町内のNPO法人や赤十字奉仕団と連携して取り組み、輸血を必要とする医療機関へ供給されました。また、物価高騰の影響を受けた医療機関などに対し、緊急支援金を支給しました。

保健予防事業

〔健康増進室〕

決算書 P126

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
99,359,000	89,186,482	199,000	0	0	0	88,987,482

〔主な実施内容〕

■結核予防事業（65歳以上の胸部レントゲン撮影の人数）

（単位 人）

	5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
検診受診数	1,261	△51	1,312	1,255

■定期予防接種

（１）乳幼児の接種者数、接種状況

①接種者数

（単位 人）

区 分	5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
B C G	173	△19	192	198
四種混合	794	74	720	877
ポリオ（不活化ワクチン）	0	0	0	0
日本脳炎	925	△217	1,142	788
麻しん風しん	417	△43	460	460
ヒブ	738	13	725	851
小児肺炎球菌	739	12	727	850
水痘	371	1	370	428
B型肝炎	534	△1	535	625
子宮頸がん（2価・4価）	55	△199	254	79
子宮頸がん（9価）	180			
ロタリックス	175	△41	216	311
ロタテック	278	95	183	190

※子宮頸がん予防ワクチンは、平成25年6月14日以降積極的な勧奨の差し控えが続いていましたが、ワクチンの接種による有効性が副反応リスクを明らかに上回ることが認められたため、令和3年11月に積極的な勧奨が再開され、令和5年4月からは9価ワクチンが定期接種可能となりました。

②乳幼児健診における予防接種状況

(単位 人)

健康診査	来所者数	予防接種の種類	接種者数	接種完了率
10か月児	178	BCG	175	98.3%
		四種混合（初回）	173	97.2%
		ヒブ（初回）	175	98.3%
		肺炎球菌（初回）	175	98.3%
1歳6か月児	181	BCG	180	99.4%
		麻しん・風しん（1期）	177	97.8%
3歳児	228	四種混合（追加）	214	93.9%
		麻しん・風しん（1期）	223	97.8%

(2) 児童の接種者数

(単位 人)

	5年度 A	増減 A-B	4年度 B	3年度
二種混合	202	19	183	206

■高齢者インフルエンザ予防接種

(単位 人)

対象者	5年度 A			増減 A-B (実施者数)	4年度 B			3年度		
	対象者数	実施者数	接種率		対象者数	実施者数	接種率	対象者数	実施者数	接種率
65歳以上	11,084	6,277	56.6%	△218	11,045	6,495	58.8%	11,034	6,296	57.1%

※対象者数：10月1日現在、65歳以上人口

■成人用肺炎球菌予防接種

(単位 人)

対象者	5年度 A			増減 A-B (実施者数)	4年度 B			3年度		
	対象者数	実施者数	接種率		対象者数	実施者数	接種率	対象者数	実施者数	接種率
65・70・ 75・80・ 85・90・ 95・100歳	1,516	387	25.5%	79	1,511	308	20.4%	1,450	383	26.4%

※対象年齢は生年月日の指定があります。

■大人の風しん予防接種費用の一部助成

区分	5年度 A	増減 A-B	4年度 B	3年度
申請者数（人）	15	9	6	2
助成者数（人）	15	9	6	2
助成額合計（円）	45,000	27,000	18,000	6,000

■風しん追加的対策事業

(単位 人)

対 象 者	クーポン 交付者数	5 年度 A		増減 A-B 抗体検査 実 施 者	4 年度 B	
		抗体検査 実 施 者	予防接種 実 施 者		抗体検査 実 施 者	予防接種 実 施 者
昭和 37 年 4 月 2 日から 昭和 54 年 4 月 1 日生ま れの男性	3,538	14	5	△140	154	39

※接種期間が令和 4 年度から令和 6 年度までの 3 年間延長となったため、令和 4 年度に上記対象者に無料クーポン券を送付しました。

[成 果]

成人用肺炎球菌予防接種は、国指定の対象年齢の方へ個別通知を行いました。小児定期予防接種は、対象者への個別通知や就学児健診時のチラシの配布、さらに、年度末には第 2 期 MR ワクチンの未接種者に対し接種勧奨ハガキの送付を行い、適切な時期でのワクチン接種に結びました。

子宮頸がんワクチンについては、令和 5 年 4 月から 9 価ワクチンが定期接種可能となったため、定期接種者へ送付する個別通知やホームページで周知を行いました。

また、風しんの流行を受け、妊娠を希望する方やその配偶者等を対象に、抗体価が十分でなく予防接種を行った方に対し、予防接種費用の一部を助成しました。

母子保健事業

[健康増進室]

決算書 P126

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
32,766,000	26,580,858	919,000	0	0	0	25,661,858

[主な実施内容]

■子育て世代包括支援センター

(単位 人)

		5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
来	所 人 数	399	90	309	322
内 訳 (延人数)	母子健康手帳の交付	174	△6	180	196
	妊婦健診助成券差し替え	30	7	23	26
	予防接種	118	35	83	81
	不妊治療関係	15	△10	25	15
	その他	76	42	34	19

■産後ケア事業

訪問型

(単位 人)

		5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
利用者	実 人 数	4	2	2	7
	延 人 数	11	6	5	11

宿泊型

(単位 人)

	5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
利 用 者 (実 人 数)	4	3	1	2

■母子健康手帳交付

(単位 人)

区 分	5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
19 歳 以 下	3	2	1	1
20 歳 ~ 29 歳	67	△3	70	84
30 歳 ~ 39 歳	98	△3	101	98
40 歳 ~ 45 歳	6	△2	8	13
合 計	174	△6	180	196

■妊婦健康診査（受診券回数14回）

区 分	5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
一人当たり助成額（円）	102,190	0	102,190	102,190
助 成 額 合 計（円）	16,780,333	△400,467	17,180,800	19,280,480
受 診 延 人 数（人）	2,256	△58	2,314	2,666

■新生児聴覚スクリーニング検査

区 分	5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
助 成 額 合 計（円）	804,200	△18,800	823,000	923,700
検 査 人 数（人）	165	△5	170	194

■産婦健康診査（令和4年度開始）

区 分	5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B
助 成 額 合 計（円）	734,500	△54,500	789,000
受 診 人 数（人）	148	△10	158

[成 果]

妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援をするために、子育て世代包括支援センターでの面談を通じて様々な悩みや相談に対応しながら、母子健康手帳を交付しました。妊娠中から個別相談や育児支援の情報提供を行い、妊娠や出産の不安を軽減し、出産後の育児支援に繋げました。

■ママ・パパ教室（母親学級 両親学級）

(延人数（実人数）、単位 人)

参 加 者	5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
妊 婦	48 (28)	17 (10)	31 (18)	48 (27)
夫 等	17 (12)	11 (8)	6 (4)	0 (0)
合 計	65 (40)	28 (18)	37 (22)	48 (27)

■すくすく広場（ママ・パパ教室同窓会）

（延人数（実人数）、単位 人）

	5 年度
参 加 者	9 (6)

[成 果]

新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和2年度から開催を見合わせていましたが、令和5年春コースの同窓会から再開しました。また、育児に対する不安の軽減や孤立化を予防しました。

■乳幼児健康診査（各12回／年 実施）

（単位 人）

健康診査	5 年度 A			増減 A－B (受診児)	4 年度 B			3 年度		
	該当児	受診児	受診率		該当児	受診児	受診率	該当児	受診児	受診率
4 か 月 児	191	191	100.0%	8	183	183	100.0%	215	214	99.5%
1 0 か 月 児	183	178	97.3%	△21	203	199	98.0%	213	213	100.0%
1 歳 6 か 月 児	185	181	97.8%	△30	212	211	99.5%	229	225	98.3%
3 歳 児	228	228	100.0%	△21	249	249	100.0%	210	208	99.0%
合 計	787	778	98.9%	△64	847	842	99.4%	867	860	99.2%

[成 果]

受診者全員に個別指導を行い、コロナ禍における育児の悩みや困りごと等、個々に応じた助言や指導等で不安の軽減や育児の孤立防止に努めました。未来所者には地区担当保健師が訪問し、子育ての状況を把握しました。

■2歳の親子教室（月1回実施）

（単位 人）

	5 年度 A	増減 A－B	4 年度 B	3 年度
参加者（子の実人数）	53	7	46	57

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年9月から毎月予約制で実施しています。また、令和5年5月から集団での教室を再開しました。

[成 果]

2歳3か月児を対象に、歯科衛生士、保健師による親子教室を実施しました。歯の健康の話や、歯の染め出し、ブラッシング指導に加え全員に個別相談を行い、発育・発達や子育ての悩みや相談に対応しました。

■母と子の幼児学級（かるがもクラブ）

（単位 組）

5 年度 A			増減 A－B (延組数)	4 年度 B		3 年度	
実施回数	実組数	延組数		実組数	延組数	実組数	延組数
年 12 回	16	72	5	16	67	15	72

※令和4年度は新型コロナウイルス感染症の拡大のため8月と9月を中止とし10月から人数を少なくして2部制で再開しましたが、令和5年度は年12回実施し、10月からは参加人数を考慮し2部制で実施しました。

[成 果]

1歳6か月児健診、3歳児健診等でことばや発達に遅れのみられる幼児に対し、言語聴覚士、臨床心理士、保健師による集団遊びと個別面接を行い、それぞれの職種の視点から適切な支援により、育児不安の軽減と適切な療育に繋がりました。

■ことばの相談・心理相談

(単位 組)

区 分		5 年度 A		増減 A-B (延組数)	4 年度 B		3 年度	
種別	実施回数	実組数	延組数		実組数	延組数	実組数	延組数
ことばの相談	59 回	87	214	18	86	196	87	219
心理相談	43 回	75	122	18	74	104	70	96

[成 果]

言語聴覚士のことばの相談、臨床心理士による心理相談により、専門的な相談や助言が親の不安を和らげ、家族が子どもと適切な関わりができるようになり、子どもの健やかな成長を促しました。

■健康相談・栄養相談

(単位 人)

区 分		5 年度 A			増減 A-B (延人数)	4 年度 B			3 年度		
		回数	実人数	延人数		回数	実人数	延人数	回数	実人数	延人数
定	健康相談	42 回	211	628	△164	42 回	255	792	42 回	256	724
例	栄養相談	42 回	29	46	8	42 回	28	38	42 回	32	37

■離乳食教室

(単位 人)

5 年度 A		増減 A-B (延人数)	4 年度 B		3 年度	
実人数	延人数		実人数	延人数	実人数	延人数
35	36	△16	47	52	44	46

■訪問支援

(単位 人)

区 分	5 年度 A		増減 A-B (延人数)	4 年度 B		3 年度	
	実人数	延人数		実人数	延人数	実人数	延人数
新 生 児	12	13	6	6	7	19	19
乳 児	173	204	△6	184	210	198	215
幼 児	8	13	△4	11	17	19	21
小 学 生	0	0	△2	1	2	0	0
妊 産 婦	182	216	0	188	216	216	225
合 計	375	446	△6	390	452	452	480

(再掲) 赤ちゃん訪問 (生後 4 か月までの全戸訪問事業)

(単位 人)

区 分	5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
訪問 (実人数)	173	△17	190	217
面接	0	△1	1	3

[成 果]

健康・栄養相談、離乳食教室、訪問支援、面接等を行い、適切な育児情報の提供と育児不安の軽減を図りました。また、毎月ケース対応会議を開き、個々の支援を見直しながら適切な支援に努めました。

健康診査事業

〔健康増進室〕

決算書 P128

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
29,037,000	25,609,904	1,601,000	773,000	0	699,500	22,536,404

[主な実施内容]

(単位 人)

検 診	実施方法	区 分	5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
健康診査	集団	受診者	8	4	4	7
		要経過観察者	1	△1	2	3
		要医療者	3	3	0	0
胃がん検診	集団	受診者	1,098	△62	1,160	1,151
		要精検者	65	△16	81	93
肺がん検診	集団	胸部レントゲン	1,668	△64	1,732	1,652
		喀痰検査	48	3	45	54
		要精検者	21	△49	70	19
子宮頸がん	集団	受診者	503	48	459	469
	個別		337		333	402
		要精検者	7	△3	10	3
乳がん検診	集団	受診者	529	55	477	521
	個別		210		207	223
		要精検者	57	24	33	47
大腸がん検診	集団	受診者	1,417	899	2,549	2,639
	個別		2,031			
		要精検者	201	69	132	150
骨粗しょう症検診	集団	受診者	246	△2	248	220
		要精検者	80	△17	97	78
肝炎ウィルス検診	集団	受診者	28	△1	29	28
		要精検者	1	1	0	0

[成 果]

各種検診を実施することで、がんや疾病の早期発見に繋がりました。

健康教育事業

〔健康増進室〕

決算書 P 128

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
7,082,000	5,905,471	0	458,000	0	163,200	5,284,271

※P58 若い世代の健康づくり推進事業の事業費を含みます。

[主な実施内容]

■健康教室等

(延人数、単位 人)

区 分	5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
骨粗しょう症検診集団栄養指導	241	△3	244	223
ちよこつ貯骨とエクサ!	123	28	95	113
ちよこつ貯骨とクッキング!	9	△6	15	13
知っ得! けんこう講習	75	4	71	52
健康長寿サポーター養成講習	29	6	23	21
食生活改善普及事業	15	0	15	12
ウォーキングイベント	20	△27	47	53
40歳の健活講座	9	5	4	7
ゲートキーパー養成講習	36	△1	37	58
こころの健康講座			22	
その他	20	2	18	50
合 計	577	△14	591	602

※こころの健康講座は、隔年で開催しています。

■みやしろ健康マイレージ事業

(単位 人)

区 分	5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
健康マイレージ登録者	4,212	106	4,106	3,516
健脚チャレンジ参加延人数	150	△13	163	82

[成 果]

食生活、運動、歯科、こころの健康づくりをテーマとした各種健康教室を通じて、町民の疾病予防及び健康増進の普及啓発に努めました。みやしろ健康マイレージ事業では、事業参加者向けプログラム「健脚チャレンジ」を開催し、ウォーキング効果をより高めるトレーニング及び食生活改善による健康増進を支援しました。

健康相談事業

〔健康増進室〕

決算書 P130

5年度予算 (円)	5年度決算 (円)	5年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
36,000	31,810	0	7,000	0	0	24,810

〔主な実施内容〕

(延人数、単位 人)

区 分		5年度 A	増減 A-B	4年度 B	3年度
精神保健相談	訪問・面接相談	29	8	21	19
	電話・メール相談	73	7	66	81
その他の健康相談(面接・電話)		0	△1	1	5
定 例 栄 養 相 談		10	△12	22	16
合 計		112	2	110	121

〔成 果〕

町民の個々の健康相談を実施することで、それぞれの健康問題の解決を図りました。

不妊治療費助成事業

〔健康増進室〕

決算書 P130

5年度予算 (円)	5年度決算 (円)	5年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
640,000	460,000	0	360,000	0	0	100,000

〔主な実施内容〕

■不妊治療費助成事業

区 分	5年度 A	増減 A-B	4年度 B	3年度
助 成 者 数(人)	2	△17	19	24
助 成 額 合 計(円)	100,000	△844,100	944,100	1,200,000
妊 娠 数(人)	0	△12	12	9

※埼玉県不妊治療費助成事業の支給決定を受けた夫婦1組につき1年間5万円を限度に通算で5年間支給しました。なお、埼玉県不妊治療費助成事業の申請は令和5年6月30日で全て終了し、宮代町不妊治療費助成事業は埼玉県不妊治療助成事業の決定通知日から1年の申請猶予を考慮し、令和6年度で終了予定です。

■早期不妊検査費助成事業

区 分	5年度 A	増減 A-B	4年度 B	3年度
申 請 者 数(人)	13	0	13	13
助 成 者 数(人)	13	0	13	13
助 成 額 合 計(円)	317,000	57,000	260,000	260,000

※令和5年度から検査開始時の女性の年齢が35歳未満の申請の場合、助成上限金額が3万円となりました。

■不育症検査費助成事業

区 分	5 年 度 A	増減 A－B	4 年 度 B	3 年 度
申 請 者 数（人）	3	2	1	3
助 成 者 数（人）	3	2	1	3
助 成 額 合 計（円）	43,000	23,000	20,000	60,000

※令和5年度から検査開始時の女性の年齢が35歳未満の申請の場合、助成上限金額が3万円となりました。

[成 果]

令和4年4月から不妊治療が保険適用となり、助成対象は令和4年3月31日までに決定された経過措置分のみ対象となりました。また、令和5年4月からの不妊検査・不育症検査については、検査開始時の女性の年齢が35歳未満の申請に対して助成の上限金額が3万円となり、経済的負担の軽減を図りました。

出産・子育て応援給付金事業

〔健康増進室〕

決算書 P130

5 年度予算 （円）	5 年度決算 （円）	5 年度決算の財源内訳（円）				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
45,850,616	35,691,924	24,126,000	5,953,000	0	0	5,612,924

※令和4年度からの繰越分を含みます。

[主な実施内容]

■出産応援給付金

区 分	5 年 度 A	増減 A－B	4 年 度 B
助 成 者 数（人）	422	359	63
助 成 額 合 計（円）	21,100,000	17,950,000	3,150,000

■子育て応援給付金

区 分	5 年 度 A	増減 A－B	4 年 度 B
助 成 者 数（人）	287	248	39
助 成 額 合 計（円）	14,350,000	12,400,000	1,950,000

[成 果]

妊娠から出産・子育てまで安心して過ごしていただくため、保健師等の面談など継続的な「相談支援」と、出産・育児用品購入等の経済的負担を軽減するための「経済的支援」を併せて行いました。

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
489,072,000	290,191,729	174,612,112	0	0	177,617	115,402,000

※令和4年度からの繰越分を含みます。

※令和5年度予算のうち、2,000,000円を令和6年度に繰り越しています。

【主な実施内容】

■新型コロナウイルスワクチンの接種推進

令和5年4月から年間を通して追加接種を含めたワクチン接種を行いました。

■ワクチン接種の状況（令和6年3月31日時点）

区 分	春接種（4月1日～9月19日）	秋接種（9月20日～3月31日）
対象者 a	10,980 人	33,387 人
接種者 b	9,048 人	11,453 人
接種率 b/a	82.4 %	34.3%

【成 果】

対象拡大などの国方針に適切に対応し、町民の皆さまの感染症へ対策を円滑にすすめることができ、感染の蔓延等を防ぐことができました。

令和6年度は、定期接種として引き続き対象者の方への周知を進めていきます。

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
206,920,000	191,396,183	0	0	144,400,000	2,400,799	44,595,384

※令和4年度からの繰越分を含みます。

※令和5年度予算のうち、4,345,000円を令和6年度に繰り越しています。

〔主な実施内容〕

■指定管理者：公益社団法人 地域医療振興協会

■利用状況

(1) 診療所

(単位 人)

区 分		5 年 度 A	増 減 A－B	4 年 度 B	3 年 度	
外 来	初 診	5, 594	2, 175	3, 419	2, 817	
	再 診	17, 427	134	17, 293	16, 741	
	そ の 他	9, 958	△1, 305	11, 263	11, 678	
	合 計	32, 979	1, 004	31, 975	31, 236	
	総 合 診 療 科	17, 112	1, 052	16, 060	15, 618	
	整 形 外 科	279	△40	319	376	
	小 児 科	5, 630	1, 297	4, 333	3, 564	
	予 防 接 種	7, 703	△1, 218	8, 921	9, 525	
	健 診	2, 214	△88	2, 302	2, 121	
	ド ッ ク	41	1	40	32	
	別 掲	新 患	895	176	719	820
		時 間 外	1	△10	11	5
		救 急 車	0	0	0	1
入 院	入 院	52	△24	76	85	
	退 院	54	△24	78	83	
	延 べ 入 院 者 数	2, 171	△302	2, 473	2, 229	
医 療	訪 問 リ ハ ビ リ	290	22	268	170	
	往 診	0	0	0	0	
	訪 問 診 療	14	2	12	11	
	訪 問 看 護	0	0	0	0	

(2) 介護老人保健施設

①入所サービス

(単位 人)

区 分		5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
施 設	入 所	48	△1	49	32
	退 所	39	△13	52	35
	延べ入所者数	25,644	1,394	24,250	24,530

②通所リハビリテーション（デイケア）・訪問リハビリテーション

（単位 人）

区 分	5 年 度 A	増減 A-B	4 年 度 B	3 年 度
通所リハビリテーション	10,469	648	9,821	9,953
通 所 利 用 者 数	6,127	348	5,779	5,936
短期通所利用者数	4,342	300	4,042	4,017
訪問リハビリテーション	1,108	△95	1,203	1,476

③短期入所療養介護（ショートステイ）

（単位 人）

	5 年 度 A	増減 A-B	4 年 度 B	3 年 度
利 用 者 数	0	0	0	0

④居宅介護支援事業（ケアプラン作成）

（単位 人）

	5 年 度 A	増減 A-B	4 年 度 B	3 年 度
利 用 者 数	1,033	2	1,031	998

■公設宮代福祉医療センター運営健全化交付金

	5 年 度 A	増減 A-B	4 年 度 B	3 年 度
金 額 （ 円 ）	8,090,250	△2,853,750	10,944,000	11,229,000

※地方交付税法に基づき、普通交付税の基準財政需要額に算入される診療所の数及び病床数により算出される額です。

■運営懇話会・管理運営協議会の開催

会 議	期 日	出席者数	内 容
第 1 回 運営懇話会	令和 5 年 6 月 26 日	8 人	利用状況・経営状況（4 年度、3 年度比較）、取組
第 2 回 運営懇話会	令和 5 年 10 月 30 日	7 人	利用状況・経営状況（5 年度上半期）、取組、意見・要望
第 1 回 管理運営協議会	令和 5 年 11 月 20 日	8 人	利用状況・経営状況（5 年度上半期）、取組、意見・要望

[成 果]

診療所、介護老人保健施設の運営を通して、地域の医療・介護活動及び町民の健康増進に努めました。

産 業 観 光 課

■ 本年度の成果

農地調整担当及び農業振興担当では、農業従事者の高齢化や後継者不足、遊休農地の増加等の農業に関する課題に対応し、農地の有効利用及び担い手の育成・確保を図るため、次に掲げる対策を行いました。

第一に、農地の利用を促進し遊休農地の解消と利活用を図るため、農業委員及び農地利用最適化推進委員、宮代町地域農業再生協議会等と連携し、農地の利用状況調査の実施や遊休農地の再生への支援、規模拡大のための農地の斡旋等を行いました。

また、宮東・中島地区においては、埼玉型ほ場整備事業の実現に向けて検討・協議を重ねた結果、全関係者からの同意を得ることができたため事業の施行申請を行いました。また、円滑に事業推進を図るため、地元組織となる宮東・中島土地改良組合が設立されました。

第二に、担い手対策として、「農業担い手塾」において、町内農業者や関係機関の協力のもと新たな就農希望者を塾生として受け入れました。また、稲作農家の栽培技術向上を図るため、「稲作講座」を実施しました。さらに、令和5年6月から9月の高温・干ばつによる被害を受けた生産者に対し農業災害対策特別措置事業補助金を交付したほか、農業生産コストの上昇や猛暑による農作物への影響を受けた生産農家に対し農業経営継続生産者支援金を交付しました。

第三に、農業の6次産業化の推進として、宮代産農産物等を積極的に取り扱う飲食店や食品加工所等をPRし、農商連携を拡大する「宮代町地産地消推進の店」制度において、新たに2店舗を認定し、地産地消の取り組みを町内外に広く発信しました。

第四に、新しい村管理運営事業では、令和5年4月1日からの指定管理者制度による株式会社新しい村との指定管理の1年度目として、直売所の運営や水稻苗の育苗、野菜等の収穫体験などの各種農体験プログラム等を実施しました。また、令和5年3月に策定した「新しい村魅力アッププラン」に基づき、地域の農業を支えるため、育苗施設の機械設備を更新しました。

商工観光担当では、地域産業の活性化のため次の事業を展開しました。

第一に、町内における消費の拡大を図り商工業の振興を図るため、キャッシュレス決済事業を実施しました。

第二に、創業支援として、自分の得意なことや経験を活かして月3万円の純利益を目標とするスモールビジネス講座「わたしたちの月3万円ビジネス講座」を昨年度に引き続き開催しました。また、起業創業支援ウェブサイト「宮代で働こっ」で、働く人の特集、創業に関する講座やセミナー、補助金などの情報を発信するとともに創業に係る費用についても補助しました。

第三に、町内商工業の振興を図るために、店舗・住宅リフォーム事業補助金、商工業活性化事業補助金を交付したほか、商工業者による特産品づくりを支援するため「メイドインみやしろ」推奨品の認定を行いました。

第四に、観光事業として、田植え、稲刈り体験やブルーベリーの摘み取り体験などの新しい村グリーンツーリズム事業の実施や観光情報紙「宮代 iLine (いーね)」の発行などを行いました。

■ 令和5年度前期実行計画

新しい村魅力アップ事業	30
集落で支えあう営農事業	32
宮代農業人材育成事業	34
小商いからはじめようチャレンジショップ推進事業	49

■ 令和5年度の主要事業

水田農業構造改革対策事業	175
農業経営基盤強化対策事業	175
商工業振興事業	176
宮代ブランド創造事業	177
消費者対策事業	178

水田農業構造改革対策事業

〔農業振興担当〕

決算書 P144

5年度予算 (円)	5年度決算 (円)	5年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
2,695,000	2,255,172	0	490,000	0	0	1,765,172

【主な実施内容】

■新生児誕生お祝い宮代産米贈呈事業の実施

宮代産米の消費拡大・地産地消の推進や子育て世帯への応援のため、新たにお子さんが誕生した世帯に対し、新生児1人につき「宮代産特別栽培米コシヒカリ」を20kg贈呈しました。

贈呈決定件数	168件
お米引換券交付枚数(引換券5kg×4枚)	672枚
引き換えられた米の数量(1袋5kg)	635袋

【成 果】

宮代産米のおいしさを知っていただくことにより、宮代産米の消費拡大に寄与しました。

農業経営基盤強化対策事業

〔農業振興担当〕

決算書 P144

5年度予算 (円)	5年度決算 (円)	5年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
7,582,000	6,175,659	4,890,000	108,000	0	168,000	1,009,659

【主な実施内容】

■利用権設定による農地の集積

利用権設定件数	新規	23件	更新	62件
利用権設定面積	新規	51,167.61㎡	更新	179,289.03㎡

■農地流動化奨励補助金制度による支援の実施

●農地集積に対する補助金

・農地の有効活用を図り、利用権設定による農地の利用集積により経営規模の拡大を図った農家に対し補助金を交付しました。

新規交付決定件数	8件
交付対象面積	15,773㎡
交付決定額	426,000円
＜内訳＞ 基本助成	410,000円
条件不利地加算	16,000円

■耕作放棄地再生利用対策

耕作放棄地の再生を促進し、再生した農地を担い手農業者への集積につなげるため、宮代町地域農業再生協議会が実施する再生事業に対する支援を行いました。

令和5年度実績	・字宮東地内	1,259㎡
---------	--------	--------

■農業近代化資金利子補助制度による支援の実施

農業機械及び栽培施設設備等の導入にあたり、融資機関から農業近代化資金の融資を受けた農家に対し利子補助金を交付しました。

- ・利子補助金の額 43,346円
- ・補助対象件数 12件

■農業災害対策特別措置事業補助金の交付

令和5年6月から9月の高温・干ばつに伴う特別災害の指定を受けた被害農家に対し、水稻の次期作に必要な種苗及び肥料の購入費用の一部を助成しました。

- ・交付件数 8件
- ・交付額 217,001円

■宮代町農業経営継続生産者支援金の交付

燃料・肥料等をはじめとする農業用生産資材等の高騰による生産コストの上昇に加え、昨夏の猛暑による農作物への高温障害によって厳しい経営環境下にある生産者に対し、農業生産に関わる負担を軽減し農業経営の継続を支援するため、前年分（令和4年）の税務申告による農業収入額に応じて1万円～10万円を交付しました。

- ・交付件数 214件
- ・交付額 4,890,000円

[成 果]

担い手農業者による農地の利用集積が拡大されるとともに、昨夏の猛暑による農作物への被害を受けた生産農家に対して、次期作の作付や営農継続に向けた取り組みへの支援を行いました。

商工業振興事業

〔商工観光担当〕

決算書 P150

5年度予算 (円)	5年度決算 (円)	5年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
57,038,000	53,998,721	27,990,000	0	0	300,000	25,708,721

※P49 小商いからはじめようチャレンジショップ推進事業の事業費を含みます。

[主な実施内容]

■宮代町商工会補助金（商工業振興事業補助金）	11,000,000円
■小規模事業者経営改善資金利子補給金	219,400円
■商店会等街路灯電気料補助金	144,000円
■店舗・住宅リフォーム事業補助金	2,894,000円
■商工業活性化事業補助金	1,837,000円
■キャッシュレス決済事業負担金	33,403,043円

[成 果]

宮代町商工会と連携して各種事業を展開することにより、地域商工業の活性化、地域の賑わいの創出に寄与しました。また、原材料費等高騰下における価格転嫁ができずに収入減となった事業者への事業継続の支援、町内経済活性化のため、各種事業による消費喚起を図りました。

■小規模事業者経営改善資金利子補給金

- ・利用件数 12件

■商店会等街路灯電気料補助金

- ・利用件数 2団体

■店舗・住宅リフォーム事業補助金

- ・利用件数 39件

■商工業活性化事業補助金

- ・経営・設備拡張事業 8件
- ・販路拡大促進事業 2件

■キャッシュレス決済ポイント付与

宮代町におけるキャンペーン第4弾として、最大25%のPay Payポイントの付与を実施しました。

(上限3,000円相当/回、10,000円相当/人)

期間 令和5年9月1日～9月30日

参加店舗数 147店舗

利用総額 140,031,016円

付与ポイント 33,403,043円相当

宮代ブランド創造事業

[商工観光担当]

決算書 P152

5年度予算 (円)	5年度決算 (円)	5年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
2,833,000	2,649,050	0	0	0	548,000	2,101,050

[主な実施内容]

■「メイドインみやしろ」推奨品の認定

- ・申請件数：48品 (うち新規申請6品) ※令和4年度：58品
- ・認定件数：48品 (うち新規認定6品) ※令和4年度：58品

※新規申請・認定品

巨峰染めファスナーポーチ

押花ガラス箸置き

豚もつ煮込

ドラゴンラーメン

唐揚げ

宮代あげ餅(醤油&塩)

ハンドワーク結 MIYASHIRO

ハンドワーク結 MIYASHIRO

ミート&デリカのぞわ

龍盛房

龍盛房

Jファーム

■「メイドインみやしろ」推奨品缶バッジの作成

86,053円

「メイドインみやしろ」推奨品のPRを行うため缶バッジを作成し、無印良品東武動物公園の町の案内所及び新しい村森の市場結で販売を行いました。



■「宮代iline(いーね)」の発行

1,790,632円

- ・第23号(8月発行)

特集「セレクト横丁「ROCCO」へようこそ」



- ・第24号（3月発行）

特集「みやしろニューホビーライフ」

- ・発行部数：各3万部

（うち2万4千部は東武スカイツリーライン沿線自治体にポスティング配布）

■マルシェの開催

メイドインみやしろ推奨品取扱事業者の支援、及び町内での起業及び出店を目指している方に販売の機会を提供し、起業を支援するためする取組として、ミヤシロまーぶるマルシェを開催しました。

【成 果】

町内商工業者による特産品づくりを支援するとともに、これらの特産品や町の観光イベントのPR活動を行うことで、地域産業の活性化、交流人口の増加、町の知名度の向上に寄与しました。

また、ふるさと納税を活用し、返礼品としてメイドインみやしろ推奨品を全国的に周知し、販路拡大に努めました。

宮代 iLine（いーね）を発行し、町内外の方に町の魅力のPRを行いました。

消費者対策事業

〔商工観光担当〕

決算書 P154

5年度予算 (円)	5年度決算 (円)	5年度決算の財源内訳（円）				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
540,000	501,098	0	100,000	0	0	401,098

【主な実施内容】

■消費生活相談員による相談窓口の開設

- ・開設日：年間 90日（毎週月・水曜日）
- ・相談件数：94件（前年度比24件減）

■杉戸町との連携による相談体制の強化

- ・令和5年度から杉戸町における相談体制が強化（毎週火・木・金曜日に実施）されたことに伴い、金曜日の相談にかかる費用の1/2を負担することにより、開庁日全日の相談体制を確保しました。

■若者のための消費生活講座の開催

- ・成人年齢の引き下げや、サービスの多様化・IT化が進む中で、高額な契約や巧妙な詐欺の手口が増えており、被害にあってから相談に来る若者が多い傾向にあることから、主に若者を対象とした消費生活講座を開催しました。

実施日：令和5年8月6日（日）

会場：進修館大ホール

参加者数：約200人

■多重債務相談窓口の開設

■宮代町消費生活センター啓発用品の配布

- ・町内の中学校の新３年生対象に啓発冊子「中学生もみんな消費者」配布

■消費者被害防止活動

- ・消費者被害防止サポーターへの定期的な情報発信

【成 果】

専門の消費生活相談員による相談窓口を週２回開設し、杉戸町との相談窓口相互利用をすることで、週５回の相談体制を実現しました。また、若者向けの消費生活講座を開催するとともに、消費者被害防止サポーターによる啓発活動に取り組みました。

まちづくり建設課

■ 本年度の成果

令和5年度は、東武動物公園駅周辺の賑わいの創出と住民の皆様方の暮らしやすさの向上を目指して、まちづくりに関する各種事業を積極的に進めました。

具体的には、東武動物公園駅西口では、県道春日部久喜線と都市計画道路東武動物公園駅西口通り線の交差点改良工事を進めました。また、東武動物公園駅東口では、関係地権者等の用地交渉及び用地買収を実施しました。

広域道路ネットワークの整備として、都市計画道路春日部久喜線（町道第12号線）については、用地交渉や歩道等の整備工事等を実施しました。また、都市計画道路春日部久喜線（町道第252号線）については、不動産鑑定や物件調査を実施しました。

まちづくり建設課では、引き続き、国や県の補助金を最大限に活用するとともに、計画的かつ効率的に事業を実施し、賑わいの創出や暮らしやすさの向上に努めてまいります。

■ 令和5年度前期実行計画

東武動物公園駅西口わくわくロード事業	36
岸辺遊歩道整備事業	41
地域のオリジナルパークをつくろう！	42
広域道路ネットワークの整備	44
東武動物公園駅東口にぎわいロード事業	45
和戸駅周辺活性化事業	46
姫宮駅西側周辺活性化事業	47

■ 本年度の主要事業

道路維持管理事業	182
地区生活道路整備事業	183
主要町道整備事業	183
橋りょう維持管理事業	184
一般住宅耐震対策事業	185
公園等環境管理事業	186

5年度予算 (円)	5年度決算 (円)	5年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
69,095,000	63,973,168	2,367,000	0	2,100,000	0	59,506,168

【主な実施内容】

■業務委託

- ・測量設計委託 492,800円
- ・道路・側溝等清掃業務委託 2,165,091円
- ・除草・街路樹管理業務委託 7,842,056円

■道路修繕工事実績

工事の種類	工事箇所	件数	金額
道路修繕工事	大字西条原	1件	18,768,200円
応急修繕工事	町内	63件	11,749,760円
道路維持管理工事(単価契約)	町内	27件	15,961,147円
合計		91件	46,479,107円

■負担金

- ・道路改築工事（白岡市道108号線・町道第77号線）の施工に伴う費用負担金 5,736,118円

■その他

- ・原材料費等 1,257,996円

【成 果】

道路の舗装修繕の実施や適切な維持管理により、道路機能の低下を抑制し、通学路の安全確保や地域住民の皆様の利便性向上を図りました。

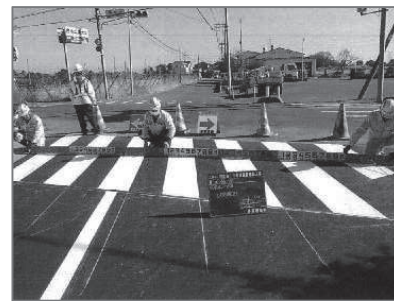
●道路修繕工事施工状況（町道第77号線舗装修繕工事）



掘削状況



舗設状況



完了確認状況

地区生活道路整備事業

〔道路担当〕

決算書 P156

5年度予算 (円)	5年度決算 (円)	5年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
5,551,000	1,911,786	0	0	0	0	1,911,786

【主な実施内容】

■測量調査等業務委託

・用地測量業務委託等 621,063円

■道路整備工事

・町道第721号線（和戸4丁目） 275,000円
 ・町道第719号線（字川端） 198,000円
 ・町道第139号線（字中島） 253,000円
 計 726,000円

■用地買収

・未登記用地 1件 105,571円

■負担金、補助及び交付金

・建築後退用地補助金 3件 459,152円

【成 果】

和戸4丁目地内（町道第721号線）他において道路整備を実施するなど、地域住民の皆様の利便性向上を図りました。

主要町道整備事業

〔道路担当〕

決算書 P156

5年度予算 (円)	5年度決算 (円)	5年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
3,000,000	2,750,000	0	0	0	0	2,750,000

【主な実施内容】

■測量設計等業務委託

・予備設計業務委託 2,750,000円

【成 果】

町道第1381号線の予備設計業務を実施し、事業推進を図りました。

5年度予算 (円)	5年度決算 (円)	5年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
59,330,000	53,318,100	14,902,000	0	10,900,000	0	27,516,100

〔主な実施内容〕

■設計委託

・天沼橋（字中）	490,600円
・無名橋6（大字和戸）	2,970,000円
・橋梁点検（町内全域）	10,450,000円
・基準点復旧	231,000円
計	14,141,600円

■橋梁修繕工事

・天沼橋（字中）	39,176,500円
----------	-------------

〔成 果〕

宮代町橋梁長寿命化修繕計画に従って、橋梁の修繕を実施し、道路橋の適切な維持管理を図りました。

●橋梁点検車による点検状況写真（河原橋）



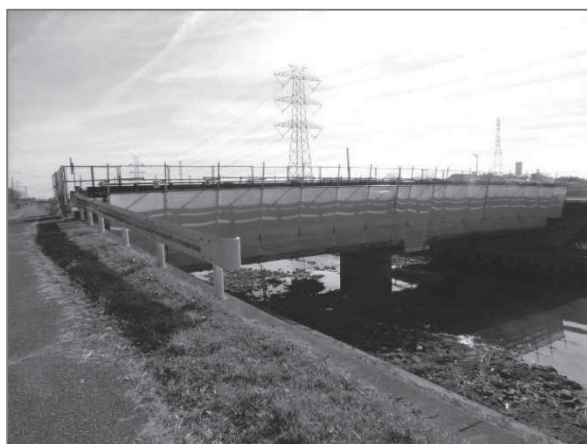
名称：令和5年度橋梁点検業務委託

場所：宮代町内全域

規模：橋梁点検 28橋

内容：橋梁点検車や近接目視による点検を実施

●橋梁修繕工事施工状況写真（天沼橋）



名称：令和5年度天沼橋修繕工事

場所：宮代町字中地内（隼人堀川）

規模：橋長29.9m 幅員6.0m

内容：塗装の塗替えやひび割れ等の補修を実施

5年度予算 (円)	5年度決算 (円)	5年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
451,000	251,000	125,000	0	0	0	126,000

※令和5年度予算のうち、200,000円を令和6年度に繰り越しています。

〔主な実施内容〕

■既存建築物耐震診断・耐震改修工事等補助金及び既存ブロック塀等撤去補助金の交付

地元の建築士や工務店と連携及び協力し、各補助金制度の利用促進に努め、広報紙やホームページ等により各種制度の周知を図りました。

		5年度 A	増減 A-B	4年度 B	3年度
耐震診断補助	件数 (件)	1	1	0	3
	補助金額 (円)	50,000	50,000	0	207,000
耐震改修工事補助	件数 (件)	0	0	0	0
	補助金額 (円)	0	0	0	0
建替え工事補助	件数 (件)	0	△1	1	0
	補助金額 (円)	0	△300,000	300,000	0
ブロック塀等撤去補助	件数 (件)	2	2	0	1
	補助金額 (円)	200,000	200,000	0	31,000
合 計	件数 (件)	3	2	1	4
	補助金額 (円)	250,000	△50,000	300,000	238,000

補助金 250,000円

その他負担金 1,000円

■既存建築物耐震診断・耐震改修工事・既存ブロック塀等撤去に関する相談環境の整備

役場の窓口及び電話にて相談された方について、地元の建築士や工務店と連携し、総合的な耐震・リフォーム相談を個別に実施しました。

また、令和5年10月に開催された地域防災訓練において、耐震・リフォーム相談窓口を設置し、相談の受付及び各種補助金制度の周知を図りました。

〔成 果〕

地元の建築士や工務店、広報紙等を通じて住宅の耐震化に関する情報を提供することで、各種制度の周知を図ることができました。

5年度予算 (円)	5年度決算 (円)	5年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
42,624,000	41,391,391	0	3,087,000	0	227,010	38,077,381

※P42 地域のオリジナルパークをつくろう！の事業費を含みます。

〔主な実施内容〕

■はらっパーク宮代の利用状況

広い芝生スペースで家族連れやグループがのびのびと自由に楽しむだけでなく、グラウンドゴルフやランニングバイクの大会等で多くの方々が利用しました。

(多目的広場の利用人数)

種 別	5年度 A	増減 A-B	4年度 B	3年度
グラウンドゴルフ	12,055	△3,348	15,403	17,046
ア ー チ ョ リ ー	6,346	1,790	4,556	3,522
サ ッ カ ー	6,044	345	5,699	3,786
ラ グ ビ ー	1,313	△115	1,428	1,103
運 動 会 な ど	327	△167	494	435

はらっパーク宮代指定管理料

11,817,000円

■公園管理協定に基づく住民主体の維持管理

地区（自治会）の皆さんにご協力いただき、町内28公園等を対象として公園管理協定を締結し、住民主体による公園の維持管理に努めました。

公園管理協定に基づく地区（自治会）と町の役割分担は、下記のとおりです。

地 区 （ 自 治 会 ）	町
・危険行為者等に対する注意・通報 ・遊具の破損、害虫発生等の通報 ・空き缶、ゴミ等の収集・廃棄 ・雑草等の除草・廃棄 ・樹木等の軽微な剪定 ・その他簡易な施設修繕等	・定期パトロールの実施 ・遊具等の点検・修繕 ・樹木等の剪定 ・病虫害の駆除・消毒 ・電気、水道料金の支払い ・苦情等への対応 ・その他公園全般の維持管理等

公園管理報奨金

148,000円

■街区公園等の維持管理

町内57箇所の街区公園等については、草刈、樹木の剪定等に加え、遊具等の点検を実施しました。また、職員による公園パトロールにより安全に利用できる公園環境に努めました。

街区公園等維持管理に関する費用

23,244,683円

■その他 負担金

6,000円

【成 果】

はらっパーク宮代については、適正な施設運営に努めました。また、新たな自主事業も開催し利用者の確保に努めました。

街区公園については、計画的な草刈や樹木剪定、遊具の点検・修繕により、安心・安全に利用できる公園環境に努めました。

教 育 推 進 課

■ 本年度の成果

本年度につきましては、新型コロナウイルス感染症が2類相当から5類へ移行となり、新型コロナウイルス感染症の影響下から脱却し、生活が日常に戻りつつある中での学校教育活動、生涯学習活動となりました。

そのような状況下で、これまで以上に次世代を担う子供たちがいきいきと学び健やかに成長するための学校教育の充実、町民の皆さんが健康で活力に満ちた生活を送るための生涯学習施策の推進を図るとともに、教育支援センターの運営、中学校のトイレの洋式化を進めるなど、教育環境の向上に努めることで心豊かでたくましい児童生徒の育成と町民の創意を生かした学びの場づくりの取組を行い、次のような成果をあげることが出来ました。

1. 教育総務・学校教育

新型コロナウイルス感染症が5類となり、以前の教育活動に戻せるよう、努めてまいりました。

町独自に非常勤講師を各学校に配置し、児童生徒一人一人を大事にするきめ細やかな学習指導を行い、児童生徒の学力向上を目指した教育活動を行って参りました。さらに、「心の教育」についても、郷土資料「島村盛助、どんぐりピアノ、山崎山」をはじめ適切な資料を活用し、道徳教育の充実を図りました。

小中学校一貫教育は、20年目を迎え各中学校区で地域性や実態に応じて、小中9年間を見通した計画を作成し、指導の一貫性をもって、特色ある教育活動が展開されました。その成果として、「島村盛助氏を顕彰する英語活動発表会」では、オンラインによる交流会を通して、島村盛助氏の功績を改めて確認するとともに、小・中学生の英語を学ぶ意欲を育て、国際理解教育の推進、コミュニケーション能力の向上などを図ることができました。

環境教育においては、これまでの学校内での取組を基に、児童生徒が家庭においても様々な環境問題に課題意識をもって取り組むことができました。さらに、児童生徒が中心となって家族の環境意識の向上を図る取組を進めました。

特別支援教育においては、各校に特別支援学級（知的、自閉症・情緒）を、また難聴・言語障害通級指導教室は町内に2教室で、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細やかな指導の充実を図ることができました。

学校運営においては、学校の自己評価、関係者評価、保護者アンケート等を公開することにより、学校課題を学校だけでなく保護者、地域とも共有し、新たな目標に地域が一体となって取組を進めました。また、町内全小・中学校に学校運営協議会を設置し、地域の中で特色ある学校づくりを目指すことができました。

不登校対策事業では、さわやか相談員やボランティア相談員、不登校対策学習支援員、さらにはスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと協力して対策に取り組みました。また、令和4年4月に開設した教育支援センター内には教育相談員、支援員に加え、新たに専門相談支援員を配置し、支援体制の構築、安定した運営のために努めてまいりました。

安全対策では、地域の防犯ボランティアの方々との連携により、児童生徒への交通事故や不審者に対する安全確保に努めました。

小中学校施設については、老朽化の進む学校施設において、中学校のトイレの一部を大規模改修しました。さらに、児童生徒が安心・安全に学校施設を利用できる教育環境を整備するため、学校施設個別施設計画に基づき、東小学校、笠原小学校及び百間中学校の体育館について、非構造部材改修工事を実施いたしました。

学校給食では、食材費の価格が高騰する中、美味しくて、栄養のある給食の提供を維持するため、町による食材費の一部補填を行いました。また、引き続き、地産地消の推進と児童生徒の郷土理解を深めるため、地元産の食材の活用を推進し、令和5年度には米約24.5トン、野菜等約12.2トン、合せて35品目、約36.7トンを使用しました。また、老朽化した給食センターのボイラーの更新工事を実施しました。

宮代町立小中学校適正配置事業では、昨年度に引き続き、須賀小学校地域拠点施設の再整備の取組を進め、令和5年6月に基本構想を策定し、更に基本構想に基づき基本計画を策定いたしました。基本計画の策定にあたっては、シンポジウムやワークショップ、団体ヒアリング、教職員ワークショップ等を開催し、地域や関係者の意見やアイデア等を聴取しながら、職員プロジェクトチーム及び須賀小学校地域拠点施設検討委員会を中心に検討を進め、令和6年3月に、須賀小学校地域拠点施設基本計画を策定いたしました。

2. 生涯学習

新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行により、感染対策を継続しつつも各事業の再開に努めました。小学生の知的好奇心を刺激する「子ども大学みやしろ」については、コロナ禍前の定員数に復元するとともに開催回数を増やして開催をしたほか、60歳以上のシニア世代の方を対象とした「みやしろ大学」を再開することができました。また、町民文化祭に替わる新たな文化芸術の祭典として「みやしろ芸術祭」を開催し、舞台発表や作品展示、アート体験ワークショップのほか、舞台発表に合わせてストリートピアノを設けて、気軽に芸術に触れていただける機会とすることができました。

公民館では文化芸術から軽スポーツまでの様々な活動に利用いただくとともに、新年度からの公共施設予約システムの稼働に合わせて周知に努めました。

3. 町立図書館

指定管理者の持つ専門性やノウハウの活用、町民ボランティア等の協力による図書館サービスの提供を行いました。開館30周年を迎えた本年度においては、開館30周年記念展示『広報みやしろ』からたどる図書館のあゆみ』を開催し、図書館の変遷を振り返るとともに利用者からいただいたメッセージによる壁面展示を行いました。また、日本工業大学や社会福祉協議会、健康介護課との学民官連携により、認知症合同展や行事への参画、保健センターとの共催企画による食育展など、他分野との連携事業を積極的に展開するなど、地域力を生かした図書館の新たな魅力アップへの取組を行いました。

4. スポーツ振興

町民の体力向上やスポーツに親しむ機会を提供するため、小学生から高齢者までを対象としたスポーツ教室を開催するとともに施設の維持管理に努めました。2年目を迎えた町民スポーツフェスティバルにおいては、町内のスポーツ団体による企画・運営による体験ブースを主体として全18

種目の競技を自由に体験できる機会として多くの方に参加いただきました。また、宮代町総合運動公園においては、老朽化した室内プールのボイラー更新を行うほか、指定管理者の持つ専門性を生かした様々な種目の教室を開催し、多くの方に参加をいただきました。

5. 文化財保護

郷土資料館では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、昨年度同様に受講人数を減じて「夏休み体験講座 郷土資料館へ行こう」や「歴史講座」などを開催しました。また、西原自然の森敷地内の活用促進を図るため、他課と共催で「西原自然の森フェスタ2023」を開催し、多くの方にご来場いただきました。

文化財保護においては、まちづくり基金を活用して、字東の五社神社地内にある町指定文化財「多少庵句碑（連溪庵南枝句碑）」に文化財案内板を設置しました。

埋蔵文化財発掘事業では、個人住宅の建設に伴う試掘調査を実施しました。また、過去の発掘調査における成果として、発掘調査報告書第26集「地蔵院遺跡（第二次）」を令和6年度に刊行すべく作業を進めました。また、平成29年度及び令和3年度道仏遺跡発掘調査で出土した遺物整理を行いました。

■ 令和5年度前期実行計画

西原自然の森活用事業（移築民家活用編）	28
まちなかどこでもミュージアム事業	37
地域のみんなでこどもたちの居場所づくり事業②	52
人権・平和推進事業	60
日工大サイエンスプロジェクト	69
宮代町立小中学校適正配置事業	70

■ 本年度の主要事業

交通安全・防犯対策事業	193
いじめ・不登校対策事業	194
小中一貫教育推進事業	194
町民みんなが先生推進事業	196
英語教育推進事業	196
I C T教育推進事業	196
小学校施設管理事業	197
小学校要準特別支援教育就学援助事業	197
小学校環境教育推進事業	198
中学校施設管理事業	198
中学校要準特別支援教育就学援助事業	199
学校給食運営管理事業	199
社会教育活動事業	200
人権教育推進事業	201
青少年健全育成事業	201
公民館管理運営事業	203
図書館管理運営事業	203
総合運動公園管理事業	205
社会体育施設維持管理事業	207
生涯スポーツ振興事業	208
文化財保護事業	210
埋蔵文化財発掘調査事業	211
資料館管理運営事業	212

5年度予算 (円)	5年度決算 (円)	5年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
140,000	81,030	0	0	0	0	81,030

【主な実施内容】**■新入学児童全員に防犯ブザーの配布**

トラック協会から寄贈された防犯ブザーを新入学児童全員に配布しました。

■通学路点検

小学校、中学校の通学路を点検し、通学路の把握とともに、危険箇所を確認し、地域、警察、関係課と連携して改善に向けて努めてきました。

■「こども１１０番の家」の設置

「こども１１０番の家」は、現在１２８軒あります。

児童生徒の登下校時や放課後において、不審者に出会ったり、不慮の危険に巻き込まれそうになったりしたときの駆け込み拠点として、また、落雷や大雨、竜巻などの自然災害から一時的に身を守る避難所として、協力していただいております。

■学校安全体制推進「スクールガード」・「スクールガードリーダー」の設置

学校や通学路における事件・事故が大きな問題となっている近年の状況を踏まえ、安全で安心な学校を確立するため、児童生徒が安心して教育を受けられるよう、家庭や地域の関係機関と連携しながら、各学校・地域で、安全パトロール（スクールガード）等を組織（小学校４校１８６人）しています。また、県からスクールガードリーダーの委嘱を受けた各小学校の代表が中心となって、学校間の連携を図りながら学校の巡回・指導、登下校時の見守り活動を行うなど実施体制の維持強化を図りました。

【成 果】

登下校指導及び通学路の点検等の活動もあり、大きな交通事故はありませんでした。また、「こども１１０番の家」やスクールガード等の御協力により、不審者による重大な事件も発生しておりません。

「こども１１０番の家」に新たに御協力いただける方も増え、スクールガードリーダーを中心に安全パトロールのボランティアの方々が、登下校時において毎日子供たちを見守り、安全を確保していただいているため、下校時における不審者情報等も減少しました。また、子供たちの顔を地域の方々に知っていただいたり、コミュニケーションを深めたりするなど、地域の防犯意識も高まってきています。

いじめ・不登校対策事業

〔学校教育担当〕 決算書 P170

5年度予算 (円)	5年度決算 (円)	5年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
469,000	329,000	0	0	0	0	329,000

【主な実施内容】

各中学校に1人の県費助成相談員を配置したほか、町独自の体制として相談員や支援員を配置し、児童生徒や保護者からの相談体制を継続して実施しました。また、教育支援センターに配置されている教育相談員に加え、専門相談支援員を新たに1名配置し、児童生徒や保護者へのフォローアップを実施しました。

令和5年度に「いじめ問題調査委員会」が2件設置され、調査を行いました。

【成 果】

令和5年度の不登校の児童生徒は57人でした。

ただし、学校に全く通えていないのではなく、相談室等へ登校しながら学校生活に徐々に慣れてきた傾向にあります。また、宮代町教育支援センターへ通級し、学習面や生活面の支援を受けながら集団生活の適応や心の安定を図っている児童生徒もいます。

また、学校の全教職員と中学校配置相談員（さわやか相談員）、ボランティア相談員、教育相談員が連携して児童生徒へのフォローに努め、登校ができるよう支援を行いました。さらに、県から小中学校7校に派遣されたスクールカウンセラーの協力を得ながら、専門的な見地からの保護者への支援を行いました。

宮代町の全児童生徒に対する不登校児童生徒の割合は、小学校では1.1%、中学校においては5.7%です。

小中一貫教育推進事業

〔学校教育担当〕 決算書 P170

5年度予算 (円)	5年度決算 (円)	5年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
230,000	225,999	0	0	0	0	225,999

【主な実施内容】

■宮代町立小中学校一貫教育推進委員会の運営

第1回目は委員が集まり今年度の各中学校区での取組について話し合いを行いました。それぞれの中学校区での取組を参考にしながら、中学校区ごとに小中一貫の取組が進められるよう実施しました。第2回は、1年間の成果や課題を挙げ、令和6年度の教育活動につなげられるよう、まとめを行いました。

各中学校区では、新型コロナウイルス感染症が5類となり、以前の教育活動に戻しながら、工夫して取組を行いました。

須賀小・中学校では、Sプランをもとに「力いっぱい!」「全力」を合言葉にして取り組みました。今年度も、「つなぐ」をキーワードに、ねらいを「指導をつなぐ、児童生徒の心をつなぐ、教職員の意識をつなぐ」として取り組み、より一層の推進を目指しました。コロナ以前とコロナ中の取組を振り返り、参集やオンラインでの活動、それぞれの良さを吟味しながら計

画・実施に取り組むことができ、「持続可能な取組の中でより一層効果が図れること」を新たな課題として見据えることができました。

東小学校・笠原小学校・百間中学校においては、ゆずり葉プランに基づいて、今年度も、「教科における緩やかな連携」「学習内容の関連の明確化」「英語科授業の連携」「挨拶運動での交流」「生活面・学びにおける共通事項の確認及び実践」を継続して行いました。9年間の中での発達に応じた指導の充実に努め、学習意欲を向上させながら学びを深めること、小中の交流を通して豊かな心の育成を図ることを目指し指導を進めることができました。

百間小学校・前原中学校では、Mプランに基づいて、「気持ちよく挨拶できる児童生徒」「人の話を目を見てしっかり聞ける児童生徒」「学習（家庭学習）に進んで取り組む児童生徒」「研修を通しての教職員の資質向上」を重点として継続して取り組みました。学力の向上と豊かな心の育成を目指し、今年度は小中相互授業参観を積極的に行いました。それにより、小中学校の教員が互いの学習指導、生徒指導について理解を深め、より効果的な指導を行うことができるよう努めました。

■小中学校一貫英語教育の推進

全小学校に専属の日本人の外国語活動補助員を週2日配置し、小学校外国語活動・英語科の一層の推進を図りました。また、小学校では、英語の専科教員が担任、外国語活動補助員や英語指導助手（ALT）と連携して指導し、外国語教育の充実に向けて取り組みました。

小学校6年生、中学校2年生の全児童生徒を対象として、郷土の偉人「島村盛助を顕彰する英語活動発表会」を各中学校区で開催し、オンラインや動画による交流を行いました。

■道徳教育の推進

郷土道徳資料として作成した島村盛助、どんぐりピアノ、山崎山の三部作を、全小中学校で年間指導計画に位置づけ道徳の時間において活用しました。各校の取組は、学校便りやホームページ等を通して、家庭や地域に各校の道徳教育として発信しました。

[成 果]

全中学校区において、地域の特性を生かした連携を図り、小中一貫教育を推進しました。中学校区ごとに小中9年間を見通したプランを作成し、小学生の中学校生活への不安感の解消と、中学校生活に対する期待感の向上を図り、中一ギャップの解消につなげるよう努めました。

英語教育においては、外国語活動補助員及びALTの積極的な活用を図りました。令和2年度からは、小学校で新しい学習指導要領のもと、小学校3・4年生で週1時間の外国語活動、5・6年生で週2時間の外国語科の授業を実施しています。百間中学校区で行われていた外国語教育研究の成果を生かしながら、指導の充実に図ることができました。また、道徳教育においては、郷土資料を使つての授業を計画的に実施し、郷土愛をはぐくみ、道徳の授業に対する児童生徒の興味・関心を高め、心の教育を推進することができました。また、研究授業を通して、道徳教育の授業力向上に結びつけることができました。

町民みんなが先生推進事業

〔学校教育担当〕 決算書 P170

5年度予算 (円)	5年度決算 (円)	5年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
1,612,000	1,116,079	0	303,000	0	0	813,079

【主な実施内容】

「町民みんなが先生」制度により、部活動等で9人の方々が小中学生の指導を行いました。

【成 果】

児童・生徒が町民の方々の優れた技術や知識に触れることにより、学習意欲や向上心が培われました。また、町民の方々と児童・生徒との触れ合いの場ともなり、地域に開かれた学校づくりが一層推進されました。

英語教育推進事業

〔学校教育担当〕 決算書 P170

5年度予算 (円)	5年度決算 (円)	5年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
16,442,000	15,778,300	0	0	0	1,000,000	14,778,300

【主な実施内容】

町内中学校に英語指導助手を各校1人ずつ配置するとともに、小学校には英語指導助手を2校に1人配置しました。

【成 果】

小学校においては、外国語活動・英語科学習の中で、英語の音声にたくさんふれながら、児童が英語を身につける指導を行うことができました。また、他国の文化を知る国際理解教育が推進できました。

中学校においては、英語を使って互いの気持ちや考えを伝え合う活動や、具体的な場面や状況に合った表現を用いて、事実や思いを伝える活動を行うことができました。その結果、コミュニケーション能力を高めることができました。また、「島村盛助を顕彰する英語活動発表会」を各中学校区においてオンラインで開催し、小・中学校における英語の学習の成果等を発表することができました。

ICT教育推進事業

〔教育総務担当〕 決算書 P172

5年度予算 (円)	5年度決算 (円)	5年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
147,644,000	144,607,037	34,966,500	0	0	0	109,640,537

【主な実施内容】

各小・中学校のパソコン室の管理、GIGAスクール構想の実現に向け1人1台の情報端末を活用したICT教育の推進に取り組みました。また、学校現場で使用している校務支援システム、校務用パソコンを更新しました。

[成 果]

1人1台情報端末の活用を通じて、子供たちの情報活用能力を高め、主体的・対話的で深い学びを実現しました。

校務支援システムと校務支援用パソコンを更新し、学校現場の働きやすさの改善に寄与しました。

小学校施設管理事業

〔教育総務担当〕

決算書 P178

5年度予算 (円)	5年度決算 (円)	5年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
116,054,000	108,006,605	12,012,000	0	30,646,000	0	65,348,605

[主な実施内容]

■町内各小学校の施設整備・改修・修繕(主なもの)

内 容	契約期間	金額(円)
令和5年度東小学校屋内運動場非構造部材改修工事	R5.6.8～R6.2.29	19,613,000
令和5年度笠原小学校屋内運動場非構造部材改修工事	R5.6.8～R6.2.29	19,800,000
笠原小学校エアコン増設工事	R6.2.1～R6.3.31	4,312,000
笠原小学校放送室改修工事	R6.2.2～R6.3.31	1,243,000

[成 果]

東小学校及び笠原小学校の屋内運動場において、地震による落下物(照明やバスケットゴール等)から児童等を守るため、落下防止対策を実施しました。

また、笠原小学校の児童数増加に伴う施設整備を実施しました。

小学校要準特別支援教育就学援助事業

〔学校教育担当〕

決算書 P180

5年度予算 (円)	5年度決算 (円)	5年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
17,534,000	11,445,685	477,000	0	0	0	10,968,685

[主な実施内容]

経済的理由により就学費用の負担が困難な児童の保護者に対して、就学援助費として学校給食費・学用品費等を支給しました。

また、学校教育法施行令第22条の3に規定する障害の程度に該当する児童又は特別支援学級に就学する児童の保護者に対して、就学奨励費として学校給食費・学用品費等を支給しました。

[成 果]

保護者の経済的負担の軽減により、教育の機会均等と格差是正の促進を図ることができました。

就学援助費支給者は124人(8,144,148円)となりました。また、特別支援教育就学奨励費支給者は36人(959,277円)となりました。

加えて、翌年度新小学1年生・中学1年生となる新入学児童生徒の保護者に対して、入学準備

のための学用品費の事前支給をしました。事前支給者は36人（2,342,260円）となりました。

小学校環境教育推進事業

〔学校教育担当〕

決算書 P-

5年度予算 (円)	5年度決算 (円)	5年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
6,000	0	0	0	0	0	0

【主な実施内容】

各校の代表児童生徒による宮代町子ども環境会議を参集型で実施し、各小・中学校が、話し合った内容を踏まえた環境対策に取り組みました。

【成 果】

令和5年12月8日、宮代町役場202会議室と各校をオンラインでつなぎ「キッズエコサミット宮代2023」を開催しました。小学校5・6年生全員と中学校の代表生徒が参加し、各校で年間をとおして取り組んだ環境への取組を紹介しました。

また、自分たちで行える環境への取組について話し合う「子ども環境会議」も開催しました。電気、水道がなかった江戸時代にタイムスリップしたつもりで、節電、節水に取り組む日である「宮代江戸の日」を実施しました。町内小・中学生が取り組み、「プール遊びをした水で、打ち水をした」「こまめに部屋の電気を消したり、電気のかわりにろうそくを使ったりして過ごした」「いらなくなった布で雑巾を作ってそうじをした」など、子供たちが自ら考えた取組が見られ、環境への意識が高まっています。

中学校施設管理事業

〔教育総務担当〕

決算書 P184

5年度予算 (円)	5年度決算 (円)	5年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
144,821,000	138,952,089	29,882,000	0	59,654,000	0	49,416,089

【主な実施内容】

■町内各中学校の施設整備・改修・修繕（主なもの）

内 容	契約期間	金額(円)
令和5年度中学校トイレ改修工事（その1）	R5.6.8～R5.10.31	36,751,000
令和5年度中学校トイレ改修工事（その2）	R5.6.8～R5.10.31	27,489,000
令和5年度百間中学校屋内運動場非構造部材改修工事	R5.6.8～R6.2.29	26,796,000
百間中学校エアコン増設工事	R6.2.1～R6.3.31	2,288,000

【成 果】

各中学校のトイレ改修工事（一部）を実施し、教育環境の改善とトイレ洋式化率の向上を図りました。

また、百間中学校屋内運動場において、地震による落下物（照明やバスケットゴール等）から生徒等を守るため、落下防止対策を実施し、校舎では生徒数増加に伴う施設整備を実施しました。

中学校要準特別支援教育就学援助事業

〔学校教育担当〕

決算書 P186

5年度予算 (円)	5年度決算 (円)	5年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
12,127,000	7,848,923	313,000	0	0	0	7,535,923

【主な実施内容】

経済的理由により就学費用の負担が困難な生徒の保護者に対して、就学援助費として学校給食費・学用品費等を支給しました。

また、学校教育法施行令第22条の3に規定する障害の程度に該当する生徒又は特別支援学級に就学する生徒の保護者に対して、就学奨励費として学校給食費・学用品費等を支給しました。

【成 果】

保護者の経済的負担の軽減により、教育の機会均等と格差是正の促進を図ることができました。就学援助費支給者は71人（7,233,838円）となりました。また、特別支援教育就学奨励費支給者は13人（615,085円）となりました。

学校給食運営管理事業

〔教育総務担当〕

決算書 P198

5年度予算 (円)	5年度決算 (円)	5年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
350,019,000	349,318,515	9,985,348	0	0	115,652,133	223,681,034

【主な実施内容】

安全でおいしい給食を実施するために、献立等について話し合う宮代町学校給食研究委員会を6回、給食に使う物資について検討する物資検討会を11回開催しました。また、給食の計画や実施内容など、給食に関して客観的な立場から審議する宮代町学校給食運営審議会を1回開催しました。さらに、特定の食材についてアレルギーを持っている児童生徒に対し、その食材を使用しない「除去食」や「代替食」の提供によるアレルギー対策を実施しました。

■学校給食における宮代産農作物の使用状況

年 度	令和5年度	令和4年度	令和3年度
品 目 数	35品目	35品目	40品目
使 用 量 (米・野菜等)	米 約24.5トン 野菜等 約12.2トン	米 約23.8トン 野菜等 約12.6トン	米 約24.4トン 野菜等 約14.5トン

[成 果]

・食育の推進

児童生徒の健康面や発育に十分配慮するとともに、世界の料理や全国の郷土料理、季節の行事食、我が家の自慢料理などのメニューの工夫により、楽しく食べながら、社会性や豊かな人間性の育成につながるよう取り組みました。

社会教育活動事業

[生涯学習室]

決算書 P188

5年度予算 (円)	5年度決算 (円)	5年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
3,371,000	1,137,802	0	0	0	0	1,137,802

※P37 まちなかどこでもミュージアム事業の事業費を含みます。

[主な実施内容]

■みやしろ大学

32,094 円

60歳以上の方を対象とした「みやしろ大学」では、受講生が運営委員となって講座の企画運営に携わり、シニア世代の生きがいづくりや健康づくりにつながる講座などを開催し、延べ144人が参加しました。

回	テーマ・内容	開催日	会 場	参加者数
1	カラダは食べた物からできている	1月24日	図書館ホール	52人
2	身近な温暖化対策は、どのくらい効果があるのか考えてみよう	2月7日	図書館ホール	48人
3	災害・防災と男女共同参画	3月13日	図書館ホール	44人

■二十歳のつどい（令和6年1月7日（日））

583,034 円

令和4年4月からの改正民法の施行による成人年齢の引き下げにより、「二十歳のつどい」として20歳の方を対象として、町の特色を活かし、レジャーランドのある「東武動物公園」を会場に開催しました。企画、運営は新20歳の対象者で構成される実行委員会により行われ、184人が参加しました。

[成 果]

二十歳のつどいについては、東武レジャー企画（株）の協力により東武動物公園イベントステージHOLA！（オーラ）を会場に、レジャーランドのある地域特性を活かした式典を開催することができました。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により中止が続いていたみやしろ大学については、4年ぶりに再開することができました。

人権教育推進事業

〔生涯学習室〕

決算書 P188

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
922,000	798,996	0	0	0	0	798,996

※P60 人権・平和推進事業の事業費を含みます。

〔主な実施内容〕

■子ども人権講座の開催

40,000 円

町内の小学校 6 年生全員を対象に子ども人権講座「視力を失って見えたもの」を開催し、26 3 人が受講し、命の大切さについて学ぶことができました。

■人権文集（あおぞら第 29 集）の発行

103,714 円

各小・中学校の児童生徒が書いた人権作文・標語を作品集にまとめました。また、作文発表会には、会場校の 5、6 年生 102 人、一般 10 人が参加しました。

■宮代町人権教育推進協議会への助成

486,238 円

人権教育の振興と明るい地域社会づくりのため、宮代町人権教育推進協議会の啓発、研修活動に対して助成を実施しました。

〔成 果〕

子ども人権講座では、講師から視力を失いながらも「あきらめないこと」「挑戦する気持ちを持ち続けること」を話してもらい、子供たちにとって生きることの視座をたくさん含んだ研修となりました。人権作文や標語の作成では、子供たち一人一人が人権問題について考える機会となりました。

青少年健全育成事業

〔生涯学習室〕

決算書 P188

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
491,000	193,071	0	0	0	45,200	147,871

〔主な実施内容〕

■子ども大学みやしろ

34,593 円

日本工業大学と連携し、小学校 4～6 年生を対象に「子ども大学みやしろ」を開校しました。

回	講義名	期日	場所	参加者数
1	振動でまわるプロペラの原理を探る	9 月 3 日 (日)	日本工業大学 8 号館	37 人
2	みんなで学ぼう！ ～ライフサイクルゲーム～	9 月 23 日 (土)	日本工業大学 5 号館	36 人
3	おくすりの成分を取り出してみよう	10 月 22 日 (日)	すてっぷ宮代 しいがし	35 人

4	お金の使い方 ～お金と上手に付き合おう～	10月29日（日）	すてっぷ宮代 しいがし	32人
5	子ども大学 SDGsCrafters	11月12日（日）	日本工業大学 5号館	37人
6	とことこうさぎ	11月26日（日）	日本工業大学 8号館	35人

■新みやしろ郷土かるた大会・彩の国21世紀郷土かるた大会

59,478円

宮代町と埼玉県それぞれの歴史、文化、風景、自然などを題材として制作された郷土かるたの大会を開催しました。

大会名	期 日	場 所	対 象	参加者数
新みやしろ郷土かるた大会	7月2日（日）	進修館 大ホール	小学校1～6 年生	126人
彩の国21世紀郷土かるた宮代大会	1月21日（日）	百間小学校 体育館	小学校1～6 年生	67人

■宮代町青少年相談員の活動

75,000円

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止していた、町民まつり及び桜市におけるプラバン工作教室やミニ提灯づくり教室を再開しました。

■宮代町青少年育成推進員の活動

24,000円

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止していた、青少年健全育成駅頭キャンペーン及び町民祭り当日の夜間パトロールを実施し、コロナ禍以前に実施していた全事業を再開しました。

期 日	内 容
7月7日	青少年健全育成駅頭キャンペーンを実施
7月14日	「社会を明るくする運動」キャンペーンに参加
8月19日	町民祭り会場周辺の夜間パトロールを実施
11月20日	町内コンビニエンスストア6店舗を巡視
12月18日	町内全域の夜間パトロールを実施

[成 果]

子ども大学みやしろでは、日本工業大学との連携による実行委員会を組織し、大学教授や学生団体による大学の特色を活かした専門的な講義や民間企業による出前講座をカリキュラムに取り入れました。

郷土かるた大会では、競技をとおして仲間づくりや郷土愛を育む機会を設けることができました。新みやしろ郷土かるた大会については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止が続いていましたが、4年ぶりに開催することができ、42チーム126人が参加しました。また、彩の国21世紀郷土かるた大会については、宮代大会における上位成績のチームが令和6年3月に開催された埼玉県大会に出場し、団体戦の部においては宮代町代表チームが第3位の好成績を収めました。

公民館管理運営事業

〔生涯学習室〕 決算書 P190

5年度予算 (円)	5年度決算 (円)	5年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
5,473,000	3,908,933	0	0	0	2,341,480	1,567,453

〔主な実施内容〕

■公民館の利用状況

令和5年度は308日開館し、3館で合計42,561人が利用しました。

		5年度 A	増減 A-B	4年度 B	3年度
百間公民館	利用回数	1,423	△90	1,513	1,406
	利用人数	14,327	△166	14,493	11,807
川端公民館	利用回数	1,801	△115	1,916	1,867
	利用人数	13,273	△102	13,171	12,763
和戸公民館	利用回数	1,856	△121	1,977	1,892
	利用人数	14,961	△76	15,037	13,591
合 計	利用回数	5,080	△326	5,406	5,165
	利用人数	42,561	△140	42,701	38,161

〔成 果〕

文化、芸術、軽スポーツ、健康づくり、自治会など、さまざまな分野のサークル、団体の活動拠点として利用され、町民の生涯学習、地域コミュニティ活動の推進に寄与しました。

図書館管理運営事業

〔生涯学習室〕 決算書 P190

5年度予算 (円)	5年度決算 (円)	5年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
88,953,000	88,945,600	0	0	0	77,760	88,867,840

〔主な実施内容〕

指定管理者制度を活用し、図書館の管理運営を行いました。

■図書館の利用状況

		5年度 A	増減 A-B	4年度 B	3年度
開館日数(日)		291	1	290	290
貸出者数(人)		72,145	△3,534	75,679	77,012
うち広域対象		21,215	△248	21,463	21,398
貸出冊数(冊・点)		249,202	△17,630	266,832	271,541
うち広域対象		67,030	△4,117	71,147	68,846

■図書等の所蔵数の状況

	5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
図 書 (冊)	272,411	2,189	270,222	267,798
うち一般書	206,597	2,731	203,866	202,079
うち児童書	65,814	1,882	63,932	63,124
視聴覚資料(点)	8,239	118	8,121	8,042
合 計	280,650	2,307	278,343	275,840

■各種行事等の実施状況

童話と絵本の会や子ども映画会などボランティア団体等の協力による月例（定期）行事のほか、ナクソス・ミュージック・ライブラリーを利用したコンサートなどを開催し、延べ2,900人が参加しました。

【月例行事】

行 事 名	回数	参加者数
童話と絵本の会	全 14 回	168 人
紙芝居と折り紙	全 12 回	222 人
おはなし会	全 21 回	188 人
こども映画会	全 10 回	182 人
ライブラリーシアター	全 12 回	395 人
ナクソス音楽会	全 12 回	185 人
えほんの会（すいよう・にちよう）	全 23 回	374 人

【定例季節行事】

行 事 名	開催日・回数	参加者数
としょかんこどもまつり	4 月 23 日（日）	95 人
朗読会	5 月 28 日（日）	23 人
夏休み親子で楽しむおはなしと映画	7 月 22 日（土）、 8 月 20 日（日）、8 月 26 日（土）	60 人
夏休み子ども映画会	7 月 23 日（日）	10 人
夏休みおはなし工作会	7 月 30 日（日）	14 人
夏休み科学あそび教室	8 月 4 日（金）	26 人
夏休みこども平和映画会	8 月 6 日（日）	27 人
夏休み読書感想文教室	8 月 11 日（金・祝）	19 人
講談を楽しむ会（DVD）	9 月 15 日（金）	8 人
図書リサイクル市	10 月 7 日（土）、8 日（日）	80 人
ぬいぐるみおとまり会	10 月 8 日（日）、9 日（月・祝）	30 人
朗読会	11 月 26 日（日）	12 人
クリスマスお楽しみ会	12 月 24 日（日）	36 人
おとなのための昔話と音楽のつどい	2 月 25 日（日）	95 人
雑誌リサイクル市	3 月 2 日（土）、3 日（日）	130 人

【特別企画行事】

行 事 名	開催日・回数	参加者数
マネー講座「ライフプランの立て方～高齢者向け～」	6月25日（日）	25人
調べ学習ワークショップ	7月22日（土）、23日（日） 8月5日（土）、6日（日）	45人
ゆうべのこわ～いおはなし会	8月27日（日）	60人
日本工業大学特別講演会 「雷しいたけと宮代町」	9月10日（日）	27人
アルツハイマー特別映画会	9月30日（土）	95人
アルツハイマー月間回想サロン	10月1日（日）	32人
ナクソス音楽会 特別回	10月4日（水）	30人
バリアフリー映画会	10月25日（水）	27人
持ち寄りレコード鑑賞会	11月3日（日）	22人
大人のための16ミリ映画会	11月18日（土）	45人
昭和の名人芸を聴く会	1月8日（月・祝）	17人
生きる力を育てるために	2月16日（金）、3月1日（金）	39人
デジタル郷土史講座	2月23日（金・祝）	26人
みやしろ子ども司書講座	3月2日（土）、9日（土）、 16日（土）、23日（土）	6人
耳で聴いてギリシア神話	3月24日（日）	25人

【成 果】

指定管理者の持つ専門性やノウハウの活用、町民ボランティア等の協力による図書館サービスの提供を行いました。開館30周年を迎えた本年度においては、開館30周年記念展示として図書館の変遷を振り返る『広報みやしろ』からたどる図書館のあゆみを開催するとともに、利用者からいただいたメッセージによる壁面展示を行いました。また、日本工業大学や社会福祉協議会、町健康介護課との学民官連携による取り組みをはじめ、保健センターとの共催企画による食育展など、他分野との連携事業を積極的に展開するなど、地域力を生かした図書館の新たな魅力アップへの取り組みを実施しました。

総合運動公園管理事業

〔生涯学習室〕

決算書 P194

5年度予算 （円）	5年度決算 （円）	5年度決算の財源内訳（円）				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
89,815,000	84,738,170	0	0	0	249,910	84,488,260

※令和5年度予算のうち、2,607,000円を令和6年度に繰り越しています。

【主な実施内容】

指定管理者制度を活用し、総合運動公園の管理運営を行いました。

■総合運動公園の利用状況

令和５年度は３１１日開園し、１９４、０８０人が利用しました。

		５年度Ａ	増減 Ａ－Ｂ	４年度Ｂ	３年度
テニスコート	利用件数	2,935	△427	3,362	3,433
	利用人数	21,150	△2,659	23,809	23,605
多目的広場	利用件数	120	1	119	146
	利用人数	6,420	△810	7,230	8,186
野球場	利用件数	218	△21	239	245
	利用人数	13,344	△3,255	16,599	16,562
ソフトボール場	利用件数	166	△13	179	197
	利用人数	5,061	115	4,946	5,504
メインアリーナ	利用件数	1,240	△194	1,434	1,686
	利用人数	26,263	△2,029	28,292	27,965
サブアリーナ	利用件数	1,168	3	1,165	577
	利用人数	15,090	524	14,566	28,006
剣道場	利用件数	548	10	538	310
	利用人数	12,062	807	11,255	4,337
柔道場	利用件数	405	△61	466	560
	利用人数	5,330	△924	6,254	7,145
弓道場	利用件数	1,260	251	1,009	995
	利用人数	4,612	609	4,003	3,513
会議室	利用件数	442	29	413	468
	利用人数	4,590	△592	5,182	5,249
研修室	利用件数	351	△6	357	367
	利用人数	5,719	△10	5,729	6,473
トレーニング室	利用件数	12,078	1,454	10,624	9,337
	利用人数	12,078	1,454	10,624	9,337
室内プール	利用件数	32,291	3,060	29,231	27,730
	利用人数	62,361	2,977	59,384	51,990
合計	利用件数	53,222	4,086	49,136	46,051
	利用人数	194,080	△3,793	197,873	197,872

■教室等の自主事業実施状況

教室名	５年度Ａ	増減 Ａ－Ｂ	４年度Ｂ	３年度
水泳	30,591	△176	30,767	24,563
テニス	4,058	△61	4,119	3,734
体育	1,579	△269	1,848	1,444
新体操	677	△150	827	1,054
フットサル	1,048	△76	1,124	1,575

バスケットボール	1,528	352	1,176	924
バドミントン	582	96	486	505
健康教室	4,210	628	3,582	3,005
ヨガ	1,896	175	1,721	1,651
卓球	1,262	△166	1,428	1,101
ビクトリークリニック	32	△47	79	72
ピラティス	46	46	0	0
ズンバ	66	66	0	0
その他大会・教室	841	512	329	308
合計	48,416	930	47,486	39,936

■施設の主な工事等

内 容	金額（円）
宮代町総合運動公園体育館室内プールボイラー更新工事	15,378,000
宮代町総合運動公園中央監視盤更新工事	2,255,000
総合運動公園体育館メインアリーナ天井部昇降設備設置工事	882,970

【成 果】

指定管理者の持つ専門性やノウハウを活かした各種スポーツ教室や健康教室など幅広い世代に対する事業を展開し、19万人以上の方に施設を利用していただきました。

社会体育施設維持管理事業

〔生涯学習室〕

決算書 P194

5年度予算 （円）	5年度決算 （円）	5年度決算の財源内訳（円）				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
7,880,000	7,255,123	0	0	0	252,000	7,003,123

【主な実施内容】

■町内グラウンド・テニスコートの利用状況

令和5年度は360日開所し、41,737人が利用しました。

		5年度 A	増減 A-B	4年度 B	3年度
前原グラウンド	利用件数	389	△15	404	376
	利用人数	7,504	△2,242	9,746	7,112
東条原グラウンド	利用件数	312	43	269	310
	利用人数	4,663	105	4,558	4,493
東グラウンド	利用件数	133	△28	161	229
	利用人数	2,019	△144	2,163	2,969
宮東グラウンド	利用件数	437	△31	468	408
	利用人数	12,467	△184	12,651	11,644

宮 東 テ ニ ス コ ー ト	利 用 件 数	1,650	△39	1,689	1,759
	利 用 人 数	12,831	△1,889	14,720	15,111
山 崎 ア ー チ ョ ー リ ー 場	利 用 件 数	2,253	158	2,095	2,591
	利 用 人 数	2,253	158	2,095	2,591
合 計	利 用 件 数	5,174	88	5,086	5,673
	利 用 人 数	41,737	△4,196	45,933	43,920

■施設の主な工事等

内 容	金 額 (円)
宮東テニスコート ネットフェンス及び防球ネット支柱交換工事	3,190,000

[成 果]

町民の身近なスポーツ・レクリエーション施設として、個人・スポーツ団体には、ソフトボールやテニスをはじめ、さまざまなスポーツの活動場所に利用され、町民の健康増進・体力向上が図られました。各グラウンド・テニスコートでは令和6年1月からインターネットによる公共施設予約システムが導入され、利用者の利便性が向上しました。

生涯スポーツ振興事業

〔生涯学習室〕 決算書 P196

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
1,616,000	1,132,311	0	0	0	8,800	1,123,511

[主な実施内容]

■町民スポーツフェスティバル2023

641,849 円

町内のスポーツ団体を中心に、全18種目のスポーツを自由に体験できるフェスティバルを開催しました。延べ3,225人の来場者が訪れ、町民の健康増進・体力向上が図られました。

■町民スポーツ大会

400,564 円

宮代町体育協会へ委託し、町民の健康づくりと競技力の向上のため、各種スポーツ大会を6種目実施しました。

事 業 名	実施時期	会 場	参加チーム 参加者数
野 球 の 部	7～8 月	総 合 運 動 公 園 野 球 場	10 チーム
硬 式 テ ニ ス の 部	9 月	総 合 運 動 公 園 テ ニ ス コ ー ト	15 ペア
ソ フ ト ボ ー ル の 部	10～11 月	総 合 運 動 公 園 ソ フ ト ボ ー ル 場	11 チーム
サ ッ カ ー の 部	11 月	総 合 運 動 公 園 多 目 的 広 場	4 チーム
剣 道 の 部	6 月	総 合 体 育 館 メ イ ン ア リ ー ナ	95 名
卓 球 の 部	11 月	総 合 体 育 館 メ イ ン ア リ ー ナ	13 チーム

■少年少女スポーツ振興事業

80,156 円

悪天候により一部事業が中止になりました。

事業名	実施時期	会場	参加者数
少年少女スポーツフェスティバル	6月18日(日)	総合体育館 メインアリーナほか	456人
ロードレース大会	2月10日(土)	総合運動公園	降雪のため中止

■その他の事業

事業名	会場	目的・内容	参加者数
第49回年少者スキー教室 1月6日(土)～7日(日)	よませ温泉 スキー場	小学校5・6年生を対象に、集団生活における協調性の養成とスキーの初歩的技術の習得を図ります。	雪不足のため 中止
大人のスポーツフィールド 6～3月	総合体育館 メインアリーナ サブアリーナ	埼玉地区発祥のニュースポーツ「さいかつぼーる」を中心としたニュースポーツの体験を通して、日頃の運動不足を解消し、スポーツに親しむ機会を提供します。	計53名 (全4回)
あそびと運動 〔「チャレンジ」「トライ」を一本化〕	総合体育館 メインアリーナ	小学生を対象として、様々なスポーツ種目を体験することで、スポーツの楽しさと基本を知るとともに、一人ひとりが自分にあったスポーツや興味の持てるスポーツに出会うことを目的としています。	計36名 (全3回)

【成果】

新型コロナウイルス感染症の5類移行により、昨年度以前と比べ多くの事業を再開することができましたが、天候不順や協力団体の解散など様々な理由により、中止となる事業もありました。

町民のスポーツ振興を図る事業を、町内の団体と協力しながら実施し、様々なスポーツに触れていただく機会を提供しました。

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
776,000	614,271	0	0	0	227,000	387,271

[主な実施内容]**■文化財保護委員会の運営**

149,000 円

文化財の指定等を審議するため文化財保護委員会を開催し、町指定文化財候補の調査、審議等を実施しました。また、教育委員会あてに東条原獅子舞用具を町指定有形民俗文化財とする建議を行いました。

■調査

東部地区文化財担当者会による東部地区の古代（遺跡）及び信仰（神社）に関する調査を令和4年度に引き続いて実施しました。

■歴史講座の実施

20,000 円

3月17日に宮代町発掘調査員の青木秀雄氏、24日に元埼玉県埋蔵文化財調査事業団の細田勝氏を講師に迎え、「縄文土器からみるヒトと社会」を開催しました。青木氏からは縄文時代の概説を、細田氏からは土器から当時の社会を考えるとという専門的な内容でお話していただきました。受講者は、2回あわせて35人でした。

■文化財案内板等の設置

220,000 円

宮代まちづくり基金を活用し、字東の五社神社境内地内にある「多少庵句碑（連溪庵南枝句碑）」について、その由来等を記した案内板を設置しました。

■指定文化財保存事業への補助

33,000 円

指定文化財の保護・保存を目的に、埼玉県指定有形文化財五社神社本殿の管理者に防災設備保守点検費用および緊急修繕に対する補助を行いました。

[成 果]

文化財案内板を設置することで合計44基となりました。これまで設置したものと合わせ、より多くの方に地域の歴史、由来を周知できるようになりました。歴史講座では考古学の分野から二人の講師を迎えて2回にわたって実施し、いずれも満席に近い開催となりました。

5年度予算 (円)	5年度決算 (円)	5年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
11,896,000	11,271,138	1,332,000	666,000	0	0	9,273,138

[主な実施内容]**■開発行為等に係る埋蔵文化財の照会**

開発行為に係る事前の埋蔵文化財所在有無の確認として合計307件の照会がありました。

■文化財保護法の規定による発掘届の提出

文化財保護法第93条・94条の規定に係る発掘届が11件提出され、届出に対する指示を行いました。発掘届の内容及び指示事項については、以下のとおりです。

(1) 発掘届の原因

項 目	件数
個人住宅	4
集合住宅	2
その他工事	5

(2) 指示事項

項 目	件数
工事立会	5
慎重工事	6
本調査	0

■埋蔵文化財の所在の有無を確認する試掘調査

1,200,072 円

土地9件(合計約118㎡)の試掘調査を実施しました。

調査の原因

項 目	件数
個人住宅	5
集合住宅	2
駐車場	1
社殿建替え工事	1

■埋蔵文化財の遺物整理

これまでの発掘調査で出土した遺物の整理作業として、令和3年度道仏遺跡発掘調査、平成元年度地蔵院遺跡第2次調査、平成29年度道仏遺跡発掘調査の遺物整理を行いました。

また、発掘報告書第26集「地蔵院遺跡(第2次)」の刊行に向けて、整理作業、原稿執筆、図版作成、図面作成作業を行いました。

[成 果]

発掘報告書第26集の刊行に向けて作業を順調に進めることができ、また、平成29年度及び令和3年度に行った道仏遺跡発掘調査の出土遺物の整理作業を進めることができました。

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
16,385,000	15,925,786	0	0	2,500,000	500,850	12,924,936

※P28 西原自然の森活用事業（移築民家活用編）の事業費を含みます。

【主な実施内容】

■郷土資料館の利用状況

令和5年度は、282日開館しました。

5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
9,922 人	1,419	8,503 人	8,654 人

■施設の主な修繕工事等

内 容	金額 (円)
ハロンガスボンベ機器交換工事	3,371,500 円
旧加藤家住宅土壁修繕	450,450 円
西原自然の森園路修繕	910,580 円
多目的トイレ修繕	172,975 円

■資料寄贈等

町民をはじめとした方々から、民具や古文書等15件の寄贈等がありました。

文化財、市町村史等の図書について、新規に約450冊が市町村等からの交換文献として寄贈されました。

■展示 町の歴史、文化の紹介

812,514 円

区 分	内 容	期 間	入館者数
特別展	古代のみやしろ～古墳時代の宮代町～	令和5年10月 ～12月	2,398 人
企画展	宮代と用悪水～引く、溜める、流す～	令和5年3月 ～7月	2,375 人 (4～7月分)
	収蔵資料で語る宮代の民俗4 人の一生～ゆりかごから墓場まで～	令和5年7月～10月	3,000 人
	おひなさま	令和6年1月～3月	1,540 人
	土器でみる一万年～宮代の縄文～	令和6年3月～	609 人 (3月分)

■各種講座・体験学習教室

144,235 円

事業名	内容	参加者数
夏休みとっておき体験 「郷土資料館へ行こう」	7月25日～8月9日（計8回） 対象：小中学生 内容：縄文ペンダントづくり、まが玉づくり、組みひもブレスレットづくり、和とじノートづくり	延べ 63人
かやぶき民家で 聞く昔話	8月5日（土） 内容：旧加藤家住宅座敷において、宮代おはなしの会スウスのみなさんの協力により、昔話や島村菱三（盛助）の作品「村の寶（たから）」を聞く会を開催しました。	25人
移築民家と「アタラシイ」ゲキ18	8月6日（日） 内容：平成16年度を初回に、これまで計17回行ってきた。今年度は、町指定文化財・旧加藤家住宅北側の縁側を舞台として、島村菱三（盛助）の小説「火取虫」を朗読劇として上演しました。	8人
西原自然の森 フェスタ2023	11月12日（日） ■加藤家音楽会 内容：旧加藤家住宅を舞台に、ハーモニカ・和楽器・アコーディオン・軽音楽のそれぞれのグループによる演奏会を開催しました。	60人
	■縄文マグネットづくり 内容：旧齋藤家住宅母屋の土間などを会場に、縄文土器に付されている文様を参照したマグネット作りを行いました。	52人
	■あめ細工職人による実演 内容：江戸の流れを汲むあめ細工職人による実演販売を行いました。	100人

■資料整理

36,300 円

1. 町内から寄贈された古文書、民俗資料や歴史資料等の整理を実施しました。
2. 図書、古文書目録のデータ化、民具資料の整理、新聞資料の整理及び目録化等を実施しました。

■普及、啓発

学校教育との連携により、受け入れを実施しました。

1. 社会科や総合的な学習について、町内の小学校を8回受け入れしました。
2. 博物館学芸員実習生2人を受け入れました。
3. 団体利用が14件ありました。
4. 職員派遣申請が3件あり、職員の派遣を実施しました。
5. 資料の館内利用が4件ありました。

【成 果】

本年度の特別展は「古代のみやしろ～古墳時代の宮代町～」と題して、宮代町域から出土した古墳時代の遺物を紹介しました。土師器・須恵器や埴輪といった古墳時代らしい遺物のほかに、町域から出土し、埼玉県内では珍しい「韓式系軟質土器」も展示しました。特別展の会場では約80点について紹介することができました。

企画展は、7月から10月にかけて、「収蔵品で語る宮代の民俗4人の一生～ゆりかごから墓場まで～」と題し、収蔵品の中から「誕生と成長」「結婚」「葬送」の3つのテーマに関する資料を紹介しました。令和6年3月からの展示では「土器でみる一万年～宮代の縄文～」と題し、町内遺跡から出土した縄文時代草創期から晩期までの土器を紹介する展示とし、土器の文様を中心に、縄文土器が時代を経てどのように変化したのか、町域から出土した土器を通して10,000年以上に及ぶ縄文時代を知っていただく機会となりました。

西原自然の森活用事業としては、他課との共催事業として11月に「西原自然の森フェスタ2023」を行い、町指定文化財の旧加藤家住宅を舞台に「加藤家音楽会」を、旧齋藤家住宅土間を中心に「縄文マグネットづくり」を開催しました。本館前の広場では「かやぶきバザール」を開催し、その中で江戸の流れを汲む「あめ細工」職人による実演もしていただきました。これらの会場には多くの方にご来場いただき、味わい深い古民家の雰囲気を楽しんでいただくことが出来ました。



国民健康保険特別会計



令和５年度宮代町国民健康保険特別会計決算における主要施策の成果

令和５年度の歳入総額は、３３億４，２３７万９千円で前年度に比べ１２９万５千円、率にして０．１％の増額、歳出総額は、３２億６，４３５万６千円で前年度に比べ６，７９８万２千円、率にして２．０％の減額となりました。収支差引額は、７，８０２万３千円となりました。

団塊世代の後期高齢者医療制度への移行等に伴う被保険者数の減により、国保税収入が減少し、単年度の会計収支では４，９８１万円の赤字となりました。

令和５年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し２年間据え置きとなっていた税率等の改正を行いました。また、県国保運営方針に基づき、令和８年度までの赤字解消に向け、令和７・８年度に税率の見直しを図る予定です。

歳入では、前年度と比較して普通交付金が増額となりました。歳出では、保険給付費や保健事業費が増額となりましたが、国民健康保険事業費納付金は減額となりました。

特定健康診査等実施事業では、感染予防対策をしたうえで実施したほか、生活習慣改善に向けた保健指導を実施しました。特定健康診査受診率向上に向け、引き続き、インターネット予約により受診しやすい環境づくりを推進しました。合わせて、健診対象者の状況を受診履歴、年代、性別、健診結果値等を基に人工知能による分析・分類し、効果的な受診勧奨を行いました。また、国保加入者の健康・医療情報を活用し、ＰＤＣＡサイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施を図ることを目的に、令和６年度～１１年度を共通の計画期間とした「第３期国民健康保険保健事業実施計画（データヘルス計画）・第４期特定健康診査等実施計画」を策定しました。

疾病予防事業では、今年度から集団検診時に大腸がん検診を受診できる環境を整備すると共に、レセプトや特定健診のデータから糖尿病が重症化するリスクの高い未受診者や受診中断者の人工透析への移行を予防するため、生活習慣病重症化予防対策事業を実施しました。その他、健康ステーション事業として、保健センターとの共同で、ぐるる宮代において「親子ウォーキング教室」と「秋のウォーキング教室」を行い、被保険者の健康意識の向上に努めました。

令和5年度 国民健康保険特別会計歳入歳出決算状況

歳入の状況

款 名	5年度			増減 A-B
	決算額 A	構成比 (%)	被保険者1人当たり	
1 国民健康保険税	617,630	18.4	97	△ 11,007
2 国庫支出金	30	0.0	0	30
3 県支出金	2,387,309	71.4	376	30,900
4 財産収入	1	0.0	0	△ 1
5 繰入金	322,809	9.7	51	53,742
6 繰越金	8,746	0.3	2	△ 71,470
7 諸収入	5,854	0.2	1	△ 899
歳入合計	3,342,379	100.0	527	1,295

歳出の状況

款 名	5年度			増減 A-B
	決算額 A	構成比 (%)	被保険者1人当たり	
1 総務費	52,180	1.6	8	△ 2,602
2 保険給付費	2,286,859	70.1	361	21,663
3 国民健康保険事業費納付金	842,713	25.8	133	△ 33,158
4 共同事業拠出金	0	0.0	0	0
5 保健事業費	55,374	1.7	9	1,132
6 公債費	0	0.0	0	0
7 諸支出金	27,230	0.8	4	△ 55,017
8 予備費	0	0.0	0	0
歳出合計	3,264,356	100.0	515	△ 67,982

令和6年3月31日現在被保険者数
6,343人

(単位 千円)

4年度		3年度 決算額	増 減 理 由
決算額 B	構成比 (%)		
628,637	18.8	658,867	被保険者数の減
0	0.0	1,920	出産育児一時金臨時補助金の増
2,356,409	70.5	2,637,243	普通交付金の増
2	0.0	4	基金利子の減
269,067	8.1	304,869	その他一般会計繰入金の増
80,216	2.4	122,567	前年度その他繰越金の減
6,753	0.2	7,921	延滞金の減
3,341,084	100.0	3,733,391	

(単位 千円)

4年度		3年度 決算額	増 減 理 由
決算額 B	構成比 (%)		
54,782	1.6	52,428	人件費の減
2,265,196	68.0	2,542,451	療養給付費の増
875,871	26.3	876,583	国民健康保険事業費納付金の減
0	0.0	0	
54,242	1.6	56,582	特定健康診査等実施事業委託料の増
0	0.0	0	
82,247	2.5	125,131	一般会計繰出金の減
0	0.0	0	
3,332,338	100.0	3,653,175	

令和5年度 決算状況総括表

1 決算収支の状況

(単位 千円)

	5年度	4年度	3年度
歳入総額 A	3,342,379	3,341,084	3,733,391
歳出総額 B	3,264,356	3,332,338	3,653,175
歳入歳出差引額 (A - B) C	78,023	8,746	80,216
翌年度へ繰越すべき財源 D	0	0	0
実質収支 (C - D) E	78,023	8,746	80,216
単年度収支 F	69,277	△ 71,470	△ 42,352
積立金 G	0	0	0
繰上償還額 H	0	0	0
積立金取崩額 I	0	0	0
実質単年度収支 (F + G + H - I)	69,277	△ 71,470	△ 42,352

※ 次年度精算を踏まえた会計収支

(単位 千円)

	5年度	4年度	3年度
実質収支 (J + K)	78,023	8,746	80,216
内、県等返還金等繰越金 J	17,755	8,746	28,471
内、その他繰越金 K	60,268	0	51,745
法定外繰入金決算 L	△ 110,078	△ 57,602	△ 90,504
精算後の会計収支 (K + L)	△ 49,810	△ 57,602	△ 38,759

* 5年度の精算後の会計収支は見込み額です。

2 基金の現在高

(単位 千円)

	5年度	4年度	3年度
国民健康保険出産費基金	4,028	4,027	4,025

* 基金現在高は、出納整理期間を含めた額です。

3 世帯数の状況（年度末現在）

（単位 世帯）

	5年度	4年度	3年度
世帯数	4,411	4,580	4,868
町の総世帯数	15,588	15,405	15,382
加入率	28.3%	29.7%	31.6%

4 被保険者数の状況（年度末現在）

（単位 人）

	5年度	4年度	3年度
被保険者数	6,343	6,678	7,250
町の総人口	33,340	33,346	33,656
加入率	19.0%	20.0%	21.5%

5 職員数等の状況

	5年度	4年度	3年度
（一般職員）職員数	5人	5人	5人
（一般職員）平均年齢	45.09歳	45.08歳	43.80歳
（一般職員）一人当たりの給料月額	299,700円	319,280円	314,900円

1 款 国 民 健 康 保 険 税

決算書 P215

5 年度予算	5 年度決算 A	増 減 A-B	4 年度決算 B	3 年度決算
608,520,000	617,629,466	△11,007,836	628,637,302	658,866,937

現年課税分は被保険者数の減少する中、収入済額は前年度より約 1,101 万円の減収となりました。

また、滞納繰越分は納税相談などの徴収対策に取り組み、収入未済額の縮小に努めました。
現年課税分及び滞納繰越分の収納率は、前年度を下回りました。

■調定、収納の状況

(単位 円)

	5 年度 A	増 減 A-B	4 年度 B	3 年度
調 定 額	715,083,953	△4,724,565	719,808,518	752,211,574
収 入 済 額	617,629,466	△11,007,836	628,637,302	658,866,937
不 納 欠 損 額	11,626,318	6,300,455	5,325,863	9,006,019
収 入 未 済 額	85,828,169	△529,284	86,357,453	84,491,318
収 納 率	86.4%	△0.9 ポイント	87.3%	87.6%

※収入済額には還付未済額 149,200 円(21 件分)が含まれています。

■軽減税額

(単位 円)

	5 年度 A	増 減 A-B	4 年度 B	3 年度
7 割 軽 減	52,385,760	638,750	51,747,010	53,415,600
5 割 軽 減	23,046,400	17,100	23,029,300	24,624,250
2 割 軽 減	7,721,080	△508,140	8,229,220	8,992,980
合 計	83,153,240	147,710	83,005,530	87,032,830

※保険基盤安定負担金算出資料より

■軽減世帯数等

(単位 世帯、人)

	5 年度 A	増 減 A-B	4 年度 B	3 年度
7 割 軽 減	1,267 (1,540)	△7 (△7)	1,274 (1,547)	1,299 (1,605)
5 割 軽 減	609 (984)	3 (△19)	606 (1,003)	664 (1,066)
2 割 軽 減	527 (832)	△60 (△75)	587 (907)	612 (987)
合 計	2,403 (3,356)	△64 (△101)	2,467 (3,457)	2,575 (3,658)

※保険基盤安定負担金算出資料「医療分」軽減世帯より。括弧内は軽減世帯に属する被保険者数

■未就学児均等割保険税軽減分

(単位 人)

	5 年度 A	増 減 A-B	4 年度 B	3 年度
保険税軽減対象者数	95	2	93	—

■産前産後保険税軽減分（令和５年度創設）

（単位 人）

	５年度 A	増 減 A－B	４年度 B	３年度
保険税軽減対象者数	4	4	—	—

■新型コロナウイルス感染症の影響による減免

（単位 円）

	５年度 A	増 減 A－B	４年度 B	３年度
減 免 額	—	△1,205,800	1,205,800	3,201,200

■一般被保険者国民健康保険税（現年課税分）

（単位 円）

	５年度 A	増 減 A－B	４年度 B	３年度
調 定 額	629,431,200	△7,656,900	637,088,100	658,924,400
収 入 済 額	598,898,500	△9,284,756	608,183,256	633,583,635
不 納 欠 損 額	0	0	0	67,400
収 入 未 済 額	30,532,700	1,115,756	29,416,944	25,426,065
収 納 率	95.1%	△0.4ポイント	95.5%	96.2%

※収入済額には還付未済額 139,000 円（20 件分）が含まれています。

■一般被保険者国民健康保険税（滞納繰越分）

（単位 円）

	５年度 A	増 減 A－B	４年度 B	３年度
調 定 額	85,652,753	2,935,096	82,717,657	93,284,413
収 入 済 額	18,730,966	△1,720,319	20,451,285	25,283,302
不 納 欠 損 額	11,626,318	6,300,455	5,325,863	8,938,619
収 入 未 済 額	55,295,469	△1,645,040	56,940,509	59,062,492
収 納 率	21.9%	△2.8ポイント	24.7%	27.1%

※収入済額には還付未済額 10,200 円（1 件分）が含まれています。

■退職被保険者等国民健康保険税（滞納繰越分）

（単位 円）

	５年度 A	増 減 A－B	４年度 B	３年度
調 定 額	—	—	2,761	2,761
収 入 済 額	—	—	2,761	0
不 納 欠 損 額	—	—	0	0
収 入 未 済 額	—	—	0	2,761
収 納 率	—	—	100%	0%

2 款 国 庫 支 出 金

決算書 P215

5 年度予算	5 年度決算 A	増 減 A-B	4 年度決算 B	3 年度決算
106, 000	30, 000	30, 000	0	1, 920, 000

■国庫補助金

令和 5 年度は、出産育児一時金の引き上げ（4 2 万円→5 0 万円）に伴い、出産育児一時金臨時補助金が交付されました。

(単位 円)

	5 年度 A	増 減 A-B	4 年度 B	3 年度
災 害 等 臨 時 特 例 補 助 金	—	—	—	1, 920, 000
出産育児一時金 臨時補助金	30, 000	30, 000	—	—

3 款 県 支 出 金

決算書 P217

5 年度予算	5 年度決算 A	増 減 A-B	4 年度決算 B	3 年度決算
2, 479, 355, 000	2, 387, 308, 840	30, 899, 695	2, 356, 409, 145	2, 637, 243, 462

■県補助金

普通交付金は、町の医療費等の支払いに対して交付されるもので、医療費の減少と共に普通交付金も減少しました。

(単位 円)

	5 年度 A	増 減 A-B	4 年度 B	3 年度
普 通 交 付 金	2, 296, 151, 840	26, 476, 695	2, 269, 675, 145	2, 549, 817, 462
特別交付金（保険者努力支援分）	16, 363, 000	6, 177, 000	10, 186, 000	13, 103, 000
特別交付金（特別調整交付金分）	6, 418, 000	△269, 000	6, 687, 000	8, 109, 000
特別交付金（県繰入金 2 号分）	57, 440, 000	259, 000	57, 181, 000	54, 800, 000
特別交付金（特定健康診査等負担金）	10, 936, 000	△1, 744, 000	12, 680, 000	11, 414, 000
合 計	2, 387, 308, 840	30, 899, 695	2, 356, 409, 145	2, 637, 243, 462

4 款 財 産 収 入

決算書 P217

5 年度予算	5 年度決算 A	増 減 A-B	4 年度決算 B	3 年度決算
10, 000	1, 301	△253	1, 554	4, 130

■利子及び配当金 出産費基金の運用により発生する利子です。

5 款 繰 入 金

決算書 P217

5 年度予算	5 年度決算 A	増 減 A-B	4 年度決算 B	3 年度決算
322, 809, 000	322, 809, 000	53, 742, 000	269, 067, 000	304, 868, 589

■他会計繰入金（一般会計からの繰入）

保険基盤安定及び国民健康保険担当職員の給与費などの法定の繰入金のほか、国民健康保険事業費納付金の納付における不足額等を補てんするための財源を一般会計から繰り入れました。

・ 保険基盤安定繰入金

保険税軽減分として国民健康保険税の低所得者に対する保険税軽減相当額を、保険者支援分として軽減世帯の被保険者数に応じた額を、未就学児均等割分として未就学児に係る均等割軽減相当額を、産前産後期間に係る軽減相当額を国、県分も含めて繰り入れました。

・ 職員給与費等繰入金

国民健康保険担当職員の人件費などの経費分を繰り入れました。

・ 出産育児一時金

1 件当たり 5 0 万円の出産育児一時金の 3 分の 2 に相当する額を繰り入れました。

・ 財政安定化支援事業繰入金

保険財政の健全化と保険税負担の平準化を目的として地方財政措置されるものです。

・ その他一般会計繰入金（法定外繰入金）

県への納付金等の財源として、保険税及び法定の公費負担をしても、なお不足する額（国保特会の赤字相当）を一般会計から繰り入れました。

（単位 円）

	5 年度 A	増 減 A-B	4 年度 B	3 年度
保険基盤安定繰入金 （保険税軽減分）	83, 153, 000	147, 470	83, 005, 530	87, 032, 830
保険基盤安定繰入金 （保険者支援分）	50, 417, 000	486, 832	49, 930, 168	50, 834, 626
保険基盤安定繰入金 （未就学児均等割分）	1, 453, 000	△109, 200	1, 562, 200	—
保険基盤安定繰入金 （産前産後分）	44, 000	44, 000	—	—
職員給与費等繰入金	58, 620, 000	195, 000	58, 425, 000	58, 368, 589
出産育児一時金繰入金	7, 333, 000	1, 173, 000	6, 160, 000	5, 600, 000
財政安定化支援事業繰入金	11, 711, 000	△671, 170	12, 382, 170	12, 528, 636
その他一般会計繰入金	110, 078, 000	52, 476, 068	57, 601, 932	90, 503, 908
合 計	322, 809, 000	53, 742, 000	269, 067, 000	304, 868, 589

6 款 繰 越 金

決算書 P219

5 年度予算	5 年度決算 A	増 減 A-B	4 年度決算 B	3 年度決算
8,746,000	8,745,922	△71,470,546	80,216,468	125,567,480

■前年度繰越金

令和4年度決算剰余金として、令和5年度に繰り越されたものです。

(単位 円)

	5 年度 A	増 減 A-B	4 年度 B	3 年度
国県等支出金繰越金	8,745,922	△14,090,235	22,836,157	20,071,839
そ の 他 繰 越 金	0	△57,380,311	57,380,311	102,495,641
合 計	8,745,922	△71,470,546	80,216,468	122,567,480

7 款 諸 収 入

決算書 P219

5 年度予算	5 年度決算 A	増 減 A-B	4 年度決算 B	3 年度決算
5,334,000	5,854,051	△898,893	6,752,944	7,920,719

■延滞金

国民健康保険税の納付に伴う延滞金です。

(単位 円)

	5 年度 A	増 減 A-B	4 年度 B	3 年度
一般被保険者延滞金	4,449,323	△1,373,053	5,822,376	7,142,684
退職被保険者等延滞金	0	0	0	0

■町預金利子

国民健康保険特別会計の歳計現金に係る預金利子です。

(単位 円)

	5 年度 A	増 減 A-B	4 年度 B	3 年度
町 預 金 利 子	967	△335	1,302	1,764

■雑入

第三者行為により発生した保険給付に係る損害賠償金その他、がん検診負担金、不正・不当な医療に係る返納金、健康講座参加者負担金等の収入です。

(単位 円)

	5 年度 A	増 減 A-B	4 年度 B	3 年度
一般被保険者第三者納付金	939,067	701,941	237,126	129,208
一般被保険者返納金	0	△194,180	194,180	100,158
がん検診等負担金	399,600	23,400	376,200	377,800
診療報酬等返還金	0	△104,049	104,049	153,083
その他	65,094	47,383	17,711	16,022
合 計	1,403,761	474,495	929,266	776,271

5 年度予算（円）	5 年度決算（円）	5 年度決算の財源内訳（円）			
		国庫支出金	県支出金	その他	一般財源
9,857,000	6,195,106	0	0	6,195,106	0

【主な実施内容】

資格管理の徹底、未申告者への申告勧奨等を実施し、適正かつ公平な賦課徴収に努めました。
一般会計からの法定外繰入（赤字）の解消に向け、令和 7 年度は税率等の改正を行います。

■令和 5 年度の保険税率等

※括弧内は令和 5 年度標準保険税率

区 分	医療分	支援分	介護分
所 得 割	6.98% (7.20%)	2.09% (2.75%)	2.10% (2.34%)
均 等 割	32,000 円 (43,504 円)	11,400 円 (16,070 円)	14,600 円 (17,023 円)
賦 課 限 度 額	650,000 円	200,000 円	170,000 円

■世帯数

(単位 世帯、各年度末現在)

区 分	5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
世 帯 数	4,411	△169	4,580	4,868

※事業年報より

■被保険者数

(単位 人、各年度末現在)

区 分	5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
被 保 険 者 数	6,343	△335	6,678	7,250

※事業年報より

【成 果】

適切かつ公平な課税を行いました。

一般被保険者療養給付事業

〔国保・後期担当〕

決算書 P 226

5 年度予算（円）	5 年度決算（円）	5 年度決算の財源内訳（円）			
		国庫支出金	県支出金	その他	一般財源
2,006,580,000	1,967,217,325	0	1,967,217,325	0	0

【主な実施内容】

国民健康保険団体連合会を通じて各医療機関に対し、一般被保険者の療養給付費の保険者負担分（7～8割）の給付を行うものです。

（単位 円、件）

	5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
療 養 給 付 費	1,967,217,325	15,147,523	1,952,069,802	2,184,531,668
給 付 件 数	111,546	△4,787	116,333	121,271
一 件 当 り の 療 養 給 付 費	17,636	856	16,780	18,014

【成 果】

一般被保険者の療養に対して、保険医療機関や保険薬局を通じて適正な療養の給付を行いました。

一般被保険者療養費支給事業

〔国保・後期担当〕

決算書 P 226

5 年度予算（円）	5 年度決算（円）	5 年度決算の財源内訳（円）			
		国庫支出金	県支出金	その他	一般財源
20,868,000	15,398,514	0	15,398,514	0	0

【主な実施内容】

国民健康保険団体連合会を通じて各医療機関に対し、一般被保険者の療養費に係る保険者負担分（7～8割）を支給した他、一般被保険者が作製した補装具等の費用に対して療養費の支給を行うものです。

（単位 円、件）

	5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
療 養 費	15,398,514	△52,851	15,451,365	15,590,735
給 付 件 数	2,837	△129	2,966	2,804
一 件 当 り の 療 養 費	5,428	219	5,209	5,560

【成 果】

一般被保険者に対して、適正な療養費を支給しました。

一般被保険者高額療養費支給事業

〔国保・後期担当〕

決算書 P 228

5 年度予算（円）	5 年度決算（円）	5 年度決算の財源内訳（円）			
		国庫支出金	県支出金	その他	一般財源
359, 975, 000	294, 910, 430	0	294, 910, 430	0	0

〔主な実施内容〕

一般被保険者の療養給付において、自己負担額が一定の額を超えた額を高額療養費として、被保険者及び国民健康保険団体連合会を通じて各医療機関に支払うものです。

（単位 円、件）

	5 年度 A	増減 A－B	4 年度 B	3 年度
高 額 療 養 費	294, 910, 430	13, 461, 348	281, 449, 082	327, 437, 649
給 付 件 数	5, 643	53	5, 590	5, 487
一 件 当 り の 高 額 療 養 費	52, 261	1, 912	50, 349	59, 675

〔成 果〕

一般被保険者に対して、適正な高額療養費を支給し、高額になった医療費の被保険者負担を軽減しました。

出産育児一時金支給事業

〔国保・後期担当〕

決算書 P 228

5 年度予算（円）	5 年度決算（円）	5 年度決算の財源内訳（円）			
		国庫支出金	県支出金	その他	一般財源
11, 000, 000	2, 489, 340	30, 000	0	2, 459, 340	0

〔主な実施内容〕

被保険者の出産に対して、条例の定める額（1 件 5 0 万円）を出産育児一時金として支給しました。

（単位 円、件）

	5 年度 A	増減 A－B	4 年度 B	3 年度
支 給 額	2, 489, 340	△6, 330, 660	8, 820, 000	6, 720, 000
支 給 件 数	5	△16	21	16

〔成 果〕

出産育児一時金を支給することにより、被保険者の負担軽減を図りました。

葬祭費支給事業

〔国保・後期担当〕

決算書 P 228

5 年度予算（円）	5 年度決算（円）	5 年度決算の財源内訳（円）			
		国庫支出金	県支出金	その他	一般財源
2, 800, 000	2, 450, 000	0	0	2, 450, 000	0

〔主な実施内容〕

被保険者の死亡に伴う葬祭に対して、条例の定める額（1 件 5 万円）を葬祭費として支給しました。

（単位 円、件）

	5 年度 A	増減 A－B	4 年度 B	3 年度
支 給 額	2, 450, 000	0	2, 450, 000	2, 800, 000
支 給 件 数	49	0	49	56

〔成 果〕

葬祭費を支給することにより、被保険者遺族等の負担軽減を図りました。

一般被保険者医療給付費分納付金納付事業

〔国保・後期担当〕

決算書 P 230

5 年度予算（円）	5 年度決算（円）	5 年度決算の財源内訳（円）			
		国庫支出金	県支出金	その他	一般財源
554, 747, 000	554, 746, 503	0	80, 221, 000	474, 525, 503	0

〔主な実施内容〕

県内一般被保険者の医療費等の支払いに必要な金額を、所得水準、被保険者数、医療費水準により各市町村で按分し負担するものです。

当該納付金を財源に町が支払う医療費等を賄うための普通交付金が県から交付されます。

（単位 円）

5 年度 A	増減 A－B	4 年度 B	3 年度
554, 746, 503	△39, 776, 653	594, 523, 156	580, 694, 518

〔成 果〕

当該納付金を納付することにより、市町村国保制度の適正な財政運営に寄与しました。

一般被保険者後期高齢者支援金等分納付金納付事業

〔国保・後期担当〕

決算書 P 230

5 年度予算（円）	5 年度決算（円）	5 年度決算の財源内訳（円）			
		国庫支出金	県支出金	その他	一般財源
219, 956, 000	219, 955, 691	0	0	219, 955, 691	0

【主な実施内容】

各医療保険者（国保・被用者保険）がそれぞれの加入者数（0 歳から 74 歳）に応じて負担する後期高齢者支援金を、医療給付費分納付金同様に県内市町村で按分して負担するものです。

（単位 円）

5 年度 A	増減 A－B	4 年度 B	3 年度
219, 955, 691	13, 609, 854	206, 345, 837	214, 556, 044

【成 果】

当該納付金を納付することにより、後期高齢者医療制度の適正な財政運営に寄与しました。

介護納付金分納付金納付事業

〔国保・後期担当〕

決算書 P 230

5 年度予算（円）	5 年度決算（円）	5 年度決算の財源内訳（円）			
		国庫支出金	県支出金	その他	一般財源
68, 012, 000	68, 011, 151	0	0	68, 011, 151	0

【主な実施内容】

各医療保険者（国保・被用者保険）がそれぞれの介護保険第 2 号被保険者数（40 歳から 64 歳）に応じて負担する介護納付金を、医療給付費分納付金同様に県内市町村で按分して負担するものです。

（単位 円）

5 年度 A	増減 A－B	4 年度 B	3 年度
68, 011, 151	△6, 988, 504	74, 999, 655	81, 330, 658

【成 果】

当該納付金を納付することにより、介護保険制度の適正な財政運営に寄与しました。

特定健康診査等実施事業

〔国保・後期担当〕

決算書 P 230

5 年度予算（円）	5 年度決算（円）	5 年度決算の財源内訳（円）			
		国庫支出金	県支出金	その他	一般財源
45, 093, 000	32, 918, 761	0	10, 936, 000	21, 982, 761	0

【主な実施内容】

特定健康診査の結果に基づき、情報提供レベル、動機付け支援及び積極的支援の階層化を行いました。集団健診においては、胃がん検診、肺がん検診、大腸がん検診を同時に受診できる体制で実施しました。

集団健診においてインターネット予約を利用いただくことにより、受診しやすい環境づくりを推進しました。

特定保健指導では、動機付け支援、積極的支援の該当者に対し、管理栄養士による個別面談を実施すると共に、生活習慣の改善に取り組めるよう 6 ヶ月間にわたって定期的な保健指導を行い生活習慣

病の予防に努めました。

また、今年度は国保加入者の健康・医療情報を活用し、PDCAサイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施を図ることを目的に、令和6年度～11年度を共通の計画期間とした「第3期国民健康保険保健事業実施計画（データヘルス計画）・第4期特定健康診査等実施計画」を策定しました。

■特定健康診査受診者

（単位 人）

	5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
集 団 健 診	797	△114	911	921
個 別 健 診	1,353	△91	1,444	1,570
計	2,150	△205	2,355	2,491
受 診 率	45.7%	△1.3P	47.0%	47.0%

※5年度の受診率は令和6年5月27日現在、4年度以前は最終報告

■特定保健指導実施者

（単位 人）

	5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
積 極 的 支 援	10	0	10	15
動 機 付 け 支 援	63	△30	93	61
計	73	△30	103	76
終 了 率	-	-	33.2%	23.0%

※5年度の実施者、終了率は秋ごろに確定予定、4年度以前は最終報告

■血糖コントロール教室

糖尿病に関する正しい知識の習得、食生活改善に向けた講話の実施、また、運動実技の実習を通じて、糖尿病の発症予防に向けた取り組みを行いました。

（単位 人）

	5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
教 室 参 加 者	12	△8	20	15

[成 果]

特定健康診査を実施することで、自己の健康管理への意識を高め、生活習慣病予防、疾病の早期発見の契機としました。また、特定保健指導、血糖コントロール教室を通じて、食生活に関する意識改革及び生活習慣の改善へのきっかけづくりが促進されました。

また、特定健康診査受診率向上に向け、健診対象者の状況を受診履歴、年代、性別、健診結果値等を基に人工知能による分析・分類し、効果的な受診勧奨を行いました。

5 年度予算（円）	5 年度決算（円）	5 年度決算の財源内訳（円）			
		国庫支出金	県支出金	その他	一般財源
32,496,000	21,084,899	0	0	21,084,899	0

【主な実施内容】

被保険者の健康管理の取組を応援するために、人間ドックを受診された方への助成の他、がんの早期発見を目的に被保険者に係る検診費用の一部を負担しました。

生活習慣病重症化予防対策事業においては、糖尿病が重症化するリスクの高い未受診者・受診中断者に対する受診勧奨と糖尿病性腎症で通院する患者のうち、重症化するリスクの高い方に対する保健指導を行い、人工透析への移行防止に取り組みました。

また、ウォーキングイベントを実施し被保険者の健康づくりを支援しました。

■各種検診等の状況

（単位 人）

	5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
胃 が ん 検 診	424	△57	481	523
肺 が ん 検 診	651	△83	734	747
大 腸 が ん 検 診	1,317	273	1,044	1,193
子 宮 頸 が ん 検 診	366	150	216	243
乳 が ん 検 診	237	△6	243	253
人 間 ド ッ ク 助 成	254	△39	293	297

■生活習慣病重症化予防対策事業

（単位 人）

	5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
受 診 勧 奨 実 施 者	26	15	11	24
保 健 指 導 参 加 者	2	△5	7	4

■健康ステーション事業

①「さあ！親子でエンジョイウォーキング」（保健センターと共同実施）

事業概要：小学生（１～３年生）と保護者を対象にウォーキングの正しいフォーム、かけっこ講座、外周ウォーク等を行いました。

開催日等：令和５年９月３０日（土） ぐるる宮代

参加者数：８組１８名（内、国民健康保険加入者２名）

②秋のウォーキング教室（保健センターと共同実施）

事業概要：誰でも取り組みやすいウォーキングを通じ、正しい歩き方や無理なく続けられるウォーキング等の講話と実技を行いました。

開催日等：令和５年１１月９日（木） ぐるる宮代

参加者数：２０名（内、国民健康保険加入者７名）

【成 果】

各種検診や生活習慣病重症化予防対策事業、イベント等を通じて被保険者の健康増進、健康意識の向上に寄与しました。

5年度予算（円）	5年度決算（円）	5年度決算の財源内訳（円）			
		国庫支出金	県支出金	その他	一般財源
1,667,000	1,369,904	0	0	1,369,904	0

【主な実施内容】

医療費の適正化、被保険者の医療費把握のため、医療費通知やジェネリック医薬品（後発医薬品）へ切り替えた場合、削減できる自己負担額を記載したお知らせを送付しました。

■ 医療費通知 発送数：年6回 延べ 21,223通

■ 「ジェネリック医薬品に関するお知らせ」 発送数：年4回 延べ 267通

【成 果】

医療費通知の送付により、被保険者の健康と医療費の実情に対する認識を深めました。

また、ジェネリック医薬品の使用を促進することによって、被保険者の薬剤費の自己負担の軽減だけでなく、医療費の削減を図りました。



介 護 保 険 特 別 会 計



令和５年度宮代町介護保険特別会計決算における主要施策の成果

介護保険制度は、介護が必要になった高齢者やその家族を社会全体で支える社会保険制度であり、40歳以上の方の保険料（50％）及び公費（50％）を財源として運営しています。

令和6年3月末日現在の65歳以上の第1号被保険者は10,929人で、町総人口に占める割合は32.8％となっています。要介護等認定者（要支援1～要介護5）は、1,879人（第2号被保険者を含む総認定者数は1,921人）で、認定率は17.5％となっています。

要介護者に対しては、適切な介護サービスが受けられるよう必要な保険給付を行い、また要支援者等に対しては、市町村が中心となり地域の実情に応じて、効果的かつ効率的な支援等を行なうことを目的とする介護予防・日常生活支援総合事業によるサービス提供を行いました。

地域支援事業では、高齢者の自立支援と重度化防止のため、新型コロナウイルス感染防止対策を十分に講じたうえで、介護予防に関する基本的な知識の普及を目的とした介護予防教室の開催、地域で活躍するプラザサポーターの育成を行いました。また、地域交流サロンに対して、高齢者等の閉じこもり防止及び高齢者の元気アップを目的とした地域の居場所づくりへの支援を行いました。

令和5年度決算状況の概要ですが、歳入総額は33億4524万3千円で前年度に比べ1億2253万1千円、3.8％の増加、歳出総額は32億1788万1千円で前年度に比べ1億4086万7千円、4.6％の増加となっています。

なお、令和5年度決算における実質収支から前年度繰越金1億4569万8千円を差し引いた単年度収支はマイナス1833万6千円となりました。

歳入では、公費投入による第1段階から第3段階の保険料の軽減を行ったため、現年度分調定額合計は6億4783万3700円で前年度に比べ581万8500円、0.89％の減となり、収入済額は6億4632万7250円で前年度に比べ579万9千円、0.89％の減となりました。現年度分収納率は、特別徴収が100.1％、普通徴収は95.8％となりました。また、滞納繰越分の収納率については23.5％となりました。

歳出では、コロナ禍の中、介護サービス利用の復調の兆しが見えており、保険給付費が前年度に比べ1億4726万9千円、5.4％の増加となっています。

また、介護保険給付費準備基金は9618万7千円減少し、2億5379万9千円となりました。

令和5年度決算では、保険料の減少、介護サービス利用の増加による単年度収支が赤字となり、厳しい財政運営となりました。

令和５年度 介護保険特別会計歳入歳出決算状況

歳入の状況

款	5年度			増減 A-B
	決算額 A	構成比(%)	被保険者1人当たり	
1 介護保険料	647,507	19.4	59	△ 5,966
- 分担金及び負担金	—	—	—	0
2 支払基金交付金	794,068	23.7	72	37,918
3 国庫支出金	619,308	18.5	56	24,203
4 県支出金	444,397	13.3	41	8,915
5 財産収入	113	0.0	0	△ 36
6 繰入金	690,553	20.6	63	71,472
7 繰越金	145,698	4.4	13	△ 13,069
8 諸収入	3,599	0.1	0	△ 906
歳入合計	3,345,243	100.0	305	122,531

歳出の状況

款	5年度			増減 A-B
	決算額 A	構成比(%)	被保険者1人当たり	
1 総務費	113,459	3.5	10	2,308
2 保険給付費	2,853,127	88.7	260	147,269
3 地域支援事業費	104,772	3.3	10	3,261
4 基金積立金	33,560	1.0	3	△ 6,774
5 公債費	0	0.0	0	0
6 諸支出金	112,963	3.5	10	△ 5,197
7 予備費	0	0.0	0	0
歳出合計	3,217,881	100.0	293	140,867

令和6年3月31日現在第1号被保険者数（2号の要介護認定者を含む）
10,971人

（単位 千円）

4年度		3年度 決算額	増 減 理 由
決算額 B	構成比 (%)		
653,473	20.3	652,768	低所得者負担軽減強化の実施による減
—	—	151	
756,150	23.5	715,621	保険給付費・地域支援事業費の増
595,105	18.5	568,419	保険給付費・地域支援事業費の増
435,482	13.5	424,248	保険給付費・地域支援事業費の増
149	0.0	309	介護保険給付費準備基金利子の減
619,081	19.2	586,391	保険給付費の増加及び人事異動等に伴う繰入金等の増
158,767	4.9	256,016	前年度繰越金の減
4,505	0.1	5,751	高齢者給食配食サービスの見直しによる雑入の減
3,222,712	100.0	3,209,674	

（単位 千円）

4年度		3年度 決算額	増 減 理 由
決算額 B	構成比 (%)		
111,151	3.6	104,631	職員人件費の増
2,705,858	87.9	2,577,891	介護（予防）サービス利用者数の増加に伴う保険給付費の増
101,511	3.3	111,136	地域支援事業費の増
40,334	1.3	157,130	介護保険給付費準備基金積立の減
0	0.0	0	
118,160	3.9	100,120	国・県支出金返還金の減
0	0.0	0	
3,077,014	100.0	3,050,908	

令和5年度 決算状況総括表

1 決算収支の状況

(単位 千円)

	5年度	4年度	3年度
歳入総額 A	3,345,243	3,222,712	3,209,674
歳出総額 B	3,217,881	3,077,014	3,050,908
歳入歳出差引額 (A - B) C	127,362	145,698	158,766
翌年度へ繰越すべき財源 D	0	0	0
実質収支 (C - D) E	127,362	145,698	158,766
単年度収支 F	△ 18,336	△ 13,068	△ 97,250
積立金 G	33,560	40,333	157,130
繰上償還額 H	0	0	0
積立金取崩額 I	129,746	77,578	71,804
実質単年度収支 (F + G + H - I)	△ 114,522	△ 50,313	△ 11,924

2 基金の現在高

(単位 千円)

	5年度	4年度	3年度
介護保険給付費準備基金	253,799	349,986	387,229

3 被保険者数の状況

(単位 人)

	5年度	4年度	3年度
第1号被保険者	10,929	10,961	10,989
第2号被保険者(認定者数)	42	45	43
合計	10,971	11,006	11,032

4 介護サービス利用状況

(単位 人)

	5年度	4年度	3年度
居 宅 介 護 サ ー ビ ス 利 用 者	1,095 (13,069)	1,069 (12,588)	995 (11,963)
地 域 密 着 型 サ ー ビ ス 利 用 者	141 (1,797)	161 (1,971)	158 (1,893)
施 設 介 護 サ ー ビ ス 利 用 者	320 (3,775)	297 (3,538)	289 (3,325)
第 1 号 事 業 サ ー ビ ス 利 用 者	192 (1,890)	147 (1,709)	135 (1,682)
合 計	1,748 (20,531)	1,674 (19,806)	1,577 (18,863)

※令和6年3月利用者数（第2号被保険者含む）。（ ）内は延べ人数。

5 職員数等の状況

	5年度	4年度	3年度
(一般職員) 職員数	10人	11人	11人
(一般職員) 平均年齢	48.08歳	47.01歳	40.03歳
(一般職員) 一人当たりの給料月額	323,980円	324,018円	288,218円

1 款 介 護 保 険 料

決算書 P245

5 年度予算	5 年度決算 A	増 減 A-B	4 年度決算 B	3 年度決算
689,298,000	647,507,150	△5,966,250	653,473,400	652,768,320

■現年度分特別徴収保険料

(単位 円)

	5 年度 A	増 減 A-B	4 年度 B	3 年度
調 定 額	593,555,400	△9,000,500	602,555,900	604,124,500
収 入 済 額	594,351,200	△9,447,200	603,798,400	604,370,100
不 納 欠 損 額	0	0	0	0
収 入 未 済 額	0	0	0	0
還 付 未 済 額	795,800	△446,700	1,242,500	245,600
収 納 率	100.1%	△0.1 ポイント	100.2%	100.0%

※令和 5 年度の特別徴収還付未済件数は 1 2 1 件です。

■現年度分普通徴収保険料

(単位 円)

	5 年度 A	増 減 A-B	4 年度 B	3 年度
調 定 額	54,278,300	3,182,000	51,096,300	49,560,600
収 入 済 額	51,976,050	3,648,200	48,327,850	46,621,650
不 納 欠 損 額	0	0	0	0
収 入 未 済 額	2,488,400	△323,550	2,811,950	2,953,750
還 付 未 済 額	186,150	142,650	43,500	14,800
収 納 率	95.8%	1.2 ポイント	94.6%	94.1%

※令和 5 年度の普通徴収還付未済件数は 1 8 件です。

■現年度分合計（特別徴収保険料及び普通徴収保険料）

(単位 円)

	5 年度 A	増 減 A-B	4 年度 B	3 年度
調 定 額	647,833,700	△5,818,500	653,652,200	653,685,100
収 入 済 額	646,327,250	△5,799,000	652,126,250	650,991,750
不 納 欠 損 額	0	0	0	0
収 入 未 済 額	2,488,400	△323,550	2,811,950	2,953,750
還 付 未 済 額	981,950	△304,050	1,286,000	260,400
収 納 率	99.8%	0 ポイント	99.8%	99.6%

■滞納繰越分普通徴収保険料

(単位 円)

	5 年度 A	増 減 A-B	4 年度 B	3 年度
調 定 額	5, 023, 500	△874, 458	5, 897, 958	8, 967, 368
収 入 済 額	1, 179, 900	△167, 250	1, 347, 150	1, 776, 570
不 納 欠 損 額	1, 908, 150	△431, 108	2, 339, 258	4, 179, 290
収 入 未 済 額	1, 935, 450	△276, 100	2, 211, 550	3, 011, 508
還 付 未 済 額	0	0	0	0
収 納 率	23. 5%	0. 7 ポイント	22. 8%	19. 8%

滞納繰越に係る収納率は対前年比 0. 7 ポイント増加しました。

2 款 支 払 基 金 交 付 金

決算書 P 245

5 年度予算	5 年度決算 A	増 減 A-B	4 年度決算 B	3 年度決算
829, 188, 000	794, 068, 000	37, 918, 000	756, 150, 000	715, 621, 000

40 歳から 64 歳までの第 2 号被保険者の介護保険料については、社会保険診療報酬支払基金が取りまとめを行い、町に交付されます。

(単位 円)

	5 年度 A	増 減 A-B	4 年度 B	3 年度
介護給付費交付金	779, 542, 000	37, 925, 000	741, 617, 000	701, 591, 000
地域支援事業支援交付金	14, 526, 000	△7, 000	14, 533, 000	14, 030, 000
合 計	794, 068, 000	37, 918, 000	756, 150, 000	715, 621, 000

3 款 国 庫 支 出 金

決算書 P 245

5 年度予算	5 年度決算 A	増 減 A-B	4 年度決算 B	3 年度決算
608, 148, 000	619, 307, 866	24, 203, 268	595, 104, 598	568, 419, 217

介護給付費等の増に伴い、国庫負担金は増加しました。また、調整交付金の増及び介護保険事業費補助金の増により、国庫補助金も増加しています。

(単位 円)

	5 年度 A	増 減 A-B	4 年度 B	3 年度
国 庫 負 担 金	515, 919, 158	13, 331, 485	502, 587, 673	488, 025, 102
国 庫 補 助 金	103, 388, 708	10, 871, 783	92, 516, 925	80, 394, 115
合 計	619, 307, 866	24, 203, 268	595, 104, 598	568, 419, 217

■国庫負担金

・現年度分介護給付費負担金 (負担率 施設分 15/100 その他分 20/100) 515, 919, 158 円

■国庫補助金

・調整交付金 61, 553, 000 円

- ・地域支援事業交付金（介護予防・日常生活支援総合事業）（交付率 25／100） 11,703,000 円
- ・地域支援事業交付金（介護予防・日常生活支援総合事業以外の地域支援事業）
（交付率 38.5／100） 21,556,708 円
- ・保険者機能強化推進交付金 3,119,000 円
- ・介護保険保険者努力支援交付金 4,943,000 円
- ・介護保険事業費補助金（交付率 50／100） 514,000 円

4 款 県 支 出 金

決算書 P247

5 年度予算	5 年度決算 A	増 減 A-B	4 年度決算 B	3 年度決算
456,574,000	444,397,294	8,915,004	435,482,290	424,248,156

介護給付費等の増に伴い、県負担金が増加しましたが、地域支援事業交付金の減により、県補助金は減少しました。

（単位 円）

	5 年度 A	増 減 A-B	4 年度 B	3 年度
県 負 担 金	426,870,716	9,127,538	417,743,178	406,382,699
県 補 助 金	17,508,978	△208,134	17,717,112	17,856,657
県 委 託 金	17,600	△4,400	22,000	8,800
合 計	444,397,294	8,915,004	435,482,290	424,248,156

■県負担金

- ・現年度分介護給付費負担金（負担率 施設分 17.5／100 その他分 12.5／100） 426,870,716 円

■県補助金

- ・地域支援事業交付金（介護予防・日常生活支援総合事業）（交付率 12.5／100） 6,730,625 円
- ・地域支援事業交付金（介護予防・日常生活支援総合事業以外の地域支援事業）
（交付率 19.25／100） 10,778,353 円

■県委託金

- ・生活保護介護扶助審査判定業務委託金 17,600 円

5 款 財 産 収 入

決算書 P249

5 年度予算	5 年度決算 A	増 減 A-B	4 年度決算 B	3 年度決算
119,000	113,092	△36,348	149,440	308,641

介護保険給付費準備基金から生じる預金利子です。

6 款 繰 入 金

決算書 P249

5 年度予算	5 年度決算 A	増 減 A-B	4 年度決算 B	3 年度決算
690, 551, 000	690, 553, 200	71, 471, 900	619, 081, 300	586, 391, 300

■介護給付費繰入金

介護保険事業計画における介護給付費の増に伴い、町負担金が増となりました。

- ・介護給付費繰入金（負担率 12.5/100）

（単位 円）

	5 年度 A	増 減 A-B	4 年度 B	3 年度
介護給付費繰入金	377, 150, 000	13, 749, 000	363, 401, 000	354, 342, 000

■地域支援事業繰入金

介護予防・日常生活支援総合事業及び介護予防・日常生活支援総合事業以外の地域支援総合事業については、事業費の増加に伴い増となりました。

（単位 円）

	5 年度 A	増 減 A-B	4 年度 B	3 年度
介護予防・日常生活 支 援 総 合 事 業	6, 734, 000	5, 000	6, 729, 000	6, 496, 000
介護予防・日常生活 支援総合事業以外の 地 域 支 援 事 業	10, 962, 000	236, 000	10, 726, 000	12, 200, 000

■その他一般会計繰入金

人事異動等により、職員給与費繰入金が増、認定調査事業及び認定審査会運営事業の増に伴い認定事務費繰入金も増加しました。

（単位 円）

	5 年度 A	増 減 A-B	4 年度 B	3 年度
職員給与費繰入金	88, 936, 000	947, 000	87, 989, 000	72, 728, 000
事 務 費 繰 入 金	20, 618, 000	1, 591, 000	19, 027, 000	17, 232, 000
認定事務費繰入金	26, 085, 000	1, 913, 000	24, 172, 000	22, 724, 000
一時借入金利子繰入金	59, 000	0	59, 000	59, 000
合 計	135, 698, 000	4, 451, 000	131, 247, 000	112, 743, 000

■低所得者保険料軽減繰入金

公費による保険料軽減が強化されたことによる低所得者分（保険料第1段階～第3段階）の軽減相当額を繰り入れたものです。

（単位 円）

	5 年度 A	増 減 A-B	4 年度 B	3 年度
低所得者保険料軽減繰入金	30, 263, 200	862, 900	29, 400, 300	28, 806, 300

■基金繰入金

前年度の介護保険料収入の余剰金を積み立てた介護保険給付費準備基金から、保険給付費の財源として繰り入れたものです。

(単位 円)

	5 年度 A	増 減 A-B	4 年度 B	3 年度
介護保険給付費準備基金繰入金	129,746,000	52,168,000	77,578,000	71,804,000

7 款 繰 越 金

決算書 P251

5 年度予算	5 年度決算 A	増 減 A-B	4 年度決算 B	3 年度決算
145,698,000	145,697,621	△13,068,856	158,766,477	256,016,247

前年度から繰り越された決算剰余金です。

8 款 諸 収 入

決算書 P251

5 年度予算	5 年度決算 A	増 減 A-B	4 年度決算 B	3 年度決算
6,017,000	3,598,726	△905,860	4,504,586	5,751,300

高齢者給食配食サービスの利用条件により、新規利用者数が減り、雑入が減となりました。

(単位 円)

	5 年度 A	増 減 A-B	4 年度 B	3 年度
町 預 金 利 子	3,772	△136	3,908	4,843
延滞金、加算金及び過料	74,000	△71,600	145,600	73,100
雑 入	3,520,954	△834,124	4,355,078	5,673,357
合 計	3,598,726	△905,860	4,504,586	5,751,300

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
4, 822, 000	4, 478, 296	0	0	0	4, 478, 296	0

【主な実施内容】

介護保険制度の財源として、65歳以上の第1号被保険者の方に前年中の所得等に応じて、介護保険料を賦課し、徴収を行いました。特別徴収（年金天引き）該当の方には、3月、5月、7月に特別徴収開始通知書、普通徴収（納付書払い、口座振替）該当の方には、4月に普通徴収暫定賦課通知書、8月に普通徴収納入通知書を発送しました。

■第1号被保険者数の推移

・特別徴収対象者数（年度末現在・併徴者を含む） (単位 人)

	5 年度	4 年度	3 年度
第 1 段 階	1, 186	1, 249	1, 169
第 2 段 階	664	610	586
第 3 段 階	534	542	514
第 4 段 階	1, 516	1, 669	1, 632
第 5 段 階	1, 604	1, 634	1, 602
第 6 段 階	1, 469	1, 536	1, 494
第 7 段 階	1, 617	1, 730	1, 665
第 8 段 階	741	799	790
第 9 段 階	221	236	232
第 10 段 階	168	201	198
第 11 段 階	139	128	123
合 計	9, 859	10, 334	10, 005

・普通徴収対象者数（年度末現在・併徴者を含む） (単位 人)

	5 年度	4 年度	3 年度
第 1 段 階	248	302	267
第 2 段 階	10	24	19
第 3 段 階	14	12	10
第 4 段 階	195	206	200
第 5 段 階	12	20	17
第 6 段 階	116	147	140
第 7 段 階	126	136	127
第 8 段 階	104	89	86
第 9 段 階	36	30	28
第 10 段 階	41	46	44
第 11 段 階	62	51	49
合 計	964	1, 063	987

※ 併徴者とは、年度内に特別徴収と普通徴収のいずれでも納付の必要があった者のこと

・第1号被保険者数（年度末現在の賦課対象者数）（単位 人）

	5年度	4年度	3年度
第1段階	1,434	1,566	1,437
第2段階	686	635	605
第3段階	548	556	523
第4段階	1,726	1,887	1,829
第5段階	1,631	1,663	1,614
第6段階	1,612	1,695	1,630
第7段階	1,752	1,872	1,791
第8段階	854	894	876
第9段階	257	266	260
第10段階	221	246	241
第11段階	204	179	172
合計	10,925	11,459	10,978

[成 果]

介護保険の財源確保のため、徴収強化期間（10月から12月及び2月）を定め、集合催告書の発布を行い、窓口での納付相談、電話催告を実施したことで現年度普通徴収分の徴収率が1.2ポイント向上しました。

介護認定審査会運営事業

〔介護保険担当〕 決算書 P258

5年度予算 (円)	5年度決算 (円)	5年度決算の財源内訳（円）				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
14,255,000	10,825,088	0	17,600	0	10,807,488	0

[主な実施内容]

介護保険法に基づき、介護認定審査会を設置し、介護認定の審査判定を行いました。

（単位 件）

	5年度 A	増減 A-B	4年度 B	3年度
開 催 回 数	47	△2	49	49
審 査 件 数	1,279	△155	1434	1483
二 次 判 定 結 果	非 該 当	2	0	5
	要 支 援 1	154	181	199
	要 支 援 2	164	176	213
	要 介 護 1	271	301	319
	要 介 護 2	214	268	226
	要 介 護 3	167	178	185
	要 介 護 4	169	197	174
	要 介 護 5	126	133	152

※区分変更却下 6
取消 6

※区分変更却下 7
取消 3

[成 果]

保健・医療・福祉の各専門分野より選出された委員で組織する介護認定審査会において、適正かつ公平な要介護認定を行いました。

認定調査事業

〔介護保険担当〕

決算書 P 258

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
11,852,000	8,915,793	0	0	0	8,915,793	0

〔主な実施内容〕

要介護認定申請者の訪問調査を行い、心身の状況を正確に把握しました。

(単位 件)

	5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
新規申請調査件数	447	5	442	458
更新申請調査件数	559	△215	774	824
変更申請調査件数	249	31	218	190
合 計	1,255	△179	1,434	1,472

〔成 果〕

町の訪問調査及び委託調査により、適正な認定審査の実施に繋がりました。

居宅介護サービス給付事業

〔介護保険担当〕

決算書 P 260

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
1,128,962,000	1,128,961,582	225,792,316	141,120,197	0	762,049,069	0

〔主な実施内容〕

要介護認定となった在宅の被保険者に対し、居宅サービス費用を保険給付しました。

・介護サービス利用件数

(単位 件)

		5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
訪問サービス	訪問介護	2,721	94	2,627	2,690
	訪問入浴	263	△62	325	341
	訪問看護	1,285	△7	1,292	1,208
	訪問リハビリテーション	604	△24	628	654
通所サービス	通所介護	3,694	137	3,557	3,287
	通所リハビリテーション	2,484	190	2,294	2,246
短期入所サービス	短期入所生活介護	961	△32	993	818
	短期入所療養介護	108	24	84	68

〔成 果〕

居宅サービス利用者の適切なサービス給付を行いました。

地域密着型介護サービス給付事業

[介護保険担当]

決算書 P 260

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
368,706,000	287,029,933	57,405,986	35,878,741	0	193,745,206	0

[主な実施内容]

高齢者が中重度の要介護状態に移行後も、可能な限り住み慣れた自宅・地域で生活を継続できるように、町が事業所の指定を行い、地域密着型介護サービス費用を保険給付しました。

・地域密着型介護サービス利用件数

(単位 件)

	5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
小規模多機能型居宅介護	96	△20	116	167
認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	422	5	417	378
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	351	2	349	351
夜間対応型訪問介護	0	△11	11	11
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	128	△61	189	98
地域密着型通所介護	815	△94	909	871

[成 果]

地域密着型サービス利用者の適切なサービス給付を行いました。

施設介護サービス給付事業

[介護保険担当]

決算書 P 262

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
1,094,236,000	1,060,868,702	159,130,305	185,652,022	0	716,086,375	0

[主な実施内容]

要介護認定となった施設入所の被保険者に対し、施設介護サービス費用を保険給付しました。

・施設介護サービス利用者数（3月審査分）

(単位 人)

	5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
介護老人福祉施設	216 (2,512)	23 (166)	193 (2,346)	187 (2,229)
介護老人保健施設	103 (1,242)	5 (67)	98 (1,175)	90 (1,093)
介護療養型医療施設	2 (32)	△1 (△18)	3 (50)	3 (36)

() 内は年度延べ人数

[成 果]

施設介護サービス利用者の適切なサービス給付を行いました。

居宅介護福祉用具購入費給付事業

〔介護保険担当〕

決算書 P 262

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
5,311,000	3,477,176	695,435	434,647	0	2,347,094	0

【主な実施内容】

要介護認定となった被保険者に対し、在宅での日常生活の自立を助けるための福祉用具の購入費用として、年 10 万円までを利用限度額とし、そのうちの 9 割、8 割または 7 割を保険給付しました。

	5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
支給件数 (件)	90	△2	92	120
支給総額 (円)	3,477,176	518,954	2,958,222	3,505,958
支給者一人あたりの支給額 (円)	38,635	6,481	32,154	29,216

【成 果】

在宅生活の自立支援を実施するために、腰掛・補高便座、浴槽台、浴槽用手すり、入浴用いす等の購入費を保険給付しました。

居宅介護住宅改修費給付事業

〔介護保険担当〕

決算書 P 262

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
16,034,000	8,861,804	1,772,360	1,107,725	0	5,981,719	0

【主な実施内容】

要介護認定となった被保険者に対し、在宅での日常生活の自立を助けるための住宅改修の費用として、1 住宅につき 20 万円までを利用限度額とし、そのうちの 9 割、8 割または 7 割を保険給付しました。

	5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
支給件数 (件)	84	18	66	90
支給総額 (円)	8,861,804	1,589,948	7,271,856	8,519,964
支給者一人あたりの支給額 (円)	105,498	△4,682	110,180	94,666

【成 果】

在宅生活の自立支援を実施するために、手すりの取り付けや段差解消、滑り止め、引き戸への変更等の費用を保険給付しました。

居宅介護サービス計画給付事業

〔介護保険担当〕

決算書 P 262

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
138,662,000	129,785,669	25,957,133	16,223,208	0	87,605,328	0

〔主な実施内容〕

居宅介護支援事業所に対し、要介護認定となった在宅被保険者の介護サービス計画作成にかかる費用を保険給付しました。

・介護サービス計画利用件数

(単位 件)

	5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
3 月 分	757 (9,344)	△8 (52)	765 (9,292)	745 (9,073)

() 内は年度延べ件数

〔成 果〕

居宅介護支援事業所への情報提供等により、効果的なケアプラン作成支援とサービス計画費の給付を行いました。

介護予防サービス給付事業

〔介護保険担当〕

決算書 P 264

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
65,890,000	61,597,315	12,319,463	7,699,664	0	41,578,188	0

〔主な実施内容〕

要支援認定となった在宅の被保険者に対し、介護予防サービス費用を保険給付しました。

・介護予防サービス利用件数

(単位 件)

		5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
訪 問 サービス	介 護 予 防 訪 問 看 護	118	37	81	153
	介 護 予 防 訪 問 リハビリテーション	128	63	65	66
通 所 サービス	介 護 予 防 通 所 リハビリテーション	898	77	821	745
短期入所 サービス	介 護 予 防 短 期 入 所 介 護	6	0	6	11
	介 護 予 防 短 期 入 所 療 養 介 護	0	0	0	1

〔成 果〕

介護予防サービス利用者の適切なサービス給付を行いました。

地域密着型介護予防サービス給付事業

〔介護保険担当〕

決算書 P264

5年度予算 (円)	5年度決算 (円)	5年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
7,242,000	744,769	148,953	93,096	0	502,720	0

〔主な実施内容〕

要支援状態になっても、可能な限り住み慣れた自宅・地域で生活を継続できるように、町が事業所の指定を行い、地域密着型介護予防サービス利用者への適切なサービス給付しました。

・地域密着型介護予防サービス利用件数

(単位 件)

	5年度 A	増減 A-B	4年度 B	3年度
介護予防小規模多機能型居宅介護	15	△9	24	25
認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	0	0	0	12

〔成 果〕

地域密着型介護予防サービス利用者の適切なサービス給付を行いました。

介護予防福祉用具購入費給付事業

〔介護保険担当〕

決算書 P264

5年度予算 (円)	5年度決算 (円)	5年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
764,000	740,070	148,014	92,508	0	499,548	0

〔主な実施内容〕

要支援認定となった被保険者に対し、在宅での日常生活の自立を助けるための福祉用具の購入費用として、年10万円までを利用限度額とし、そのうちの9割、8割または7割を保険給付しました。

	5年度 A	増減 A-B	4年度 B	3年度
支給件数(件)	24	△8	32	23
支給総額(円)	740,070	△138,383	878,453	498,400
支給者一人あたりの支給額(円)	30,836	3,384	27,452	21,670

〔成 果〕

在宅生活の自立支援を実施するために、腰掛・補高便座、浴槽台、入浴用いす等の購入費を保険給付しました。

介護予防住宅改修費給付事業

〔介護保険担当〕

決算書 P 264

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
5,683,000	5,682,764	1,136,552	710,345	0	3,835,867	0

〔主な実施内容〕

要支援認定となった被保険者に対し、在宅での日常生活の自立を助けるための住宅改修の費用として、1 住宅につき 20 万円までを利用限度額とし、そのうちの 9 割、8 割または 7 割を保険給付しました。

	5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
支給件数 (件)	58	16	42	40
支給総額 (円)	5,682,764	1,412,592	4,270,172	4,555,717
支給者一人あたりの支給額 (円)	97,979	△3,692	101,671	113,893

〔成 果〕

在宅生活の自立支援を実施するために、手すりの取り付けや段差解消、滑り止め、引き戸への変更等の費用を保険給付しました。

介護予防サービス計画給付事業

〔介護保険担当〕

決算書 P 264

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
11,236,000	11,235,714	2,247,142	1,404,464	0	7,584,108	0

〔主な実施内容〕

地域包括支援センターや居宅介護支援事業所に対し、要支援認定となった在宅被保険者の介護予防サービス計画作成にかかる費用を保険給付しました。

・介護予防サービス計画利用件数

(単位 件)

	5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
3 月 分	205 (2,337)	16 (306)	189 (2,031)	149 (1,821)

() 内は年度延べ件数

〔成 果〕

地域包括支援センターや居宅介護支援事業所への情報提供等により効果的なケアプランの作成支援とサービス計画費 (介護予防支援分) の給付を行いました。

高額介護サービス費給付事業

〔介護保険担当〕

決算書 P 266

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
70,974,000	70,973,880	14,194,776	8,871,735	0	47,907,369	0

〔主な実施内容〕

介護保険のサービスを利用し、その利用者負担額が高額になった場合、所得段階に応じて定められた上限を超える利用者負担額分の費用を給付しました。

	5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
延 べ 支 給 人 数 (人)	2,186	129	2,057	1,615
支 給 総 額 (円)	70,973,880	4,689,019	66,284,861	62,726,744
支給者一回あたりの支給額 (円)	32,467	243	32,224	38,840

〔成 果〕

介護保険のサービス利用者のうち、所得段階ごとに定められた限度額を超えた利用者負担額となった方の経済的負担軽減を図りました。

特定入所者介護サービス費給付事業

〔介護保険担当〕

決算書 P 266

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
89,767,000	72,422,054	14,484,410	9,052,756	0	48,884,888	0

〔主な実施内容〕

要介護認定となった被保険者の施設入所及び短期入所の際に自己負担となる居住費（滞在費）、食費について、一定の要件を満たした低所得の方に対して、負担限度額を超えた分を特定入所者介護サービス費として保険給付しました。

・利用件数

(単位 件)

	5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
食 費	2,199	△1	2,200	2,249
居住費（滞在費）	2,242	△16	2,258	2,266

〔成 果〕

施設入所等における負担軽減を図りました。

高額医療合算介護サービス費給付事業

[介護保険担当]

決算書 P 266

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
10,509,000	8,937,217	1,787,443	1,117,152	0	6,032,622	0

[主な実施内容]

介護保険と医療保険の両方の利用者負担が高額になった場合に、その合計額が所得段階に応じて定められた上限を超える分の費用を給付しました。

	5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
支給延べ人数 (人)	302	1	301	279
支給総額 (円)	8,937,217	△390,608	9,327,825	8,930,239

[成 果]

対象者の経済的負担軽減を図りました。

介護予防生活支援サービス事業

[高齢者支援担当]

決算書 P 268

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
38,120,000	36,552,021	14,712,189	4,569,002	0	17,270,830	0

[主な実施内容]

要支援認定・事業対象者となった在宅の被保険者に対し、第1号事業（第1号訪問事業・第1号通所事業）費用を給付しました。

・第1号事業（第1号訪問事業・第1号通所事業）サービス利用件数

(単位 件)

		5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
第 1 号 訪問事業	介護予防訪問介護相当 (現行相当)	557	6	551	590
	訪問型サービス A (基準緩和型)	0	0	0	0
第 1 号 通所事業	介護予防通所介護相当 (現行相当)	1,267	180	1,087	1,035
	通所型サービス A (基準緩和型)	66	△5	71	57

[成 果]

第1号事業サービス利用者への適切なサービス給付を行いました。

介護予防ケアマネジメント事業

〔高齢者支援担当〕

決算書 P 268

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
6,462,000	5,131,053	1,929,276	641,382	0	2,560,395	0

【主な実施内容】

地域包括支援センターや居宅介護支援事業所に対し、要支援認定・事業対象者となった在宅被保険者の介護予防ケアマネジメント作成にかかる費用を給付しました。

・介護予防ケアマネジメント利用件数

(単位 件)

	5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
3 月分	91 (1,074)	5 (38)	86 (1,036)	87 (1,047)

() 内は年度延べ件数

【成 果】

地域包括支援センターや居宅介護支援事業所への調整や情報提供等により効果的なケアプラン作成を支援し、介護予防ケアマネジメントを給付しました。

介護予防普及啓発事業

〔高齢者支援担当〕

決算書 P 268

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
4,885,000	3,156,305	689,653	386,647	0	2,080,005	0

【主な実施内容】

■口腔機能の向上プログラム「お口の健康教室」

37,200 円

2 日間コースを 3 コース実施しました。

	5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
実 施 コ ー ス 数	3	0	3	5
参 加 人 数	5	1	4	10

【成 果】

口腔機能が低下している方や低下のおそれがあると判断した方を対象に、口腔ケアの必要性、摂食・嚥下機能訓練や口腔衛生指導等を行い、口腔機能の維持向上を図りました。

■「おたっしや元気塾」

3,082,860 円

5 日間コースを 18 コース実施しました。

	5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
会 場 (箇 所)	4	0	4	3
実 施 コ ー ス 数	18	0	18	14
参 加 人 数	166	14	152	134

65 歳以上の一般高齢者を対象に体力に自信がない方向けの簡単な体操に加え、口腔機能向上、栄養、認知症予防について指導を実施しました。

健康診査において把握した後期高齢者の質問票を分析し、フレイルリスクの高い方に個別案内をしました。

[成 果]

自宅で簡単に取り組める運動と口腔ケアや栄養について、基本的な知識と実技を学び、講座終了後も自主的に介護予防が継続できるよう、普及啓発を図りました。

地域介護予防活動支援事業

〔高齢者支援担当〕 決算書 P268

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
4,259,000	2,688,306	832,031	336,038	0	1,520,237	0

[主な実施内容]

■プラザサポーター養成講座

543,950 円

16 日間コースを 1 コース実施しました。

	5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
実 施 コ ー ス 数	1	0	1	1
参 加 人 数	12	6	6	6

[成 果]

地域で、いきいき百歳体操等の介護予防体操やフレイル予防の普及啓発を行う人材を育成するために、プラザサポーター養成講座を実施し、9 名が修了しました。

■プラザサポーター発展講座

151,690 円

6 日間コースを 1 コース実施しました。

	5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
実 施 コ ー ス 数	1	0	1	1
参 加 人 数	5	△1	6	6

[成 果]

プラザサポーター養成講座を修了後、地域で介護予防活動を実践している方を対象に、口腔機能向上・栄養・認知症予防についてより詳しく学ぶプラザサポーター発展講座を実施しました。

出前講座等において、ボランティア講師としてフレイル予防の講義が行える人材を2名育成しました。

■地域のふれあい居場所づくり支援事業補助金

758,282 円

地域交流サロン・健康づくり団体に対し、地域のふれあい居場所づくり支援事業補助金（備品補助・施設利用料）を交付しました。

（単位 円）

	5 年度 A	増減 A—B	4 年度 B	3 年度
備 品 補 助	319,582 (9)	142,632 (4)	176,950 (5)	146,677 (7)
施 設 利 用	438,700 (18)	79,900 (3)	358,800 (15)	201,000 (9)

() 内は交付団体数

[成 果]

これまで、備品補助や施設利用の補助を受けていない既存の団体に対し、当該補助金の周知を行ったことにより、新たに該当することになった交付団体が増加しました。

認知症高齢者見守り事業

〔高齢者支援担当〕 決算書 P270

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
273,000	13,200	5,082	2,541	0	5,577	0

[主な実施内容]

■GPS位置情報発信機の貸与

13,200 円

徘徊高齢者等を在宅で介護する方に対して、探索用のGPS位置情報発信機を貸与しました。

	5 年度 A	増減 A—B	4 年度 B	3 年度
利 用 者 数 (人)	2	△1	3	2
位置情報取得回数 (件)	0	0	0	0

■高齢者見守りシールの交付

0 円

徘徊高齢者等を介護する方に対して、二次元バーコード付きの見守りシールを交付しました。

	5 年度 A	増減 A—B	4 年度 B	3 年度
利 用 者 数 (人)	7	3	4	—

[成 果]

徘徊高齢者等の早期発見、安全確保並びに介護者の身体的・精神的負担の軽減を図りました。

決算書 P270

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
899, 000	483, 551	186, 167	93, 083	0	204, 301	0

[主な実施内容]

- | | | | |
|------------------|--------------------------------|-----|--------|
| ①介護給付費通知の送付（年2回） | 令和5年 6月 | 対象者 | 1,658名 |
| | 12月 | 対象者 | 1,677名 |
| ②ケアプランの点検確認指導 | | | |
| 実施日 | 令和6年2月 | | |
| 対 象 | 町内居宅介護支援事業所所属の介護支援専門員（ケアマネジャー） | | |
| | | | 3事業所 |
| ③要介護認定調査票の点検 | | | 1,279件 |

[成 果]

利用者に対する適切な介護サービスの確保を目的として、「みやしろ健康福祉プラン」に定められた介護給付の適正化事業を実施しました。

決算書 P270

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
24,205,000	15,652,730	3,982,055	1,991,027	0	9,679,648	0

[主な実施内容]

- 高齢者等給食配食サービスの実施 13, 165, 071 円
- 一人暮らしの高齢者等の見守り支援として自宅へ夕食の宅配を行い、安心して自立生活が送れるよう支援しました。
- 委託先：公益社団法人宮代町シルバー人材センター
- （内訳）調理業務：社会福祉法人みつなみ会特別養護老人ホームみどりの森
- 配送業務：公益社団法人宮代町シルバー人材センター

	5 年度 A	増減 A－B	4 年度 B	3 年度
延べ利用者数（人）	939	△222	1, 161	1, 305
延べ調理食数（食）	10, 105	△2, 725	12, 830	14, 471
委 託 料（円）	13, 165, 071	△1, 850, 436	15, 015, 507	15, 901, 715

[成 果]

高齢者や心身に障がいのある方の食生活の改善及び健康の増進とともに、配達員からの食事の宅配を通じて、地域社会との交流と高齢者の見守りを図りました。

■介護相談事業の実施

1,508,505 円

介護保険制度利用者の日常的な不安、疑問を受け付け、問題の発見や提起、解決策の提案などを通じて、苦情が発生することを未然に防ぐとともに、介護サービスの質の向上を図るため、介護サービス相談員による被保険者への電話相談を実施しました。

	5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
介護サービス相談員	3	0	3	3
施設訪問（延べ回数）	0	0	0	0
施設訪問（延べ人数）	0	0	0	0
電話相談・対面相談（延べ人数）	434	△55	489	451
連絡会議	12	0	12	12

[成 果]

新型コロナウイルス感染症対策のため電話による相談を中心に取り組みました。被保険者ご本人からの相談のほか、家族からの相談についても対応しました。

■緊急時通報システム機器設置及び運用

979,154 円

おおむね 65 歳以上の一人暮らしで、転倒や発作を起こす可能性のある持病（心臓・脳血管・肺の病気など）のある方で緊急時通報システムの利用が必要と判断した場合に専用機器を設置しました。自宅で急病・事故などの際に、無線発信機や緊急通報専用機器を利用すると、緊急通報センターから必要に応じて消防本部に連絡され、速やかな救助活動が行われます。

	5 年度 A	増減 A-B	4 年度 B	3 年度
利用者数（人）	65	0	65	77
新規設置台数（件）	15	7	8	8

[成 果]

緊急時通報システムにより、24 時間体制での見守り、緊急時に迅速かつ的確な対応ができる体制が確保でき、8 件の緊急要請に対して 3 件の救急搬送が行われ、必要な治療につなげました。

家族介護継続支援事業

〔高齢者支援担当〕

決算書 P272

5 年度予算 （円）	5 年度決算 （円）	5 年度決算の財源内訳（円）				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
8,348,000	4,152,373	1,440,873	718,361	0	1,993,139	0

[主な実施内容]

■介護用品の支給

要介護 3～5 の認定を受けた方で、排泄等の介護を必要とする状態にあり、本人非課税かつ医療機関に入院や介護施設等に入所していない方を対象に、各種介護用品（紙おむつ、尿取りパット、介護用手袋、介護用ぬれタオル、清拭剤、ドライシャンプー）を宅配により支給しました。

	5 年 度 A	増 減 A－B	4 年 度 B	3 年 度
延 べ 支 給 人 数 (人)	1, 029	△166	1, 195	3, 469
支 給 総 額 (円)	3, 737, 459	△29, 113	3, 766, 572	11, 335, 743

[成 果]

在宅において排泄等の介護を必要とする高齢者及び家族等の経済的負担、身体的・精神的な負担を軽減しました。

地域包括支援センター運営管理事業

[高齢者支援担当]

決算書 P272

5 年度予算 (円)	5 年度決算 (円)	5 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
31, 130, 000	30, 465, 615	10, 145, 050	5, 087, 757	0	15, 232, 808	0

[主な実施内容]

■地域包括支援センターの運営

高齢者を包括的に支援する地域包括支援センターを運営し、地域住民の心身の健康保持及び生活の安定のために必要な援助を行いました。また、適正な運営管理を行うため、業務内容について事業評価を実施するとともに、介護保険事業運営協議会を開催し意見を聴取しました。

・地域包括支援センターの運営状況

	5 年 度 A	増 減 A－B	4 年 度 B	3 年 度
介護予防ケアプラン作成 (件)	154	18	136	119
総合相談 (件)	4, 154	△117	4, 271	3, 688
相談 内容 の内 訳 (件)	介護保険・介護サービスに関する相談	3, 584	△210	3, 794
	福祉サービスに関する相談	140	30	110
	認知症に関する相談	87	52	35
	権利擁護に関する相談	28	14	14
	その他の相談	202	1	201
	見守り等	113	△4	117
地域訪問 (件)	657	21	636	611
事業所 (ケアビジャー等) からの相談 (件)	572	265	307	284

・介護保険事業運営協議会 開催回数 1 回

[成 果]

実務経験を積んだ専門職が介護・福祉・健康・医療など、様々な面から支援を行いました。高齢者やその家族、事業者等からの相談に迅速に対応し、介護保険サービスや町福祉制度等に繋げ、高齢者が住み慣れた地域で安心して自分らしい暮らしを続けられるよう努めました。

在宅医療・介護連携推進事業

〔高齢者支援担当〕

決算書 P272

5年度予算 (円)	5年度決算 (円)	5年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
2,140,000	1,614,371	621,533	310,766	0	682,072	0

【主な実施内容】

■在宅医療・介護連携に関する関係団体等との連携

蓮田市・白岡市とともに在宅医療・介護連携推進事業の共同実施に関する協定を締結し、地域の医療・介護資源の実態把握、在宅医療・介護関係者の関係づくり及び関係者の研修会や連携会議を開催し、スキルアップや情報共有を図りました。

また、久喜市・蓮田市・白岡市とともに南埼玉郡市医師会へ在宅医療・介護連携拠点等を委託し、地域の医療・介護関係者からの在宅医療・介護連携に関する相談を受け付けました。

【成 果】

医療機関・介護事業所が参加する研修会を通して、情報の共有、顔の見える関係づくりを行い、在宅医療と在宅介護の提供体制の構築を図りました。

生活支援体制整備事業

〔高齢者支援担当〕

決算書 P274

5年度予算 (円)	5年度決算 (円)	5年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
4,577,000	4,335,074	2,229,962	803,289	0	1,301,823	0

※P54 おかえりなさい！地域デビュー事業及びP67 高齢者困りごとサポート隊事業の事業費を含みます。

【主な実施内容】

■生活支援コーディネーターの配置

地域の様々な支え合い活動をつなげ、組み合わせるコーディネート機能を担う生活支援コーディネーターを宮代町社会福祉協議会に委託し、主に地域情報の把握、情報発信を行い、生活支援体制整備推進会議（協議体）にて、ファシリテーター等会議運営の補佐役として活動しました。

■生活支援体制整備推進会議（協議体）の開催

生活支援の担い手育成の進め方や担い手が活躍する機会をつくるための話し合いの場を2か月に一度開催しました。地域の支え合い・助け合い活動団体の紹介動画の企画・作成及び11月開催の縁じょい交流会のPRを行いました。

■地域活動情報誌の発行・YouTubeによる情報発信

6月、10月、2月に地域デビュー応援情報誌「縁じょい」通信を発行。身近な活動に興味を持った方（毎回約420人）に送付し、身近な活動への参加を促しました。また、YouTube「縁じょいチャンネル」から、地域の助け合い活動、地域活動者・団体紹介を協議体メンバーの協力を得ながら4本動画を作成し公開しました。

■介護入門講座の実施

介護者本人ではなく介護者の視点で、介護者に知ってほしい介護保険制度についての知識取得、参加者の交流を図ることを目的に2月に開催し、22名が参加しました。

■生活支援の担い手発掘

11月に認知症をテーマに縁じょい交流会「ぼけますから、よろしくお願いします」の映画会・講演会に約200名が参加し、支え合う意識を醸成しました。また、12月に高齢者お助け人養成講座に10名が参加し、実際の支え合い活動者からの事業説明や交流を行い、1名が活動参加へとつながりました。

姫宮南団地地区にて、7～8月に生活支援ニーズ及び担い手候補者発掘のためのアンケートを実施し、担い手候補者と10月以降、意見交換会を行う中でご近所による生活の困りごとを解決する機運から「小さなお困りごとサポート隊」を結成しました。

■日本工業大学との連携

「認知症の方にやさしいまちづくりミーティング」と題し、日本工業大学・宮代町社会福祉協議会・宮代町立図書館と連携し、9月の世界アルツハイマー月間に合わせた図書館パネル展、11月に縁じょい交流会「ぼけますから、よろしくお願いします」を開催し、認知症の方を支えるために何ができるかを考える機会となりました。

[成 果]

イベントや講座（縁じょい交流会・シニアはじめて講座・生活支援担い手講座）により生活支援活動者との顔合わせの機会が増え、直接、活動参加につなげることができました。引き続き、情報発信も継続し、地域活動に参加することや支え合い・助け合いの大切さなどを広め、生活支援活動者を増やしていきます。

認知症総合支援事業

〔高齢者支援担当〕

決算書 P274

5年度予算 (円)	5年度決算 (円)	5年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
455,000	129,820	49,980	24,991	0	54,849	0

[主な実施内容]

■認知症地域支援推進員の配置

地域包括支援センターもみの木の職員1名、高齢者支援担当職員2名が認知症地域支援推進員として認知症の人やその家族、ケアマネジャー等からの相談に対応しました。

■認知症初期集中支援チームの設置

認知症初期集中支援チームの設置は、平成30年1月から白岡市の認知症専門病院に委託しました。

	5 年 度 A	増 減 A－B	4 年 度 B	3 年 度
支援対象ケース（件）	0	0	0	0
支援対象外ケース（件）	0	△1	1	0

[成 果]

認知症初期集中支援チームでの支援対象チームはありませんでしたが、医療機関への受診につながるよう支援しました。認知症の早期対応、早期受診に向けた支援体制の充実を図りました。



後 期 高 齡 者 医 療 特 別 会 計



令和５年度宮代町後期高齢者医療特別会計決算における主要施策の成果

令和５年度の歳入総額は６億２，８９２万５千円で、前年度に比べ２，３３２万５千円、率にして３．９％の増、歳出総額は６億２，５１４万９千円で、前年度に比べ２，７９０万９千円、率にして４．７％の増となり、令和５年度宮代町後期高齢者医療特別会計決算における収支差引額は３７７万６千円となりました。

歳入の主な財源となる保険料収入済額は、前年度に比べ１，１７１万５千円、率にして２．５％増加しました。収納対策においては、納付方法として口座振替、コンビニエンスストアでの納付、スマホ決済（７種類）を設け納付しやすい環境を整え、新規被保険者に対しては口座振替申し込みの促進を図りました。また、保険料未納の被保険者に対しては書面での催告、納付相談を行い、滞納の解消に努めた結果、収納率は現年度分で９９．９％となりました。

引き続き適正かつ公平な保険料の賦課徴収に取り組んでまいります。

令和５年度 後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算状況

歳入の状況

款 名	５年度			増減 A-B
	決算額 A	構成比 (%)	被保険者1人当たり	
1 後期高齢者医療保険料	486,030	77.3	76	11,715
2 繰入金	134,123	21.3	21	8,184
3 諸収入	412	0.1	0	△ 1,335
4 繰越金	8,360	1.3	1	4,761
歳入合計	628,925	100.0	98	23,325

歳出の状況

款 名	５年度			増減 A-B
	決算額 A	構成比 (%)	被保険者1人当たり	
1 総務費	26,549	4.2	4	△ 727
2 後期高齢者医療広域連合納付金	591,430	94.6	93	25,028
3 諸支出金	7,170	1.2	1	3,608
4 予備費	0	0.0	0	0
歳出合計	625,149	100.0	98	27,909

令和6年3月31日現在被保険者数
6,366人

(単位 千円)

4 年度		3 年度 決算額	増 減 理 由
決算額 B	構成比 (%)		
474,315	78.3	428,031	被保険者数の増加に伴う現年度分の保険料収納額の増
125,939	20.8	111,711	保険基盤安定繰入金の増
1,747	0.3	263	マイナンバーカード取得促進等及び窓口負担の見直し経費補助金の減
3,599	0.6	4,161	前年度繰越金の増
605,600	100.0	544,166	

(単位 千円)

4 年度		3 年度 決算額	増 減 理 由
決算額 B	構成比 (%)		
27,276	4.6	25,278	郵便料の減
566,402	94.8	511,672	共通経費負担金及び保険料納付金の増
3,562	0.6	3,617	一般会計への繰出金の増
0	0.0	0	
597,240	100.0	540,567	

令和5年度 決算状況総括表

1 決算収支の状況

(単位 千円)

	5年度	4年度	3年度
歳入総額 A	628,925	605,600	544,166
歳出総額 B	625,149	597,240	540,567
歳入歳出差引額 (A - B) C	3,776	8,360	3,599
翌年度へ繰越すべき財源 D	0	0	0
実質収支 (C - D) E	3,776	8,360	3,599
単年度収支 F	△ 4,584	4,761	△ 562
積立金 G	0	0	0
繰上償還額 H	0	0	0
積立金取崩額 I	0	0	0
実質単年度収支 (F + G + H - I)	△ 4,584	4,761	△ 562

2 被保険者数の状況 (年度末現在)

(単位 人)

	5年度	4年度	3年度
75歳以上の者	6,349	6,093	5,828
65歳以上で障害認定を受けた者	17	22	25
被保険者総数	6,366	6,115	5,853
総人口	33,340	33,346	33,656
総人口に対する被保険者の割合	19.1%	18.3%	17.4%

3 職員数等の状況

	5年度	4年度	3年度
(一般職員) 職員数	3人	3人	3人
(一般職員) 平均年齢	47.07歳	46.07歳	42.09歳
(一般職員) 一人当たりの給料月額	313,933円	309,700円	291,933円

1 款 後期高齢者医療保険料

決算書 P283

5 年度予算	5 年度決算 A	増 減 A-B	4 年度決算 B	3 年度決算
505, 898, 000	486, 029, 800	11, 714, 300	474, 315, 500	428, 030, 730

後期高齢者医療制度の運営に必要な被保険者が負担する保険料（総医療費から自己負担分を除いた額の 1 割相当分）です。

■現年度分特別徴収保険料

(単位 円)

	5 年度 A	増 減 A-B	4 年度 B	3 年度
調 定 額	332, 501, 200	5, 287, 900	327, 213, 300	306, 310, 100
収 入 済 額	332, 831, 000	5, 328, 000	327, 503, 000	306, 483, 600
不 納 欠 損 額	0	—	0	0
収 入 未 済 額	0	—	0	0
収 納 率	100%	—	100%	100%

収入済額には還付未済額 329, 800 円（3 5 件分）が含まれています。

■現年度分普通徴収保険料

(単位 円)

	5 年度 A	増 減 A-B	4 年度 B	3 年度
調 定 額	153, 313, 100	6, 043, 500	147, 269, 600	121, 537, 200
収 入 済 額	152, 722, 700	6, 495, 900	146, 226, 800	120, 726, 400
不 納 欠 損 額	0	—	0	0
収 入 未 済 額	724, 700	△426, 500	1, 151, 200	810, 800
収 納 率	99. 6%	0. 3 ポイント	99. 3%	99. 3%

収入済額には還付未済額 134, 300 円（6 件分）が含まれています。

■現年度分（特別徴収保険料及び普通徴収保険料）

(単位 円)

	5 年度 A	増 減 A-B	4 年度 B	3 年度
調 定 額	485, 814, 300	11, 331, 400	474, 482, 900	427, 847, 300
収 入 済 額	485, 553, 700	11, 823, 900	473, 729, 800	427, 210, 000
不 納 欠 損 額	0	—	0	0
収 入 未 済 額	724, 700	△426, 500	1, 151, 200	810, 800
収 納 率	99. 9%	0. 1 ポイント	99. 8%	99. 9%

収入済額には還付未済額 464, 100 円（4 1 件分）が含まれています。

■滞納繰越分普通徴収保険料

(単位 円)

	5 年度 A	増 減 A-B	4 年度 B	3 年度
調 定 額	1,934,010	68,540	1,865,470	2,984,650
収 入 済 額	476,100	△109,600	585,700	820,730
不 納 欠 損 額	301,740	△195,220	496,960	1,142,250
収 入 未 済 額	1,156,170	373,360	782,810	1,021,670
収 納 率	24.6%	△6.8 ポイント	31.4%	27.5%

高齢者の医療の確保に関する法律第160条の規定により、301,740 円（10名分）の不納欠損を行いました。

2 款 繰 入 金

決算書 P283

5 年度予算	5 年度決算 A	増 減 A-B	4 年度決算 B	3 年度決算
134,155,000	134,122,584	8,183,955	125,938,629	111,711,090

■保険基盤安定繰入金

後期高齢者医療に係る保険料の所得に応じた均等割軽減分及び被用者保険の被扶養者であった被保険者の軽減分を補うために必要となる県及び町負担金分を、一般会計から繰り入れました。

■事務費繰入金

後期高齢者医療制度の運営に必要な事務経費を、一般会計から繰り入れました。

■職員給与費繰入金

後期高齢者医療担当職員の人件費を、一般会計から繰り入れました。

(単位 円)

	5 年度 A	増 減 A-B	4 年度 B	3 年度
保険基盤安定繰入金	89,388,584	6,049,955	83,338,629	72,602,090
事 務 費 繰 入 金	22,459,000	1,211,000	21,248,000	17,954,000
職員給与費繰入金	22,275,000	923,000	21,352,000	21,155,000
合 計	134,122,584	8,183,955	125,938,629	111,711,090

3 款 諸 収 入

決算書 P283

5 年度予算	5 年度決算 A	増 減 A-B	4 年度決算 B	3 年度決算
416, 000	412, 445	△1, 334, 325	1, 746, 770	263, 090

■延滞金、加算金及び過料

後期高齢者医療保険料に係る延滞金です。

■還付金及び還付加算金

過誤納となった保険料を還付するための財源となる埼玉県後期高齢者医療広域連合からの収入金です。

■町預金利子

歳計現金の預金利子です。

(単位 円)

	5 年度 A	増 減 A-B	4 年度 B	3 年度
延 滞 金 及 び 過 料	2, 100	△14, 800	16, 900	18, 600
償還金及び還付加算金	409, 300	162, 800	246, 500	243, 600
町 預 金 利 子	1, 045	△17	1, 062	890
マイナンバーカード取得促進等及び窓口負担の見直し経費補助金	—	△1, 482, 308	1, 482, 308	—
合 計	412, 445	△1, 334, 325	1, 746, 770	263, 090

4 款 繰 越 金

決算書 P285

5 年度予算	5 年度決算 A	増 減 A-B	4 年度決算 B	3 年度決算
8, 361, 000	8, 360, 049	4, 760, 638	3, 599, 411	4, 161, 248

令和4年度決算剰余金として、令和5年度に繰越したものです。

後期高齢者医療保険料徴収事業

〔国保・後期担当〕

決算書 P288

5年度予算 (円)	5年度決算 (円)	5年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
3,005,000	2,589,115	0	0	0	2,589,115	0

〔主な実施内容〕

特別徴収(年金からの天引き)の月ごとの保険料額が平均になるよう平準化を行いました。

また、保険料の納付において、口座振替・コンビニ納付・スマホ決済(7種類)を利用した納付環境を整備することで納付方法の選択の幅を広げるとともに、簡易化に努めました。

保険料の公平かつ適切な徴収対策として、滞納者への通知による催告や納付相談を実施し、滞納者の経済環境に配慮した徴収を実施しました。

参考：保険料軽減区分ごとの被保険者数(令和5年度最終調定時)

軽減区分	人数	割合
一 般(軽減なし)	2,455	39%
均等割 2割軽減	1,048	16%
同 5割軽減	759	12%
同 7割軽減	2,098	33%
合 計	6,360	

〔成 果〕

滞納者に対する納付相談や通知による催告等を実施した結果、現年度分の普通徴収保険料の徴収率は前年度より0.3ポイント増の99.6%となりました。特別徴収保険料を含んだ現年度分全体の保険料の徴収率は、前年度より0.1ポイント増の99.9%となりました。

また、普通徴収の納付方法別の件数の割合は、納付書での納付38%、口座振替42%、コンビニ納付19%、スマホ決済0.5%となりました。

後期高齢者医療広域連合納付金納付事業

〔国保・後期担当〕

決算書 P290

5年度予算 (円)	5年度決算 (円)	5年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
612,604,000	591,430,284	0	0	0	591,430,284	0

〔主な実施内容〕

共通経費負担金、保険基盤安定負担金及び町が徴収した保険料を埼玉県後期高齢者医療広域連合に納付しました。

(単位 円)

	5年度 A	増 減 A-B	4年度 B	3年度
共通経費負担金	15,615,600	5,585,125	10,030,475	10,439,998
保険基盤安定負担金	89,388,584	6,049,955	83,338,629	72,602,090
後期高齢者医療保険料	486,426,100	13,392,700	473,033,400	428,629,975
合 計	591,430,284	25,027,780	566,402,504	511,672,063

〔成 果〕

埼玉県後期高齢者医療広域連合の適正な財政運営に寄与しました。

